

平成 2 1 年度
飯能市商店街動向調査報告書

平成 21 年 9 月

駿河台大学
飯能信用金庫
飯能商工会議所

目 次

第1章 調査の目的	1
第2章 調査の概要	1
1. 調査対象と調査方法	1
2. 調査対象とする商店街	1
3. 調査の実施概要	2
(1) 商店街個店調査	2
(2) 商店街の代表者調査	2
第3章 調査の分析・要約	3
1. 商店街個店調査の要約	3
2. 商店街の代表者調査の要約	8
第4章 商店街個店調査	8
1. 回答者の概要	8
2. 個店の概要	9
(1) 個店の本・支店別	9
(2) 企業の事業形態	10
(3) 資本金	11
(4) 個店の業種・業態	12
(5) 経営者の年齢	15
(6) 経営者の性別	16
(7) 個店の創業年次	17
(8) 売場面積	18
(9) 店舗利用状況	19
(10) 店舗の所有形態	20
(11) 店舗の構造	21
(12) 店舗の使用階数	22
(13) 開店・閉店時間	23
(14) 休業日	25
(15) 来客用駐車場の有無	27
3. 個店の経営状況	28
(1) 年間売上高	28
(2) 個店の収入割合	29
(3) 顧客層・年代	30
(4) 平日と土日の売上比率	32
(5) 売上傾向(5年前との比較)	33
(6) 来店客数(5年前との比較)	34
4. 自店の問題点と対応策について	35
(1) 自店の直面している問題点	35
(2) 自店の努力項目	37
5. 今後の対応策について	39
(1) 売上見通し	39
(2) 売場面積の変更予定	40
(3) 店舗の改装予定	41

(4) 店舗数の変更予定	42
(5) 店員数の変更予定	43
(6) 商品構成の変更予定	44
(7) 販売方法の変更予定	45
(8) 出張販売	46
(9) 販売促進方法	47
(10) 閉店時間の遅延	48
(11) 店舗移転構想	49
(12) 業種・業態等の変更予定	50
(13) 後継者の有無	51
6. 商店街の状況について	52
(1) 商店街の組織活動状況	52
(2) 商店街の共同事業の満足度	53
(3) 各種イベントの売上貢献度	54
(4) 一斉休業日を変更しようとした場合の新しい休業日	63
(5) 商店街の問題点	65
(6) 商店街活性化方策	67
(7) 商店街活性化への公的機関の役割	69
(8) 丸広百貨店の移転関係	71
(9) 商店街活性化研修会・勉強会への参加意思	80
(10) 商店街活性化活動への参加意向	81
7. 商店街や飯能市の活性化のための意見・要望	82
第5章 商店街の代表者調査結果	86
1. 商店街の概要	86
2. 商店街の状況	89
第6章 商店街の現状と課題	101
1. 飯能大通り商店街協同組合	101
2. 協同組合飯能銀座商店街	103
3. 飯能中央通り商店街協同組合	105
4. 飯能東共栄会	107
5. 飯能南口商店街	109
6. 飯能東銀座睦会	111
7. メイプル通り商店会	113
第7章 商店街活性化への提案	115
1. 提案の前提	115
2. 商店街への提案	119
資料	121
1. 商店街調査結果のまとめ	121
2. アンケート調査票	125

第1章 調査の目的

駿河台大学・飯能信用金庫は産学連携協議会を立ち上げ、各種の事業を展開しており、地域活性化支援に関しても「地域活性化講演会」、「地域活性化のプランニングコンテスト」、「調査活動」などを実施しているが、平成21年度は、平成19年度に実施した「飯能市消費動向調査」に引続き、飯能商工会議所と協働し、「飯能市商店街動向調査」を実施した。

本調査は、①飯能市内の各商店街における問題点を明らかにし、②その対策を分析して、③今後の商店街活性化のための基礎資料として利活用できるような資料作成を目的とした。

調査では、飯能市内の7つの商店街に属する個別商店と商店街の会長・理事長(以下「代表者」という。)を対象に、商店街の現況や意見などを収集している。

第2章 調査の概要

1. 調査対象と調査方法

本調査は、①飯能市内の商店街に所属する個店(個店調査)、②商店街の代表者(商店街の代表者調査)を対象としている。

(1)商店街の個店調査

各商店街の代表者が会員に「個店用アンケート調査票」を訪問配布し、それを回答者から回収する方法で行った。

回収された調査票は、代表者がまとめて、商工会議所に持参した。

(2)商店街の会長・理事長調査

飯能商工会議所担当者が代表者に「代表者用アンケート調査票」を訪問配布し、代表者が回答したものを飯能商工会議所に持参し回収する方法で行った。

2. 調査対象とする商店街

本調査で対象とする商店街は、図表 2-2-1 にあげた飯能市内の7商店街である。

この商店街を規模別に見ると、会員数が多い商店街は「飯能銀座商店街」、「飯能東共栄会」であり、中位は「飯能中央通り商店街」、「飯能南口商店会」であり、「飯能大通り商店街」、「飯能東銀座睦会」、「メイプル通り商店会」は会員数が20店強となっている。

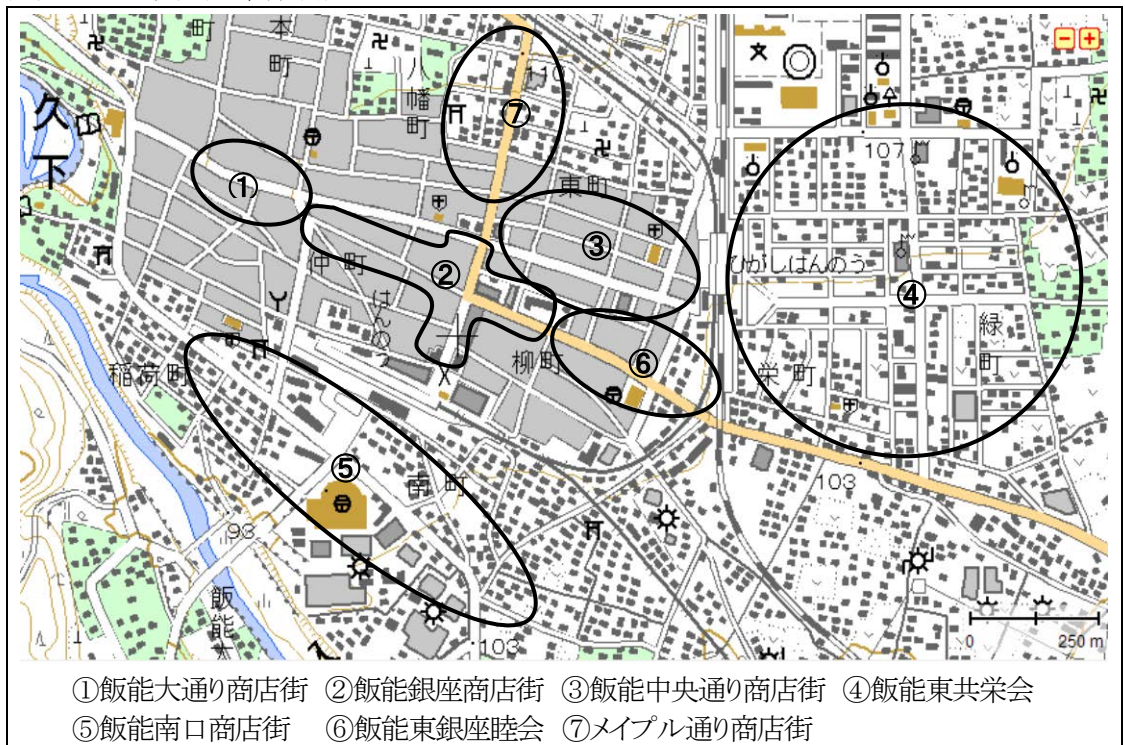
また、7商店街のうち、協同組合として活動しているのは、「飯能大通り商店街協同組合」、「協同組合飯能銀座商店街」、「飯能中央通り商店街協同組合」の3商店街であり、他は任意の団体となっている。

図表 2-2-1 商店街名と会員数(平成21年5月15日現在) (単位:店・%)

番号	商店街名	会員数	構成比
1	飯能大通り商店街(協)	23	6.1
2	(協)飯能銀座商店街	120	31.7
3	飯能中央通り商店街(協)	50	13.2
4	飯能東共栄会	90	23.8
5	飯能南口商店会	49	13.0
6	飯能東銀座睦会	26	6.9
7	メイプル通り商店会	20	5.3
	計	378	100.0

上記の商店街の所在地は、次ページの図表 2-2-2 のとおりである。

図表 2-2-2 飯能市の商店街図



(出所: 国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能(東京)])

3. 調査の実施概要

(1)商店街個店調査

- ・実施期間: 平成 21 年 4 月 27 日(配布)～平成 21 年 5 月 15 日(回収)
- ・配布数: 378 票
- ・有効回答: 279 票(回収率:73.8%)

商店街の個店からの調査票回収率は、全体で 73.8%であり、商店街別の回収状況は図表 2-3-1 のとおりである。

図表 2-3-1 調査票回収率(商店街別) (単位:店・%)

番号	商店街名	会員数	回収数	回収率
1	飯能大通り商店街	23	16	69.6
2	飯能銀座商店街	120	82	68.3
3	飯能中央通り商店街	50	33	66.0
4	飯能東共栄会	90	65	72.2
5	飯能南口商店街	49	41	83.7
6	飯能東銀座睦会	26	23	88.5
7	メイプル通り商店街	20	19	95.0
	合計	378	279	73.8

(注)以下、「商店街」、「商店会」の名称は省略する。

(2)商店街の代表者調査

- ・実施期間: 平成 21 年 4 月 27 日(配布)～平成 21 年 5 月 15 日(回収)
- ・配布数: 7 票
- ・有効回答: 7 票(回収率:100%)

第3章 調査の分析・要約

1. 商店街個店調査の要約

【商店街の概要】

区 分	意識調査の要約
1) 個店の本・支店別	飯能市内に「本店のみ」がある商店は85.7%を占めている。
2) 企業の事業形態	「個人経営」49.5%、「法人経営」50.5%とほぼ同じ割合である。
3) 資本金	「1,000万円未満」が最多の54.5%となっている。
4) 個店の業種・業態区分	病院・銀行・ホテル・学習塾・不動産業等の「その他」が17.4%と最多で、「飲食店等」17.0%、医薬品・化粧品・ガソリン・書籍等の「その他の商品販売」14.0%となっている。 商店街別には、メイプル通りの「飲食店等」が47.4%で最多となっている。
5) 経営者の年齢区分	「60歳代」37.8%が最も多く、次いで「50歳代」、「70歳代以上」である。
6) 経営者の性別区分	「男性」86.2%、「女性」13.8%となっている。
7) 個店の創業年次	「昭和」63.5%が最も多く、「平成」25.6%、「大正」7.5%、明治以前3.4%である。 商店街別では、「飯能大通り」は「明治以前」が7店（うち安政1店）と老舗が多い。銀座通りは「明治」が2店、「大正」が15店と歴史のある店舗も見られるが、大半は「昭和」以降である。「平成」期の創業は、店数では飯能銀座、飯能東共栄会が20店と多く、割合ではメイプル通りが44.4%と多くなっている。
8) 売場面積	「10坪以上20坪未満」が最も高く33.9%を占め、次いで「10坪未満」が26.7%となっており、合わせて60.6%と比較的小型店舗が多い状況にある。
9) 店舗利用状況	「店舗専用」は50.8%で、「店舗と住居の併用」は47.3%である。 商店街別にみると、「店舗専用」が半数以上の商店街は、飯能銀座、飯能東共栄会、メイプル通りであり、「店舗と住居の併用」が半数以上の商店街は、飯能大通り、飯能中央通り、飯能東銀座睦会となっている。
10) 店舗の所有形態	「土地建物自己所有」が53.4%と最も多い。「借家・テナント」が32.8%、「借地（建物自己所有）」が11.6%である。 商店街別には、飯能東共栄会、飯能大通り、飯能南口では「土地建物自己所有」が60%を超える高い比率となっている。一方、メイプル通り、飯能銀座では「借家・テナント」が最も高く、72.2%、47.5%となっている。
11) 店舗の構造	「木造」44.0%が最も多く、「鉄筋コンクリート」30.5%、軽量鉄骨19.7%と続く。
12) 開店時間	各商店の開店時間をみると、「午前9時台」が39.1%と最も多い。 商店街別には、飯能東銀座睦会は「午前9時以前」に52.6%が開店しており特に朝が早い。一方、メイプル通りは「午後」が27.8%を占め全般的に開店時間は遅い傾向がみられる。
13) 閉店時間	「午後7時台」が38.7%と最も多く、次いで「午後7時以前」28.9%で、午後8時前には全体の67.6%が閉店している。 商店街別には、飯能東銀座睦会、飯能南口、飯能大通り、飯能中央通りは「午後7時台」までにはそれぞれ78.9%、76.5%、73.3%、71.9%が閉店しており、朝の開店時間が早い商店街では閉店時間も速い傾向を示している。メイプル通りは飲食店の比率が高いため「午前」が22.2%を占めている。
14) 休業日	「その他」が42.3%と最多となっており、次いで「一斉休業日」32.1%、「不定」14.3%、「年中無休」11.3%の順となっている。 商店街別には、協同組合化している飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りの商店街は、「一斉休業日」を取る割合が高く、56.3%、48.8%、42.4%である。飯能東共栄会では「その他」が最多で65.0%であった。

15) 来客用駐車場の有無	「ある」が 66.2%と過半数を超えている。 商店街別には、駐車場の整備率が高いのは、飯能南口の 94.7%、飯能東共栄会 88.5%などである。一方、飯能銀座は、駐車場が「ない」が 65.4%と突出している。
---------------	--

【個店の経営状況】

区 分	意識調査の要約
1) 年間売上高	年間売上高は、「3000万円未満」以下が 52.6%を占めている。
2) 個店の収入割合	「本業の収入のみ」が 83.0%と圧倒的に多い。
3) 顧客層	「主婦」31.5%が最も高い割合であり、「その他」20.4%、「サラリーマン」・「高齢者」が共に 17.9%、「家族連れ」10.0%となっている。「学生・若者」は 5.0%と一番少ない状況にある。
4) 来店客の年代	「50～64歳」が 48.7%と最も高い比率となっている。
5) 平日と土日の売上比率	「平日の方が多いい」が 35.7%と最も高く、次いで「ほぼ同じ」が 30.7%、「土日祝日の方が多いい」19.3%の順となっている。 商店街別には、飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りでは「平日の方が多いい」の割合が 40%台と高く、また、メイプル通りでは「土日祝日の方が多いい」と「ほぼ同じ」が同率の 35.3%となっている。
6) 売上傾向(5年前との比較)	減少傾向は 71.3%である。商店街別には、メイプル通り、飯能大通り、飯能中央通りは減少傾向(「減少+やや減少」)の比率が 80%を超えている。「増加」が最も高いのは南口で 15.8%となっている。
7) 来店客数(5年前との比較)	全体では、減少傾向は 73.0%である。商店街別には、メイプル通り、飯能大通り、飯能中央通りは減少傾向比率が 80%を超えている。飯能南口、飯能大通りは増加傾向の比率が 20.0%と高くなっている。

【自店の直面している問題点】

区 分	意識調査の要約
問題点	「景気悪化」が 58.1%、「価格競争の激化」27.6%、「大型店の影響」26.5%である。
①飯能大通り	「景気悪化」が 68.8%と最多で、「大型店の影響」、「価格競争の激化」、「立地条件の悪化」が続いている。
②飯能銀座	「景気悪化」が 58.5%で最多で、「大型店の影響」、「駐車場不足」、「企画演出力不足」と続いている。
③飯能中央通り	「景気悪化」が 69.7%と最多で、「大型店の影響」、「価格競争の激化」と続いている。
④飯能東共栄会	「景気悪化」が 56.9%と最多で、「価格競争の激化」、「大型店の影響」、「競合店の出店」と続いている。
⑤飯能南口	「景気悪化」41.5%の 1 点に集中しており、他の項目の割合は低くなっている。
⑥飯能東銀座睦会	「景気悪化」47.8%、「価格競争の激化」、「大型店の影響」に集中している。
⑦メイプル通り	「景気悪化」が 78.9%と非常に高くなっており、以下「大型店の影響」、「競合店の出店」、「価格競争の激化」と続いている。

【自店の努力項目】

区 分	意識調査の要約
努力項目	「独自の商品販売」が 29.7%と最も多く、次いで「丁寧な商品説明」26.9%、「商品の仕入れの吟味」・「何もしていない」が 20.4%となっている。

①飯能大通り	「丁寧な商品説明」50.0%、「独自の商品販売」、「商品の仕入吟味」が 43.8%と続いている。
②飯能銀座	「丁寧な商品説明」39.0%、「独自の商品販売」37.8%、「商品の仕入吟味」28.0%と続いている。
③飯能中央通り	「独自の商品販売」39.4%、「安心・安全の強化」30.3%、「丁寧な商品説明」、「商品の仕入吟味」がともに 27.3%である。
④飯能東共栄会	特に突出している項目はなく、「丁寧な商品説明」23.1%、「安心・安全の強化」21.5%であるが、「何もしていない」も 23.1%となっている。
⑤飯能南口	「何もしていない」が 39.0%と最多で、2 番目に「独自の商品販売」22.0%となっている。
⑥飯能東銀座睦会	「何もしていない」が 26.1%と最多で、次いで「丁寧な商品説明」が 21.7%となっている。
⑦メイプル通り	「独自の商品販売」が 42.1%と最多で、次いで「低価格」、「安心・安全の強化」が続いており、飲食業が最も多い商店街の特徴が出ている。

【今後の対応策について】

区 分	意識調査の要約
1) 商品構成の変更予定	「現状維持」が 70.9%と最多で、「変更したい」が 29.0%である。 商店街別には、変更予定が多いのは、飯能中央通り 34.6%、飯能銀座 33.8%、メイプル通り 30.8%である。
2) 販売方法の変更予定	「現状維持」が 63.3%となっている。 商店街別には、変更予定が多いのは、飯能銀座 44.1%、飯能中央通り 33.3%、飯能大通り 35.7%である。
3) 出張販売	回答 187 店のうち 46 店 24.6%が行っており、「今後も続ける」が 43 店 23.0%、「撤退予定」が 3 店 1.6%となっている。また、積極的に「やってみたい」は 12 店 6.4%ある。一方、「特に興味がない」は 34 店 18.2%、「出張には不向き」が最多の 82 店 43.9%となっている。
4) 販売促進方法	「特に予定していない」が 58.0%で最多となっている。
5) 店舗の移転構想	「条件が良ければ移転しても良い」と考えている店は 18.5%である。一方、「現状の立地条件は良い」10.0%、「移転は考えていない」71.5%で、合計 81.5%が移転は考えていない。
6) 業種・業態等の変更予定	現状維持が 93.6%と最多で、一部転換予定は 5 店で 2.0%、廃業予定は 11 店 4.4%となっている。 商店街別にみると、飯能大通りは全店「現状維持」である。廃業予定は、飯能中央通り・飯能東銀座睦会が 3 店、飯能銀座・飯能東共栄会が 2 店・飯能南口が 1 店となっている。
7) 後継者の有無	「決まっている」が 25.2%、「現在検討中(未定)」は 25.2%である。 商店街別には、飯能東共栄会は「決まっている」+「現在検討中(未定)」が 61.4%と高い比率となっている。「後継者はいない」が高いのは、メイプル通り 61.1%、飯能大通り 56.3%、飯能南口 48.7%、飯能銀座 45.9%である。

【商店街の状況について】

区 分	意識調査の要約
1) 商店街の組織活動状況	活発傾向(「活発である」+「どちらかといえば活発である」)が 18.8%、不活発傾向(「あまり活発ではない」+「ほとんど活動していない」)は 45.9%であった。 商店街別では、飯能大通りと飯能銀座で活発傾向が 43.8%、41.9%と高く、飯

	能東銀座睦会とメイプル通りで不活発傾向が94.1%、88.2%と高くなっている。
2) 商店街の共同事業の満足度	全体では、「分らない」が66.0%と全体の3分の2を占める状態となっている。また、「満足している」と「満足していない」は16.6%、17.4%とほぼ拮抗している。商店街別には、飯能南口、飯能大通りと飯能銀座で満足度の方が上回っている。メイプル通り、飯能東銀座睦会、飯能中央通り、飯能共栄会の満足度は低位にある。
3) 各種イベントの売上貢献度	8 イベントを平均すると「貢献していない」の割合が60.2%であり、「分らない」が24.6%となっている。明らかに「貢献している」という割合は15.3%と少ないものとなっている。 貢献度が平均を上回っているのは、「飯能まつり」で35.0%と最も高く、次いで「飯能夏祭り」の26.7%、「雛飾りお宝展in飯能」の18.7%である。「飯能新緑ツデーマーチ」は、コースとなっている商店街以外には効果が及ばないためか、12.6%となっている。また、「飯能納涼大会」、「はんのう生活祭」、「飯能さくらまつり」、「奥むさし駅伝競走大会」の貢献度は10%未満となっている。

【商店街の問題点】

区 分	意識調査の要約
商店街の問題点	「空き店舗・非店舗の増加」の問題が44.1%と最も多く、次いで「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」、「核店舗がない(なくなる)」が続いている。
①飯能大通り	「空き店舗・非店舗の増加」、「スーパー・大型店・ロードサイド店」、「業種構成が不足」が高い。
②飯能銀座	「空き店舗・非店舗の増加」が最多で、「核店舗がない(なくなる)」、「スーパー・大型店・ロードサイド店」「業種構成が不足」が続いている。
③飯能中央通り	「空き店舗」と「経営者の高齢化」が最多で、「スーパー・大型店・ロードサイド店」、「核店舗がない(なくなる)」に集中している。
④飯能東共栄会	「スーパー・大型店・ロードサイド店」が最多で、他に「核店舗がない(なくなる)」、「経営者の高齢化」などの項目に分散している。
⑤飯能南口	各項目に分散しており、「業種構成が不足」が26.8%で最多となっている。
⑥飯能東銀座睦会	「空き店舗・非店舗の増加」56.5%と突出しており、「核店舗がない(なくなる)」、「スーパー・大型店・ロードサイド店」が続いている。
⑦メイプル通り	「空き店舗・非店舗の増加」が84.2%と突出しており、次いで「核店舗がない(なくなる)」が47.4%と高くなっている。

【商店街活性化方策】

区 分	意識調査の要約
商店街活性化方策	「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が35.5%と最も多く、次に「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」、「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」が続く。商店街の一番の問題点は「空き店舗の増加」であり、この対策に意見が集中している。
①飯能大通り	「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が50.0%と最も多く、「情報化の推進」が続く。
②飯能銀座	「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が56.1%と最も多く、次いで「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」となっている。

③飯能中央通り	「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が 39.4%と最も多く、次いで「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」が 27.3%となっている。
④飯能東共栄会	特に突出した項目はなく「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」、「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」、「情報化の推進」、「共同駐車場の運営」が 20%強で並んでいる。
⑤飯能南口	「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」39.0%、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」26.8%と多くなっている。
⑥飯能東銀座睦会	「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」と「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が 26.1%と最多となっている。
⑦メイプル通り	「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が 26.3%で突出し、他の項目は分散している。

【商店街活性化への公的機関の役割】

区 分	意識調査の要約
公的機関の役割	「まちなかに公共施設(図書館・ミニホール等)の設置」29.0%が最も多く、以下、「中心市街地を見直して市街地開発事業を実施」、「中心市街地に入りやすいよう踏切の立体化」、「公共の大規模駐車場・駐輪場の整備」等となっている。
①飯能大通り	「歩道の整備」が 31.3%と最も多く、「まちなかに公共施設」、「植樹・花壇・ベンチ」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」が 25.0%で続く。
②飯能銀座	「まちなかに公共施設」が 39.0%と最も多く、次いで「市街地再開発事業」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」が続いている。
③飯能中央通り	「踏切の立体化」36.4%が最多で、「まちなかに公共施設」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」と続く。
④飯能東共栄会	突出したものはなく、「公共の大規模駐車場・駐輪場」、「踏切の立体化」等に分散している。
⑤飯能南口	「まちなかに公共施設」29.3%、「歩道の整備」、「市街地再開発事業」に要望が集中している。
⑥飯能銀座東睦会	「歩道の整備」30.4%が最多であり、「市街地再開発事業」、「踏切の立体化」と続いている。
⑦メイプル通り	突出したものはなく、「まちなかに公共施設」、「植樹・花壇・ベンチ」、「居住環境を良くする」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」、「踏切の立体化」、「市街地再開発事業」が 21.1%と並んでいる。

【丸広百貨店の移転関係】

区 分	意識調査の要約
①まるひろ移転による来店客数の変動予想	全体では、「増加する」+「やや増加する」が 14.1%である。「変わらない」が 59.0%、「減少する」+「やや減少する」は 27.0%となっている。商店街別には、飯能東共栄会、飯能中央通りで増加予想が多く、飯能銀座、メイプル通り、飯能南口は減少予想が多くなっている。
②まるひろ移転による売上変動予想	上記の①来店客数の変動予想と傾向が概ね一致している。

【商店街活性化研修会・勉強会等への参加意思】

区 分	意識調査の要約
①商店街活性化研修会・勉強会への参加意思	「ぜひ参加したい」7.3%、「できれば参加したい」45.3%で、合わせて参加意思は 5割強を占めている。一方、「あまり参加したくない」は 41.5%を占めている。

	商店街別に参加意思を見ると、飯能銀座、メイプル通り、飯能大通り、飯能中央通り、飯能南口が 50%を超えている。逆に「あまり参加したくない」が 50%を超えているのは、飯能東銀座睦会、飯能東共栄会となっている。
②商店街活性化活動への参加意向	商店街の活性化活動への参加意向については「積極的に係っていきたい」「できれば参加したい」がそれぞれ 7.9%、52.2%と合わせて 6 割強を占めている。一方、「あまり参加したくない」は 32.5%となっている。 商店街別に参加意向を見ると、飯能銀座 71.9%、メイプル通り 70.6%、飯能大通り 66.7%、飯能南口 56.8%、飯能中央通り 55.5%で高いものとなっている。

2. 商店街の代表者調査の要約

区 分	意識調査の要約
1)問題点	商店街の問題点として、「空き店舗、非店舗の増加」がもっとも多く、71.4%を占めている。次いで、「商店街の業種構成に問題がある」が 57.1%、「スーパー・大型店に客を奪われた」が 42.9%であった。
2)活性化対策	①商店街として実施することとして第1位に挙げられたのは、「若手リーダーの育成などの人材育成」及び「マップを作り、商店を PR」で 57.1%、次いで「個別経営のレベルアップを図る」が 42.9%となっている。 ②公的機関に実施してほしいことの第1位は「中心市街地に入りやすいように踏切を立体化する」で 42.9%、次いで「まちなかに公共施設(図書館・ミニホール等)を設置」・「子育て支援のための施設(保育所・託児所等)を設置」・「公共の大規模駐車場・駐輪場の整備充実」が同率の 28.6%となっている。
3)まるひろ移転後の影響について	来客数については「やや減少する」+「減少する」が 57.2%であり、売上は「変わらない」が 42.9%であった。
4)勉強会開催意向	「ぜひ開催したい」+「できれば開催したい」が合わせて 57.2%を占めており、積極性が感じられる。
5)活性化活動への参加意向	「積極的に係わっていきたい」+「できれば参加したい」は 42.9%と 5 割を割り込んでおり、無回答と参加意向無しが過半数を超えており、やや積極性に欠ける状況となっている。

第4章 商店街個店調査

1. 回答者の概要

商店街全体での回答者数は 279 店である。

商店街全体での回答者の構成比が高いのは、飯能銀座の 29.4%、次いで飯能東共栄会の 23.3%、飯能南口 14.7%となっている。

図表 4-1-1 商店街別会員数・回答数の構成比

(単位:店・%)

番号	商店街名	商店街会員数		うち調査協力店数(回収数)		
			構成比		構成比	回収率
1	飯能大通り	23	6.1	16	5.7	69.6
2	飯能銀座	120	31.7	82	29.4	68.3
3	飯能中央通り	50	13.2	33	11.8	66.0
4	飯能東共栄会	90	23.8	65	23.3	72.2
5	飯能南口	49	13.0	41	14.7	83.7
6	飯能東銀座睦会	26	6.9	23	8.3	88.5
7	メイプル通り	20	5.3	19	6.8	95.0
	合 計	378	100.0	279	100.0	73.8

2. 個店の概要

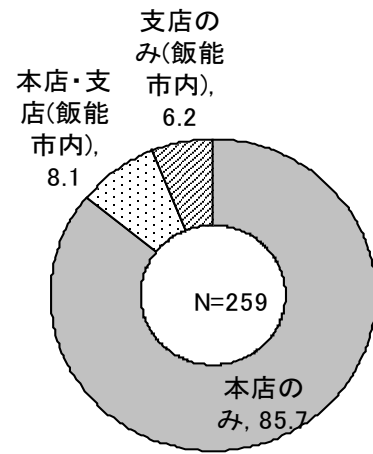
(1) 個店の本・支店別(平成21年4月1日現在)

各商店の本・支店別について全体でみると、飯能市内に「本店のみ」がある商店は 85.7%を占めており、「本店と支店がある」は8.1%、「支店のみ」は6.2%となっている。

商店街別に見ると、飯能大通りでは「本店のみ」が100%となっている。

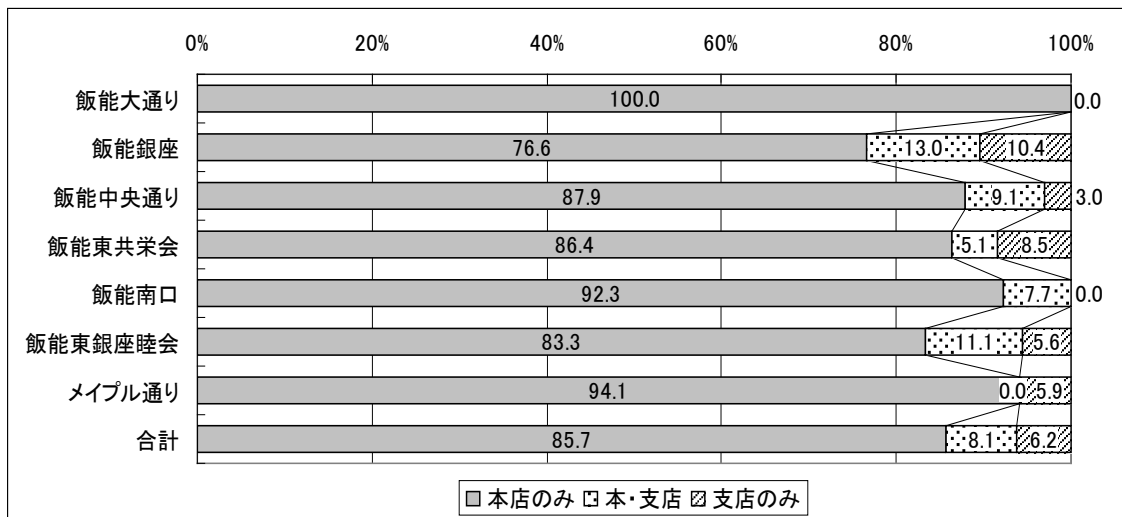
一方、飯能銀座では、「本店のみ」の比率が 76.6%と一番低く、「本店・支店」13.0%、「支店のみ」が10.4%とその割合が高くなっている。

図表 4-2-1 個店の本・支店別



図表 4-2-2 商店街別の本・支店比率

(単位: %)



図表 4-2-3 商店街別の本・支店比率

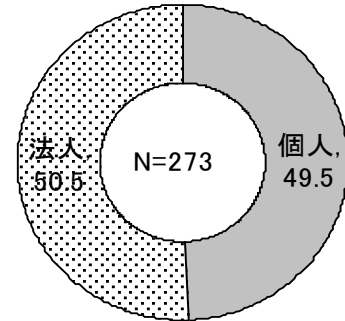
(単位: 店・%)

区分	本店のみ		本・支店		支店のみ		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	16	100.0	-	-	-	-	16	100.0
飯能銀座	59	76.6	10	13.0	8	10.4	77	100.0
飯能中央通り	29	87.9	3	9.1	1	3.0	33	100.0
飯能東共栄会	51	86.4	3	5.1	5	8.5	59	100.0
飯能南口	36	92.3	3	7.7	-	-	39	100.0
飯能東銀座睦会	15	83.3	2	11.1	1	5.6	18	100.0
メイプル通り	16	94.1	-	-	1	5.9	17	100.0
合計	222	85.7	21	8.1	16	6.2	259	100.0

(2) 企業の事業形態

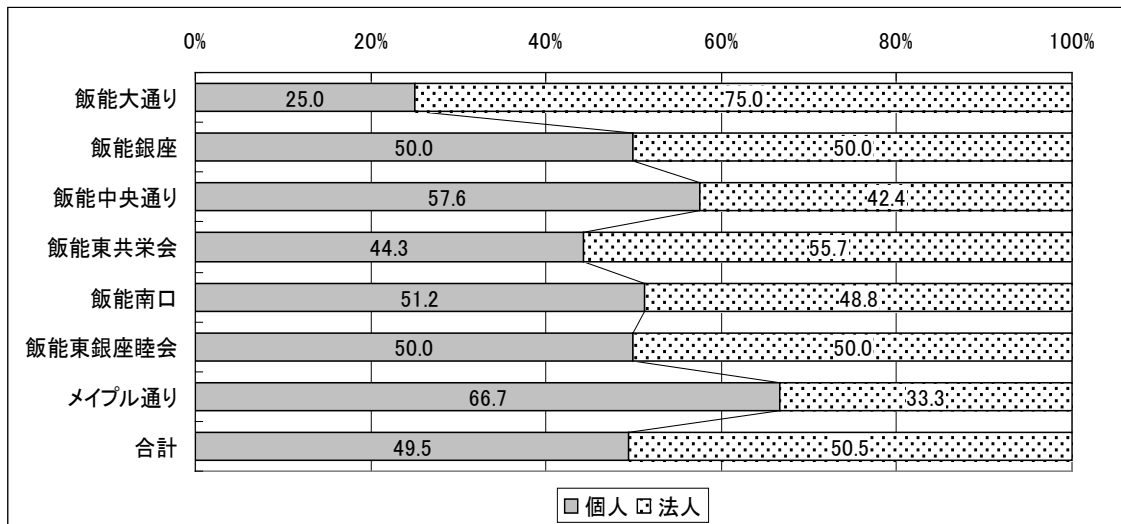
企業の事業形態を全体でみると、「個人経営」49.5%、「法人経営」50.5%とほぼ同じ割合となっている。
 商店街別にみると、メイプル通りでは「個人」の割合が66.7%と最も高くなっている。
 一方、飯能大通りでは、「法人」の割合が75.0%と最も高くなっている。
 他の商店街では、ほぼ同率程度となっている。

図表 4-2-4 企業の事業形態



図表 4-2-5 商店街別の事業形態

(単位: %)



図表 4-2-6 商店街別企業の事業形態

(単位: 店・%)

区分	個人		法人		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	4	25.0	12	75.0	16	100.0
飯能銀座	41	50.0	41	50.0	82	100.0
飯能中央通り	19	57.6	14	42.4	33	100.0
飯能東共栄会	27	44.3	34	55.7	61	100.0
飯能南口	21	51.2	20	48.8	41	100.0
飯能東銀座睦会	11	50.0	11	50.0	22	100.0
メイプル通り	12	66.7	6	33.3	18	100.0
合計	135	49.5	138	50.5	273	100.0

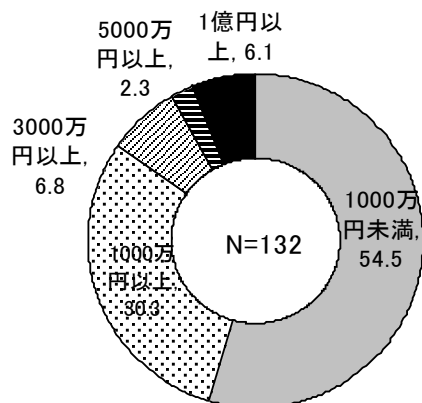
(3) 資本金

法人の資本金について全体をみると、「1,000 万円未満」が最多の54.5%となっている。次いで、「1,000 万円以上 3,000 万円未満」が30.3%となっており、「3,000 万円以上」は15.2%と比較的少ない状況にある。

商店街別にみると、飯能東共栄会と飯能南口では資本金が「1000 万円以上」～「1億円以上」が50.0%を占めており、比較的高くなっている。飯能東銀座睦会は「1 億円以上」が18.2%である。

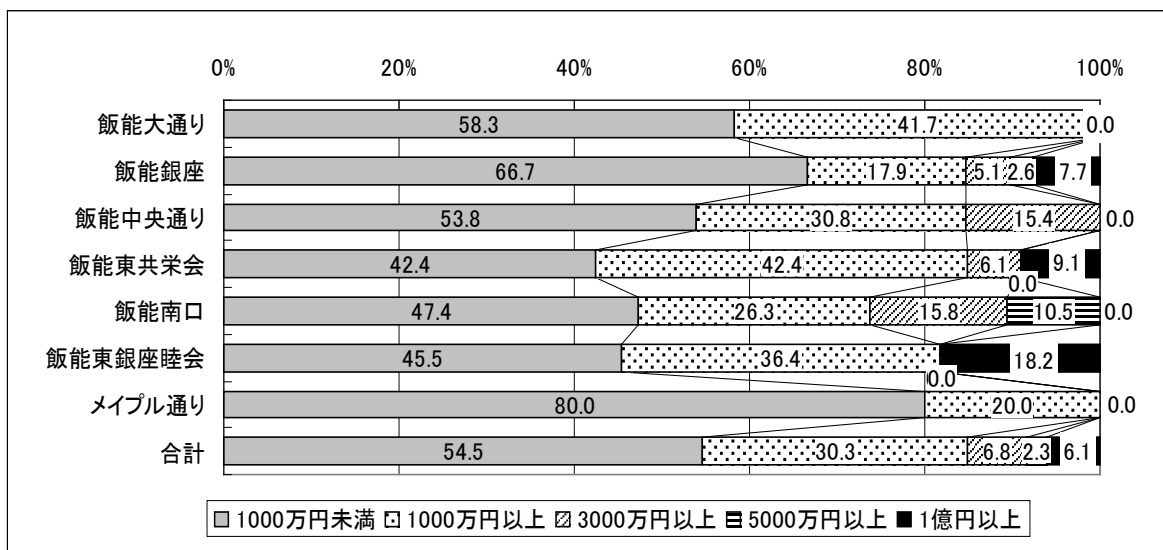
一方、メイプル通りでは、法人の比率が低く、資本金も「1,000 万円」未満が多くなっている。

図表 4-2-7 資本金



図表 4-2-8 商店街別資本金

(単位: %)



図表 4-2-9 商店街別資本金

(単位: 店・%)

区分	1000 万円未満		1000 万円以上		3000 万円以上		5000 万円以上		1 億円以上		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	7	58.3	5	41.7	-	-	-	-	-	-	12	100.0
飯能銀座	26	66.7	7	17.9	2	5.1	1	2.6	3	7.7	39	100.0
飯能中央通り	7	53.8	4	30.8	2	15.4	-	-	-	-	13	100.0
飯能東共栄会	14	42.4	14	42.4	2	6.1	-	-	3	9.1	33	100.0
飯能南口	9	47.4	5	26.3	3	15.8	2	10.5	-	-	19	100.0
飯能東銀座睦会	5	45.5	4	36.4	-	-	-	-	2	18.2	11	100.0
メイプル通り	4	80.0	1	20.0	-	-	-	-	0.0	0.0	5	100.0
合計	72	54.5	40	30.3	9	6.8	3	2.3	8	6.1	132	100.0

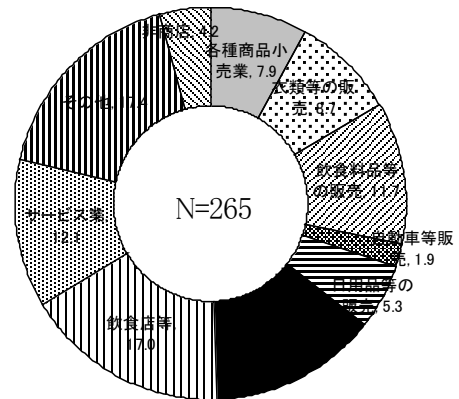
(4) 個店の業種・業態

各個店の業種・業態分類をみると、全体では、病院・銀行・ホテル・学習塾・不動産業・自動車整備業などの「その他」が17.4%と最多となっており、次いで「飲食店等」の17.0%であり、医薬品・化粧品・ガソリン・燃料・書籍・新聞などの「その他の商品販売」が14.0%で第3位となっている。

商店街別の特徴は次のとおりである。

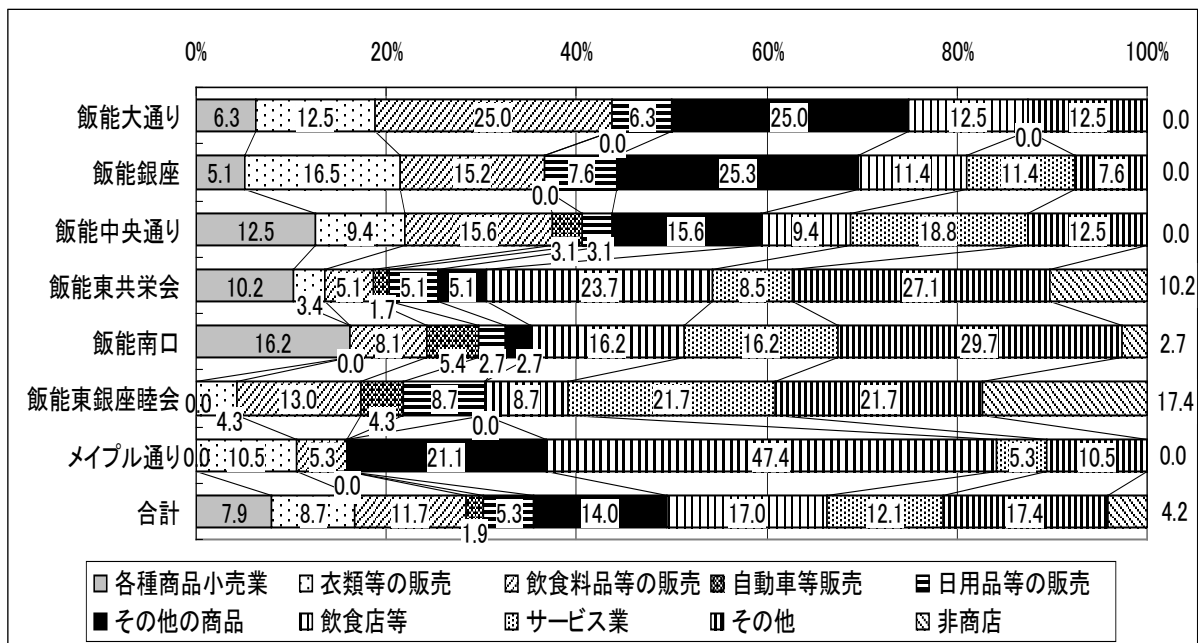
- ①飯能大通り 「飲食料品等の販売」・「その他の商品」が25.0%と同率で最多となっている
- ②飯能銀座 「その他の商品」が25.3%で最多
- ③飯能中央通り 「サービス業」が18.8%で最多
- ④飯能東共栄会 「その他」が27.1%で最多
- ⑤飯能南口 「その他」が29.7%で最多
- ⑥飯能東銀座会 「サービス業」・「その他」が21.7%で最多
- ⑦メイプル通り 「飲食店等」が47.4%で最多となっている

図表 4-2-10 個店の業種・業態



図表 4-2-11 商店街別個店の業種・業態

(単位: %)



図表 4-2-12 商店街別個店の業種・業態

(単位:店・%)

区 分	飯能大通り		飯能銀座		飯能中央通り		飯能東共栄会		飯能南口		飯能東銀座睦会		メイプル通り		合 計	
	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率
百貨店	-	-	1	1.3	-	-	-	-	1	2.7	-	-	-	-	2	0.8
ホームセンター	-	-	-	-	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	1	0.4
コンビニエンスストア	-	-	-	-	-	-	2	3.4	1	2.7	-	-	-	-	3	1.1
ディスカウントショップ	-	-	-	-	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	1	0.4
その他小売業	1	6.3	3	3.8	4	12.5	2	3.4	4	10.8	-	-	-	-	14	5.3
各種商品小売業	1	6.3	4	5.1	4	12.5	6	10.2	6	16.2	-	-	-	-	21	7.9
呉服・服地・寝具	1	6.3	3	3.8	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	5	1.9
紳士服	-	-	1	1.3	-	-	-	-	-	-	1	4.3	-	-	2	0.8
婦人・子供服	-	-	8	10.1	1	3.1	-	-	-	-	-	-	1	5.3	10	3.8
靴・履物	-	-	-	-	1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.4
総合衣料	1	6.3	-	-	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	2	0.8
その他衣服・身の回り品	-	-	1	1.3	1	3.1	-	-	-	-	-	-	1	5.3	3	1.1
衣類等の販売	2	12.5	13	16.5	3	9.4	2	3.4	-	-	1	4.3	2	10.5	23	8.7
酒類	1	6.3	1	1.3	1	3.1	1	1.7	-	-	2	8.7	-	-	6	2.3
精肉	-	-	1	1.3	1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.8
鮮魚	1	6.3	1	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.8
野菜・果物	1	6.3	2	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.1
菓子・パン	-	-	3	3.8	1	3.1	-	-	-	-	1	4.3	-	-	5	1.9
米穀類	1	6.3	2	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.1
牛乳	-	-	-	-	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	1	0.4
料理品	-	-	1	1.3	1	3.1	1	1.7	2	5.4	-	-	-	-	5	1.9
お茶	-	-	1	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.4
その他の飲食料品	-	-	-	-	1	3.1	-	-	1	2.7	-	-	1	5.3	3	1.1
飲食料品等の販売	4	25.0	12	15.2	5	15.6	3	5.1	3	8.1	3	13.0	1	5.3	31	11.7
自動車	-	-	-	-	1	3.1	1	1.7	2	5.4	1	4.3	-	-	5	1.9
自動車等販売	-	-	-	-	1	3.1	1	1.7	2	5.4	1	4.3	-	-	5	1.9
家具・建具・畳	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2.7	-	-	-	-	1	0.4
金物・荒物・陶器	1	6.3	4	5.1	1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2.3
家電製品	-	-	1	1.3	-	-	3	5.1	-	-	1	4.3	-	-	5	1.9
その他日用品	-	-	1	1.3	-	-	-	-	-	-	1	4.3	-	-	2	0.8
日用品等の販売	1	6.3	6	7.6	1	3.1	3	5.1	1	2.7	2	8.7	-	-	14	5.3
医薬品・化粧品	2	12.5	6	7.6	2	6.3	1	1.7	-	-	-	-	1	5.3	12	4.5
ガソリン・燃料	-	-	-	-	1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.4
書籍・新聞	-	-	2	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5.3	3	1.1
スポーツ用品・玩具・楽器	-	-	3	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.1
カメラ・DPE	-	-	1	1.3	1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.8
時計・眼鏡	-	-	3	3.8	1	3.1	-	-	-	-	-	-	1	5.3	5	1.9
貴金属	-	-	1	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.4
花・植木	-	-	1	1.3	-	-	-	-	1	2.7	-	-	1	5.3	3	1.1
その他の商品	2	12.5	3	3.8	-	-	2	3.4	-	-	-	-	-	-	7	2.6
その他の商品販売	4	25.0	20	25.3	5	15.6	3	5.1	1	2.7	-	-	4	21.1	37	14.0

図表 4-2-12 商店街別個店の業種・業態(続き)

(単位:店・%)

区 分	飯能大通り		飯能銀座		飯能中央通り		飯能東共栄会		飯能南口		飯能東銀座睦会		メイプル通り		合 計	
	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率
一般食堂	-	-	1	1.3	-	-	1	1.7	1	2.7	-	-	-	-	3	1.1
日本料理	-	-	1	1.3	1	3.1	-	-	-	-	-	-	1	5.3	3	1.1
西洋料理	-	-	-	-	-	-	2	3.4	-	-	-	-	-	-	2	0.8
中華料理	-	-	1	1.3	-	-	3	5.1	-	-	-	-	-	-	4	1.5
そば・うどん	-	-	1	1.3	-	-	1	1.7	-	-	-	-	1	5.3	3	1.1
すし	-	-	-	-	1	3.1	-	-	3	8.1	-	-	1	5.3	5	1.9
喫茶店	-	-	2	2.5	-	-	3	5.1	-	-	-	-	-	-	5	1.9
スナック	1	6.3	-	-	-	-	3	5.1	-	-	-	-	1	5.3	5	1.9
その他飲食店	1	6.3	3	3.8	1	3.1	1	1.7	2	5.4	2	8.7	5	26.3	15	5.7
飲食店等	2	12.5	9	11.4	3	9.4	14	23.7	6	16.2	2	8.7	9	47.4	45	17.0
クリーニング	-	-	1	1.3	1	3.1	-	-	1	2.7	1	4.3	-	-	4	1.5
美容	-	-	4	5.1	2	6.3	2	3.4	-	-	-	-	1	5.3	9	3.4
理容	-	-	1	1.3	1	3.1	1	1.7	1	2.7	2	8.7	-	-	6	2.3
その他サービス業	-	-	3	3.8	2	6.3	2	3.4	4	10.8	2	8.7	-	-	13	4.9
サービス業	-	-	9	11.4	6	18.8	5	8.5	6	16.2	5	21.7	1	5.3	32	12.1
病院	-	-	-	-	-	-	3	5.1	1	2.7	-	-	1	5.3	5	1.9
銀行	-	-	1	1.3	-	-	1	1.7	-	-	-	-	-	-	2	0.8
ホテル・旅館	1	6.3		0.0	2	6.3	1	1.7	-	-	-	-	-	-	4	1.5
不動産業	-	-	3	3.8	2	6.3	3	5.1	3	8.1	3	13.0	1	5.3	15	5.7
自動車整備業	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2.7	-	-	-	-	1	0.4
その他	1	6.3	2	2.5	-	-	8	13.6	6	16.2	2	8.7	-	-	19	7.2
その他	2	12.5	6	7.6	4	12.5	16	27.1	11	29.7	5	21.7	2	10.5	46	17.4
製造業	-	-	-	-	-	-	2	3.4	-	-	2	8.7	-	-	4	1.5
事務所	-	-	-	-	-	-	4	6.8	1	2.7	1	4.3	-	-	6	2.3
一般家屋等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4.3	-	-	1	0.4
非商店	-	-	-	-	-	-	6	10.2	1	2.7	4	17.4	-	-	11	4.2
合 計	16	100	79	100	32	100	59	100	37	100	23	100	19	100	265	100

(注) 比率は、構成比である。

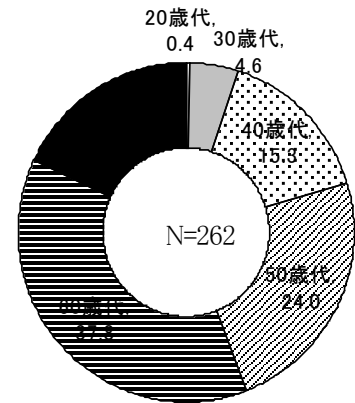
(5)経営者の年齢

商店主の年齢についてみると、全体では「60 歳代」が 37.8%で最も多く、次いで「50 歳代」24.0%、「70 歳代以上」17.9%となっている。

商店街別にみると、次のような特徴がみられる。

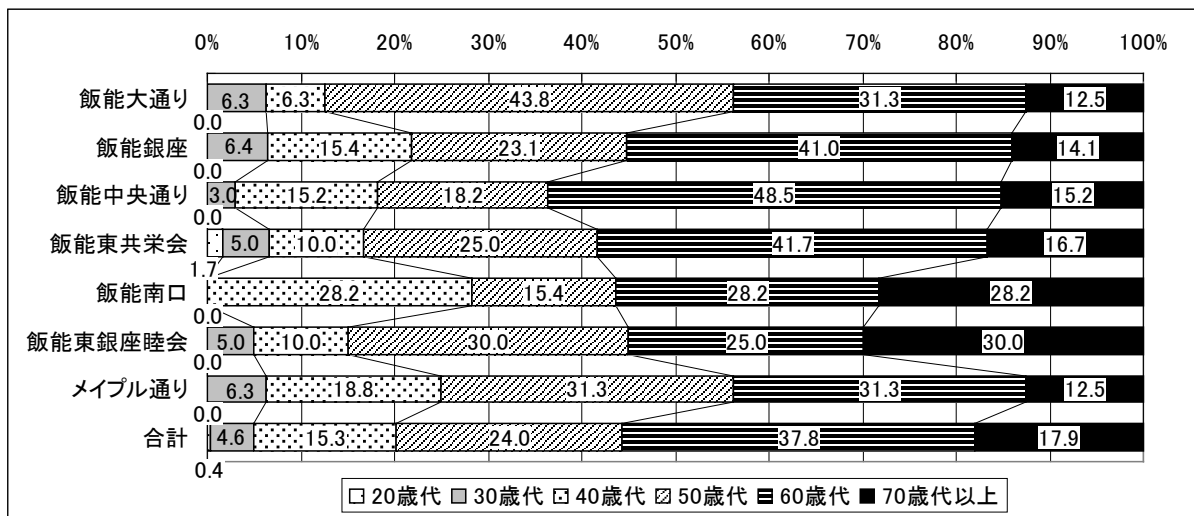
- ①飯能大通り 「50 歳代」が 43.8%と主体となっている
- ②飯能銀座 「60 歳代」が 41.0%で最多である
- ③飯能中央通り 「60 歳代」以上が 63.7%となっている
- ④飯能東共栄会 飯能銀座と同様な年齢構成である
- ⑤飯能南口 「70 歳代」・「60 歳代」・「40 歳代」が共に 28.2%となっている
- ⑥飯能東銀座睦会 「70 歳代」が 30.0%と商店街別では最多で高齢化がみられるが、「50 歳代」も 30.0%と多い状況にある
- ⑦メイプル通り 「60 歳代」・「50 歳代」が共に 31.3%で中心になっているが、「40 歳代」以下が 25.1%と若い層も厚くなっている

図表 4-2-13 経営者の年齢



図表 4-2-14 商店街別経営者の年齢

(単位:%)



図表 4-2-15 商店街別経営者の年齢

(単位:人・%)

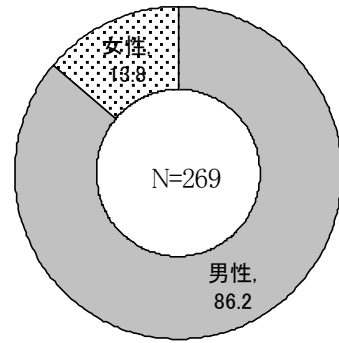
区分	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上		合計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
飯能大通り	-	-	1	6.3	1	6.3	7	43.8	5	31.3	2	12.5	16	100.0
飯能銀座	-	-	5	6.4	12	15.4	18	23.1	32	41.0	11	14.1	78	100.0
飯能中央通り	-	-	1	3.0	5	15.2	6	18.2	16	48.5	5	15.2	33	100.0
飯能東共栄会	1	1.7	3	5.0	6	10.0	15	25.0	25	41.7	10	16.7	60	100.0
飯能南口	-	-	-	-	11	28.2	6	15.4	11	28.2	11	28.2	39	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	1	5.0	2	10.0	6	30.0	5	25.0	6	30.0	20	100.0
メイプル通り	-	-	1	6.3	3	18.8	5	31.3	5	31.3	2	12.5	16	100.0
合計	1	0.4	12	4.6	40	15.3	63	24.0	99	37.8	47	17.9	262	100.0

(6)経営者の性別

経営者の性別区分をみると、全体では、男性が86.2%、女性 13.8%と男性が圧倒的に多くなっている。

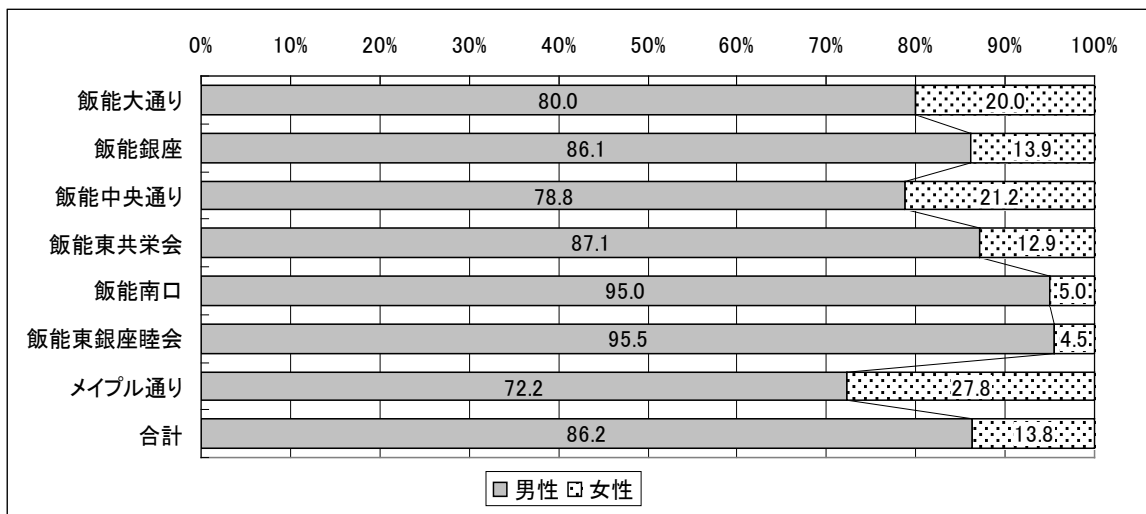
商店街別にみると、女性の経営者が比較的多いのは、メイプル通りで27.8%、飯能中央通りが21.2%、飯能大通りが20.0%となっている。

図表 4-2-16 経営者の性別



図表 4-2-17 商店街別経営者の性別

(単位:%)



図表 4-2-18 商店街別経営者の性別

(単位:人・%)

区 分	男 性		女 性		合 計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比
飯能大通り	12	80.0	3	20.0	15	100.0
飯能銀座	68	86.1	11	13.9	79	100.0
飯能中央通り	26	78.8	7	21.2	33	100.0
飯能東共栄会	54	87.1	8	12.9	62	100.0
飯能南口	38	95.0	2	5.0	40	100.0
飯能東銀座睦会	21	95.5	1	4.5	22	100.0
メイプル通り	13	72.2	5	27.8	18	100.0
合計	232	86.2	37	13.8	269	100.0

(7) 個店の創業年次

各商店の創業年次についてみると、全体では「昭和」の年代が最も多く 63.5%を占め、次いで「平成」25.6%、「大正」7.5%、明治以前 3.4%となっている。

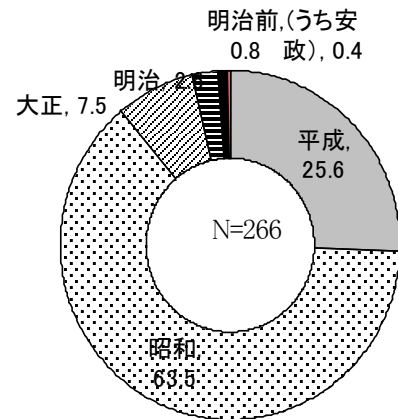
商店街別にみると、次のような特徴がみられる。

- ① 飯能大通りは、「大正」が無く、「明治以前」が7店(うち安政1店)と老舗が多い
- ② 銀座通りは、「明治」が2店、「大正」が15店と歴史のある店舗も見られるが、大半は「昭和」以降である
- ③ その他の商店街で「大正」時代の創業は、飯能中央通り2店、飯能東共栄会、飯能南口、飯能東銀座睦会で各1店ある

このように明治期までの商店街は、飯能大通り、飯能銀座で形成され、大正期から昭和にかけて各商店街へ広がっていったことが窺われる。

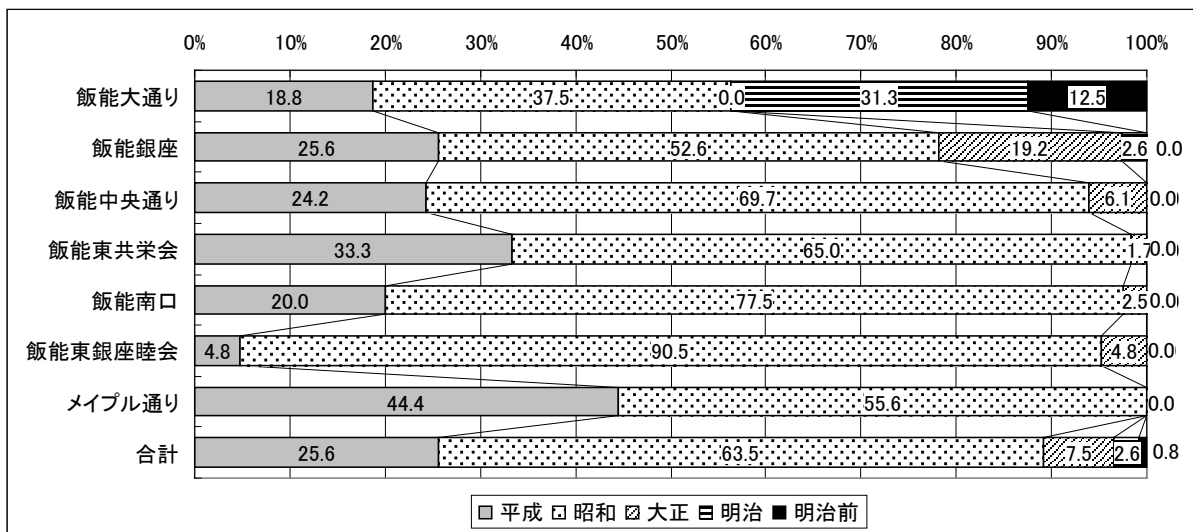
なお、「平成」期の創業については、店数では飯能銀座、飯能東共栄会が20店と多く、割合ではメイプル通りが44.4%と多くなっている。

図表 4-2-19 個店の創業年次



図表 4-2-20 商店街別個店の創業年次

(単位: %)



図表 4-2-21 商店街別個店の創業年次

(単位: 店・%)

区分	平成		昭和		大正		明治		明治前		(うち安政)		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	18.8	6	37.5	-	-	5	31.3	2	12.5	1	6.3	16	100.0
飯能銀座	20	25.6	41	52.6	15	19.2	2	2.6	-	-	-	-	78	100.0
飯能中央通り	8	24.2	23	69.7	2	6.1	-	-	-	-	-	-	33	100.0
飯能東共栄会	20	33.3	39	65.0	1	1.7	-	-	-	-	-	-	60	100.0
飯能南口	8	20.0	31	77.5	1	2.5	-	-	-	-	-	-	40	100.0
飯能東銀座睦会	1	4.8	19	90.5	1	4.8	-	-	-	-	-	-	21	100.0
メイプル通り	8	44.4	10	55.6	-	-	-	-	-	-	-	-	18	100.0
合計	68	25.6	169	63.5	20	7.5	7	2.6	2	0.8	1	0.4	266	100.0

(8)売場面積

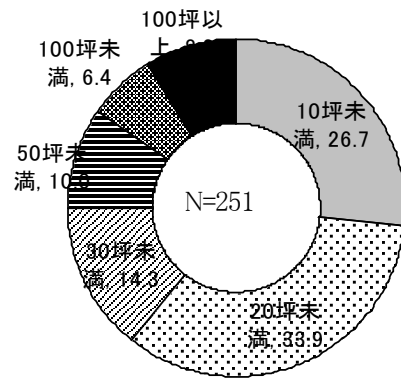
各商店の売場面積について全体をみると、「10 坪以上 20 坪未満」が最も高く 33.9%を占め、次いで「10 坪未満」が26.7%となっており、合わせて60.6%と比較的小型店舗が多い状況にある。

商店街別にみると、飯能南口では「100 坪以上」の大型店の割合が 18.9%と高くなっている。

一方、飯能東銀座睦会では「10 坪未満」の小型店舗の割合が 50.0%と高い状況にある。

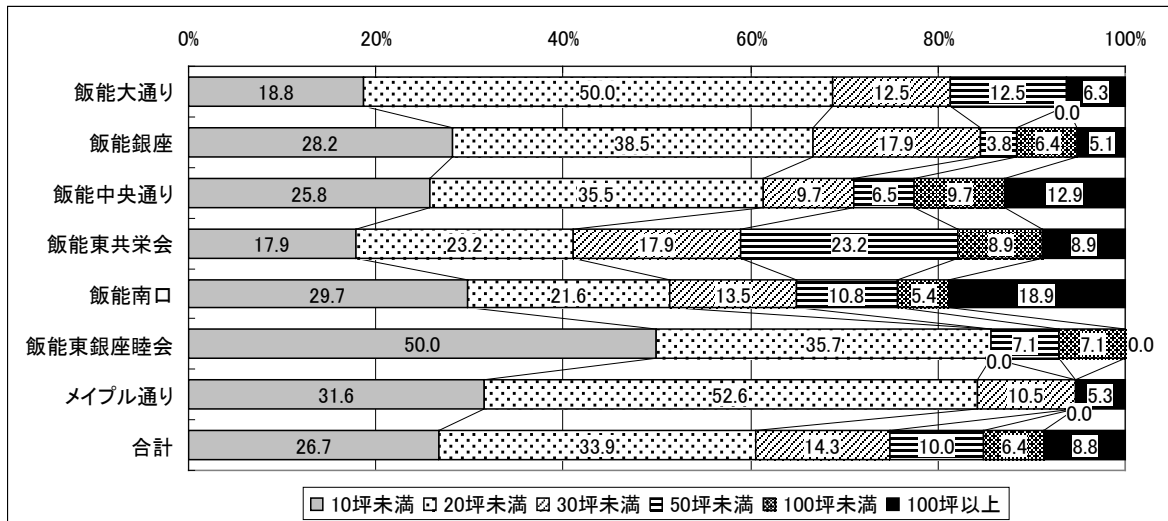
飯能大通り、メイプル通りでは、「10 坪以上 20 坪未満」が最も多く、50%以上となっている。

図表 4-2-22 売場面積



図表 4-2-23 商店街別個店の売場面積

(単位:%)



図表 4-2-24 商店街別の個店の売場面積

(単位:店・%)

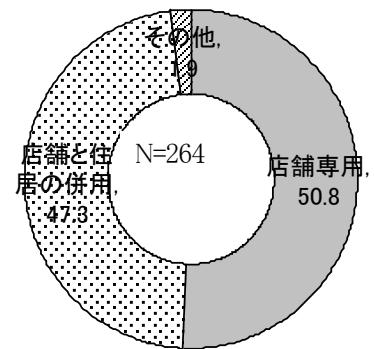
区分	10坪未満		10坪以上 20坪未満		20坪以上 30坪未満		30坪以上 50坪未満		50坪以上 100坪未満		100坪以上		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	18.8	8	50.0	2	12.5	2	12.5	-	-	1	6.3	16	100.0
飯能銀座	22	28.2	30	38.5	14	17.9	3	3.8	5	6.4	4	5.1	78	100.0
飯能中央通り	8	25.8	11	35.5	3	9.7	2	6.5	3	9.7	4	12.9	31	100.0
飯能東共栄会	10	17.9	13	23.2	10	17.9	13	23.2	5	8.9	5	8.9	56	100.0
飯能南口	11	29.7	8	21.6	5	13.5	4	10.8	2	5.4	7	18.9	37	100.0
飯能東銀座睦会	7	50.0	5	35.7	-	-	1	7.1	1	7.1	-	-	14	100.0
メイプル通り	6	31.6	10	52.6	2	10.5	-	-	-	-	1	5.3	19	100.0
合計	67	26.7	85	33.9	36	14.3	25	10.0	16	6.4	22	8.8	251	100.0

(9)店舗利用状況

店舗の利用状況を全体で見ると、「店舗専用」は50.8%で、「店舗と住居の併用」は47.3%である。

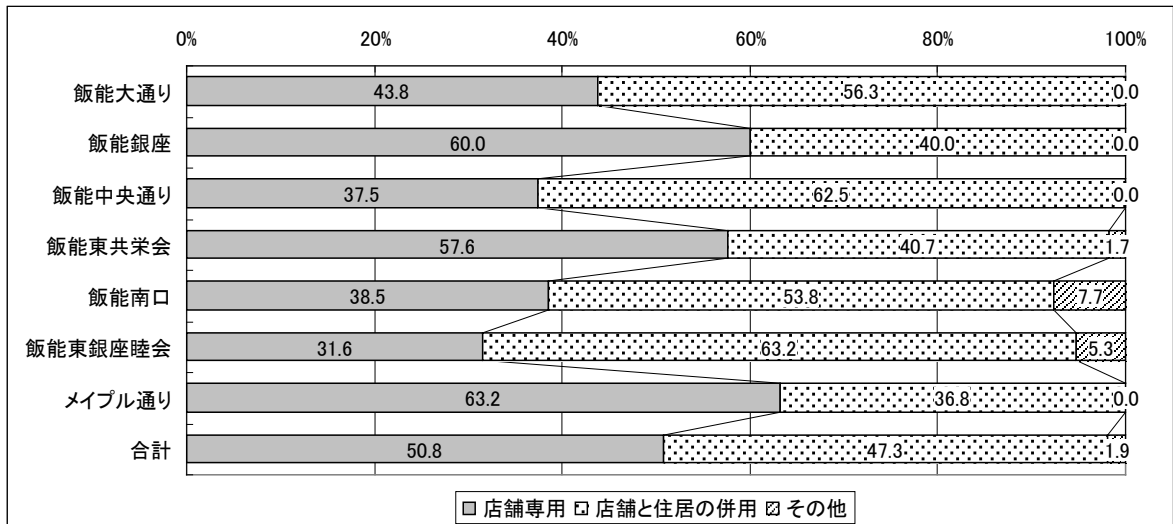
商店街別にみると、「店舗専用」が半数以上の商店街は、飯能銀座、飯能東共栄会、メイプル通りであり、「店舗と住居の併用」が半数以上の商店街は、飯能大通り、飯能中央通り、飯能東銀座睦会となっている。

図表 4-2-25 店舗利用状況



図表 4-2-26 商店街別店舗利用状況

(単位: %)



図表 4-2-27 商店街別店舗利用状況

(単位: 店・%)

区分	店舗専用		店舗住居併用		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	7	43.8	9	56.3	-	-	16	100.0
飯能銀座	48	60.0	32	40.0	-	-	80	100.0
飯能中央通り	12	37.5	20	62.5	-	-	32	100.0
飯能東共栄会	34	57.6	24	40.7	1	1.7	59	100.0
飯能南口	15	38.5	21	53.8	3	7.7	39	100.0
飯能東銀座睦会	6	31.6	12	63.2	1	5.3	19	100.0
メイプル通り	12	63.2	7	36.8	-	-	19	100.0
合計	134	50.8	125	47.3	5	1.9	264	100.0

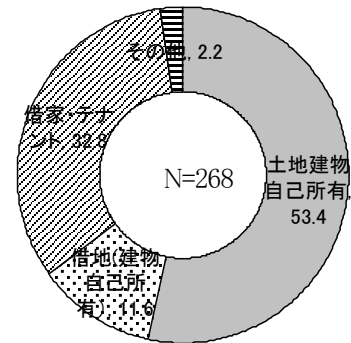
(10)店舗の所有形態

店舗の所有形態について全体でみると、「土地建物自己所有」が 53.4%と最も高く、次いで「借家・テナント」が 32.8%、「借地(建物自己所有)」が 11.6%となっている。

商店街別にみると、飯能東共栄会、飯能大通り、飯能南口では「土地建物自己所有」が 60%を超えて高い比率となっている。

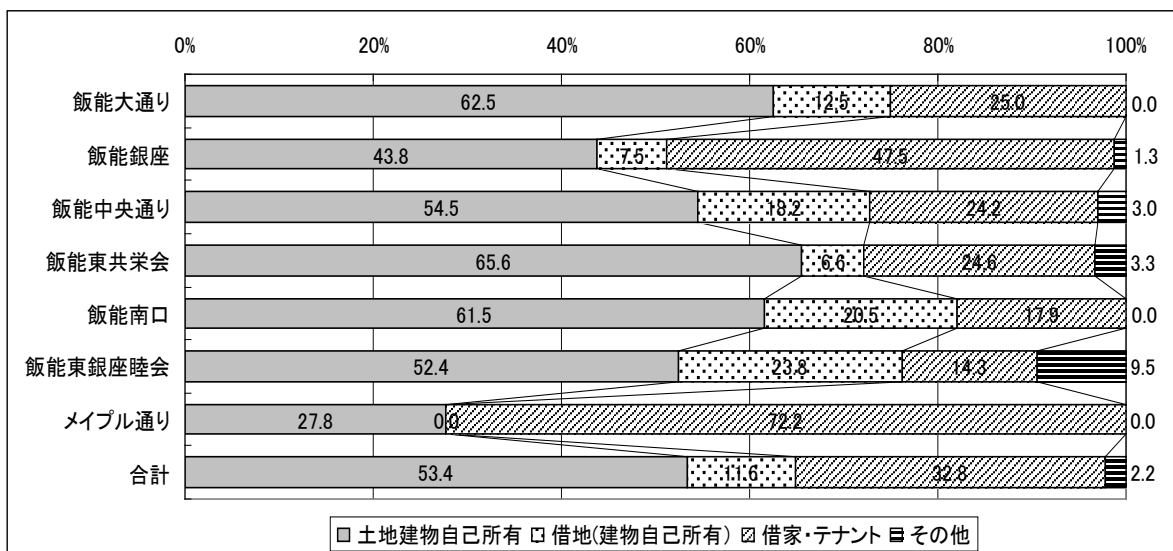
一方、メイプル通り、飯能銀座では「借家・テナント」が最も高く、それぞれ 72.2%、47.5%となっている。

図表 4-2-28 店舗の所有形態



図表 4-2-29 商店街別店舗の所有形態

(単位:%)



図表 4-2-30 商店街別店舗の所有形態

(単位:店・%)

区分	土地建物自己所有		借地(建物自己所有)		借家・テナント		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	10	62.5	2	12.5	4	25.0	-	-	16	100.0
飯能銀座	35	43.8	6	7.5	38	47.5	1	1.3	80	100.0
飯能中央通り	18	54.5	6	18.2	8	24.2	1	3.0	33	100.0
飯能東共栄会	40	65.6	4	6.6	15	24.6	2	3.3	61	100.0
飯能南口	24	61.5	8	20.5	7	17.9	-	-	39	100.0
飯能東銀座睦会	11	52.4	5	23.8	3	14.3	2	9.5	21	100.0
メイプル通り	5	27.8	-	-	13	72.2	-	-	18	100.0
合計	143	53.4	31	11.6	88	32.8	6	2.2	268	100.0

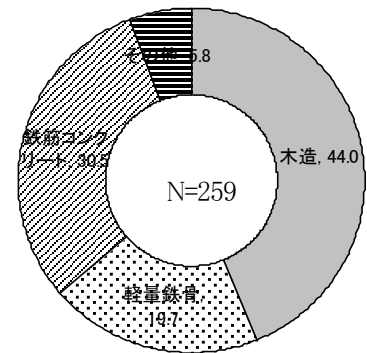
(11) 店舗の構造

店舗構造をみると、全体では「木造」が 44.0%と最も高い割合であり、次いで「鉄筋コンクリート」30.5%、軽量鉄骨 19.7%の順となっている。

商店街別にみると、次のような特徴がみられる。

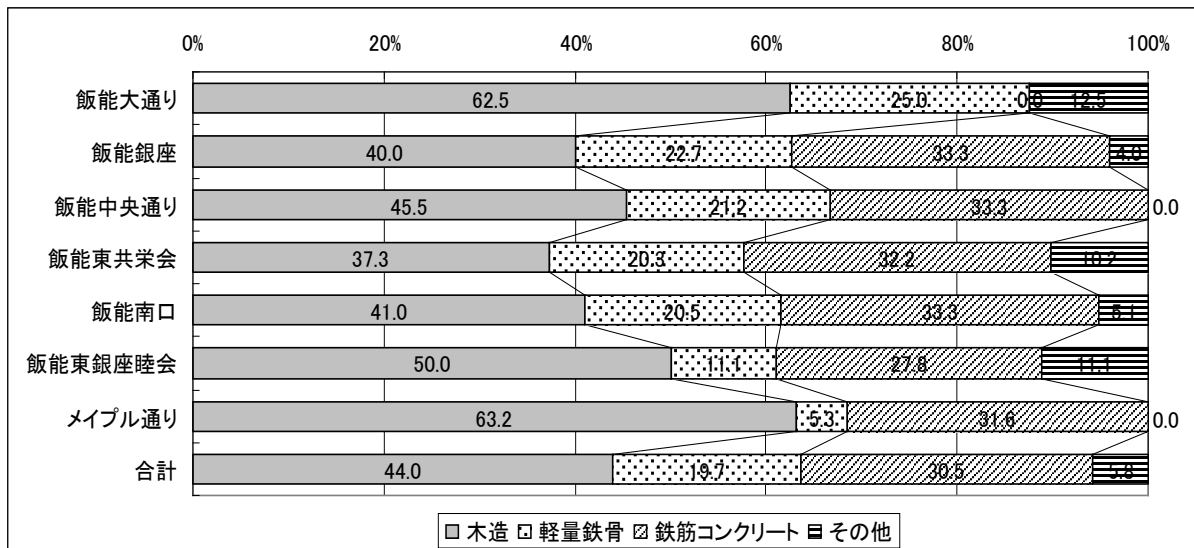
- ①メイプル通りは「木造」が 63.2%と一番高いが、「鉄筋コンクリート」も 31.6%と高い比率となっている
- ②飯能大通りでは「木造」が 62.5%と高く、「軽量鉄骨」が 25.0%となっているものの、「鉄筋コンクリート」は無い状況である
- ③その他、飯能銀座、飯能中央通り、飯能東共栄会、飯能南口、メイプル通りでは、「鉄筋コンクリート」が 30%を超えている

図表 4-2-31 店舗の構造



図表 4-2-32 商店街別店舗の構造

(単位: %)



図表 4-2-33 商店街別店舗の構造

(単位: 店・%)

区分	木造		軽量鉄骨		鉄筋コンクリート		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	10	62.5	4	25.0	-	-	2	12.5	16	100.0
飯能銀座	30	40.0	17	22.7	25	33.3	3	4.0	75	100.0
飯能中央通り	15	45.5	7	21.2	11	33.3	-	-	33	100.0
飯能東共栄会	22	37.3	12	20.3	19	32.2	6	10.2	59	100.0
飯能南口	16	41.0	8	20.5	13	33.3	2	5.1	39	100.0
飯能東銀座睦会	9	50.0	2	11.1	5	27.8	2	11.1	18	100.0
メイプル通り	12	63.2	1	5.3	6	31.6	-	-	19	100.0
合計	114	44.0	51	19.7	79	30.5	15	5.8	259	100.0

(12) 店舗の使用階数

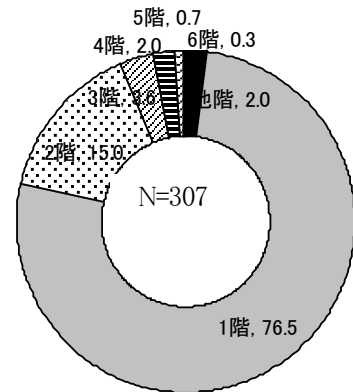
各商店の店舗使用階数は、全体でみると「1階」が76.5%と最も高い割合となっており、次いで「2階」が15.0%となっている。

商店街別にみると、全商店街で「1階」が最も多くなっている。その中で、飯能大通り88.9%、飯能中央通り83.3%、飯能東銀座睦会81.0%が特に高い値となっている。

逆に、メイプル通り、飯能南口は66.7%、67.4%と「1階」の比率が低くなっている。

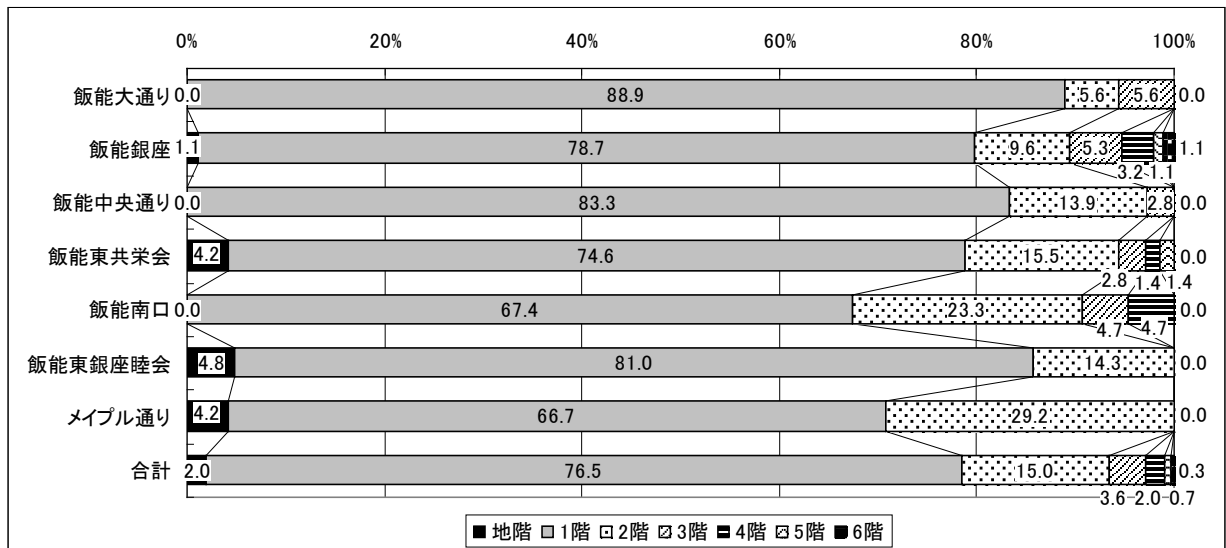
なお、1階を除く「地階」と「2階以上」の使用比率が高いのは、メイプル通り33.4%、飯能南口32.7%となっている。

図表 4-2-34 店舗の使用階数



図表 4-2-35 商店街別店舗の使用階数

(単位:%)



図表 4-2-36 商店街別店舗の使用階数

(単位:店・%)

区分	地階		1階		2階		3階		4階		5階		6階		合計	
	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%
飯能大通り	-	-	16	88.9	1	5.6	1	5.6	-	-	-	-	-	-	18	100.0
飯能銀座	1	1.1	74	78.7	9	9.6	5	5.3	3	3.2	1	1.1	1	1.1	94	100.0
飯能中央通り	-	-	30	83.3	5	13.9	1	2.8	-	-	-	-	-	-	36	100.0
飯能東共栄会	3	4.2	53	74.6	11	15.5	2	2.8	1	1.4	1	1.4	-	-	71	100.0
飯能南口	-	-	29	67.4	10	23.3	2	4.7	2	4.7	-	-	-	-	43	100.0
飯能東銀座睦会	1	4.8	17	81.0	3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	21	100.0
メイプル通り	1	4.2	16	66.7	7	29.2	-	-	-	-	-	-	-	-	24	100.0
合計	6	2.0	235	76.5	46	15.0	11	3.6	6	2.0	2	0.7	1	0.3	307	100.0

(注) %は構成比である。

(13)開店・閉店時間

①開店時間

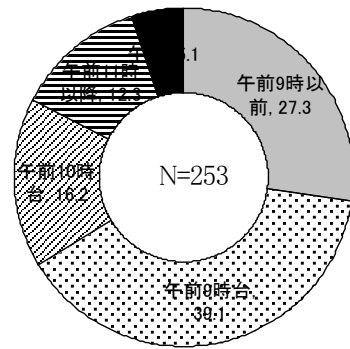
各商店の開店時間をみると、全体では「午前9時台」が39.1%と最も高い割合であり、次いで「午前9時以前」27.3%、「午前10時台」16.2%の順となっている。

商店街ごとの開店時間をみると、飯能東銀座睦会は「午前9時以前」に52.6%が開店しており特に朝が早く、10時前には89.4%が開店している。

次いで「10時台」までには、飯能銀座、飯能中央通り、飯能大通り、飯能南口がそれぞれ91.4%、87.6%、86.7%、79.4%開店している。

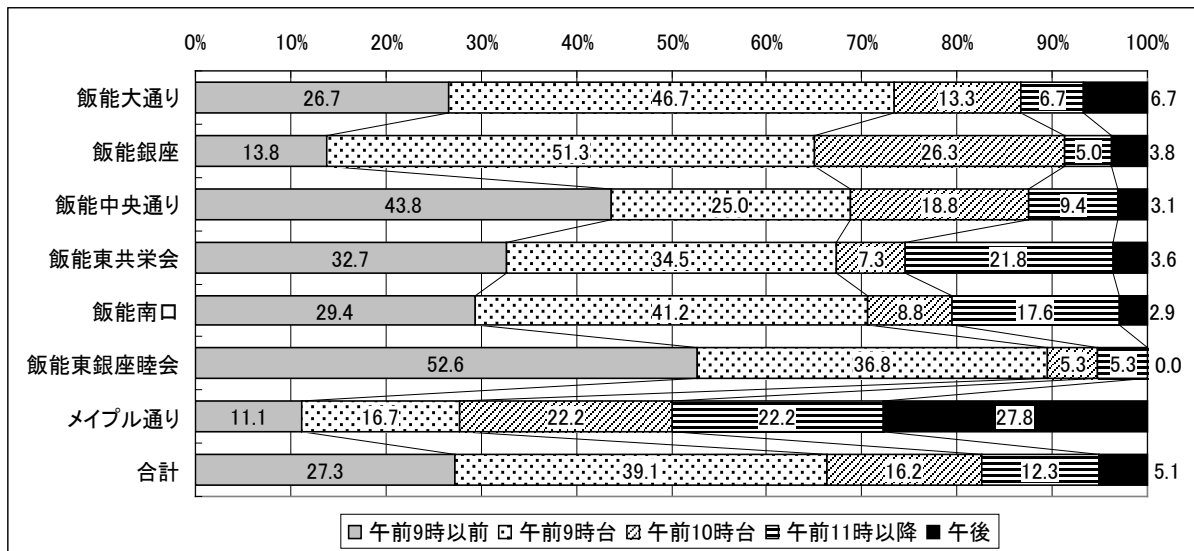
また、メイプル通りは「午後」が27.8%を占め、「午前10時台」「午前11時以降」がともに22.2%であるなど全般的に開店時間が遅い傾向がみられる。

図表 4-2-37 開店時間



図表 4-2-38 商店街別の開店時間

(単位:%)



図表 4-2-39 商店街別の開店時間

(単位:店・%)

区分	午前9時以前		午前9時台		午前10時台		午前11時以降		午後		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	4	26.7	7	46.7	2	13.3	1	6.7	1	6.7	15	100.0
飯能銀座	11	13.8	41	51.3	21	26.3	4	5.0	3	3.8	80	100.0
飯能中央通り	14	43.8	8	25.0	6	18.8	3	9.4	1	3.1	32	100.0
飯能東共栄会	18	32.7	19	34.5	4	7.3	12	21.8	2	3.6	55	100.0
飯能南口	10	29.4	14	41.2	3	8.8	6	17.6	1	2.9	34	100.0
飯能東銀座睦会	10	52.6	7	36.8	1	5.3	1	5.3	-	-	19	100.0
メイプル通り	2	11.1	3	16.7	4	22.2	4	22.2	5	27.8	18	100.0
合計	69	27.3	99	39.1	41	16.2	31	12.3	13	5.1	253	100.0

②閉店時間

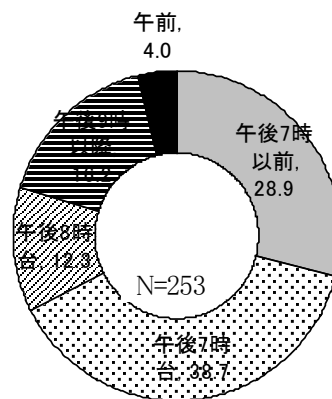
各商店の閉店時間は、全体でみると「午後 7 時台」が 38.7%と最も高い割合であり、次いで「午後 7 時以前」28.9%、「午後 8 時台」12.3%の順となっている。このように午後 8 時前には全体の 67.6%が閉店している。

商店街ごとの閉店時間をみると、飯能東銀座睦会、飯能南口、飯能大通り、飯能中央通りは「午後 7 時台」までにはそれぞれ 78.9%、76.5%、73.3%、71.9%が閉店しており、朝の開店時間が早い商店街では閉店時間も速い傾向を示している。

次いで比較的遅くまで店を開いているのは飯能東共栄会であり、「午後 9 時以降」、午前を含めた閉店が、25.5%となっている。

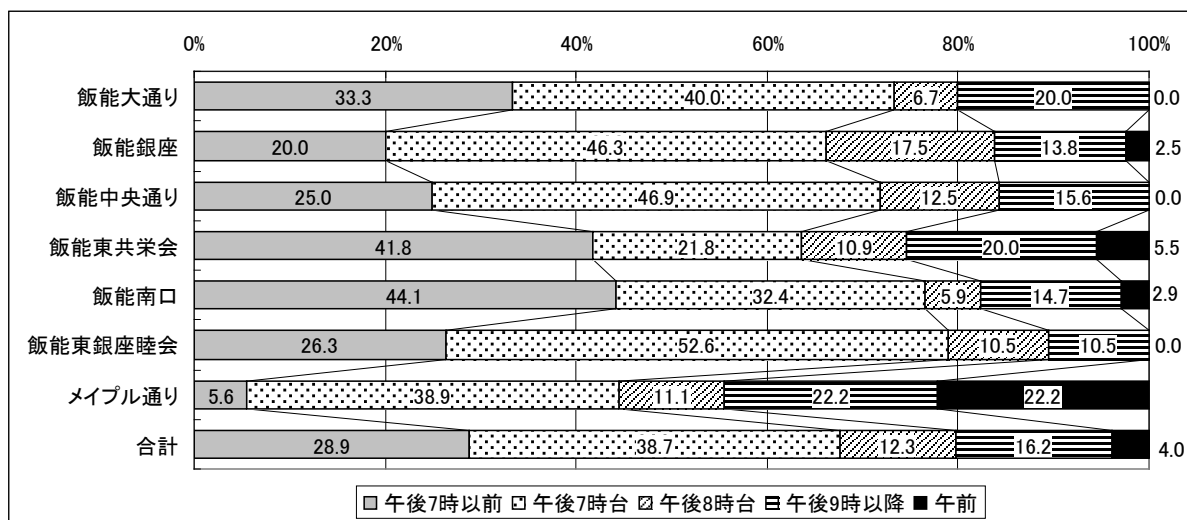
一方、メイプル通りは飲食店の比率が高いためか「午前」が 22.2%を占めているなど開店時間が遅い分、閉店時間も遅い傾向がみられる。

図表 4-2-40 閉店時間



図表 4-2-41 商店街別の閉店時間

(単位:%)



図表 4-2-42 商店街別の閉店時間

(単位:店・%)

区分	午後7時以前		午後7時台		午後8時台		午後9時以降		午前		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	5	33.3	6	40.0	1	6.7	3	20.0	-	-	15	100.0
飯能銀座	16	20.0	37	46.3	14	17.5	11	13.8	2	2.5	80	100.0
飯能中央通り	8	25.0	15	46.9	4	12.5	5	15.6	-	-	32	100.0
飯能東共栄会	23	41.8	12	21.8	6	10.9	11	20.0	3	5.5	55	100.0
飯能南口	15	44.1	11	32.4	2	5.9	5	14.7	1	2.9	34	100.0
飯能東銀座睦会	5	26.3	10	52.6	2	10.5	2	10.5	-	-	19	100.0
メイプル通り	1	5.6	7	38.9	2	11.1	4	22.2	4	22.2	18	100.0
合計	73	28.9	98	38.7	31	12.3	41	16.2	10	4.0	253	100.0

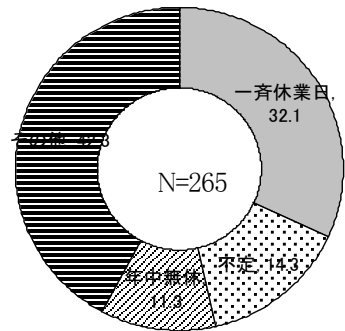
(14)休業日

休業日について全体をみると、「その他」が42.3%と最多となっており、次いで「一斉休業日」32.1%、「不定」14.3%、「年中無休」11.3%の順となっている。

商店街別にみると、協同組合化している飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りの3商店街は、「一斉休業日」を取る割合が高く、それぞれ56.3%、48.8%、42.4%となっている。

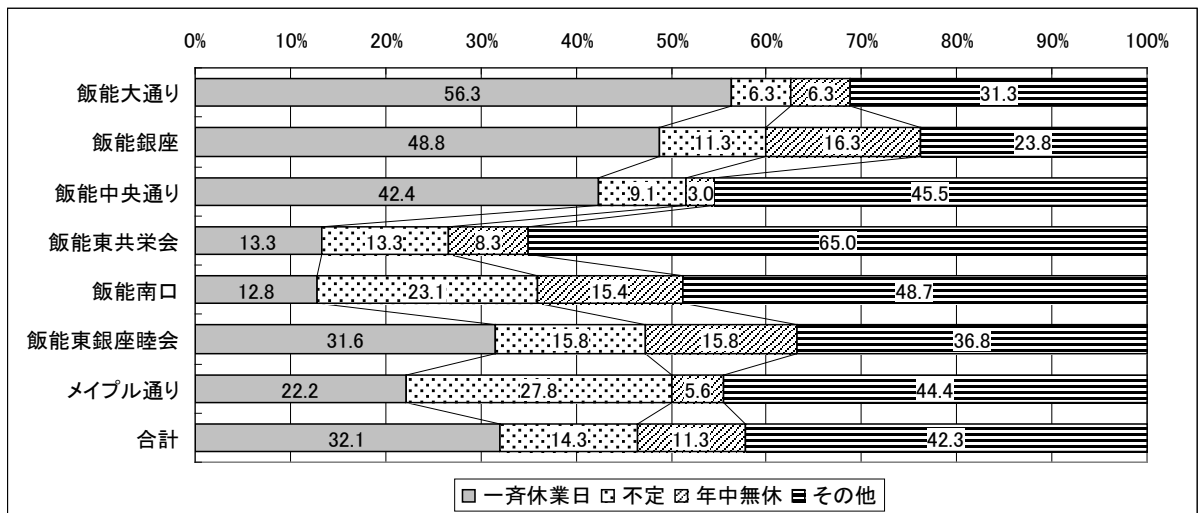
一方、「不定」・「年中無休」とする割合もかなりあるが、「その他」を最多としているのは飯能東共栄会で65.0%となっている。

図 4-2-43 休業日



図表 4-2-44 商店街別休業日

(単位:%)



図表 4-2-45 商店街別休業日

(単位:店・%)

区分	一斉休業日		不定		年中無休		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	9	56.3	1	6.3	1	6.3	5	31.3	16	100.0
飯能銀座	39	48.8	9	11.3	13	16.3	19	23.8	80	100.0
飯能中央通り	14	42.4	3	9.1	1	3.0	15	45.5	33	100.0
飯能東共栄会	8	13.3	8	13.3	5	8.3	39	65.0	60	100.0
飯能南口	5	12.8	9	23.1	6	15.4	19	48.7	39	100.0
飯能東銀座睦会	6	31.6	3	15.8	3	15.8	7	36.8	19	100.0
メイプル通り	4	22.2	5	27.8	1	5.6	8	44.4	18	100.0
合計	85	32.1	38	14.3	30	11.3	112	42.3	265	100.0

上記の図表 4-2-45 で「一斉休業日」と回答した 85 店の内訳をみると、以下のとおり「月曜日」との回答が 63 店 74.1%で最多となっている。

図表 4-2-46 一斉休業日の曜日

区 分	日	月	火	水	木	月 or 火	水 or 木	無回答	合 計
飯能大通り	2	7	-	-	-	-	-	-	9
飯能銀座	-	36	-	1	1	-	-	1	39
飯能中央通り	2	10	-	-	-	-	1	1	14
飯能東共栄会	1	3	-	4	-	-	-	-	8
飯能南口	3	2	-	-	-	-	-	-	5
飯能東銀座睦会	1	2	1	-	-	1	-	1	6
メイプル通り	-	3	-	1	-	-	-	-	4
合 計	9	63	1	6	1	1	1	3	85
構成比 %	10.6	74.1	1.2	7.1	1.2	1.2	1.2	3.5	100.0

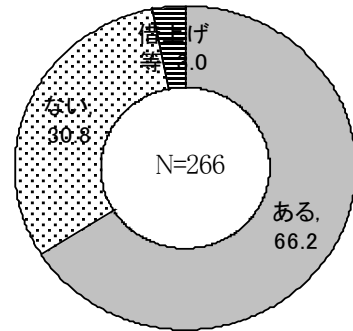
(15) 来客用駐車場の有無

来客用駐車場の有無について全体でみると、「ない」が30.8%で、「ある」は66.2%と半数を超えている。「借上げ等」の3.0%を含め69.2%の商店が、駐車場を準備している状況にある。

商店街別みると、駐車場の整備率が高いのは、飯能南口の94.7%、飯能東共栄会88.5%などである。

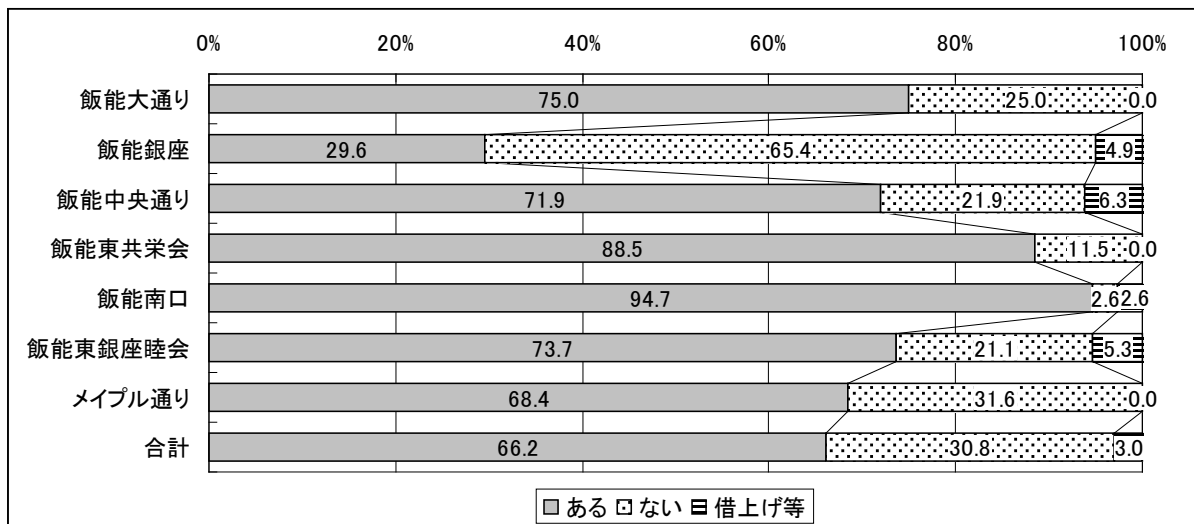
一方、飯能銀座は、駐車場が「ない」が65.4%と突出している。

図表 4-2-47 来客用駐車場の有無



図表 4-2-48 商店街別来客用駐車場の有無

(単位: %)



図表 4-2-49 商店街別来客用駐車場の有無

(単位: 店・%)

区分	ある		ない		借上げ等		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	12	75.0	4	25.0	-	-	16	100.0
飯能銀座	24	29.6	53	65.4	4	4.9	81	100.0
飯能中央通り	23	71.9	7	21.9	2	6.3	32	100.0
飯能東共栄会	54	88.5	7	11.5	-	-	61	100.0
飯能南口	36	94.7	1	2.6	1	2.6	38	100.0
飯能東銀座睦会	14	73.7	4	21.1	1	5.3	19	100.0
メイプル通り	13	68.4	6	31.6	-	-	19	100.0
合計	176	66.2	82	30.8	8	3.0	266	100.0

3. 個店の経営状況

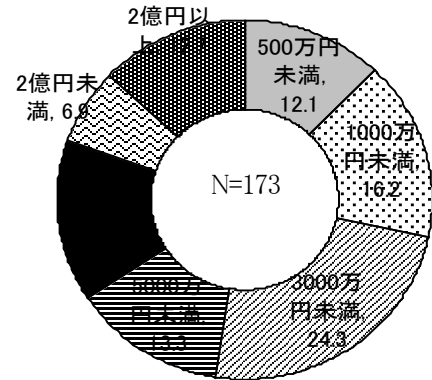
(1) 年間売上高

年間売上高の回答は、アンケート総回答数 273 に対して 173 であり、記入率が 63.4%と他の項目よりも低くなっているが、年間売上高の順位をみると、全体では次のとおりとなっている。

- ①「3000 万円未満(1000～3000 万円未満)」・・・24.3%
- ②「1000 万円未満(500～1000 万円未満)」・・・16.2%
- ③「1 億円未満(5000 万円～1 億円未満)」・・・14.5%
- ④「5000 万円未満(3000 万円～5000 万円未満)」13.3%
- ⑤「2 億円以上」・・・・・・・・・・・・・・・・・・12.7%

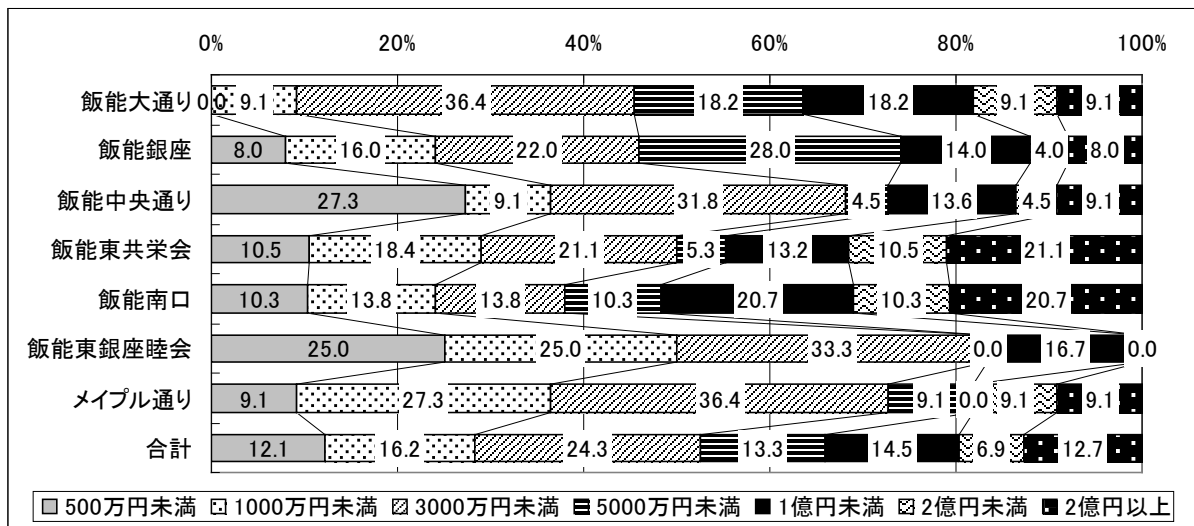
商店街別にみると、飯能東銀座睦会、メイプル通り、飯能中央通りでは「3000 万円未満」以下を合計すると 83.3%、72.8%、68.2%であり、比較的売上高が小額な店舗が多くなっている。また、飯能東共栄会、飯能南口では「2 億円以上」が 21.1%、20.7%となっており、売上高の大きい店舗の割合が高くなっている。

図表 4-3-1 年間売上高



図表 4-3-2 商店街別年間売上高

(単位: %)



図表 4-3-3 商店街別年間売上高

(単位: 店・%)

区分	500 万円未満		1000 万円未満		3000 万円未満		5000 万円未満		1 億円未満		2 億円未満		2 億円以上		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	1	9.1	4	36.4	2	18.2	2	18.2	1	9.1	1	9.1	11	100.0
飯能銀座	4	8.0	8	16.0	11	22.0	14	28.0	7	14.0	2	4.0	4	8.0	50	100.0
飯能中央通り	6	27.3	2	9.1	7	31.8	1	4.5	3	13.6	1	4.5	2	9.1	22	100.0
飯能東共栄会	4	10.5	7	18.4	8	21.1	2	5.3	5	13.2	4	10.5	8	21.1	38	100.0
飯能南口	3	10.3	4	13.8	4	13.8	3	10.3	6	20.7	3	10.3	6	20.7	29	100.0
飯能東銀座睦会	3	25.0	3	25.0	4	33.3	-	-	2	16.7	-	-	-	-	12	100.0
メイプル通り	1	9.1	3	27.3	4	36.4	1	9.1	-	-	1	9.1	1	9.1	11	100.0
合計	21	12.1	28	16.2	42	24.3	23	13.3	25	14.5	12	6.9	22	12.7	173	100.0

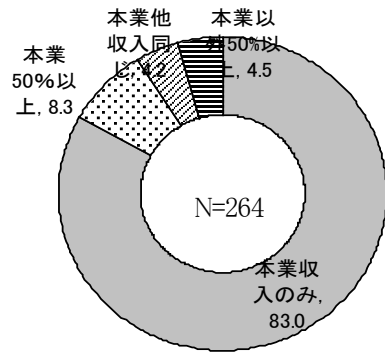
(2)個店の収入割合

個店の収入割合を全体でみると、「本業の収入のみ」が83.0%と圧倒的に多く、その他では、「本業50%以上」が8.3%、「本業以外50%以上」4.5%、「本業と他収入が同じ」が4.2%となっている。

商店街別にみると、飯能中央通りは「本業のみ」の比率が90.9%と最も高くなっており、逆に飯能南口は71.8%、飯能東銀座睦会73.7%と「本業のみ」の割合が低くなっている。

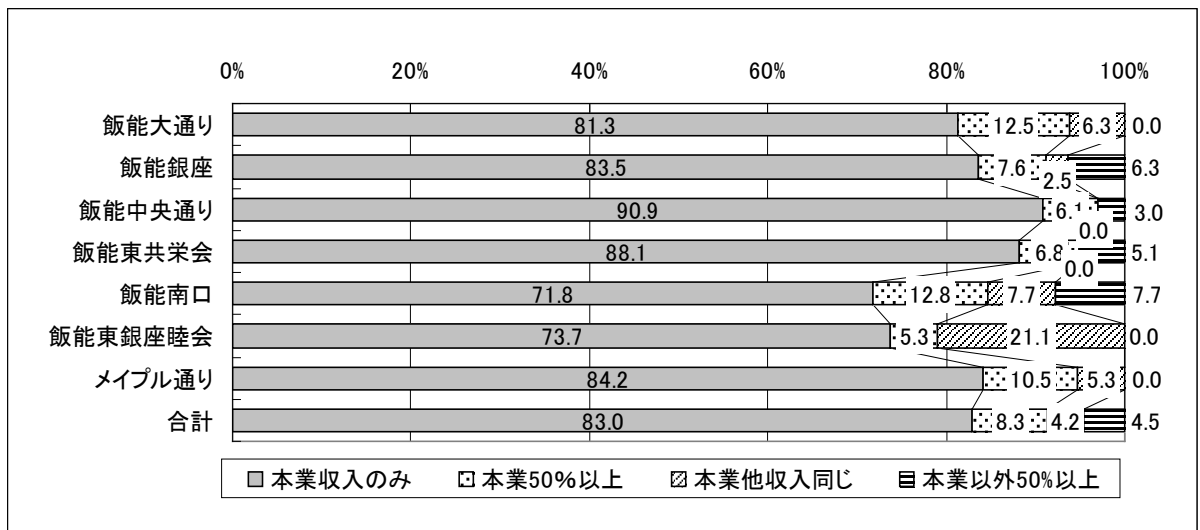
また、飯能東銀座睦会では、「本業と他収入が同じ」が21.1%と最多となっているのが特徴である。

図表 4-3-4 個店の収入割合



図表 4-3-5 商店街別個店の収入割合

(単位:%)



図表 4-3-6 商店街別個店の収入割合

(単位:店・%)

区分	本業収入のみ		本業50%以上		本業と他収入同じ		本業以外50%以上		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	%	店	%	店	%
飯能大通り	13	81.3	2	12.5	1	6.3	-	-	16	100.0
飯能銀座	66	83.5	6	7.6	2	2.5	5	6.3	79	100.0
飯能中央通り	30	90.9	2	6.1	-	-	1	3.0	33	100.0
飯能東共栄会	52	88.1	4	6.8	-	-	3	5.1	59	100.0
飯能南口	28	71.8	5	12.8	3	7.7	3	7.7	39	100.0
飯能東銀座睦会	14	73.7	1	5.3	4	21.1	-	-	19	100.0
メイプル通り	16	84.2	2	10.5	1	5.3	-	-	19	100.0
合計	219	83.0	22	8.3	11	4.2	12	4.5	264	100.0

(3)顧客層・年代

図表 4-3-7 顧客層

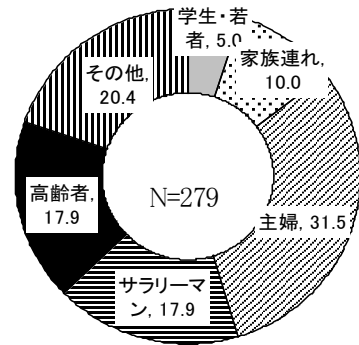
①顧客層

顧客層について全体でみると、「主婦」が31.5%最も高い割合を示しており、次いで「その他」20.4%、「サラリーマン」・「高齢者」が共に17.9%、「家族連れ」10.0%となっている。しかし、「学生・若者」は5.0%と一番少ない状況にある。

客層別にみると、「主婦」の比率は飯能大通り68.8%、飯能銀座 50.0%と高くなっており、「サラリーマン」はメイプル通りで47.4%と高くなっている。

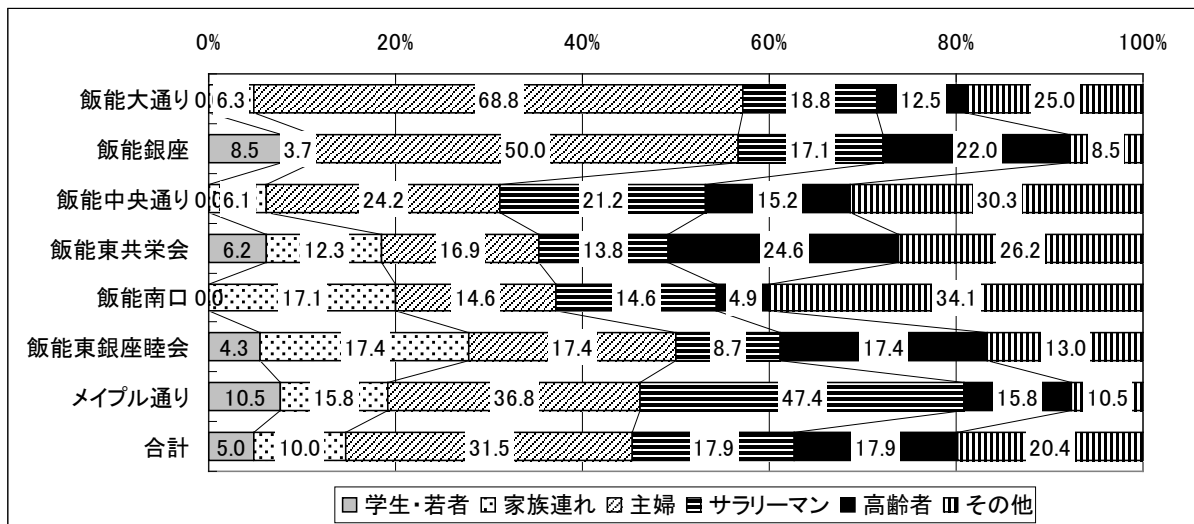
また、「家族連れ」は飯能東銀座睦会、飯能南口が比較的多く、「高齢者」は飯能東共栄会、飯能銀座が多くなっている。

一方、「学生・若者」の来店比率は低いものの、メイプル通り、飯能銀座では10%前後となっている。また、「その他」の内容は、すべての層とした回答が多くなっている。



図表 4-3-8 商店街別顧客層

(単位:%)



図表 4-3-9 商店街別顧客層

(単位:店・%)

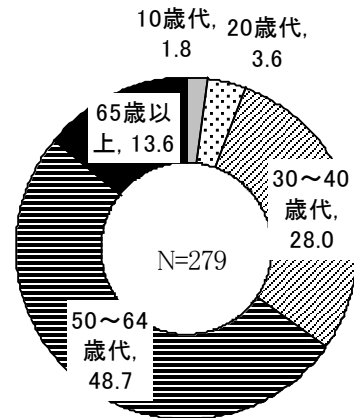
区分	学生・若者		家族連れ		主婦		サラリーマン		高齢者		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	1	6.3	11	68.8	3	18.8	2	12.5	4	25.0	16	100.0
飯能銀座	7	8.5	3	3.7	41	50.0	14	17.1	18	22.0	7	8.5	82	100.0
飯能中央通り	-	-	2	6.1	8	24.2	7	21.2	5	15.2	10	30.3	33	100.0
飯能東共栄会	4	6.2	8	12.3	11	16.9	9	13.8	16	24.6	17	26.2	65	100.0
飯能南口	-	-	7	17.1	6	14.6	6	14.6	2	4.9	14	34.1	41	100.0
飯能東銀座睦会	1	4.3	4	17.4	4	17.4	2	8.7	4	17.4	3	13.0	23	100.0
メイプル通り	2	10.5	3	15.8	7	36.8	9	47.4	3	15.8	2	10.5	19	100.0
合計	14	5.0	28	10.0	88	31.5	50	17.9	50	17.9	57	20.4	279	100.0

②来店客の年代

商店街への来店客の年代について、全体でみると、「50～64 歳代」が 48.7%と最も高い比率となっており、次いで「30～40 歳代」が 28.0%、「65 歳以上」13.6%と続いている。「10 歳代」と「20 歳代」の合計は 5.4%と低くなっている。

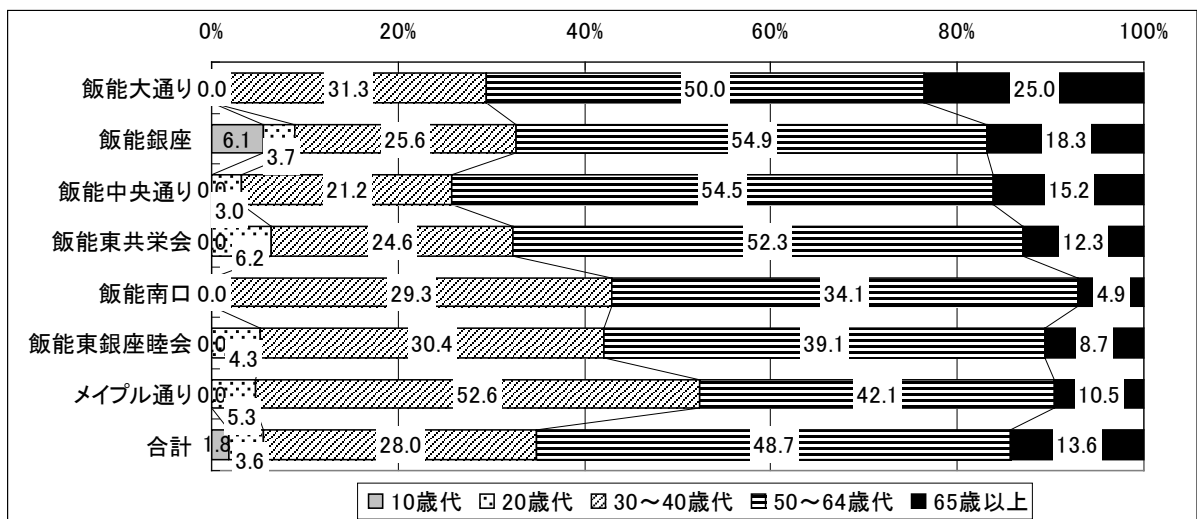
商店街別には、メイプル通りを除いて「50～64 歳代」の割合がどの商店街も最も高くなっている。

図表 4-3-10 来店客の年代



図表 4-3-11 商店街別の来店客の年代

(単位:%)



図表 4-3-12 商店街別の来店客の年代

(単位:店・%)

区分	10歳代		20歳代		30～40歳代		50～64歳代		65歳以上		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	-	-	5	31.3	8	50.0	4	25.0	16	100.0
飯能銀座	5	6.1	3	3.7	21	25.6	45	54.9	15	18.3	82	100.0
飯能中央通り	-	-	1	3.0	7	21.2	18	54.5	5	15.2	33	100.0
飯能東共栄会	-	-	4	6.2	16	24.6	34	52.3	8	12.3	65	100.0
飯能南口	-	-	-	0.0	12	29.3	14	34.1	2	4.9	41	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	1	4.3	7	30.4	9	39.1	2	8.7	23	100.0
メイプル通り	-	-	1	5.3	10	52.6	8	42.1	2	10.5	19	100.0
合計	5	1.8	10	3.6	78	28.0	136	48.7	38	13.6	279	100.0

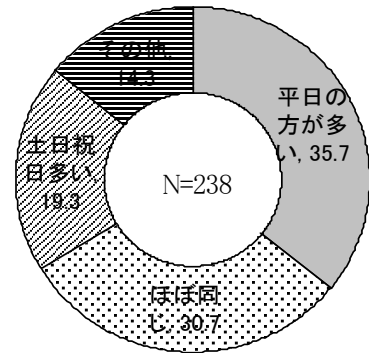
(4)平日と土日の売上比率

平日と土日の売上比率について全体をみると、「平日の方が多い」が 35.7%と最も高く、次いで「ほぼ同じ」が 30.7%、「土日祝日の方が多い」19.3%の順となっている。

商店街別にみると、飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りでは「平日の方が多い」の割合が 40%台と高く、次いで「ほぼ同じ」が 35%前後となっている。

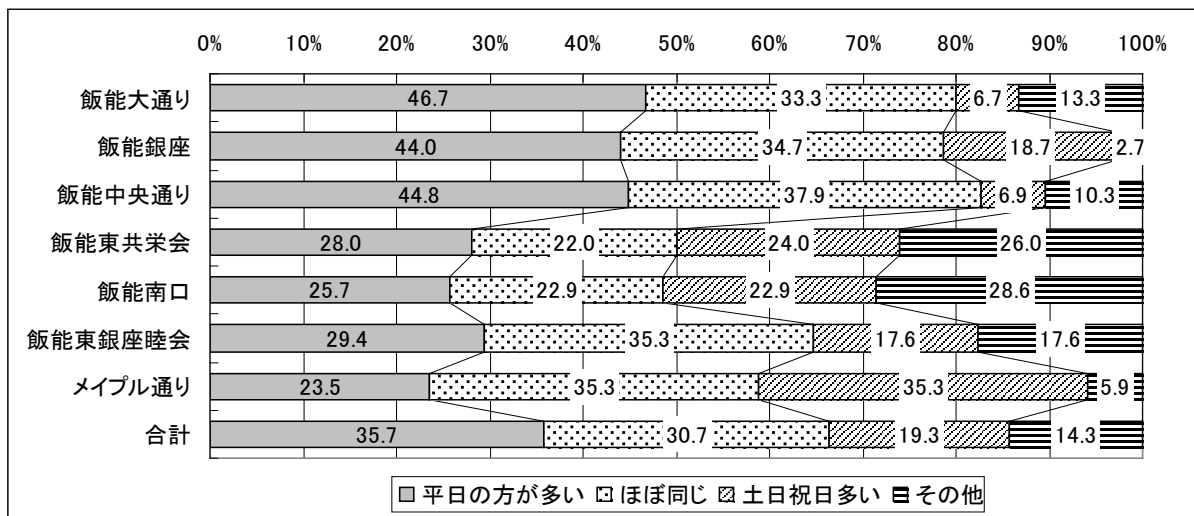
飯能共栄会と飯能南口は共に 4 つの区分に平均的に分散している。また、メイプル通りでは「土日祝日の方が多い」と「ほぼ同じ」が同率の 35.3%となっている。

図表 4-3-13 平日と土日の売上比率



図表 4-3-14 商店街別平日と土日の売上比率

(単位:%)



図表 4-3-15 商店街別平日と土日の売上比率

(単位:店・%)

区分	平日の方が多い		ほぼ同じ		土日祝日多い		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	7	46.7	5	33.3	1	6.7	2	13.3	15	100.0
飯能銀座	33	44.0	26	34.7	14	18.7	2	2.7	75	100.0
飯能中央通り	13	44.8	11	37.9	2	6.9	3	10.3	29	100.0
飯能東共栄会	14	28.0	11	22.0	12	24.0	13	26.0	50	100.0
飯能南口	9	25.7	8	22.9	8	22.9	10	28.6	35	100.0
飯能東銀座睦会	5	29.4	6	35.3	3	17.6	3	17.6	17	100.0
メイプル通り	4	23.5	6	35.3	6	35.3	1	5.9	17	100.0
合計	85	35.7	73	30.7	46	19.3	34	14.3	238	100.0

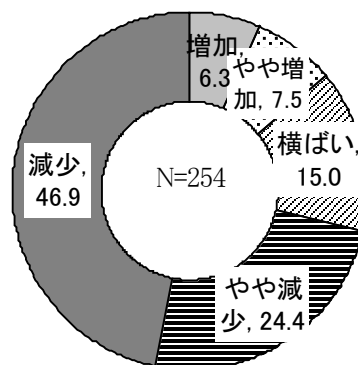
(5) 売上傾向(5年前との比較)

図表 4-3-16 売上傾向(5年前との比較)

個店の売上を5年前と比較した状況を全体でみると、増加傾向が13.8%（「増加」6.3%+「やや増加」7.5%）に対して、減少傾向は71.3%（「減少」46.9%+「やや減少」24.4%）となっており、減少傾向が著しくなっている。

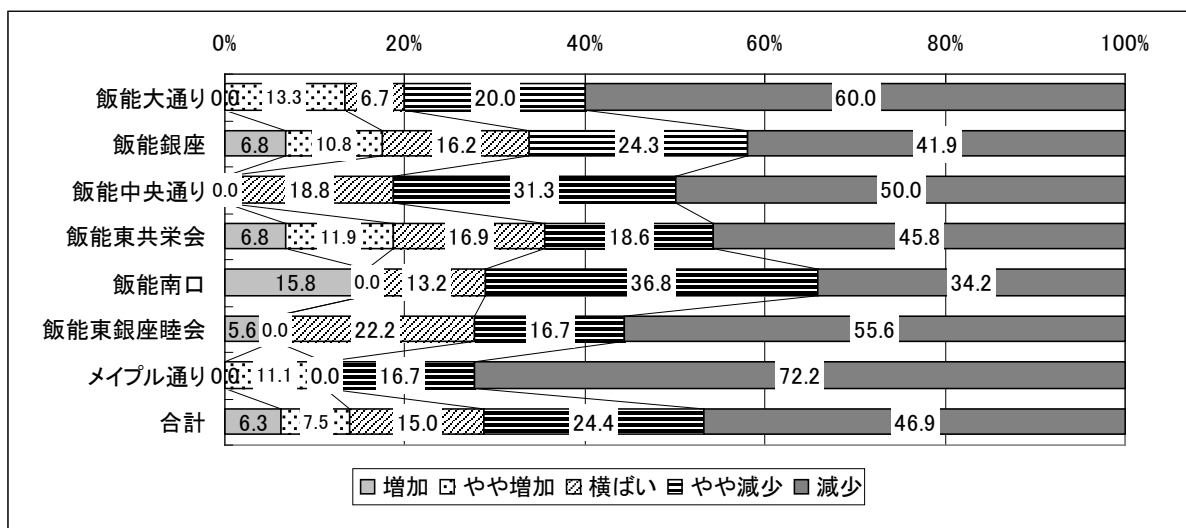
商店街別にみると、メイプル通り、飯能大通り、飯能中央通りは「減少+やや減少」の比率が80%を超えており、中でもメイプル通りは「減少」の比率が72.2%と最も高くなっている。

一方、増加傾向（増加+やや増加）の比率が高いのは、飯能東共栄会が18.7%と比較的高く、次いで飯能銀座17.6%、飯能南口15.8%の順となっている。特に飯能南口は「増加」のみで15.8%である。



図表 4-3-17 商店街別売上傾向(5年前との比較)

(単位:%)



図表 4-3-18 商店街別売上傾向(5年前との比較)

(単位:店・%)

区分	増加		やや増加		横ばい		やや減少		減少		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	2	13.3	1	6.7	3	20.0	9	60.0	15	100.0
飯能銀座	5	6.8	8	10.8	12	16.2	18	24.3	31	41.9	74	100.0
飯能中央通り	-	-	-	-	6	18.8	10	31.3	16	50.0	32	100.0
飯能東共栄会	4	6.8	7	11.9	10	16.9	11	18.6	27	45.8	59	100.0
飯能南口	6	15.8	-	-	5	13.2	14	36.8	13	34.2	38	100.0
飯能東銀座睦会	1	5.6	-	-	4	22.2	3	16.7	10	55.6	18	100.0
メイプル通り	-	-	2	11.1	-	-	3	16.7	13	72.2	18	100.0
合計	16	6.3	19	7.5	38	15.0	62	24.4	119	46.9	254	100.0

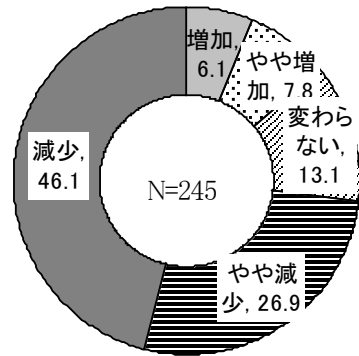
(6)来店客数(5年前との比較)

来店客数を5年前と比較した状況を全体で見ると、増加傾向が13.9%（「増加」6.1%+「やや増加」7.8%）に対して、減少傾向は73.0%（「減少」46.1%+「やや減少」26.9%）となっており、前記の(5)売上傾向と同様な傾向を示している。

商店街別にみると、メイプル通り、飯能大通り、飯能中央通りは「減少+やや減少」の比率が80%を超えており、中でもメイプル通りは「減少」の比率が72.2%と最も高くなっている。

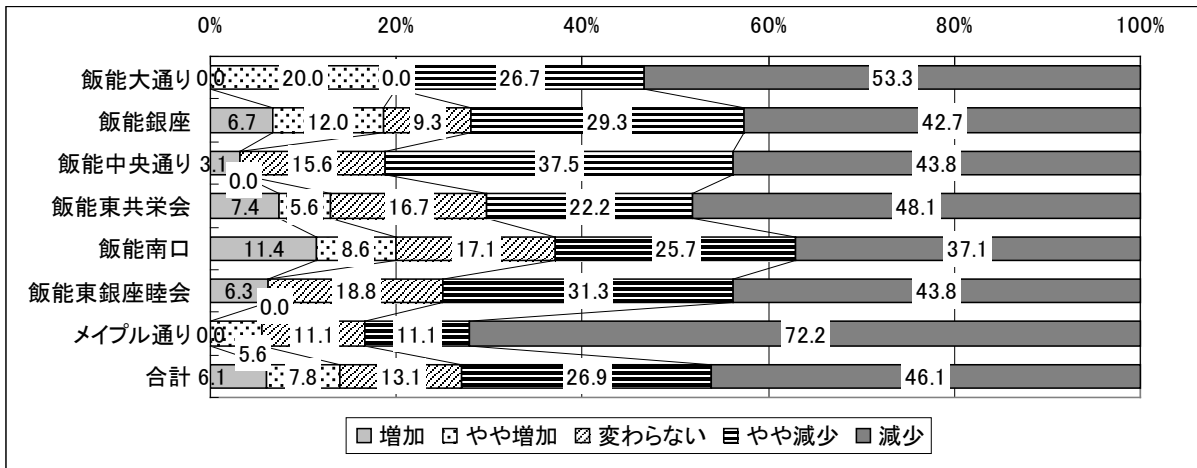
一方、飯能南口と飯能大通りは、増加傾向（増加+やや増加）の比率が20.0%と比較的高く、次いで飯能銀座18.7%、飯能東共栄会13.0%と続いている。

図表 4-3-19 来店客数(5年前との比較)



図表 4-3-20 商店街別来店客数(5年前との比較)

(単位: %)



図表 4-3-21 商店街別来店客数(5年前との比較)

(単位: 店・%)

区分	増加		やや増加		変わらない		やや減少		減少		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	3	20.0	-	-	4	26.7	8	53.3	15	100.0
飯能銀座	5	6.7	9	12.0	7	9.3	22	29.3	32	42.7	75	100.0
飯能中央通り	1	3.1	-	-	5	15.6	12	37.5	14	43.8	32	100.0
飯能東共栄会	4	7.4	3	5.6	9	16.7	12	22.2	26	48.1	54	100.0
飯能南口	4	11.4	3	8.6	6	17.1	9	25.7	13	37.1	35	100.0
飯能東銀座睦会	1	6.3	-	-	3	18.8	5	31.3	7	43.8	16	100.0
メイプル通り	-	-	1	5.6	2	11.1	2	11.1	13	72.2	18	100.0
合計	15	6.1	19	7.8	32	13.1	66	26.9	113	46.1	245	100.0

4. 自店の問題点と対応策について

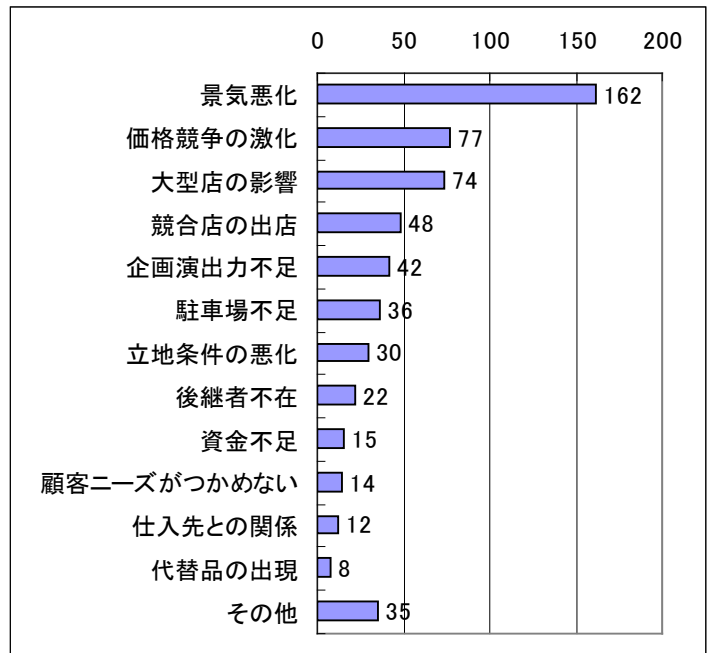
図表 4-4-1 直面している問題点(全体)(複数回答)(単位:店)

(1) 自店の直面している問題点

自店の直面している問題点を4項目選択した結果を全体で見ると、「景気悪化」が162店(58.1%)と最多となっており、次いで「価格競争の激化」77店(27.6%)、「大型店の影響」74店(26.5%)となっている。

商店街別にみても、全商店街で「景気の悪化」を第一に挙げており、メイプル通りは78.9%と特に高い値となっている。

また、飯能銀座とメイプル通りを除き、他の商店街では、1～3位は「景気悪化」・「価格競争の激化」・「大型店の影響」を挙げており、ほぼ同じ状況となっている。



図表 4-4-2 商店街別自店の直面する問題点(複数回答)

(単位:店・%)

区分		①景気悪化	②価格競争の激化	③大型店の影響	④競合店の出店	⑤企画演出力不足	⑥駐車場不足	⑦立地条件の悪化	⑧後継者不在	⑨資金不足	⑩顧客ニーズがつかめない	⑪仕入先との関係	⑫代替品の出現	⑬その他	合計
		比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率		
飯能大通り	店	11	4	6	1	3	2	4	1	3	1	3	-	2	16
	比率	68.8	25.0	37.5	6.3	18.8	12.5	25.0	6.3	18.8	6.3	18.8	-	12.5	100
飯能銀座	店	48	15	23	15	17	18	14	6	8	5	4	3	9	82
	比率	58.5	18.3	28.0	18.3	20.7	22.0	17.1	7.3	9.8	6.1	4.9	3.7	11.0	100
飯能中央通り	店	23	11	12	4	5	4	2	5	-	2	2	-	4	33
	比率	69.7	33.3	36.4	12.1	15.2	12.1	6.1	15.2	-	6.1	6.1	-	12.1	100
飯能東共栄会	店	37	25	16	13	7	6	4	4	1	3	1	2	8	65
	比率	56.9	38.5	24.6	20.0	10.8	9.2	6.2	6.2	1.5	4.6	1.5	3.1	12.3	100
飯能南口	店	17	8	5	6	5	2	3	5	-	2	1	2	9	41
	比率	41.5	19.5	12.2	14.6	12.2	4.9	7.3	12.2	-	4.9	2.4	4.9	22.0	100
飯能東銀座睦会	店	11	9	5	3	2	1	1	1	1	1	-	-	1	23
	比率	47.8	39.1	21.7	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	-	-	4.3	100
メイプル通り	店	15	5	7	6	3	3	2	-	2	-	1	1	2	19
	比率	78.9	26.3	36.8	31.6	15.8	15.8	10.5	-	10.5	-	5.3	5.3	10.5	100
合計	店	162	77	74	48	42	36	30	22	15	14	12	8	35	279
	比率	58.1	27.6	26.5	17.2	15.1	12.9	10.8	7.9	5.4	5.0	4.3	2.9	12.5	100

(注) 網掛け部分は、商店街ごとの最大値である。商店街の合計は、回答商店数である。

図表 4-4-3 商店街別自店の直面する問題点(複数回答) (単位:%)

自店が直面する問題点について商店街別の特徴は、次のとおりとなっている。

①飯能大通り

「景気悪化」が 68.8%と最多であり、「大型店の影響」が 37.5%となっているほか、「価格競争の激化」、「立地条件の悪化」が続いている。

②飯能銀座

「景気悪化」が 58.5%で最多であり、「大型店の影響」28.0%、「駐車場不足」22.0%、「企画演出力不足」20.7%となっている。

③飯能中央通り

飯能大通りと同様に、「景気悪化」が 69.7%と最多で、「大型店の影響」が 36.4%、「価格競争の激化」33.3%と、この 3 点に集中している。

④飯能東共栄会

「景気悪化」が 56.9%で最多となっており、以下「価格競争の激化」、「大型店の影響」、「競合店の出店」と続いている。

⑤飯能南口

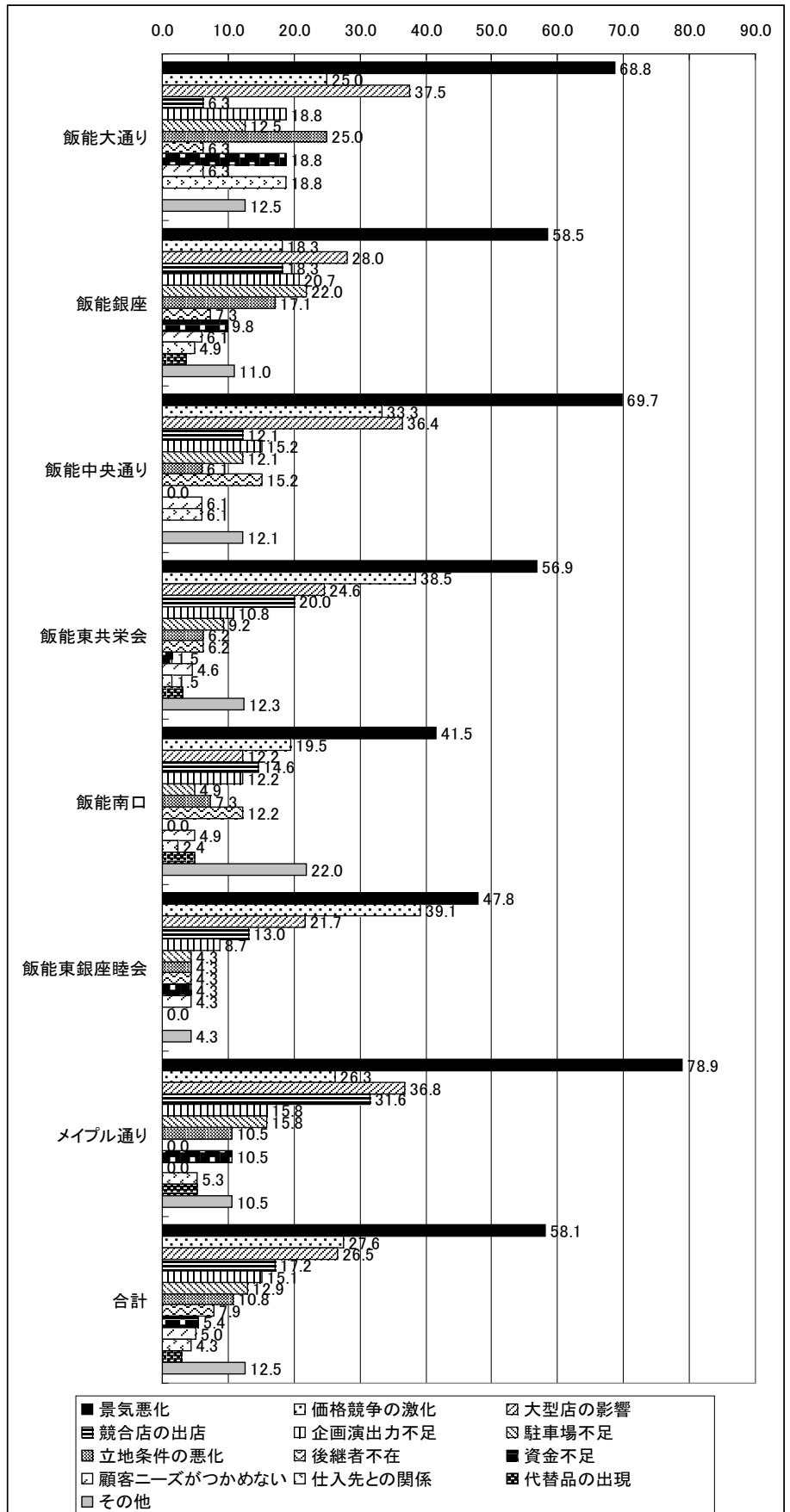
「景気悪化」41.5%の 1 点に集中しており、他の項目の割合は低くなっている。

⑥飯能東銀座睦会

「景気悪化」47.8%、「価格競争の激化」39.1%、「大型店の影響」21.7%に集中している。

⑦メイプル通り

「景気悪化」が 78.9%と非常に高くなっており、以下「大型店の影響」、「競合店の出店」、「価格競争の激化」と続いている。

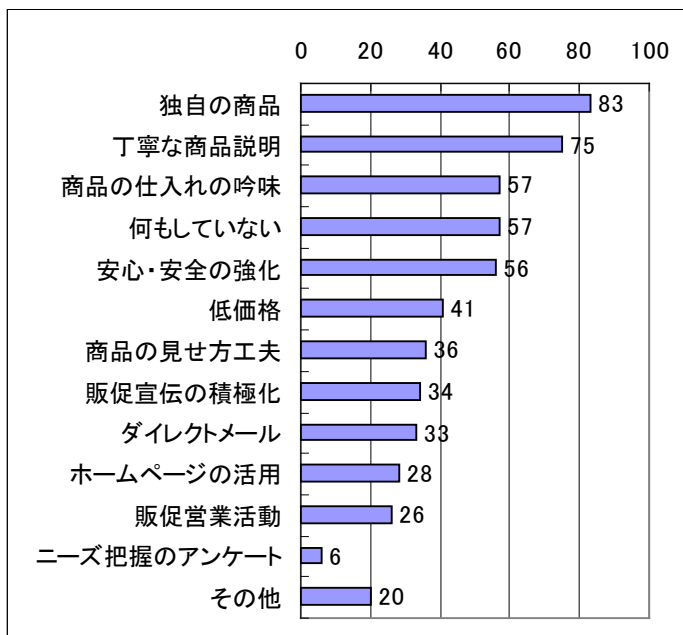


(2)自店の努力項目

他店との差別化や売上増加のために自店が努力している方策を4項目選択した結果を全体でみると、「独自の商品販売」が83店(29.7%)と最も多くなっている。

次いで「丁寧な商品説明」75店(26.9%)、「商品の仕入れの吟味」・「何もしていない」がそれぞれ57店(20.4%)となっている。

図表 4-4-4 自店の努力(全体)(複数回答) (単位:店)



図表 4-4-5 商店街別の自店努力項目

(単位:店・%)

区分		①独自の商品販売	②丁寧な商品説明	③商品の仕入れの吟味	④何もしていない	⑤安心・安全の強化	⑥低価格	⑦商品の見せ方工夫	⑧販促宣伝の積極化	⑨ダイレクトメール	⑩ホームページの活用	⑪販促営業活動	⑫ニーズ把握のアンケート	⑬その他	合計
		店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	比率	店	
飯能大通り	店	7	8	7	3	4	1	3	1	2	1	-	-	-	16
	比率	43.8	50.0	43.8	18.8	25.0	6.3	18.8	6.3	12.5	6.3	-	-	-	100.0
飯能銀座	店	31	32	23	8	14	16	17	12	16	13	10	2	8	82
	比率	37.8	39.0	28.0	9.8	17.1	19.5	20.7	14.6	19.5	15.9	12.2	2.4	9.8	100.0
飯能中央通り	店	13	9	9	7	10	6	4	3	4	2	2	1	2	33
	比率	39.4	27.3	27.3	21.2	30.3	18.2	12.1	9.1	12.1	6.1	6.1	3.0	6.1	100.0
飯能東共栄会	店	12	15	8	15	14	4	6	12	5	5	10	2	2	65
	比率	18.5	23.1	12.3	23.1	21.5	6.2	9.2	18.5	7.7	7.7	15.4	3.1	3.1	100.0
飯能南口	店	9	4	5	16	6	5	4	2	1	2	2	-	6	41
	比率	22.0	9.8	12.2	39.0	14.6	12.2	9.8	4.9	2.4	4.9	4.9	-	14.6	100.0
飯能東銀座睦会	店	3	5	2	6	4	3	-	4	4	2	1	1	-	23
	比率	13.0	21.7	8.7	26.1	17.4	13.0	-	17.4	17.4	8.7	4.3	4.3	-	100.0
メイプル通り	店	8	2	3	2	4	6	2	-	1	3	1	-	2	19
	比率	42.1	10.5	15.8	10.5	21.1	31.6	10.5	-	5.3	15.8	5.3	-	10.5	100.0
合計	店	83	75	57	57	56	41	36	34	33	28	26	6	20	279
	比率	29.7	26.9	20.4	20.4	20.1	14.7	12.9	12.2	11.8	10.0	9.3	2.2	7.2	100.0

(注) 網掛け部分は、商店街ごとの最大値である。商店街の合計は、回答商店数である。

図表 4-4-6 商店街別の自店努力項目(複数回答) (単位:%)

自店の努力項目について商店街別の特徴をみると、次のとおりとなっている。

①飯能大通り

「丁寧な商品説明」50.0%、「独自の商品販売」及び「商品の仕入吟味」が 43.8%と、この3項目に集中している。

②飯能銀座

「丁寧な商品説明」39.0%、「独自の商品販売」37.8%、「商品の仕入吟味」28.0%と、この3項目に集中している。

③飯能中央通り

「独自の商品販売」39.4%、「安心・安全の強化」30.3%、「丁寧な商品説明」、「商品の仕入吟味」がともに 27.3%である。

④飯能東共栄会

特に突出している項目はなく、「丁寧な商品説明」23.1%、「安心・安全の強化」21.5%であるが、「何もしていない」も 23.1%となっている。

⑤飯能南口

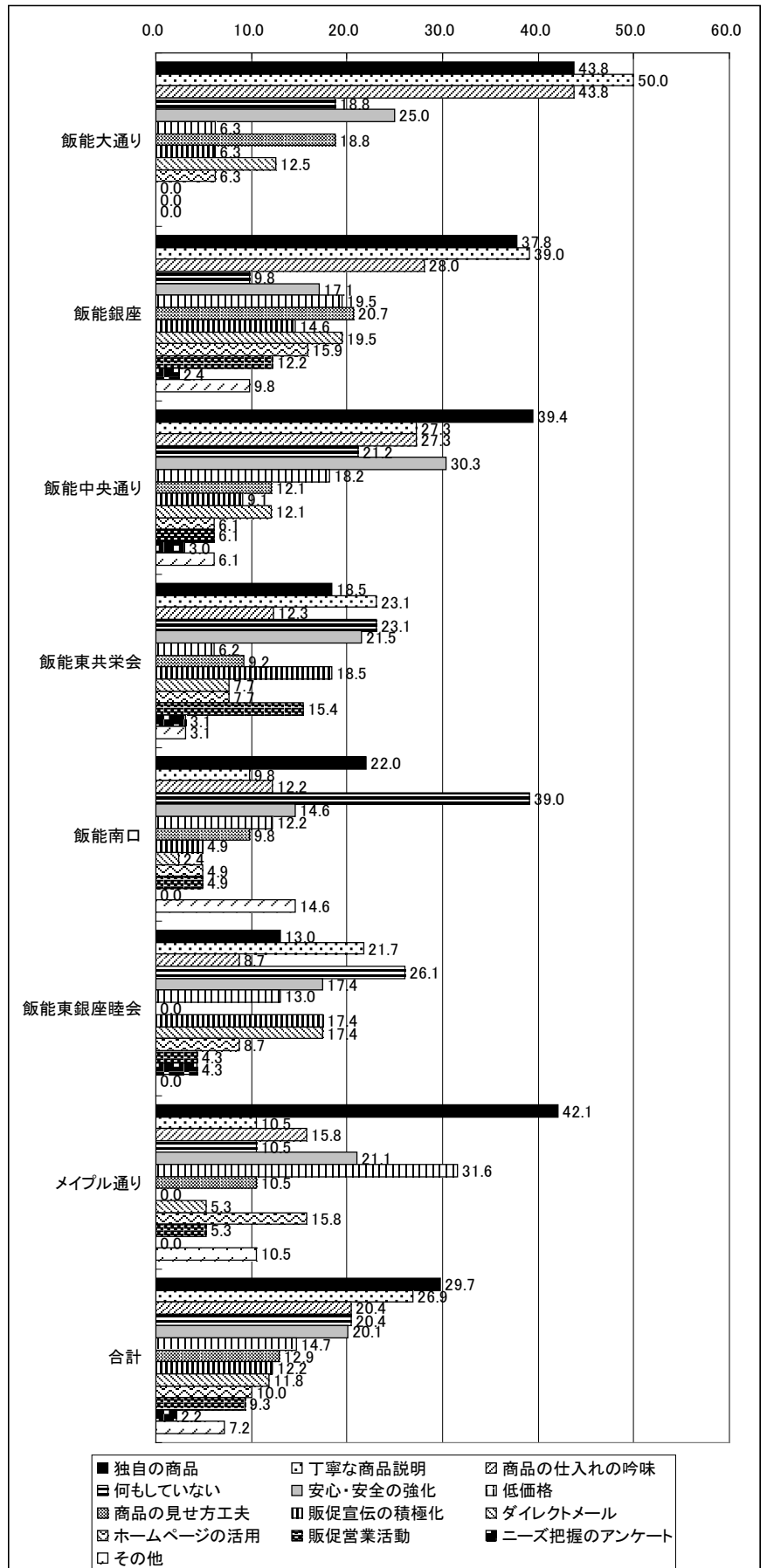
「何もしていない」が 39.0%と最多となっており、2番目に「独自の商品販売」22.0%となっている。

⑥飯能東銀座睦会

「何もしていない」が 26.1%と最多となっており、次いで「丁寧な商品説明」が 21.7%となっている。

⑦メイプル通り

「独自の商品販売」が 42.1%と最多であり、次いで「低価格」、「安心・安全の強化」が続いており、飲食業が最も多い商店街の特徴が出ている。



5. 今後の対応策について

(1) 売上見通し

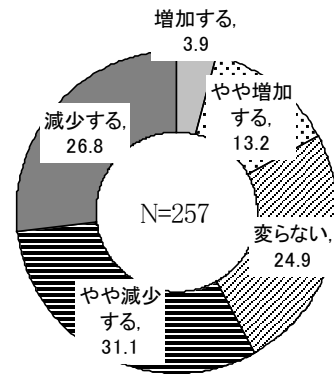
今後の売上見通しについて全体でみると、「増加17.1%（「増加」3.9%+「やや増加」13.2%）」に対し、「変わらない」24.9%、「減少」57.9%（「やや減少」31.1%+「減少」26.8%）」となっており、「減少」見通しが過半数を超えている。

また、「増加（増加+やや増加）」-「減少（減少+やや減少）」=△40.8 ポイントと「減少」見通しが大幅に上回っている。

商店街別に見ると、飯能銀座を除き、他の6商店街は「減少（やや減少+減少）」が過半数を上回っており、その中で、飯能大通りの減少見通しが75.0%で最も高く、次いでメイプル通り68.5%、飯能東共栄会65.5%と続いている。

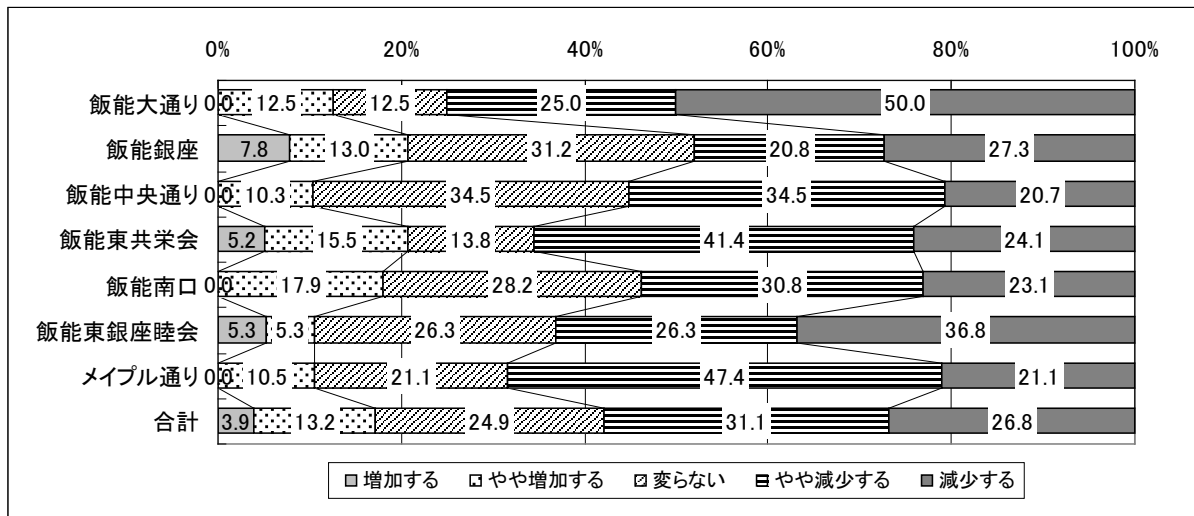
一方、「増加（「やや増加+増加）」の値が高いのは、飯能銀座20.8%、飯能共栄会20.7%で、飯能南口17.9%が続いている。

図表 4-5-1 売上見通し



図表 4-5-2 商店街別売上見通し

(単位:%)



図表 4-5-3 商店街別売上見通し

(単位:店・%)

区分	増加する		やや増加する		変わらない		やや減少する		減少する		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	2	12.5	2	12.5	4	25.0	8	50.0	16	100.0
飯能銀座	6	7.8	10	13.0	24	31.2	16	20.8	21	27.3	77	100.0
飯能中央通り	-	-	3	10.3	10	34.5	10	34.5	6	20.7	29	100.0
飯能東共栄会	3	5.2	9	15.5	8	13.8	24	41.4	14	24.1	58	100.0
飯能南口	-	-	7	17.9	11	28.2	12	30.8	9	23.1	39	100.0
飯能東銀座睦会	1	5.3	1	5.3	5	26.3	5	26.3	7	36.8	19	100.0
メイプル通り	-	-	2	10.5	4	21.1	9	47.4	4	21.1	19	100.0
合計	10	3.9	34	13.2	64	24.9	80	31.1	69	26.8	257	100.0

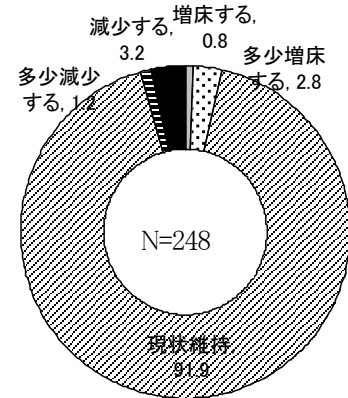
(2) 売場面積の変更予定

現状の売場面積の増床・減床などの変更予定をみると、全体では、「現状維持」が 91.9%と最も多くなっており、「増床(増床+多少増床)」、「減床(多少減床+減床)」とも 3.6%、4.4%とわずかな値となっている。

商店街別にみると、飯能大通り、飯能東銀座睦会は全て「現状維持」となっている。

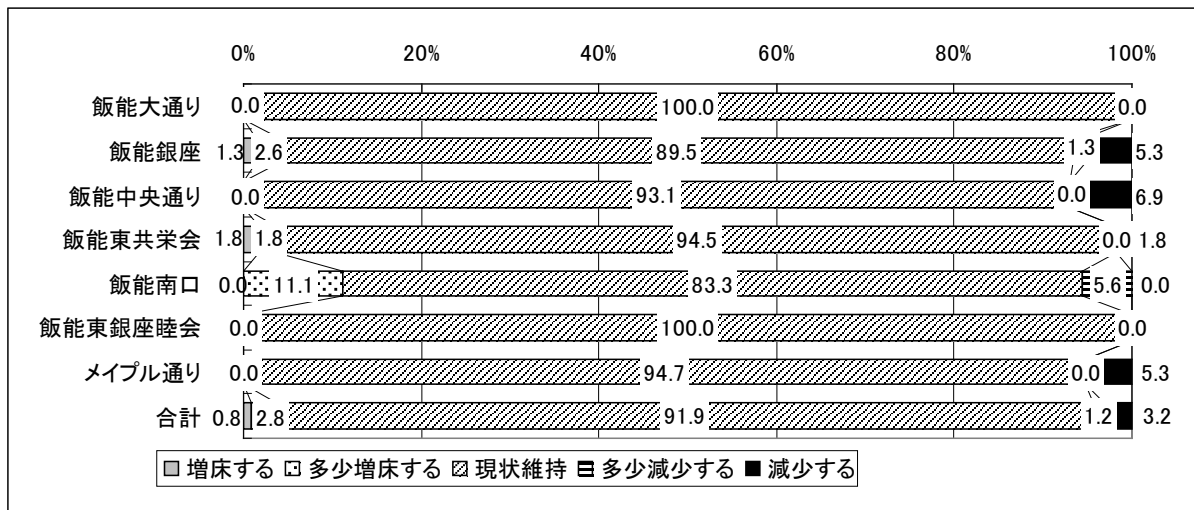
一方、変動が予定されているのは、「増床(増床+多少増床)」は、飯能南口 11.1%、飯能銀座 3.9%、飯能東共栄会 3.6%であり、「減床(多少減床+減床)」は、中央通り 6.9%、飯能銀座 6.6%、飯能南口 5.6%となっている。

図表 4-5-4 売場面積の変更予定



図表 4-5-5 商店街別売場面積の変更予定

(単位:%)



図表 4-5-6 商店街別売場面積の変更予定

(単位:店・%)

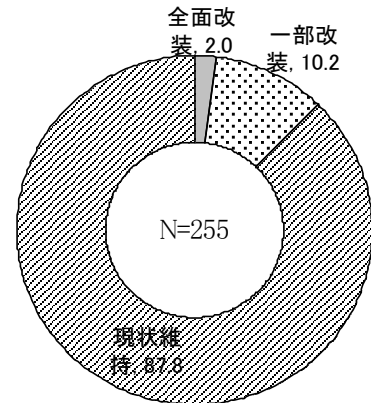
区分	増床する		多少増床する		現状維持		多少減少する		減少する		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	-	-	16	100.0	-	-	-	-	16	100.0
飯能銀座	1	1.3	2	2.6	68	89.5	1	1.3	4	5.3	76	100.0
飯能中央通り	-	-	-	-	27	93.1	-	-	2	6.9	29	100.0
飯能東共栄会	1	1.8	1	1.8	52	94.5	-	-	1	1.8	55	100.0
飯能南口	-	-	4	11.1	30	83.3	2	5.6	-	-	36	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	-	-	17	100.0	-	-	-	-	17	100.0
メイプル通り	-	-	-	-	18	94.7	-	-	1	5.3	19	100.0
合計	2	0.8	7	2.8	228	91.9	3	1.2	8	3.2	248	100.0

(3) 店舗の改装予定

店舗改装予定について全体で見ると、「全面改装」は 2.0%と少なく、「一部改装」は 10.2%となっており、残り 87.8%は現状維持としている。

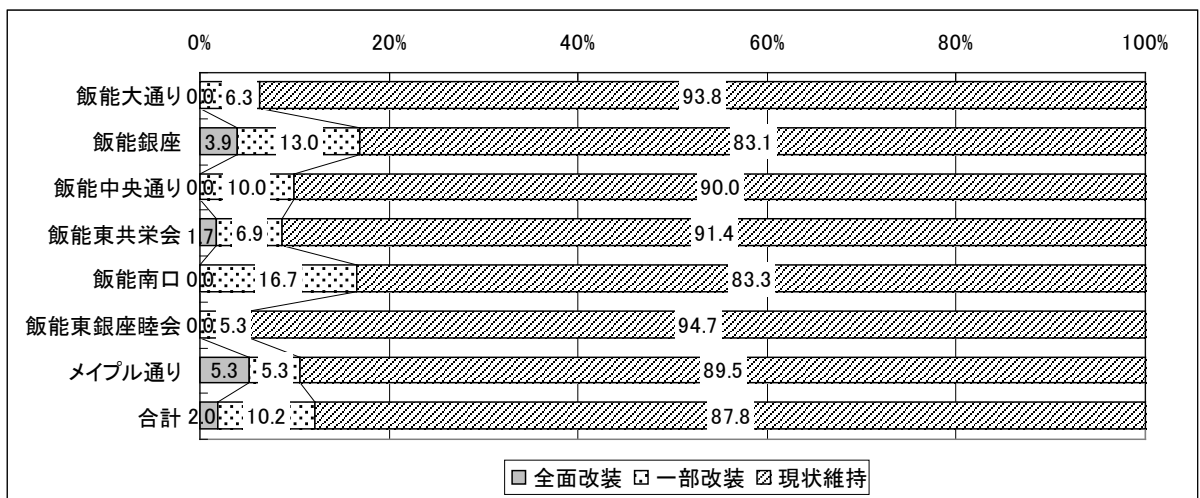
商店街別にみると、「改装(全面改装＋一部改装)」の比率が高いのは、飯能銀座 16.9%、飯能南口 16.7%、メイプル通り 10.6%、飯能中央通り 10.0%となっている。

図表 4-5-7 店舗改装予定



図表 4-5-8 商店街別店舗の改装予定

(単位: %)



図表 4-5-9 商店街別店舗の改装予定

(単位: 店・%)

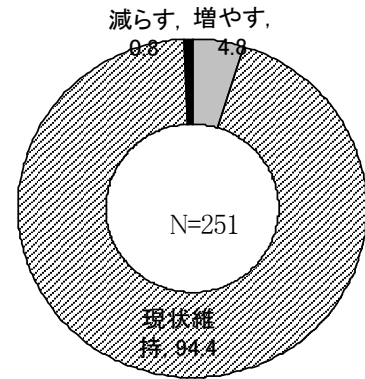
区分	全面改装		一部改装		現状維持		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	1	6.3	15	93.8	16	100.0
飯能銀座	3	3.9	10	13.0	64	83.1	77	100.0
飯能中央通り	-	-	3	10.0	27	90.0	30	100.0
飯能東共栄会	1	1.7	4	6.9	53	91.4	58	100.0
飯能南口	-	-	6	16.7	30	83.3	36	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	1	5.3	18	94.7	19	100.0
メイプル通り	1	5.3	1	5.3	17	89.5	19	100.0
合計	5	2.0	26	10.2	224	87.8	255	100.0

(4) 店舗数の変更予定

今後の店舗の増減予定について全体をみると、「現状維持」が 94.4%と圧倒的に多く、「増やす」は 12 店 4.8%であり、「減らす」の 2 店 0.8%を上回っている。

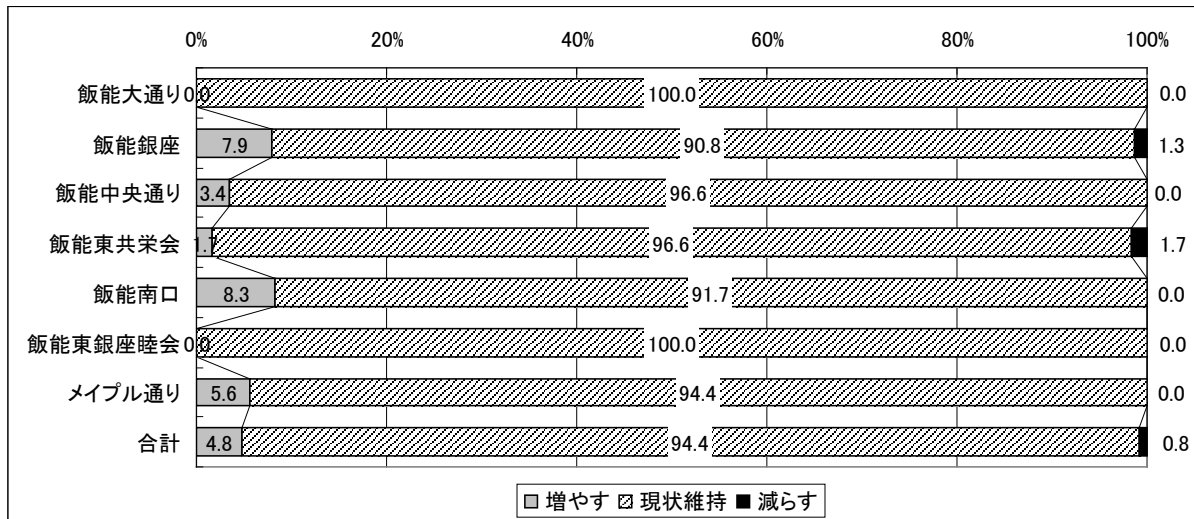
商店街別にみると、「増やす」が多いのは飯能銀座の 6 店 7.9%、飯能南口 3 店 8.3%である。

図表 4-5-10 店舗数の変更予定



図表 4-5-11 商店街別店舗数の変更予定

(単位: %)



図表 4-5-12 商店街別店舗数の変更予定

(単位: 店・%)

区分	増やす		現状維持		減らす		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	16	100.0	-	-	16	100.0
飯能銀座	6	7.9	69	90.8	1	1.3	76	100.0
飯能中央通り	1	3.4	28	96.6	-	-	29	100.0
飯能東共栄会	1	1.7	56	96.6	1	1.7	58	100.0
飯能南口	3	8.3	33	91.7	-	-	36	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	18	100.0	-	-	18	100.0
メイプル通り	1	5.6	17	94.4	-	-	18	100.0
合計	12	4.8	237	94.4	2	0.8	251	100.0

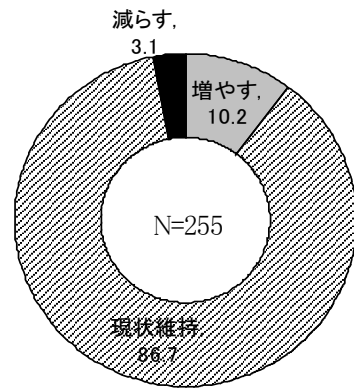
(5)店員数の変更予定

店員数の増減予定について全体をみると、現状維持が 86.7%と圧倒的に多く、「増やす」は 26 店 10.2%となっており、「減らす」の 8 店 3.1%を上回っている。

商店街別にみると、飯能銀座、飯能中央通り、飯能南口、飯能東共栄会の4商店街では、「増やす」としている比率が「減らす」の比率を上回っている。

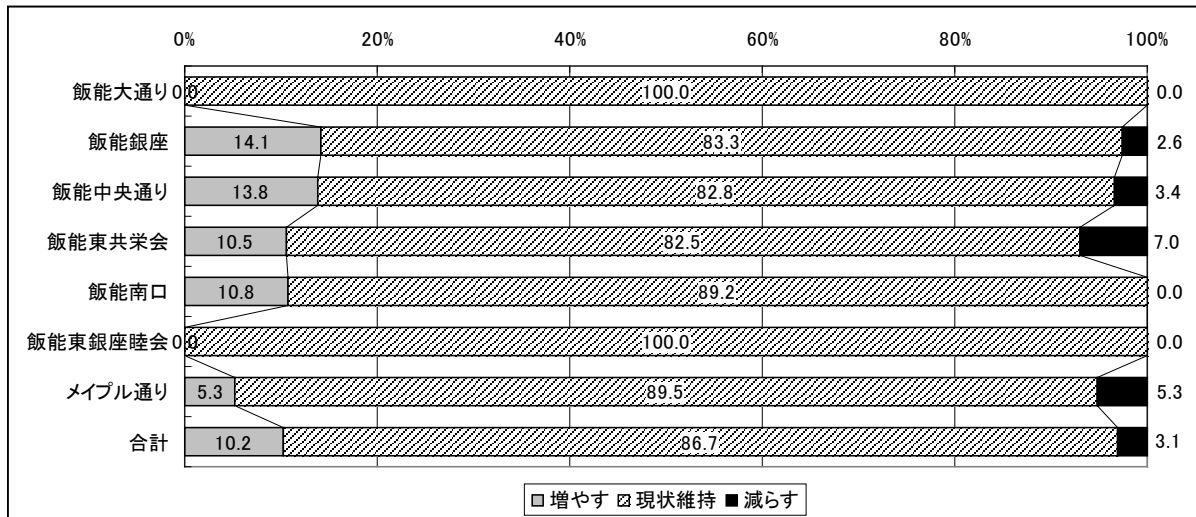
一方、飯能大通り、飯能東銀座睦会では、全店が「現状維持」となっている。

図表 4-5-13 店員数の変更予定



図表 4-5-14 商店街別店員数の変更予定

(単位:%)



図表 4-5-15 商店街別店員数の変更予定

(単位:店・%)

区分	増やす		現状維持		減らす		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	16	100.0	-	-	16	100.0
飯能銀座	11	14.1	65	83.3	2	2.6	78	100.0
飯能中央通り	4	13.8	24	82.8	1	3.4	29	100.0
飯能東共栄会	6	10.5	47	82.5	4	7.0	57	100.0
飯能南口	4	10.8	33	89.2	-	-	37	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	19	100.0	-	-	19	100.0
メイプル通り	1	5.3	17	89.5	1	5.3	19	100.0
合計	26	10.2	221	86.7	8	3.1	255	100.0

(6)商品構成の変更予定

現在の商品構成を変更する予定の有無について全体でみると、「商品構成を変更したい」とするのは29.0%であり、「現状維持」が70.9%と最多となっている。

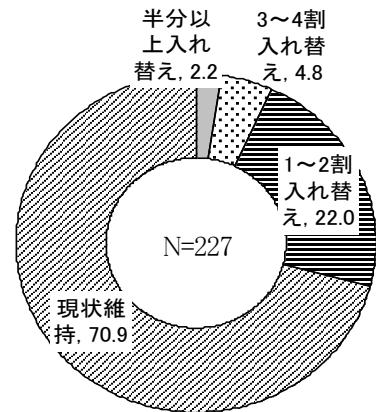
「商品構成を変更する予定」の内訳をみると、

- ①半分以上入替 …… 2.2%
- ②3～4割入替 …… 4.8%
- ③1～2割入替 …… 22.0%

となっており、「1～2割入替」が多い状況である。

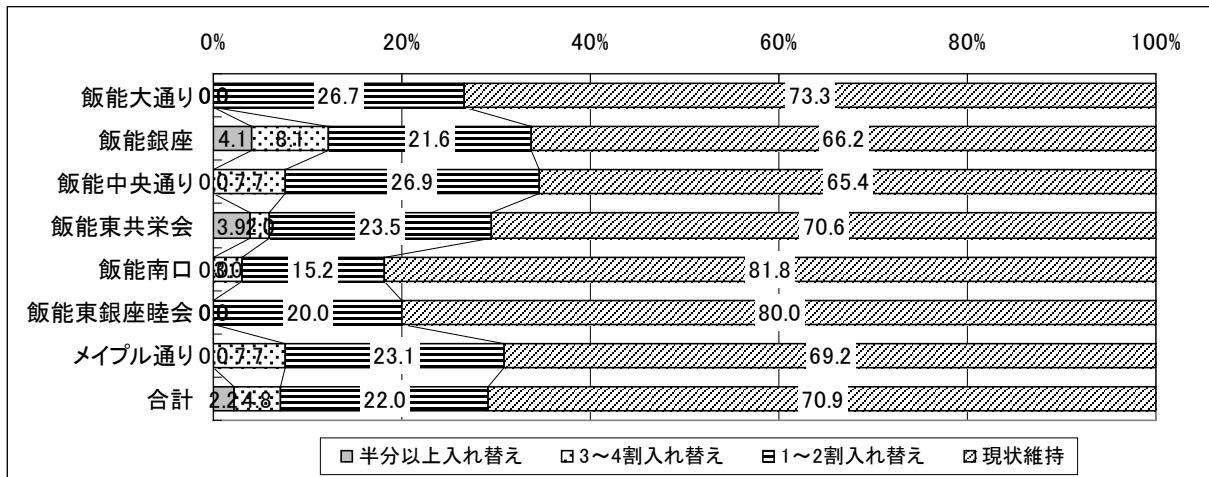
商店街別に見ると、商品構成入替を予定している比率が高いのは、飯能中央通り34.6%、飯能銀座33.8%、メイプル通り30.8%となっている。

図表 4-5-16 商品構成の変更予定



図表 4-5-17 商店街別商品構成の変更予定

(単位:%)



図表 4-5-18 商店街別商品構成の変更予定

(単位:店・%)

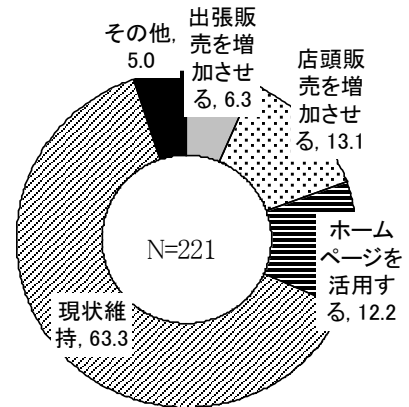
区 分	半分以上入替		3～4割入替		1～2割入替		現状維持		合 計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	%構成比	店	構成比
飯能大通り	-	-	-	-	4	26.7	11	73.3	15	100.0
飯能銀座	3	4.1	6	8.1	16	21.6	49	66.2	74	100.0
飯能中央通り	-	-	2	7.7	7	26.9	17	65.4	26	100.0
飯能東共栄会	2	3.9	1	2.0	12	23.5	36	70.6	51	100.0
飯能南口	-	-	1	3.0	5	15.2	27	81.8	33	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	-	-	3	20.0	12	80.0	15	100.0
メイプル通り	-	-	1	7.7	3	23.1	9	69.2	13	100.0
合 計	5	2.2	11	4.8	50	22.0	161	70.9	227	100.0

(7) 販売方法の変更予定

売上高を伸ばす方法として販売方法の変更について全体でみると、「現状維持」が 63.3%となっているものの、「店頭販売の増加」13.1%、「ホームページの活用」12.2%、「出張販売の増加」6.3%、「その他」5.0%と各種の対策を講じようとしている状況が窺われる。

商店街別にみると、販売方法の変更を考えている比率が高いのは、飯能銀座 44.1%が、飯能中央通り 33.3%、飯能大通り 35.7%の順となっている。

図表 4-5-19 販売方法の変更



図表 4-5-20 商店街別販売方法の変更

(単位: %)

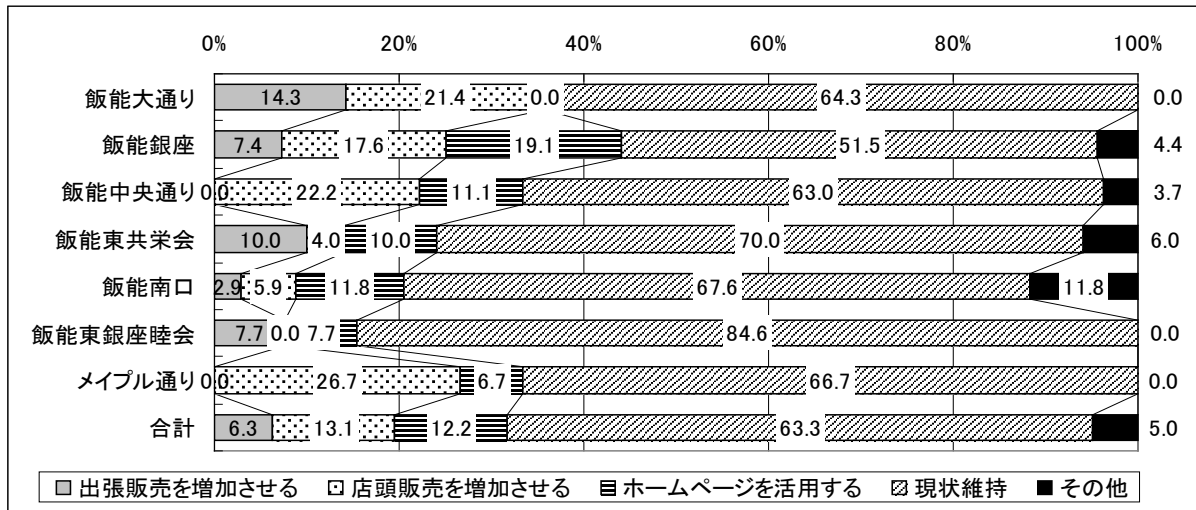


表 4-5-21 商店街別販売方法の変更

(単位: 店・%)

区分	出張販売を増加させる		店頭販売を増加させる		ホームページを活用する		現状維持		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	2	14.3	3	21.4	-	-	9	64.3	-	-	14	100.0
飯能銀座	5	7.4	12	17.6	13	19.1	35	51.5	3	4.4	68	100.0
飯能中央通り	-	-	6	22.2	3	11.1	17	63.0	1	3.7	27	100.0
飯能東共栄会	5	10.0	2	4.0	5	10.0	35	70.0	3	6.0	50	100.0
飯能南口	1	2.9	2	5.9	4	11.8	23	67.6	4	11.8	34	100.0
飯能東銀座睦会	1	7.7	-	-	1	7.7	11	84.6	-	-	13	100.0
メイプル通り	-	-	4	26.7	1	6.7	10	66.7	-	-	15	100.0
合計	14	6.3	29	13.1	27	12.2	140	63.3	11	5.0	221	100.0

(8) 出張販売

出張販売について全体をみると、回答 187 店のうち 46 店 24.6%が行っており、「今後も続ける」が 43 店 23.0%、「撤退予定」が 3 店 1.6%となっている。

また、積極的に「やってみたい」は 12 店 6.4%ある。

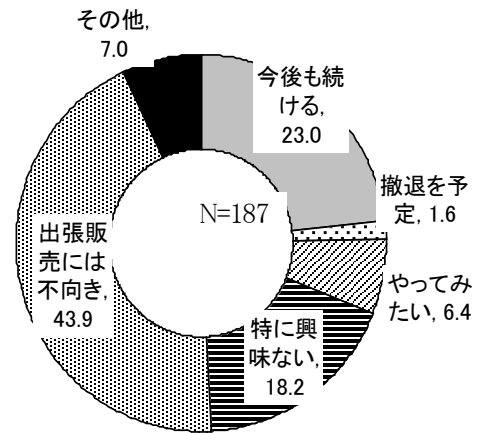
一方、「特に興味がない」は 18.2%、「出張には不向き」が最多の 43.9%となっている。

商店街別にみると、出張販売が多いのは、飯能銀座と飯能東共栄会で共に 15 店である。飯能東共栄会では撤退を予定している先が 2 店ある。

出張販売を「今後も続ける」と「やってみたい」を合算すると、多い順に、飯能銀座 18 店、飯能東共栄会 15 店、飯能大通り 7 店、飯能南口 7 店となっている。

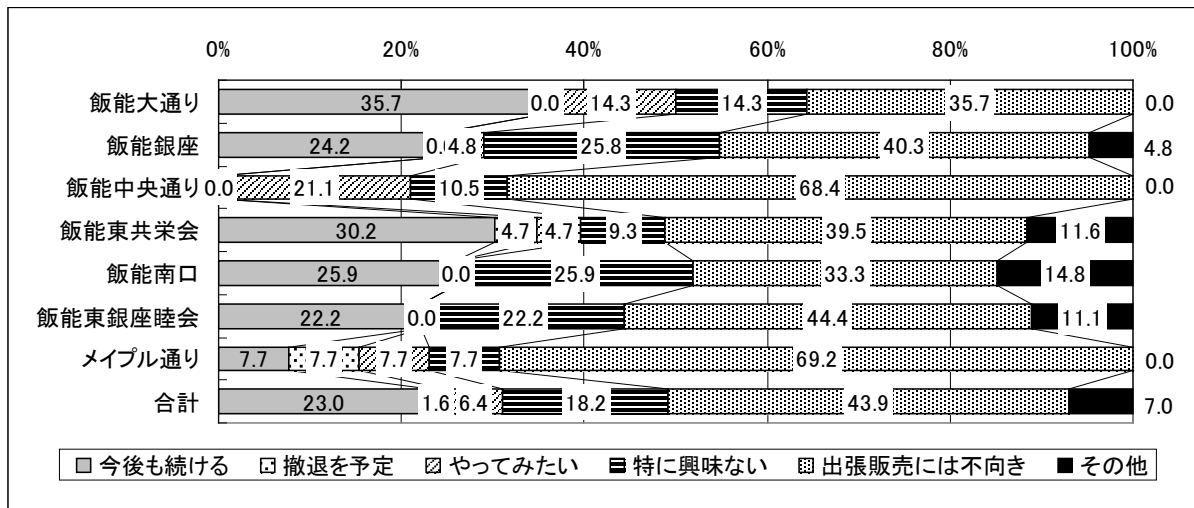
その他の商店街でも出張販売について実施しているか、検討しており、来店者を待つのではない販売方法を検討していることが窺われる。

図表 5-22 出張販売



図表 4-5-23 商店街別出張販売

(単位: %)



図表 4-5-24 商店街別出張販売

(単位: 店・%)

区分	今後も続ける		撤退を予定		やってみたい		特に興味はない		出張販売には不向き		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	5	35.7	-	-	2	14.3	2	14.3	5	35.7	-	-	14	100.0
飯能銀座	15	24.2	-	-	3	4.8	16	25.8	25	40.3	3	4.8	62	100.0
飯能中央通り	-	-	-	-	4	21.1	2	10.5	13	68.4	-	-	19	100.0
飯能東共栄会	13	30.2	2	4.7	2	4.7	4	9.3	17	39.5	5	11.6	43	100.0
飯能南口	7	25.9	-	-	-	-	7	25.9	9	33.3	4	14.8	27	100.0
飯能東銀座睦会	2	22.2	-	-	-	-	2	22.2	4	44.4	1	11.1	9	100.0
メイプル通り	1	7.7	1	7.7	1	7.7	1	7.7	9	69.2	-	-	13	100.0
合計	43	23.0	3	1.6	12	6.4	34	18.2	82	43.9	13	7.0	187	100.0

(9) 販売促進方法

現在の販売促進方法を変更する場合について、全体では、「特に予定していない」が58.0%で最多となっている。

販売促進方法で多いのは「チラシ・DMの増加」が18.3%、次いで「ホームページの活用」12.9%となっている。「値引き販売の強化」は4.0%と少なく、「その他」が6.7%となっている。

商店街別にみると、全商店街で各種の対策を取っている。

飯能大通り・・・「チラシ・DMの増加」が23.1%と多い
 飯能銀座・・・「チラシ・DMの増加」・「ホームページの活用」共に多くなっている

飯能中央通り・・・「チラシ・DMの増加」が最多であるが、
 その他の方法も検討している

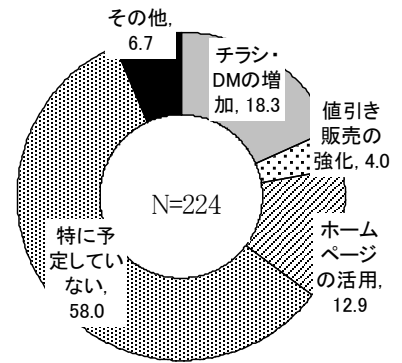
飯能東共栄会・・・「チラシ・DMの増加」・「ホームページの活用」・「その他」に分散している

飯能南口・・・「ホームページの活用」がやや多いが、他の方法も検討している

飯能東銀座睦会・・・「チラシ・DMの増加」と「値引き販売の強化」を挙げている

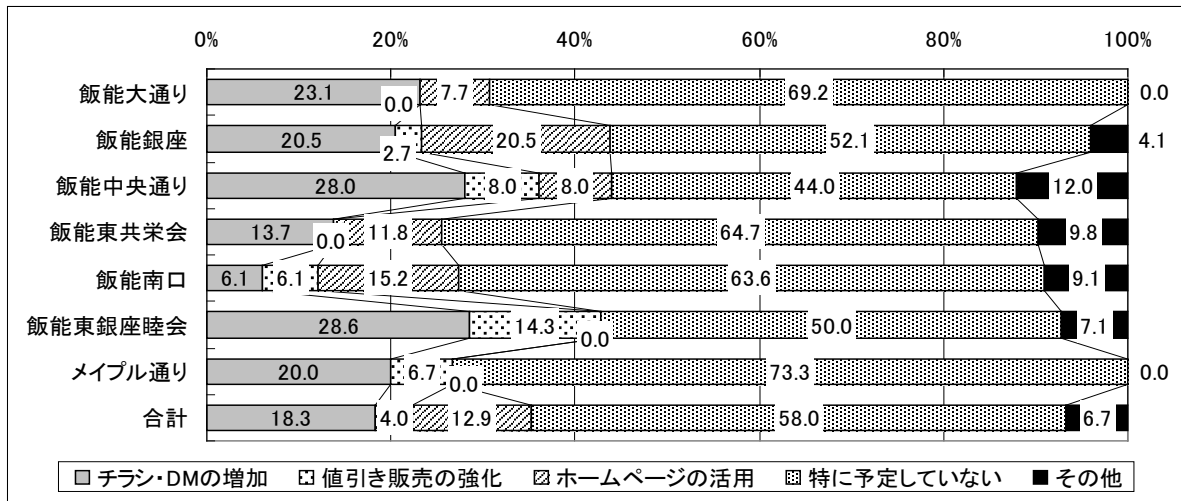
メイプル通り・・・「チラシ・DMの増加」が多いが、「特に予定していない」という比率が商店街の中で最多となっている

図表 4-5-25 販売促進方法



図表 4-5-26 商店街別販売促進方法

(単位: %)



図表 4-5-27 商店街別販売促進方法

(単位: 店・%)

	チラシ・DMの増加		値引き販売の強化		ホームページの活用		特に予定していない		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	23.1	-	-	1	7.7	9	69.2	-	-	13	100.0
飯能銀座	15	20.5	2	2.7	15	20.5	38	52.1	3	4.1	73	100.0
飯能中央通り	7	28.0	2	8.0	2	8.0	11	44.0	3	12.0	25	100.0
飯能東共栄会	7	13.7	-	-	6	11.8	33	64.7	5	9.8	51	100.0
飯能南口	2	6.1	2	6.1	5	15.2	21	63.6	3	9.1	33	100.0
飯能東銀座睦会	4	28.6	2	14.3	-	-	7	50.0	1	7.1	14	100.0
メイプル通り	3	20.0	1	6.7	-	-	11	73.3	-	-	15	100.0
合計	41	18.3	9	4.0	29	12.9	130	58.0	15	6.7	224	100.0

(10) 閉店時間の遅延

閉店時間については、「2.個店の概要」(13)-②の調査結果(p.24)では「19 時以前に閉店」の割合は 28.9%で、「19 時台に閉店」の割合は 38.7%となっており、8 時前には 67.6%の商店が閉店している。

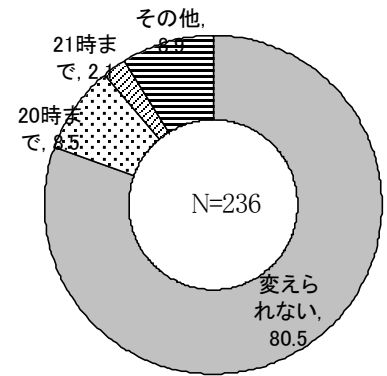
そこで、閉店時間を何時まで延長できるかについての質問に対し、全体では「変えられない」が 80.5%で最多となっている。

「20 時迄延長可能」の割合は 8.5%、21 時まででは 2.1%、その他 8.9%という結果であり、営業時間を伸ばすことはかなり難しい状況にある。

商店街別にみると、「変えられない」とする比率が高いのは、飯能東銀座睦会 93.8%、飯能中央通り 86.2%、飯能東共栄会 84.6%の順となっている。

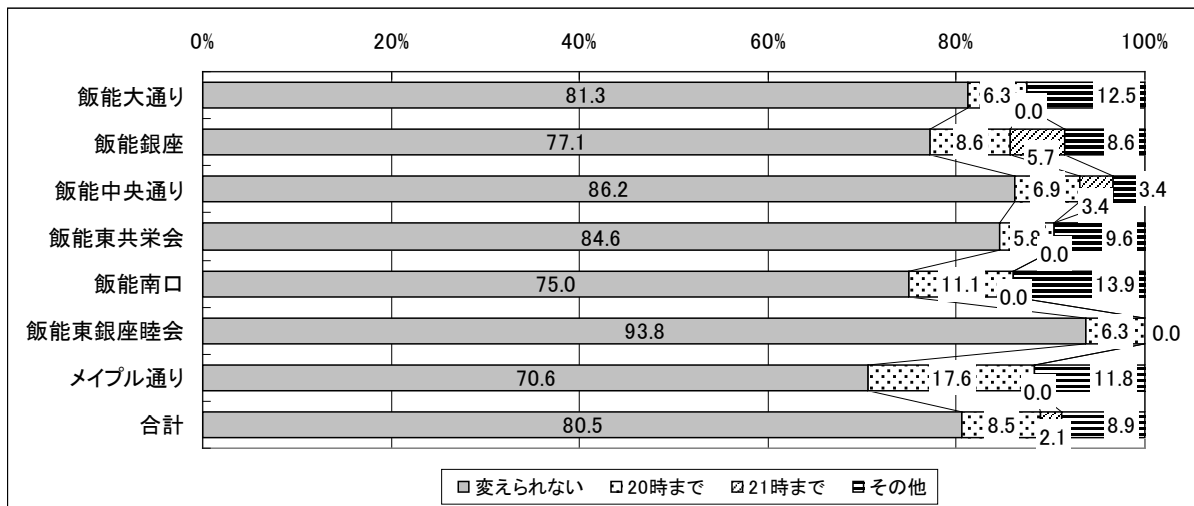
「20 時まで」延長できる比率が高いのは、メイプル通り 17.6%、飯能南口 11.1%、飯能銀座 8.6%などとなっている。

図表 4-5-28 閉店時間の遅延



図表 4-5-29 商店街別閉店時間の変更許容度

(単位:%)



図表 4-5-30 商店街別閉店時間の変更許容度

(単位:店・%)

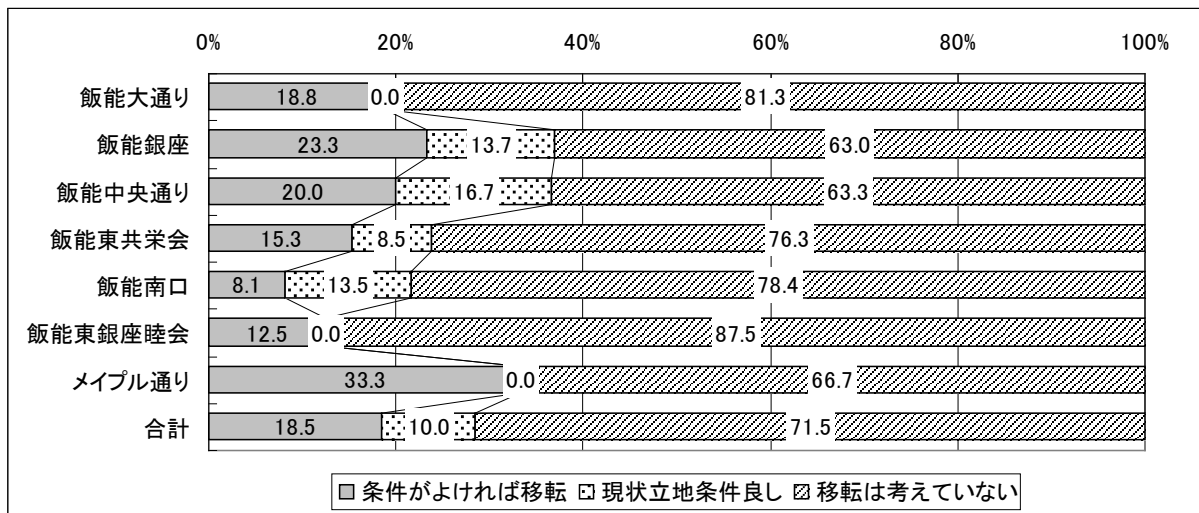
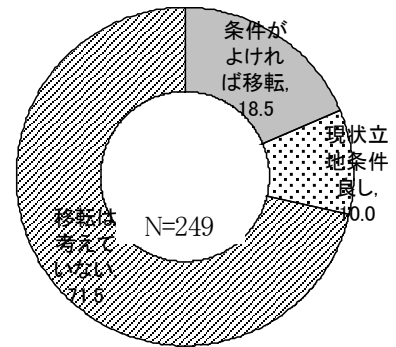
区分	変えられない		20時まで		21時まで		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	13	81.3	1	6.3	-	-	2	12.5	16	100.0
飯能銀座	54	77.1	6	8.6	4	5.7	6	8.6	70	100.0
飯能中央通り	25	86.2	2	6.9	1	3.4	1	3.4	29	100.0
飯能東共栄会	44	84.6	3	5.8	-	-	5	9.6	52	100.0
飯能南口	27	75.0	4	11.1	-	-	5	13.9	36	100.0
飯能東銀座睦会	15	93.8	1	6.3	-	-	-	-	16	100.0
メイプル通り	12	70.6	3	17.6	-	-	2	11.8	17	100.0
合計	190	80.5	20	8.5	5	2.1	21	8.9	236	100.0

(11) 店 舗 の 移 転 構 想
図表 4-5-31 店舗の移転構想

店舗移転について考えているかについて全体でみると、「条件が良ければ移転しても良い」と積極的に移転を考えている」は 18.5%である。一方、「現状の立地条件は良い」が 10.0%であり、「移転は考えていない」が 71.5%であり、合わせて 81.5%が移転については考えていない。

商店街別にみると、「条件が良ければ移転しても良い」とする比率が高いのは、メイプル通りの 33.3%、飯能銀座 23.3%、飯能中央通り 20.0%の順となっている。

なお、「現状の立地条件が良い」と「移転は考えていない」を合わせた比率が高いのは、飯能南口 91.9%、飯能東銀座睦会 87.5%、飯能東共栄会 84.8%となっている。



図表 4-5-32 商店街別店舗の移転構想

(単位: %)

図表 4-5-33 商店街別店舗の移転構想

(単位: 店・%)

区 分	条件がよければ移転		現状立地条件良し		移転は考えていない		合 計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	18.8	-	-	13	81.3	16	100.0
飯能銀座	17	23.3	10	13.7	46	63.0	73	100.0
飯能中央通り	6	20.0	5	16.7	19	63.3	30	100.0
飯能東共栄会	9	15.3	5	8.5	45	76.3	59	100.0
飯能南口	3	8.1	5	13.5	29	78.4	37	100.0
飯能東銀座睦会	2	12.5	-	-	14	87.5	16	100.0
メイプル通り	6	33.3	-	-	12	66.7	18	100.0
合 計	46	18.5	25	10.0	178	71.5	249	100.0

(12) 業種・業態等の変更予定
図表 4-5-34 業種・業態等の変更予定

現状の業種や業態を全部変更又は一部転換する予定、もしくは廃業を予定しているのかについて、全体で見ると、現状維持が93.6%と最多となっている。

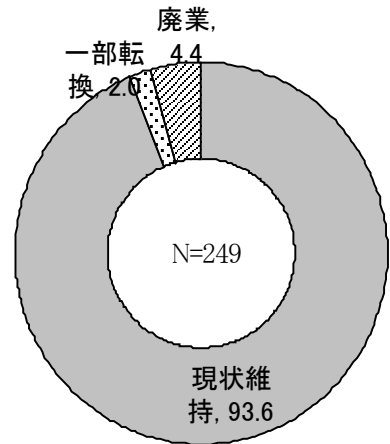
全部変更は該当が無く、一部転換予定は5店で2%、廃業予定は11店4.4%となっている。

商店街別にみると、飯能大通りは全店「現状維持」であり、メイプル通りも「廃業」はなく、一部転換が1店となっている。

廃業予定は、飯能中央通り・飯能東銀座睦会が3店、飯能銀座・飯能東共栄会が2店・飯能南口が1店となっている。

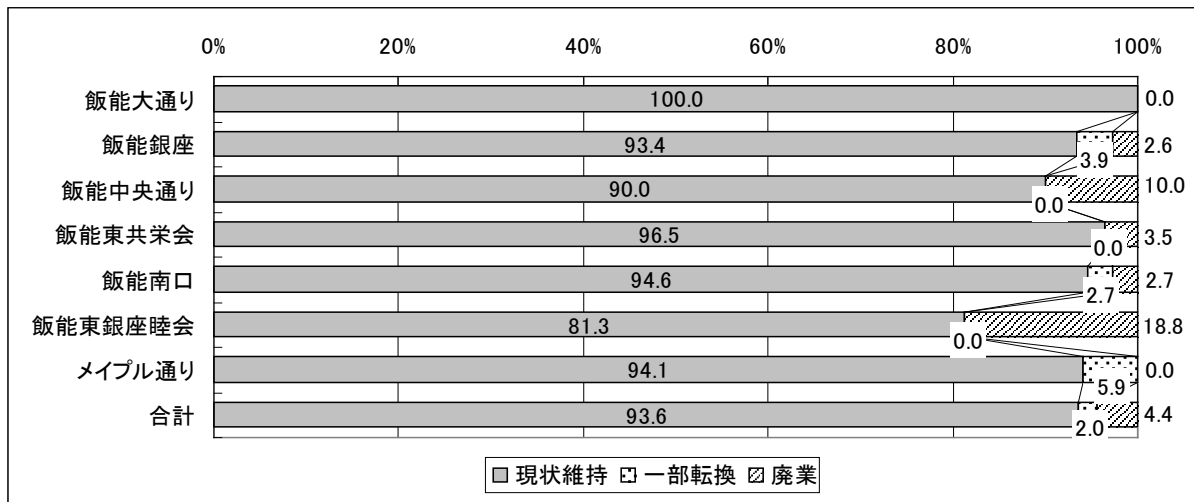
そのほか業種を「一部転換」して、商売を継続するとしている店は、飯能銀座で3店、飯能南口とメイプル通りで1店となっている。

なお、「一部転換」する予定と回答した転換しようとする業種は、「一般小売」・「他店にない商品を守る店」・「未定」(各1店)・「無回答」(2店)の計5店であった。



図表 4-5-35 商店街別業種・業態等の変更予定

(単位: %)



図表 4-5-36 商店街別業種・業態等の変更予定

(単位: 店・%)

区分	現状維持		一部転換		廃業		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成%	店	構成比
飯能大通り	16	100.0	-	-	-	-	16	100.0
飯能銀座	71	93.4	3	3.9	2	2.6	76	100.0
飯能中央通り	27	90.0	-	-	3	10.0	30	100.0
飯能東共栄会	55	96.5	-	-	2	3.5	57	100.0
飯能南口	35	94.6	1	2.7	1	2.7	37	100.0
飯能東銀座睦会	13	81.3	-	-	3	18.8	16	100.0
メイプル通り	16	94.1	1	5.9	-	-	17	100.0
合計	233	93.6	5	2.0	11	4.4	249	100.0

(13)後継者の有無

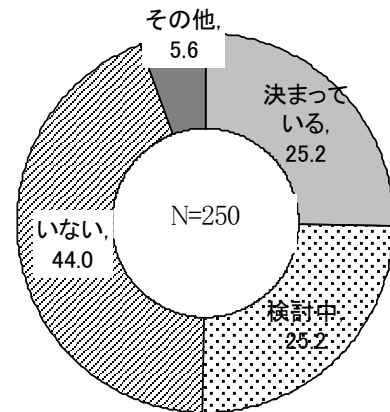
個店の後継者の状況について全体でみると、「決まっている」のは63店25.2%、「現在検討中(未定)」も63店25.2%であり、「その他」が14店5.6%となっている。

一方、「後継者はいない」が110店44.0%と非常に大きな比率となっている。このうち9店は、前記の業態変更について「廃業予定」と回答している。

商店街別にみると、飯能東共栄会は「決まっている」と「現在検討中(未定)」を併せると61.4%と高い比率となっている。

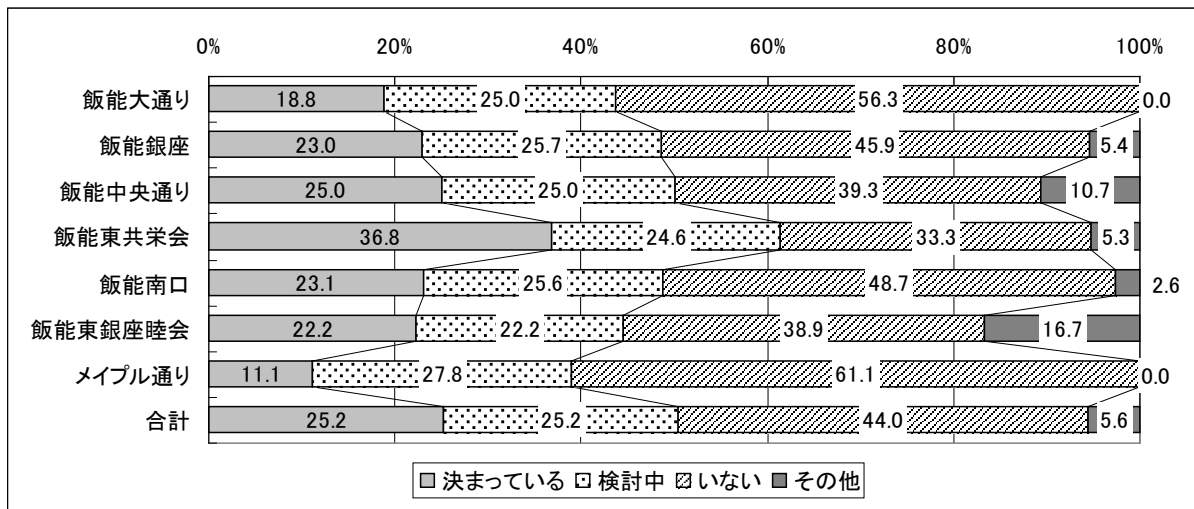
一方、「後継者はいない」とする比率が高いのは、メイプル通り61.1%、飯能大通り56.3%、飯能南口48.7%、飯能銀座45.9%の順となっている。

図表 4-5-37 後継者の有無



図表 4-5-38 商店街別後継者の有無

(単位:%)



図表 4-5-39 商店街別後継者の有無

(単位:店・%)

区分	決まっている		検討中		いない		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	18.8	4	25.0	9	56.3	-	-	16	100.0
飯能銀座	17	23.0	19	25.7	34	45.9	4	5.4	74	100.0
飯能中央通り	7	25.0	7	25.0	11	39.3	3	10.7	28	100.0
飯能東共栄会	21	36.8	14	24.6	19	33.3	3	5.3	57	100.0
飯能南口	9	23.1	10	25.6	19	48.7	1	2.6	39	100.0
飯能東銀座睦会	4	22.2	4	22.2	7	38.9	3	16.7	18	100.0
メイプル通り	2	11.1	5	27.8	11	61.1	-	-	18	100.0
合計	63	25.2	63	25.2	110	44.0	14	5.6	250	100.0

6. 商店街の状況について

(1) 商店街の組織活動状況

商店街の組織活動の状況について、全体でみると、「活発である」は5.7%、「どちらかといえば活発である」が13.1%となっており、合わせて18.8%が「活発」としている。

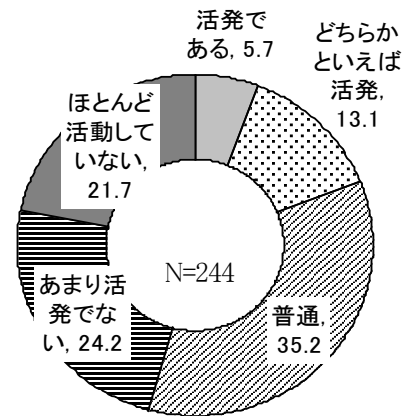
「普通」は35.2%と最多となっている。

また、「あまり活発ではない」は24.2%、「ほとんど活動していない」が21.7%となっており、両者を合わせると45.9%が、商店街の組織活動は「活発ではない」と判断している。

商店街別にみると飯能大通りと飯能銀座は、「活発である」+「どちらかといえば活発である」の割合が高く43.8%、41.9%となっている。

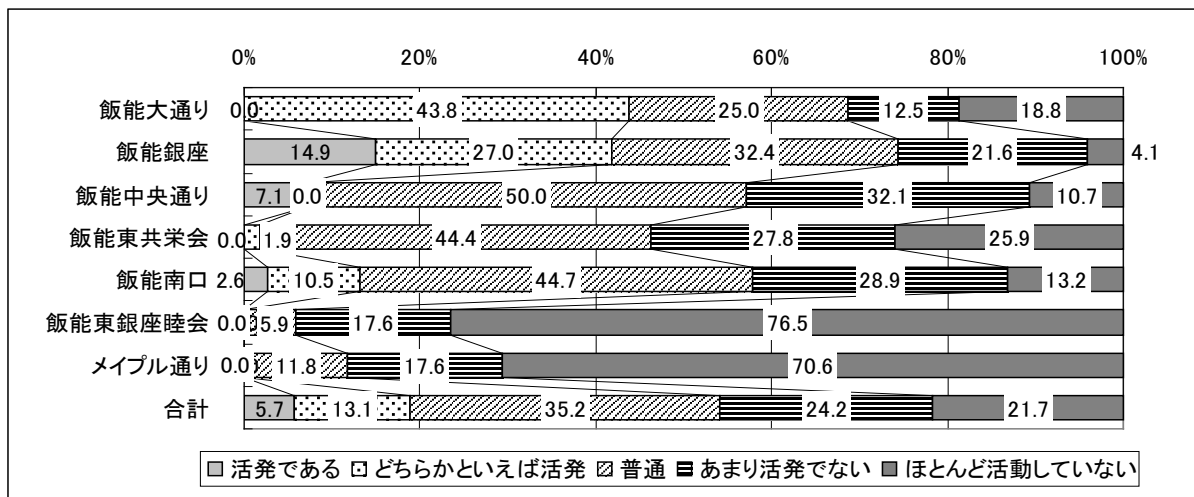
一方、飯能東銀座睦会とメイプル通りでは、「あまり活発ではない」+「ほとんど活動していない」を合わせると、94.1%、88.2%と高い値となっている。

図表 4-6-1 商店街の組織活動状況



図表 4-6-2 商店街別の組織活動状況

(単位:%)



図表 4-6-3 商店街別の組織活動状況

(単位:店・%)

区分	活発である		どちらかといえば活発		普通		あまり活発でない		ほとんど活動していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り街	-	-	7	43.8	4	25.0	2	12.5	3	18.8	16	100.0
飯能銀座	11	14.9	20	27.0	24	32.4	16	21.6	3	4.1	74	100.0
飯能中央通り	2	7.1	-	-	14	50.0	9	32.1	3	10.7	28	100.0
飯能東共栄会	-	-	1	1.9	24	44.4	15	27.8	14	25.9	54	100.0
飯能南口	1	2.6	4	10.5	17	44.7	11	28.9	5	13.2	38	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	-	-	1	5.9	3	17.6	13	76.5	17	100.0
メイプル通り	-	-	-	-	2	11.8	3	17.6	12	70.6	17	100.0
合計	14	5.7	32	13.1	86	35.2	59	24.2	53	21.7	244	100.0

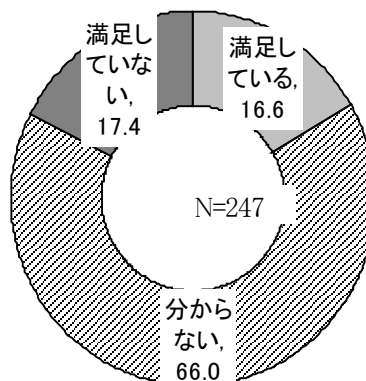
(2)商店街の共同事業の満足度

商店街の共同事業の満足度について全体をみると、「分らない」が66.0%と全体の3分の2を占める状態となっている。また、「満足している」と「満足していない」は16.6%、17.4%とほぼ拮抗している。

商店街別に「満足している」-「満足していない」の値をみると、飯能南口は18.9ポイントと満足度がかなり高い状況にある。また、飯能大通りと飯能銀座も6.3、5.4ポイントと満足度の方が上回っている。

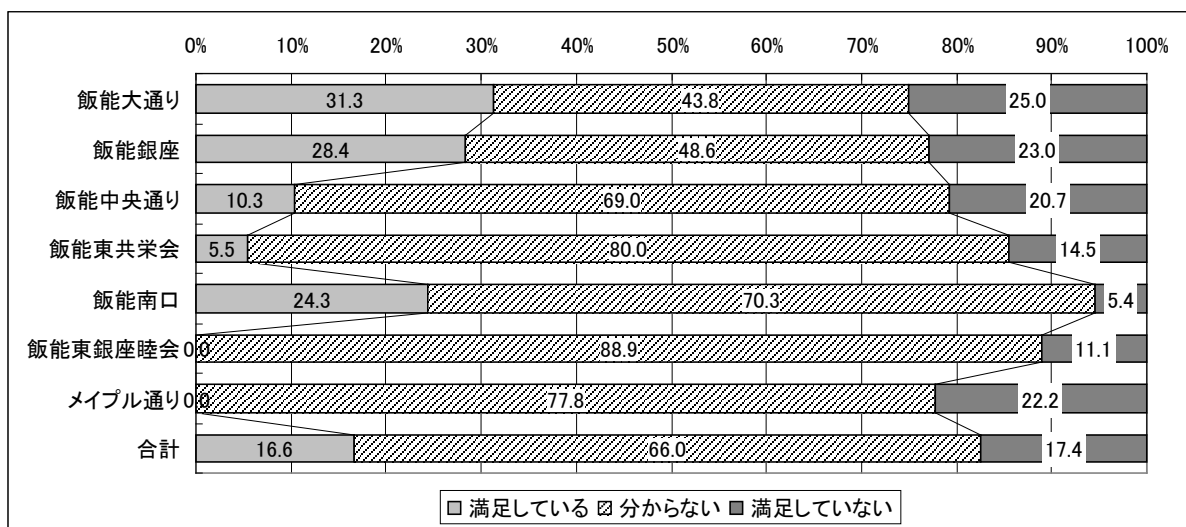
一方、メイプル通りは△22.2ポイントと満足度は低く、その他飯能東銀座睦会、飯能中央通り、飯能共栄会もそれぞれ△11.1、△10.4、△9.0ポイントと満足度は低位にある。

図表 4-6-4 商店街の共同事業の満足度



図表 4-6-5 商店街別の共同事業の満足度

(単位:%)



図表 4-6-6 商店街別の共同事業の満足度

(単位:店・%)

比率	満足している		分らない		満足していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	5	31.3	7	43.8	4	25.0	16	100.0
飯能銀座	21	28.4	36	48.6	17	23.0	74	100.0
飯能中央通り	3	10.3	20	69.0	6	20.7	29	100.0
飯能東共栄会	3	5.5	44	80.0	8	14.5	55	100.0
飯能南口	9	24.3	26	70.3	2	5.4	37	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	16	88.9	2	11.1	18	100.0
メイプル通り	-	-	14	77.8	4	22.2	18	100.0
合計	41	16.6	163	66.0	43	17.4	247	100.0

(3)各種イベントの売上貢献度

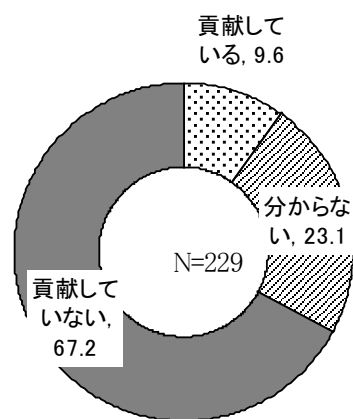
飯能市内で行われているイベントのうち、8イベントの売上貢献度についてとりまとめたところ、以下のような状況であった。

①奥武蔵駅伝競走大会

1月の奥武蔵駅伝競走大会の売上貢献度を全体で見ると、「貢献していない」が67.2%と圧倒的に多く、次いで「分らない」が23.1%、「貢献している」は9.6%となっている。

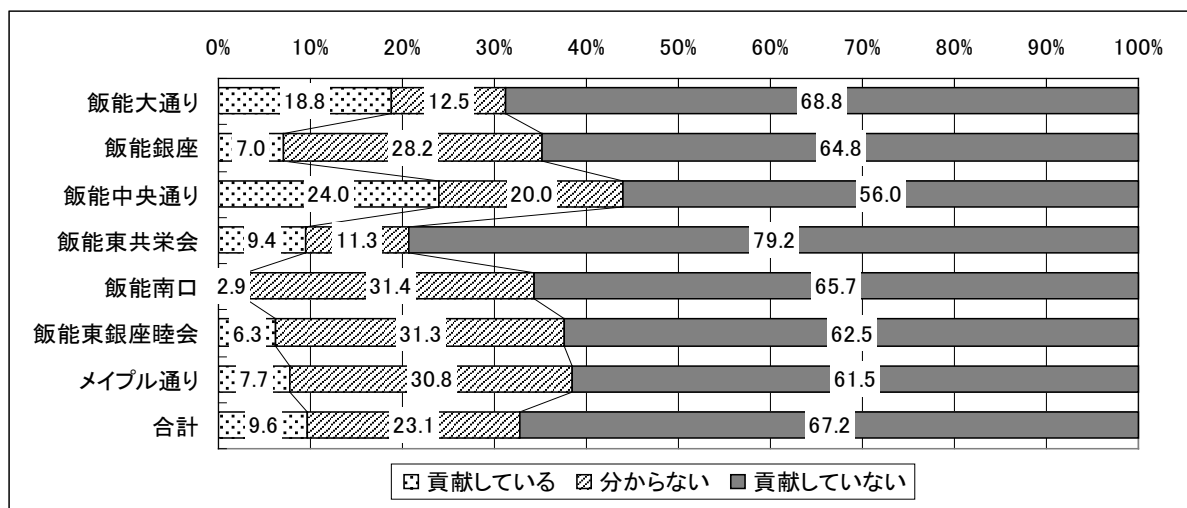
商店街別にみると、飯能中央通りと飯能大通りが「貢献している」とする割合が高く、それぞれ24.0%、18.8%となっている。

図表 4-6-7 奥武蔵駅伝競走大会



図表 4-6-8 商店街別の「奥武蔵駅伝競走大会」貢献度

(単位:%)



図表 4-6-9 商店街別の「奥武蔵駅伝競走大会」の貢献度

(単位:店・%)

区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	3	18.8	2	12.5	11	68.8	16	100.0
飯能銀座	5	7.0	20	28.2	46	64.8	71	100.0
飯能中央通り	6	24.0	5	20.0	14	56.0	25	100.0
飯能東共栄会	5	9.4	6	11.3	42	79.2	53	100.0
飯能南口	1	2.9	11	31.4	23	65.7	35	100.0
飯能東銀座睦会	1	6.3	5	31.3	10	62.5	16	100.0
メイプル通り	1	7.7	4	30.8	8	61.5	13	100.0
合計	22	9.6	53	23.1	154	67.2	229	100.0

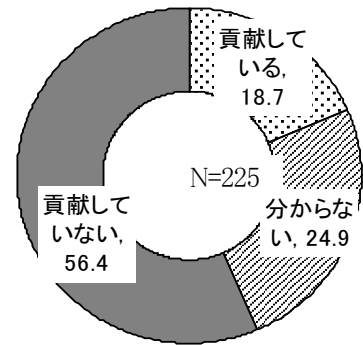
② 雑飾りお宝展 in 飯能

3月の「雑飾りお宝展 in 飯能」(平成18年より開始)の売上貢献度を全体でみると、「貢献している」は18.7%と比較的高くなっており、「分らない」は24.9%であり、「貢献していない」は56.4%と過半数を超えている。

商店街別にみると、「貢献している」は飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りで、それぞれ66.7%、34.7%、20.8%となっている。

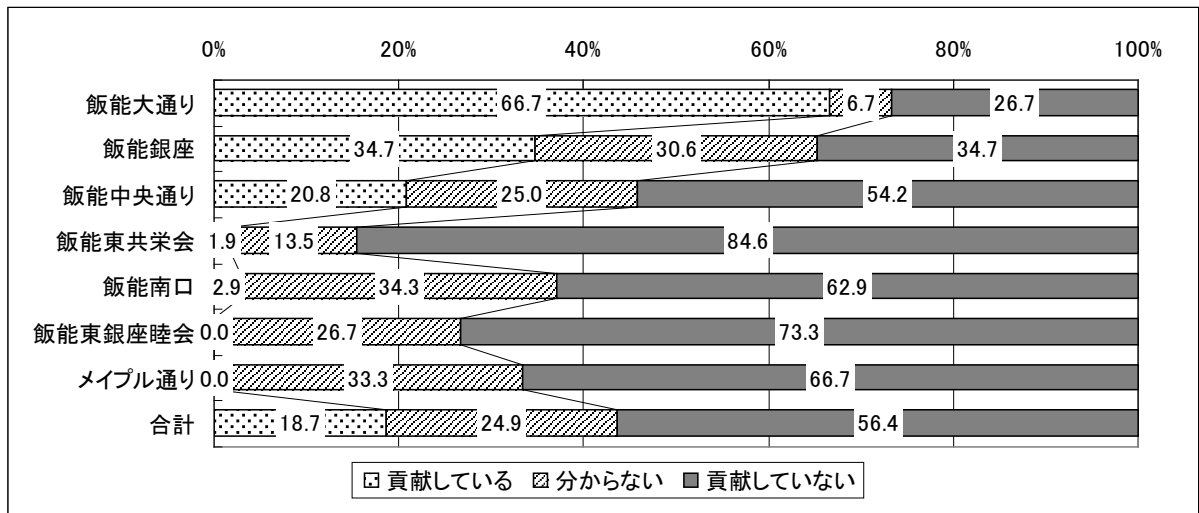
一方、「貢献していない」とする割合が高いのは、飯能東共栄会84.6%、飯能東銀座睦会73.3%、メイプル通り66.7%、飯能南口62.9%となっており、イベント参加商店数によって商店街の評価に差が出ている。

図表 4-6-10 雑飾りお宝展 in 飯能



図表 4-6-11 商店街別の「雑飾りお宝展 in 飯能」貢献度

(単位:%)



図表 4-6-12 商店街別の「雑飾りお宝展 in 飯能」の貢献度

(単位:店・%)

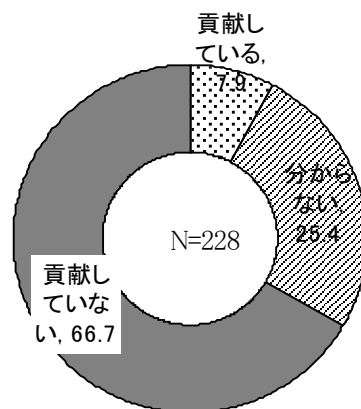
区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	10	66.7	1	6.7	4	26.7	15	100.0
飯能銀座	25	34.7	22	30.6	25	34.7	72	100.0
飯能中央通り	5	20.8	6	25.0	13	54.2	24	100.0
飯能東共栄会	1	1.9	7	13.5	44	84.6	52	100.0
飯能南口	1	2.9	12	34.3	22	62.9	35	100.0
飯能東銀座睦会	—	—	4	26.7	11	73.3	15	100.0
メイプル通り	—	—	4	33.3	8	66.7	12	100.0
合計	42	18.7	56	24.9	127	56.4	225	100.0

③飯能さくらまつり

4月の「飯能さくらまつり」の売上貢献度を全体で見ると、「貢献している」は7.9%に止まり、「分からない」が25.4%、「貢献していない」が3分の2に当たる66.7%にのぼっており、全体的に貢献度は高くない状況にある。

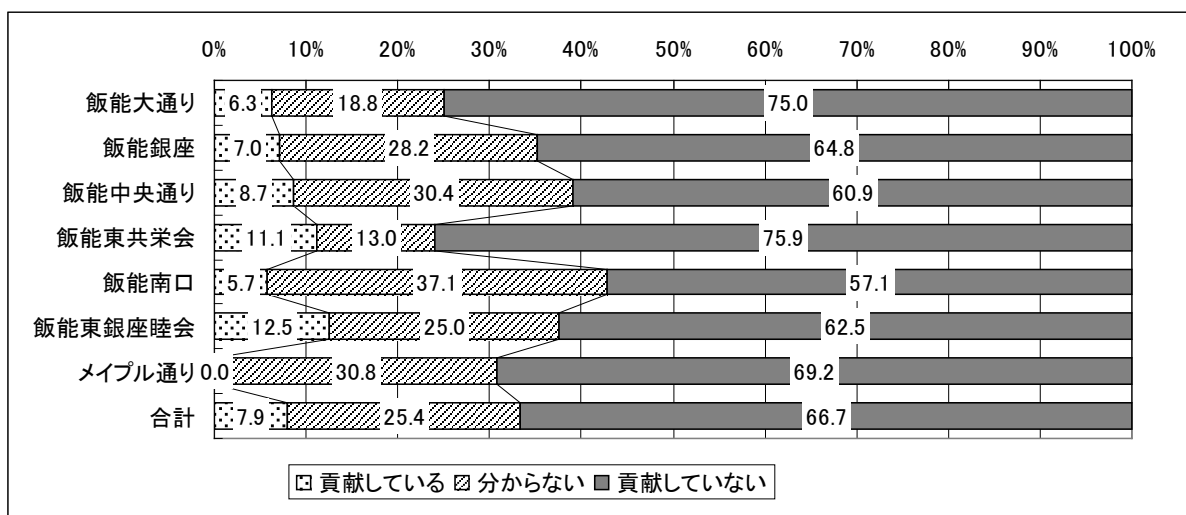
商店街別にみると、「貢献している」割合が高いのは、飯能東銀座睦会の12.5%、飯能東共栄会の11.1%となっており、その他の商店街は「貢献していない」の割合が相対的に高くなっている。

図表 4-6-13 飯能さくらまつり



図表 4-6-14 商店街別の「飯能さくらまつり」の貢献度

(単位:%)



図表 4-6-15 商店街別の「飯能さくらまつり」の貢献度

(単位:店・%)

区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	1	6.3	3	18.8	12	75.0	16	100.0
飯能銀座	5	7.0	20	28.2	46	64.8	71	100.0
飯能中央通り	2	8.7	7	30.4	14	60.9	23	100.0
飯能東共栄会	6	11.1	7	13.0	41	75.9	54	100.0
飯能南口	2	5.7	13	37.1	20	57.1	35	100.0
飯能東銀座睦会	2	12.5	4	25.0	10	62.5	16	100.0
メイプル通り	—	—	4	30.8	9	69.2	13	100.0
合計	18	7.9	58	25.4	152	66.7	228	100.0

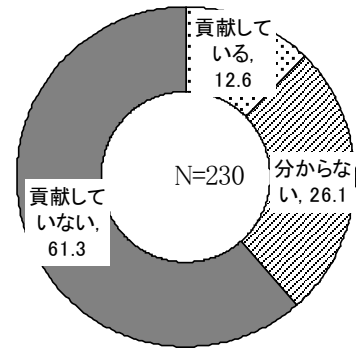
④飯能新緑ソーデーマーチ

5月の「飯能新緑ソーデーマーチ」の売上貢献度を全体でみると、「貢献している」は12.6%、「分らない」26.1%、「貢献していない」61.3%となっている。

商店街別に「貢献している」割合をみると、飯能大通り25.0%、飯能中央通り20.0%、飯能東銀座睦会18.8%と、比較的高くなっている。

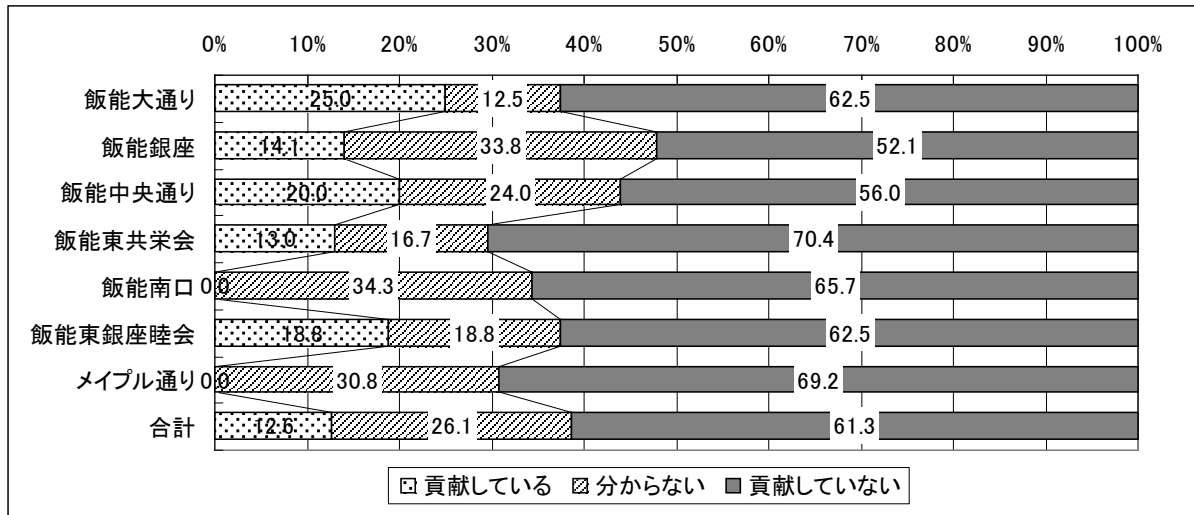
一方、「貢献していない」とする割合が高いのは、飯能東共栄会70.4%、メイプル通り69.2%、飯能南口65.7%などとなっている。

図表 4-6-16 飯能新緑ソーデーマーチ



図表 4-6-17 商店街別の「飯能新緑ソーデーマーチ」の貢献度

(単位:%)



図表 4-6-18 商店街別の「飯能新緑ソーデーマーチ」の貢献度

(単位:店・%)

区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	4	25.0	2	12.5	10	62.5	16	100.0
飯能銀座	10	14.1	24	33.8	37	52.1	71	100.0
飯能中央通り	5	20.0	6	24.0	14	56.0	25	100.0
飯能東共栄会	7	13.0	9	16.7	38	70.4	54	100.0
飯能南口	—	—	12	34.3	23	65.7	35	100.0
飯能東銀座睦会	3	18.8	3	18.8	10	62.5	16	100.0
メイプル通り	—	—	4	30.8	9	69.2	13	100.0
合計	29	12.6	60	26.1	141	61.3	230	100.0

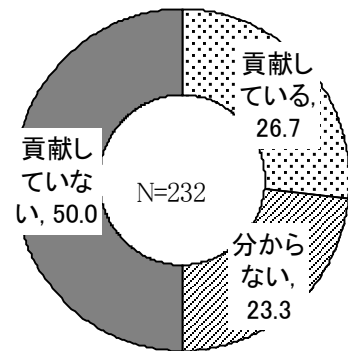
⑤飯能夏祭り

7月の「飯能夏祭り」の売上貢献度を全体で見ると、「貢献している」が26.7%と比較的高くなっており、「分らない」は23.3%であり、「貢献していない」は50.0%となっている。

商店街別にみると、全商店街で「貢献している」とする店があり、飯能大通りは66.7%と特に高くなっており、次いで飯能中央通り37.5%、飯能銀座34.7%、飯能東銀座睦会23.5%と続いている。

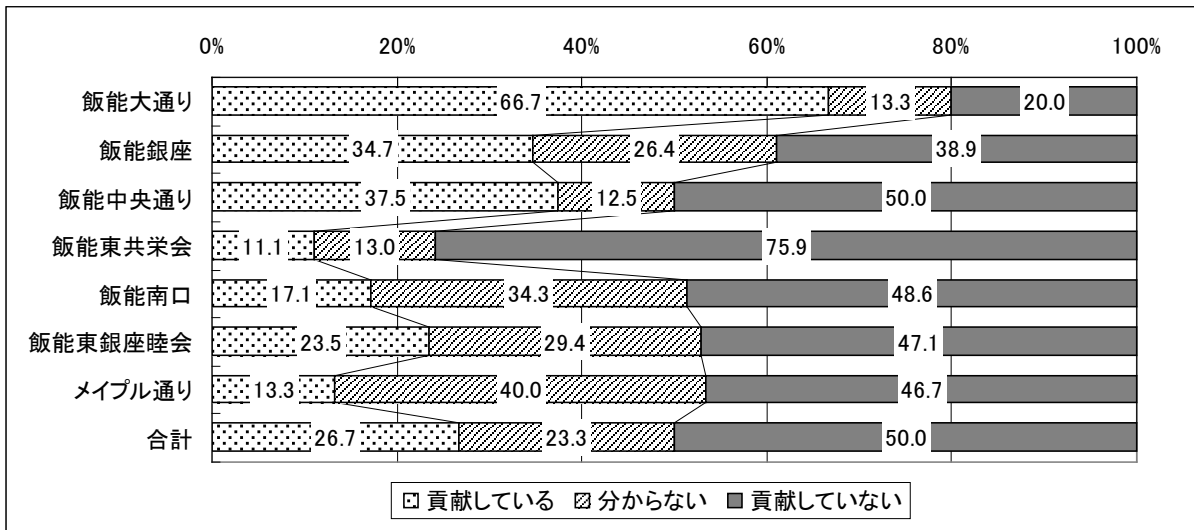
また、「貢献していない」割合が高い商店街は、飯能東共栄会75.9%、飯能中央通り50.0%、飯能南口48.6%となっている。

図表 4-6-19 飯能夏祭り



図表 4-6-20 商店街別の「飯能夏祭り」の貢献度

(単位:%)



図表 4-6-21 商店街別の「飯能夏祭り」の貢献度

(単位:店・%)

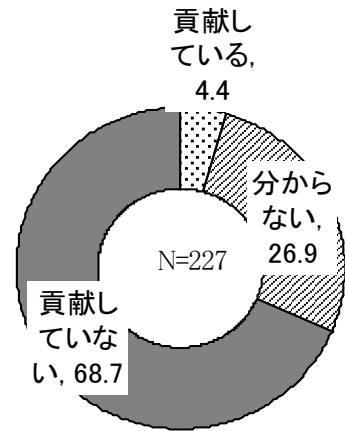
区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	10	66.7	2	13.3	3	20.0	15	100.0
飯能銀座	25	34.7	19	26.4	28	38.9	72	100.0
飯能中央通り	9	37.5	3	12.5	12	50.0	24	100.0
飯能東共栄会	6	11.1	7	13.0	41	75.9	54	100.0
飯能南口	6	17.1	12	34.3	17	48.6	35	100.0
飯能東銀座睦会	4	23.5	5	29.4	8	47.1	17	100.0
メイプル通り	2	13.3	6	40.0	7	46.7	15	100.0
合計	62	26.7	54	23.3	116	50.0	232	100.0

⑥飯能納涼大会

8月の「飯能納涼大会」の売上貢献度を全体で見ると、「貢献していない」の割合が 68.7%と非常に高くなっており、「分らない」は 26.9%となっている。また、「貢献している」は 4.4%にとどまっており、貢献度は8つのイベントのうち最も低い値となっている。

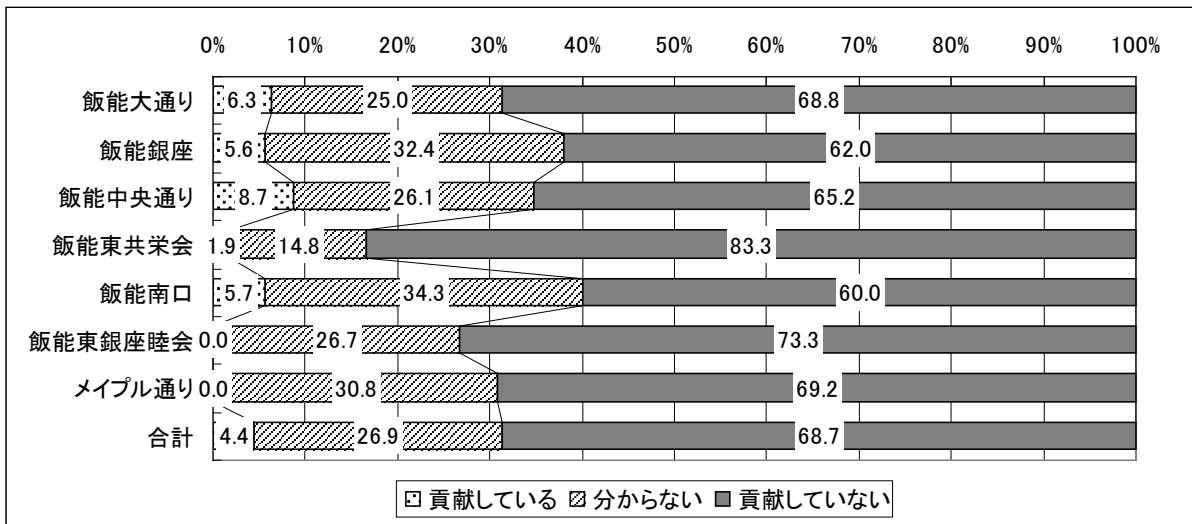
商店街別にみると、「貢献している」とする割合はどれも低く、「貢献していない」とする割合が高いのは、飯能東共栄会が 83.3%となっており、以下飯能東銀座睦会 73.3%、メイプル通り 69.2%、飯能大通り 68.8%と続いている。

図表 4-6-22 飯能納涼大会



図表 4-6-23 商店街別の「飯能納涼大会」の貢献度

(単位:%)



図表 4-6-24 商店街別の「飯能納涼大会」の貢献度

(単位:店・%)

区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	1	6.3	4	25.0	11	68.8	16	100.0
飯能銀座	4	5.6	23	32.4	44	62.0	71	100.0
飯能中央通り	2	8.7	6	26.1	15	65.2	23	100.0
飯能東共栄会	1	1.9	8	14.8	45	83.3	54	100.0
飯能南口	2	5.7	12	34.3	21	60.0	35	100.0
飯能東銀座睦会	—	—	4	26.7	11	73.3	15	100.0
メイプル通り	—	—	4	30.8	9	69.2	13	100.0
合計	10	4.4	61	26.9	156	68.7	227	100.0

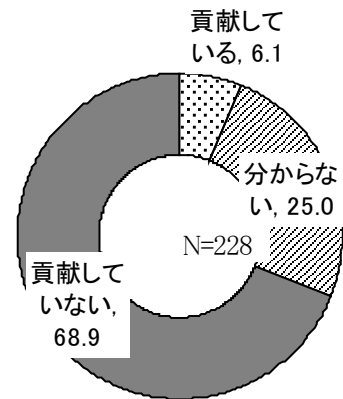
⑦はんのう生活祭

10月の「はんのう生活祭」の売上貢献度について全体で見ると、「貢献していない」の割合が68.9%と非常に高く、8つのイベントのうち最も高い値となっている。「分からない」が25.0%、「貢献している」は6.1%にとどまっている。

商店街別にみると、飯能東銀座睦会は「貢献している」の割合が17.6%と比較的高くなっているが、他の商店街では10%未満となっている。

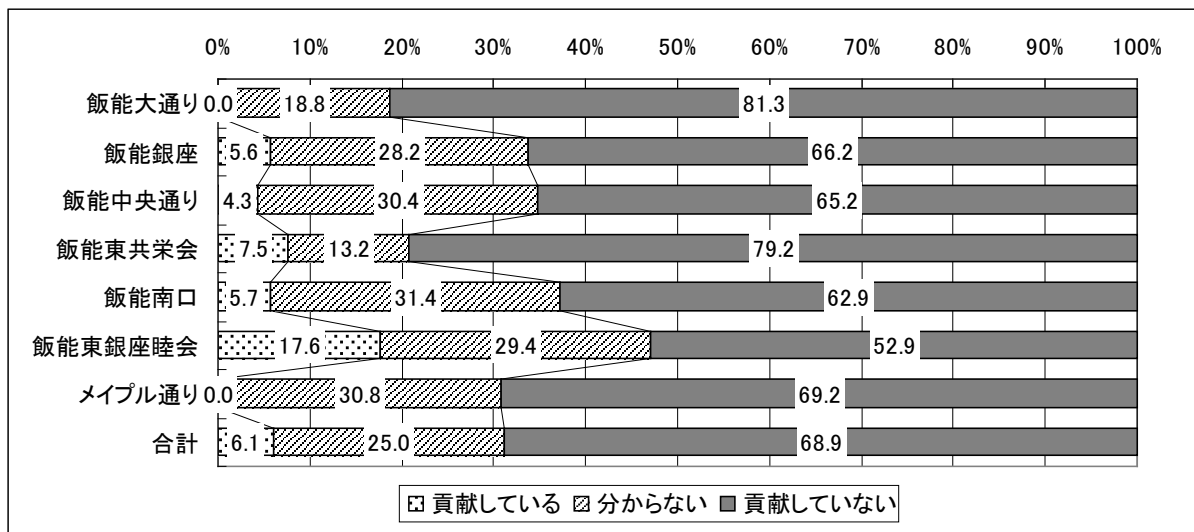
また、「貢献していない」とする割合各商店街とも高くなっており、飯能大通りの81.3%、飯能東共栄会79.2%、メイプル通り69.2%となっている。

図表 4-6-25 はんのう生活祭



図表 4-6-26 商店街別の「はんのう生活祭」の貢献度

(単位:%)



図表 4-6-27 商店街別の「はんのう生活祭」の貢献度

(単位:店・%)

区分	貢献している		分からない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	—	—	3	18.8	13	81.3	16	100.0
飯能銀座	4	5.6	20	28.2	47	66.2	71	100.0
飯能中央通り	1	4.3	7	30.4	15	65.2	23	100.0
飯能東共栄会	4	7.5	7	13.2	42	79.2	53	100.0
飯能南口	2	5.7	11	31.4	22	62.9	35	100.0
飯能東銀座睦会	3	17.6	5	29.4	9	52.9	17	100.0
メイプル通り	—	—	4	30.8	9	69.2	13	100.0
合計	14	6.1	57	25.0	157	68.9	228	100.0

⑧飯能まつり

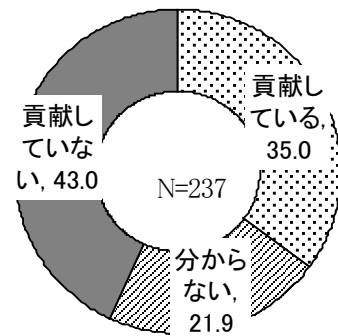
11月「の飯能まつり」の売上貢献度について全体でみると、8つのイベントのなかで、「貢献している」は35.0%と最も高い数値を示しており、「分らない」の21.9%と「貢献していない」の43.0%は最も低い値となっており、全体的に貢献しているとの判断となっている。

商店街別にみると、飯能大通りが66.7%と最も高く、次いで飯能銀座と飯能中央通りが共に50.0%で続いている。

飯能東銀座睦会・飯能南口は20%台、メイプル通り・飯能東共栄会は10%台後半の値となっている。

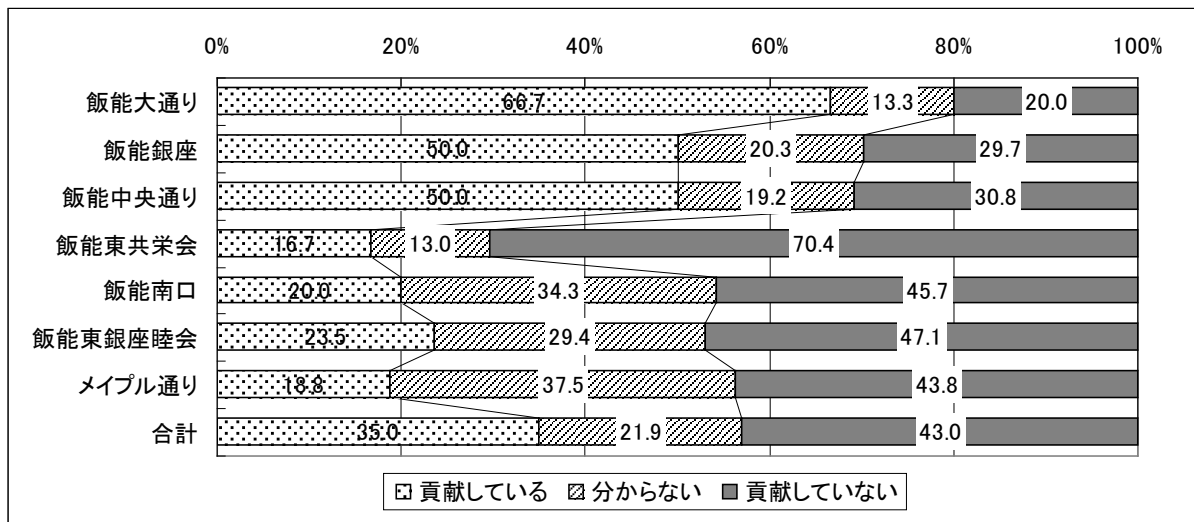
「貢献していない」の割合が高いのは、飯能東共栄会の70.4%であり、他の商店街は40%台以下となっている。

図表 4-6-28 飯能まつり



図表 4-6-29 商店街別の「飯能まつり」の貢献度

(単位: %)



図表 4-6-30 商店街別の「飯能まつり」の貢献度

(単位: 店・%)

区分	貢献している		分らない		貢献していない		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	10	66.7	2	13.3	3	20.0	15	100.0
飯能銀座	37	50.0	15	20.3	22	29.7	74	100.0
飯能中央通り	13	50.0	5	19.2	8	30.8	26	100.0
飯能東共栄会	9	16.7	7	13.0	38	70.4	54	100.0
飯能南口	7	20.0	12	34.3	16	45.7	35	100.0
飯能東銀座睦会	4	23.5	5	29.4	8	47.1	17	100.0
メイプル通り	3	18.8	6	37.5	7	43.8	16	100.0
合計	83	35.0	52	21.9	102	43.0	237	100.0

⑨飯能市内の主なイベントの売上貢献度のまとめ

上記の8つのイベントによる商店街への売上貢献度をまとめると、図表 4-6-31 のとおりとなった。

これによると、全イベントを平均すると「貢献していない」の割合が 60.2%であり、「分らない」が 24.6%となっている。明らかに「貢献している」とする割合は 15.3%と比較的少ないものとなっている。

イベント別にみると、「貢献している」とする割合が平均を上回っているのは、「飯能まつり」で 35.0%と最も高くなっている。次いで「飯能夏祭り」の 26.7%であり、「雛飾りお宝展in飯能」は開催して4年目であるが 18.7%と3番目にランクインしており健闘している。

「飯能新緑ツーデーマーチ」は、平成15年度から開催されているが、コースとなっている商店街以外には効果が及ばないためか、12.6%となっている。

また、「飯能納涼大会」、「はんのう生活祭」、「飯能さくらまつり」、「奥むさし駅伝競走大会」の貢献割合は 10%未満となっている。

図表 4-6-31 飯能市内の主なイベントの商店街の売上貢献度 (単位:店・%)

区 分	貢献している		分らない		貢献していない		合 計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
①奥むさし駅伝競走大会	22	9.6	53	23.1	154	67.2	229	100.0
②雛飾りお宝展 in 飯能	42	③ 18.7	56	24.9	127	56.4	225	100.0
③飯能さくらまつり	18	7.9	58	25.4	152	66.7	228	100.0
④飯能新緑ツーデーマーチ	29	12.6	60	26.1	141	61.3	230	100.0
⑤飯能夏祭り	62	② 26.7	54	23.3	116	50.0	232	100.0
⑥飯能納涼大会	10	4.4	61	26.9	156	68.7	227	100.0
⑦はんのう生活祭	14	6.1	57	25.0	157	68.9	228	100.0
⑧飯能まつり	83	① 35.0	52	21.9	102	43.0	237	100.0
合 計	280	15.3	451	24.6	1,105	60.2	1,836	100.0

○の付いた数字は、貢献度の高いイベントの順位である。

以上のように、イベントによって商店街の売上に直接結びつくものと、そうとは限らないものがあることが分る。

また、イベントの開催場所、あるいはコースなどによって各商店街への貢献度の強弱も窺われる。

(4)商店街の一斉休業日を変更しようとした場合の新しい休業日について

前記「2. お店の概要について」における「(14)休業日について」の質問で、調査店の中で 85 店 32.1%が一斉休業日に休業していることが分った(p.25)。

ここでは、商店街の一斉休業日を仮に変更しようとした場合、何曜日が良いかを聞いたところ、月曜 24 件、日曜 23 件、水曜 17 件の順になっていることが分かった。

現在「一斉休業日に休んでいる店」と、「それ以外の不定・無休・それ以外の休日で休んでいる店」に、大きな違いはみられない。

図表 4-6-32 変更後の希望休業日 (単位:店)

区 分	月	火	水	木	金	土	日	合計
飯能大通り	1	-	2	-	-	-	6	9
飯能銀座	5	4	4	6	-	-	9	28
飯能中央通り	4	4	3	-	-	-	3	14
飯能東共栄会	4	-	5	2	-	1	2	14
飯能南口	1	3	1	1	-	1	2	9
飯能東銀座睦会	4	2	1	-	-	-	1	8
メイプル通り	5	-	1	-	-	-	-	6
合 計	24	13	17	9	0	2	23	88

図表 4-6-33 変更後の希望休業日(一斉休業日に休んでいる店の希望) (単位:店)

区 分	月	火	水	木	金	土	日	合計
飯能大通り	1	-	1	-	-	-	4	6
飯能銀座	3	3	2	2	-	-	6	16
飯能中央通り	3	1	2	-	-	-	1	7
飯能東共栄会	2	-	2	-	-	-	-	4
飯能南口	1	1	-	-	-	-	1	3
飯能東銀座睦会	2	2	1	-	-	-	-	5
メイプル通り	1	-	-	-	-	-	-	1
合 計	13	7	8	2	0	0	12	42

図表 4-6-34 変更後の希望休業日(一斉休業日以外に休んでいる店の希望) (単位:店)

区 分	月	火	水	木	金	土	日	合計
飯能大通り	-	-	1	-	-	-	2	3
飯能銀座	2	1	2	4	-	-	3	12
飯能中央通り	1	3	1	0	-	-	2	7
飯能東共栄会	2	-	3	2	-	1	2	10
飯能南口	-	2	1	1	-	1	1	6
飯能東銀座睦会	2	-	-	-	-	-	1	3
メイプル通り	4	-	1	-	-	-	-	5
合 計	11	6	9	7	0	2	11	46

同時に質問した現在の休業曜日の回答は、合計で 121 件(43.4%)であったが、最も多かったのは、月曜で 65 件(23.3%)であった。

図表 4-6-35 現在の休業曜日

(単位:%)

区 分		日	月	火	水	木	月 or 火	月 or 水	水 or 木	金 or 土	月 or 日	木 or 日	土 or 日 or 祝	土 or 日 or 祝	日 or 祝	無 休	回 答 計	無 回 答	総 計
飯能大通り	店	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	10	6	16	
	構成比	6.3	43.8	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	6.3	62.5	37.5	100.0	
飯能銀座	店	2	32	1	6	-	-	1	-	-	1	-	1	-	2	46	36	82	
	構成比	2.4	39.0	1.2	7.3	-	-	1.2	-	-	1.2	-	1.2	-	2.4	56.1	43.9	100.0	
飯能中央 通り	店	4	13	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	22	11	33	
	構成比	12.1	39.4	3.0	3.0	-	-	-	3.0	-	-	3.0	-	3.0	-	66.7	33.3	100.0	
飯能東共 栄会	店	1	5	2	6	2	1	-	-	1	-	1	-	-	-	19	46	65	
	構成比	1.5	7.7	3.1	9.2	3.1	1.5	-	-	1.5	-	1.5	-	-	-	29.2	70.8	100.0	
飯能南口	店	2	2	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	11	30	41
	構成比	4.9	4.9	2.4	2.4	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	4.9	2.4	26.8	73.2	100.0
飯能東銀 座睦会	店	2	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	16	23
	構成比	8.7	8.7	4.3	4.3	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.4	69.6	100.0
メイプル通 り	店	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6	13	19
	構成比	5.3	21.1	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	31.6	68.4	100.0
合 計	店	13	65	6	15	3	2	1	1	1	2	2	2	1	3	4	121	158	279
	構成比	4.7	23.3	2.2	5.4	1.1	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7	1.1	1.4	43.4	56.6	100.0

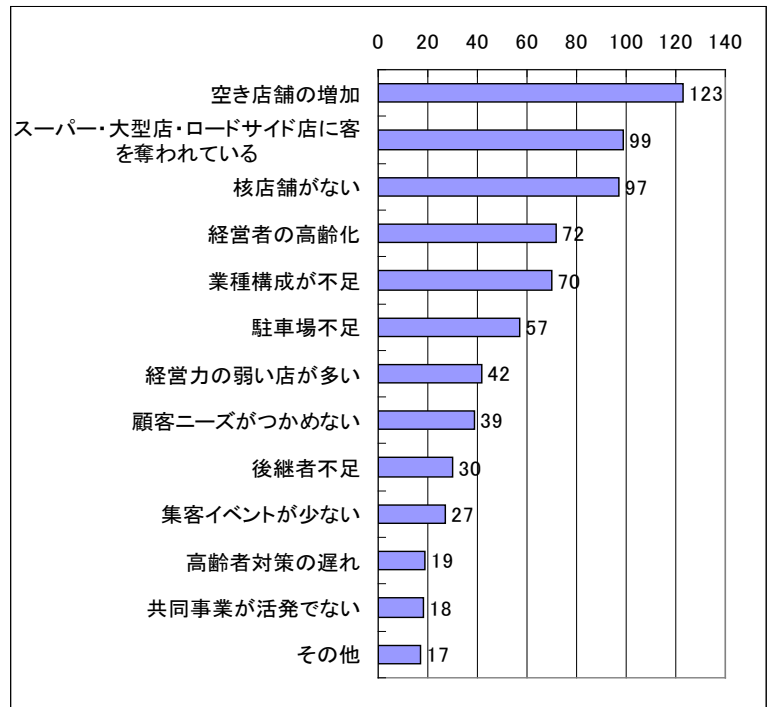
(5) 商店街の問題点

商店街としての問題点を4項目以内で選択した結果を全体で見ると、右表のとおりである。

「空き店舗、非店舗の増加」の問題が123店44.1%と最も多く、次いで「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」が99店35.5%、「核店舗がない(なくなる)」が97店34.8%と続いている。

その他、「経営者の高齢化」、「業種構成に不足がある」、「駐車場・駐輪場が不足」なども問題視されている。

図表4-6-36 商店街の問題点(全体)(複数回答) (単位:店)



図表4-6-37 商店街別の商店街の問題点(複数回答)

(単位:店・%)

区分		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	合計
		空き店舗の増加	スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている	核店舗がない(なくなる)	経営者の高齢化	業種構成が不足	駐車場不足	経営力の弱い店が多い	顧客ニーズがつかめない	後継者不足	集客イベントが少ない	高齢者対策の遅れ	共同事業が活発でない	その他	
飯能大通り	店	11	10	5	1	8	5	3	3	2	—	1	—	1	16
	%	68.8	62.5	31.3	6.3	50.0	31.3	18.8	18.8	12.5	—	6.3	—	6.3	100.0
飯能銀座	店	46	33	36	23	31	22	13	14	4	7	5	2	4	82
	%	56.1	40.2	43.9	28.0	37.8	26.8	15.9	17.1	4.9	8.5	6.1	2.4	4.9	100.0
飯能中央通り	店	15	14	14	15	5	4	4	1	7	5	—	2	3	33
	%	45.5	42.4	42.4	45.5	15.2	12.1	12.1	3.0	21.2	15.2	—	6.1	9.1	100.0
飯能東共栄会	店	15	24	19	18	9	16	12	9	9	8	8	8	2	65
	%	23.1	36.9	29.2	27.7	13.8	24.6	18.5	13.8	13.8	12.3	12.3	12.3	3.1	100.0
飯能南口	店	7	7	7	8	11	1	5	6	3	2	4	3	4	41
	%	17.1	17.1	17.1	19.5	26.8	2.4	12.2	14.6	7.3	4.9	9.8	7.3	9.8	100.0
飯能東銀座睦会	店	13	7	7	4	2	4	2	4	1	2	1	1	2	23
	%	56.5	30.4	30.4	17.4	8.7	17.4	8.7	17.4	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7	100.0
メイプル通り	店	16	4	9	3	4	5	3	2	4	3	—	2	1	19
	%	84.2	21.1	47.4	15.8	21.1	26.3	15.8	10.5	21.1	15.8	—	10.5	5.3	100.0
合計	店	123	99	97	72	70	57	42	39	30	27	19	18	17	279
	%	44.1	35.5	34.8	25.8	25.1	20.4	15.1	14.0	10.8	9.7	6.8	6.5	6.1	100.0

(注) 網掛け部分は、商店街ごとの最大値である。商店街の合計は、回答商店数である。

図表 4-6-38 商店街別の商店街の問題点(複数回答) (単位:%)

商店街の問題点を商店街別にみると、次のとおりである。

①飯能大通り

「空き店舗・非店舗の増加」68.8%、「スーパー・大型店・ロードサイド」店に客を奪われている」62.5%、「業種構成が不足」50.0%が突出している。

②飯能銀座

「空き店舗・非店舗の増加」56.1%が最多であり、「核店舗がない(なくなる)」、「スーパー・大型店・ロードサイド」店に客を奪われている」「業種構成が不足」等に集中している。

③飯能中央通り

「空き店舗」と「経営者の高齢化」45.5%が最多問題点となっている。他に「核店舗がない(なくなる)」、「スーパー・大型店・ロードサイド」店に客を奪われている」が続いている。

④飯能東共栄会

「スーパー・大型店・ロードサイド」店に客を奪われている」36.9%が最多項目である。

⑤飯能南口

各項目に分散しており、「業種構成が不足」が 26.8%で最多となっている。

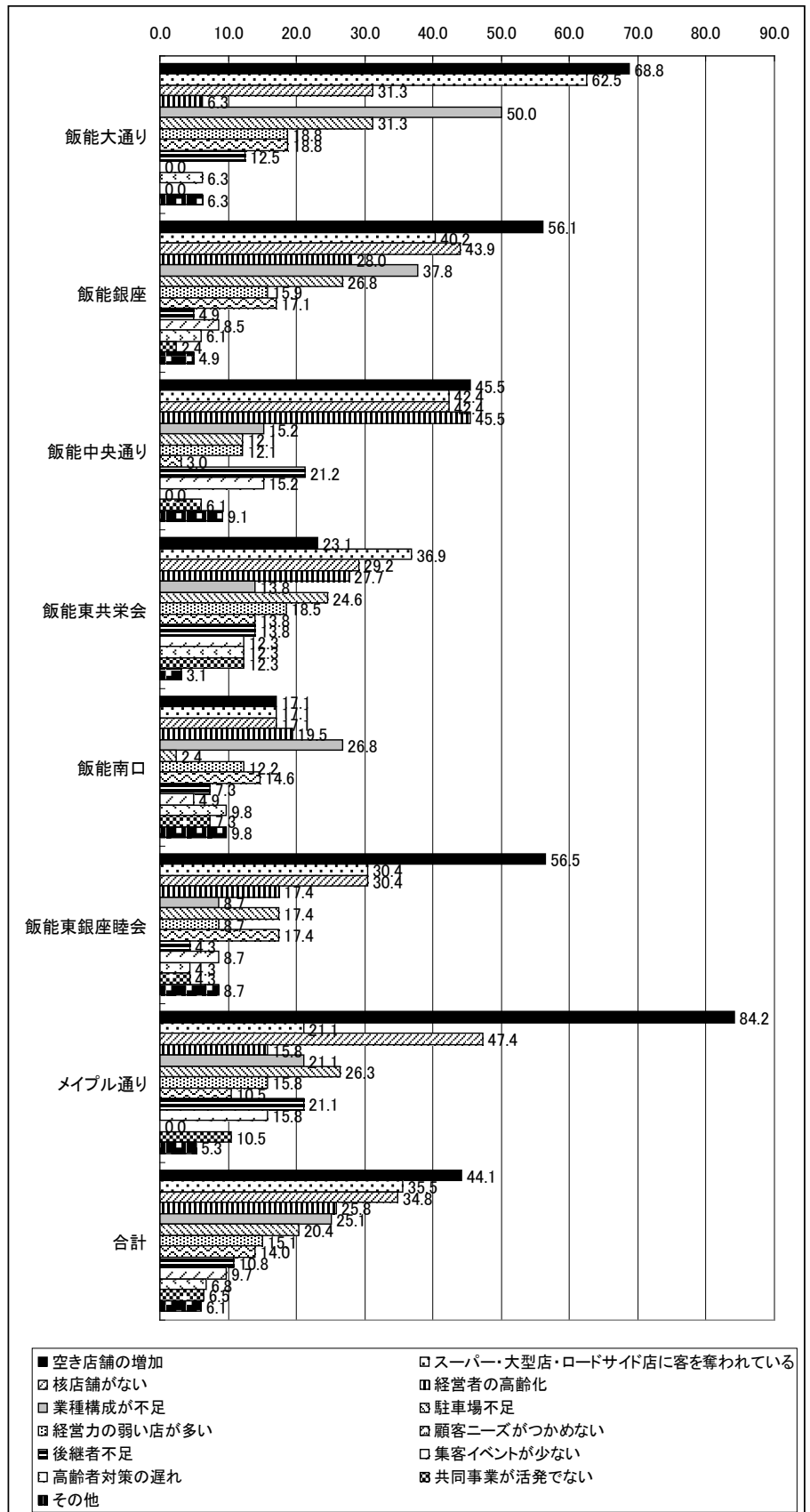
⑥飯能東銀座睦会

「空き店舗・非店舗の増加」が 56.5%で突出しており、「核店舗がない(なくなる)」、「スーパー・大型店・ロードサイド」店に客を奪われている」が続いている。

⑦メイプル通り

「空き店舗・非店舗の増加」が 84.2%と突出しており、次いで「核店舗がない(なくなる)」が 47.4%と高くなっている。

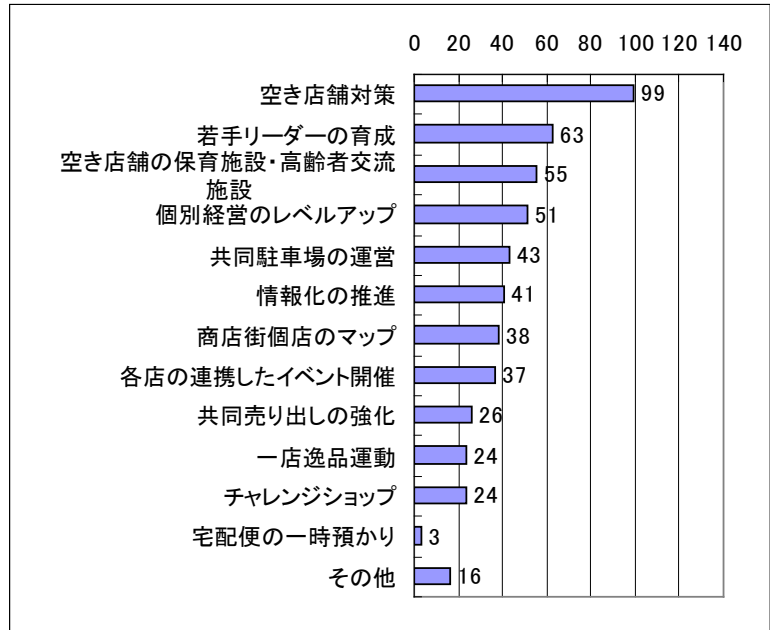
以上をまとめると、飯能東銀座睦会とメイプル通りで「空き店舗・非店舗の増加」が突出しており、共通の問題認識が分る。



(6) 商店街活性化方策

商店街の活性化方策を4項目以内で選択してもらった結果、「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が99店35.5%と最も多くなっている。次に多い2番手グループは「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」、「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」が60～50 店台で続き、3番手グループは「共同駐車場の運営」、「情報化の推進(商店街 POS、カードシステム、HPからの催事等の情報発信)」、「マップ作成」、「各店の連携したイベント開催」が 40～30 店台となっている。前記のように、商店街の一番の問題点は「空き店舗の増加」であるが、この対策としての「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」や「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」という意見を合わせると154店55.2%にのぼっている。

図表 4-6-39 商店街の活性化方策(全体)(複数回答)(単位:店)



前記のように、商店街の一番の問題点は「空き店舗の増加」であるが、この対策としての「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」や「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」という意見を合わせると154店55.2%にのぼっている。

図表 4-6-40 商店街別の商店街活性化方策(複数回答)

(単位:店・%)

区分		① 必要業種を空き店舗に誘致・支援	② 若手リーダーの育成	③ 空き店舗の保育施設・高齢者交流施設	④ 空き店舗のレベルアップ	⑤ 個別経営のレベルアップ	⑥ 共同駐車場の運営	⑦ 情報化の推進	⑧ 各店の連携したイベント開催	⑨ 共同売り出しの強化	⑩ 一店逸品運動	⑪ チャレンジショップ	⑫ 宅配便の一時預かり	⑬ その他	総計
飯能大通り	店	8	3	3	1	2	4	3	1	2	2	1	-	-	16
	%	50.0	18.8	18.8	6.3	12.5	25.0	18.8	6.3	12.5	12.5	6.3	-	-	100.0
飯能銀座	店	46	16	22	17	16	14	11	14	11	5	11	-	4	82
	%	56.1	19.5	26.8	20.7	19.5	17.1	13.4	17.1	13.4	6.1	13.4	-	4.9	100.0
飯能中央通り	店	13	6	9	4	6	3	4	6	3	3	1	-	2	33
	%	39.4	18.2	27.3	12.1	18.2	9.1	12.1	18.2	9.1	9.1	3.0	-	6.1	100.0
飯能東共栄会	店	14	15	9	12	13	13	9	7	6	8	6	1	2	65
	%	21.5	23.1	13.8	18.5	20.0	20.0	13.8	10.8	9.2	12.3	9.2	1.5	3.1	100.0
飯能南口	店	7	16	4	11	2	2	3	4	2	4	2	-	5	41
	%	17.1	39.0	9.8	26.8	4.9	4.9	7.3	9.8	4.9	9.8	4.9	-	12.2	100.0
飯能東銀座睦会	店	6	6	5	4	3	2	4	3	1	1	2	2	1	23
	%	26.1	26.1	21.7	17.4	13.0	8.7	17.4	13.0	4.3	4.3	8.7	8.7	4.3	100.0
メイプル通り	店	5	1	3	2	1	3	4	2	1	1	1	-	2	19
	%	26.3	5.3	15.8	10.5	5.3	15.8	21.1	10.5	5.3	5.3	5.3	-	10.5	100.0
合計	店	99	63	55	51	43	41	38	37	26	24	24	3	16	279
	%	35.5	22.6	19.7	18.3	15.4	14.7	13.6	13.3	9.3	8.6	8.6	1.1	5.7	100.0

(注) 網掛け部分は、商店街ごとの最大値である。商店街の合計は、回答商店数である。

図表 4-6-41 商店街別の商店街活性化方策(全体)(複数回答)
(単位:%)

商店街活性化方策について商店街別にみると、次のとおりとなっている。

①飯能大通り

「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が50%と最も多く、次いで「情報化の推進」となっている。

②飯能銀座

「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が56.1%と最も多く、次いで「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」となっている。

③飯能中央通り

「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が39.4%と最も多く、次いで「空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備」が27.3%となっている。

④飯能東共栄会

特に突出した項目はなく「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」、「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」、「情報化の推進」、「共同駐車場の運営」が20%強で並んでいる。

⑤飯能南口

「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」39.0%、「経営者の勉強会など個別経営のレベルアップ」26.8%と多くなっている。

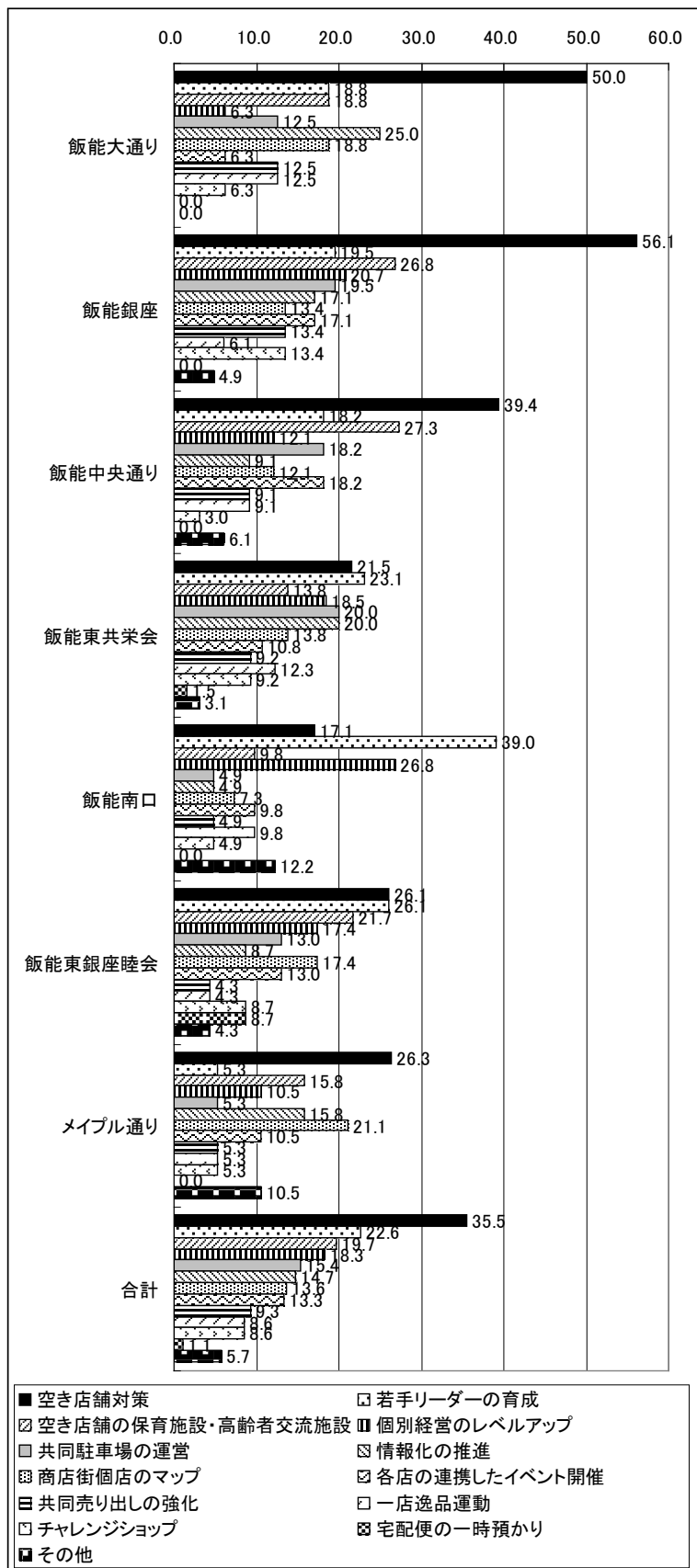
⑥飯能東銀座睦会

「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」と「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が26.1%と最多となっている。

⑦メイプル通り

「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」が26.3%で突出し、他の項目は分散している。

以上をまとめると、飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りが「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」、飯能南口が「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」が突出しており、対策として協働できると考えられる。



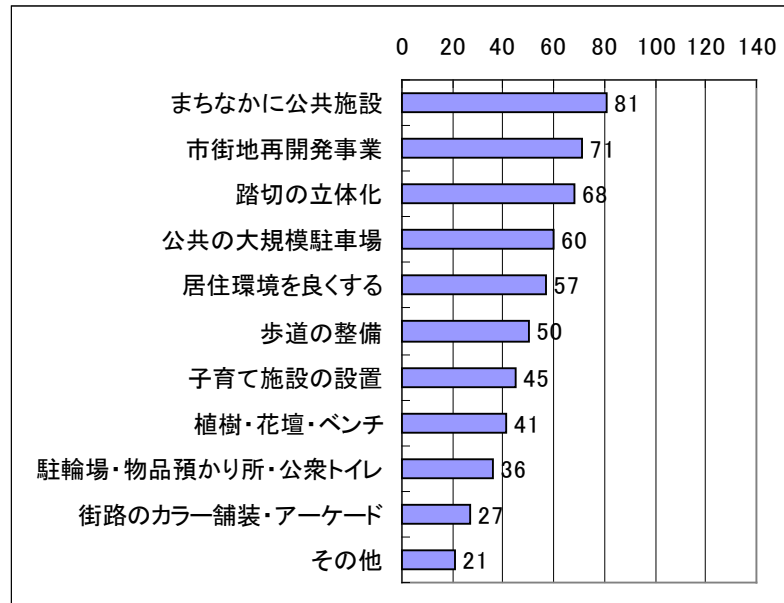
(7) 商店街活性化への公的機関の役割

商店街の活性化のために公的機関に実施して欲しい事項を4項目以内で選択してもらった結果を全体でみると、図表4-6-42のとおりである。

最も多かったのは「まちなかに公共施設(図書館・ミニホール等)の設置」で81店29.0%となっている。以下、「中心市街地を見直して市街地開発事業を実施」71店25.4%、「中心市街地に入りやすいよう踏切の立体化」68店24.4%、「公共の大規模駐車・駐輪場の整備」60店21.5%等となっている。

図表4-6-42 商店街活性化への公的機関の役割(複数回答)

(単位:店)



図表4-6-43 商店街別の商店街活性化への公的機関の役割(複数回答)

(単位:店・%)

区分	設	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	総計
		まちなかに公共施設	市街地再開発事業	踏切の立体化	公共の大規模駐車場・駐輪場	居住環境を良くする	歩道の整備	子育て施設の設置	植樹・花壇・ベンチ	駐輪場・物品預かり所・公衆トイレ	街路のカラー舗装・アーケード	その他	
飯能大通り	店	4	3	3	4	1	5	2	4	3	1	2	16
	%	25.0	18.8	18.8	25.0	6.3	31.3	12.5	25.0	18.8	6.3	12.5	100.0
飯能銀座	店	32	28	20	25	20	16	14	11	16	11	5	82
	%	39.0	34.1	24.4	30.5	24.4	19.5	17.1	13.4	19.5	13.4	6.1	100.0
飯能中央通り	店	11	8	12	7	6	3	5	4	5	5	2	33
	%	33.3	24.2	36.4	21.2	18.2	9.1	15.2	12.1	15.2	15.2	6.1	100.0
飯能東共栄会	店	14	12	16	16	15	7	15	10	6	3	4	65
	%	21.5	18.5	24.6	24.6	23.1	10.8	23.1	15.4	9.2	4.6	6.2	100.0
飯能南口	店	12	10	8	-	7	11	5	4	4	4	6	41
	%	29.3	24.4	19.5	-	17.1	26.8	12.2	9.8	9.8	9.8	14.6	100.0
飯能東銀座睦会	店	4	6	5	4	4	7	3	4	1	2	1	23
	%	17.4	26.1	21.7	17.4	17.4	30.4	13.0	17.4	4.3	8.7	4.3	100.0
メイプル通り	店	4	4	4	4	4	1	1	4	1	1	1	19
	%	21.1	21.1	21.1	21.1	21.1	5.3	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	100.0
合計	店	81	71	68	60	57	50	45	41	36	27	21	279
	%	29.0	25.4	24.4	21.5	20.4	17.9	16.1	14.7	12.9	9.7	7.5	100.0

(注) 網掛け部分は、商店街ごとの最大値である。商店街の合計は、回答商店数である。

図表 4-6-44 商店街活性化への公的機関の役割 (単位:%)

商店街活性化に向けて公的機関に実施してほしい事項を商店街別にみると、以下のとおりとなっている。

①飯能大通り

「歩道の整備」が 31.3%と最も多く、次いで「まちなかに公共施設」、「植樹・花壇・ベンチ」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」が 25.0%となっている。

②飯能銀座

「まちなかに公共施設」が 39.0%と最も多く、次いで「市街地再開発事業」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」が多くなっている。

③飯能中央通り

「踏切の立体化」が最多の 36.4%で、「まちなかに公共施設」、「市街地再開発事業」と続いている。

④飯能東共栄会

突出したものが無く「公共の大規模駐車場・駐輪場」、「踏切の立体化」などに要望が分散している。

⑤飯能南口

「まちなかに公共施設」29.3%、「歩道の整備」、「市街地再開発事業」に要望が集中している。

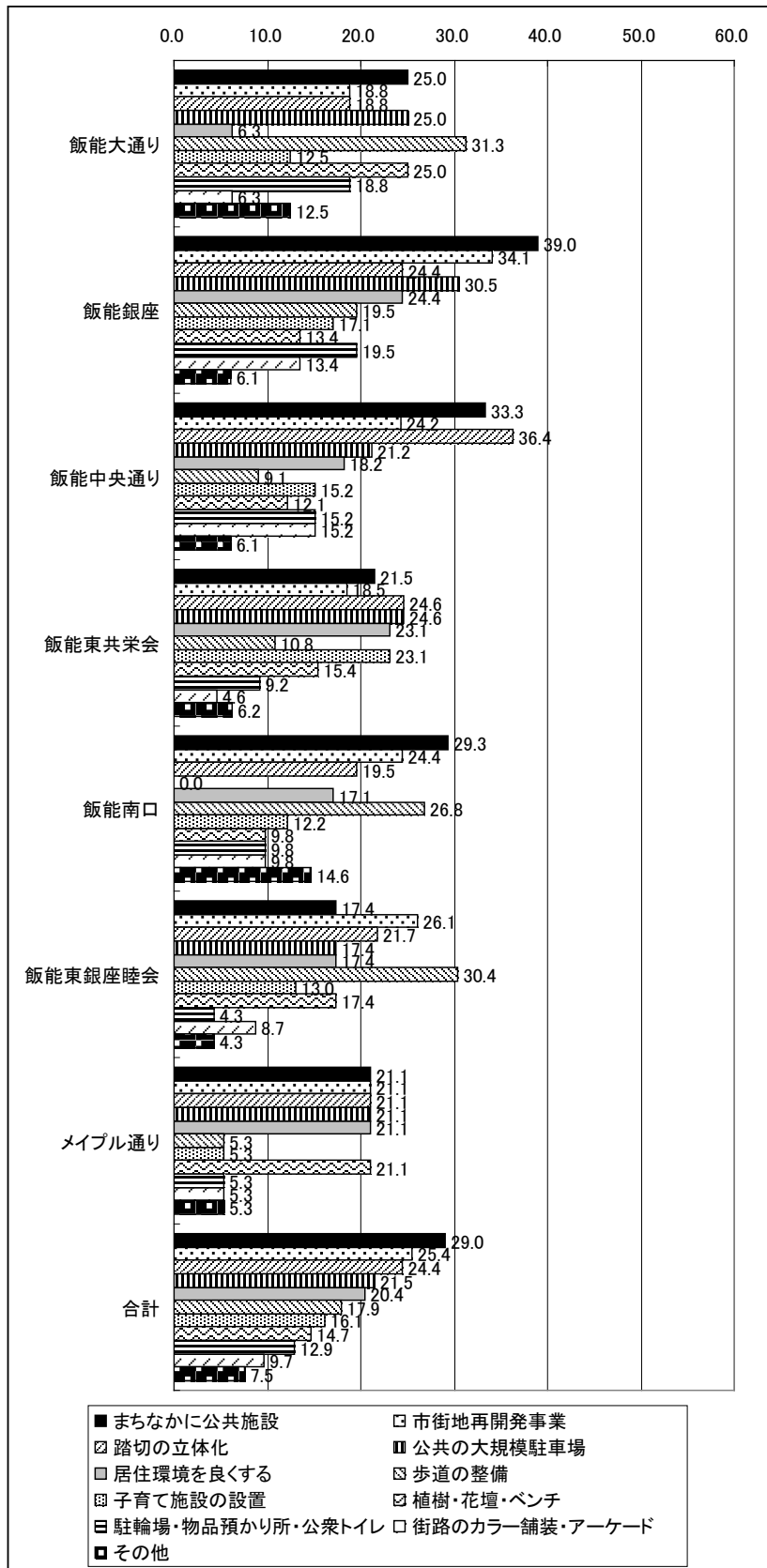
⑥飯能銀座東睦会

「歩道の整備」が最多で 30.4%あり、「市街地再開発事業」、「踏切の立体化」と続いている。

⑦メイプル通り

突出したものがなく、「まちなかに公共施設」、「植樹・花壇・ベンチ」、「居住環境を良くする」、「公共の大規模駐車場・駐輪場」、「踏切の立体化」、「市街地再開発事業」が 21.1%と並んでいる。

以上をまとめると、商店街別に強く一致する意見はない。強いてあげれば、「まちなかに公共施設」が飯能銀座、飯能中央通り、飯能南口で強くなっている。「踏切の立体化」は飯能中央通りが、「歩道の整備」が飯能大通り、飯能南口、飯能東銀座睦会で強いなど、商店街が抱えている問題はそれぞれである。



(8)丸広百貨店の移転関係

①まるひろ移転による来店客数の変動予想

「丸広百貨店飯能店」(昭和36年開店)が、平成21年9月11日に「旧丸広東飯能店」に移転・開業することとなっている。

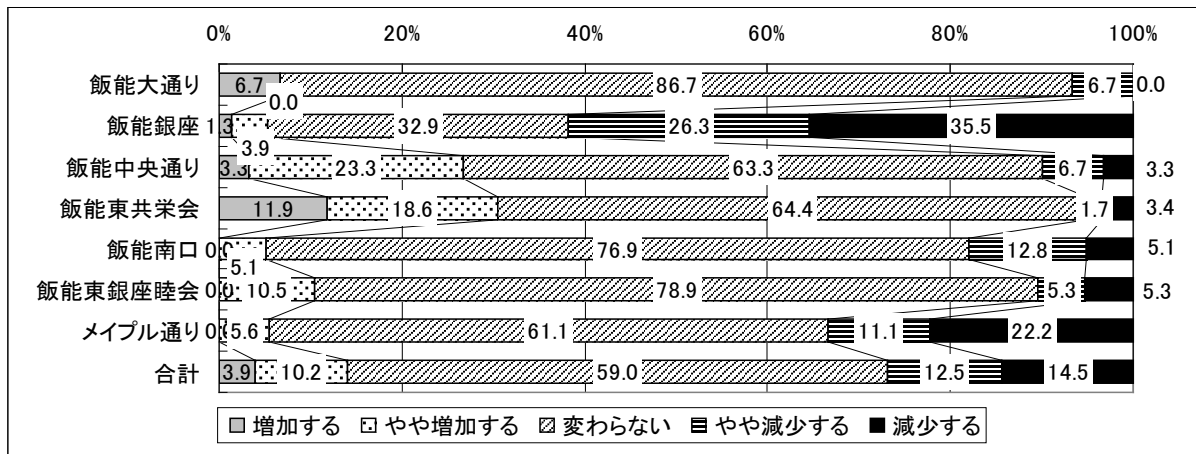
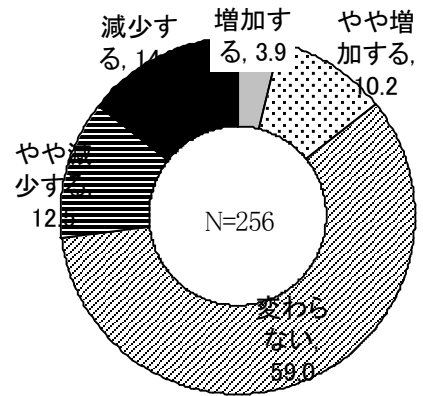
丸広百貨店は、飯能市が創業の地であり、飯能駅前周辺の飯能大通り・飯能銀座・飯能中央通りなどの商店街の中心として存在してきている。

今回の「まるひろ」の東飯能移転による商店街の来店客数の変動予想について全体でみると、「変わらない」が59.0%を占めている。一方、「増加する」3.9%と「やや増加する」10.2%を合わせても14.1%にとどまっており、「減少する」14.5%と「やや減少する」12.5%を合すると27.0%となっている。

商店街別に「増加(増加+やや増加)」「減少(減少+やや減少)」の算式によるポイント差をみると、プラスの値となったのは、飯能東共栄会+25.4ポイント、飯能中央通りが+16.6ポイントである。逆に、減少の方が大きく、マイナスの値となったのは、飯能銀座△56.6ポイント、メイプル通り△27.7ポイント、飯能南口△12.8ポイントなどとなっている。

商店街全体では、現状の「丸広百貨店飯能店」の周辺商店街では、「来店客数の減少」を予想し、移転する先の東飯能駅に近い商店街では「来店客数の増加」を予想している。本調査では、飯能駅前周辺の商店街加盟商店数が多いことから、「減少」の割合の方が大きくなっている。

図表 4-6-45 来店客数の予想



図表 4-6-46 商店街別まるひろ移転による来店客数の変動予想

(単位:%)

図表 4-6-47 商店街別まるひろ移転による来店客数の変動予想

(単位:店・%)

区分	増加		やや増加		変わらない		やや減少		減少		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	1	6.7	-	-	13	86.7	1	6.7	-	-	15	100.0
飯能銀座	1	1.3	3	3.9	25	32.9	20	26.3	27	35.5	76	100.0
飯能中央通り	1	3.3	7	23.3	19	63.3	2	6.7	1	3.3	30	100.0
飯能東共栄会	7	11.9	11	18.6	38	64.4	1	1.7	2	3.4	59	100.0
飯能南口	-	-	2	5.1	30	76.9	5	12.8	2	5.1	39	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	2	10.5	15	78.9	1	5.3	1	5.3	19	100.0
メイプル通り	-	-	1	5.6	11	61.1	2	11.1	4	22.2	18	100.0

合 計	10	3.9	26	10.2	151	59.0	32	12.5	37	14.5	256	100.0
-----	----	-----	----	------	-----	------	----	------	----	------	-----	-------

【来店客数の変動要因】

前記①来店客数の変動の要因については、「人の流れが減少する」が 37.9%で最も多く、「変化なし」25.9%、「人の流れの増加」は 20.7%となっており、「商機拡大」は 6.9%となっている。

図表 4-6-48 来店客数の変動要因 (単位:件・%)

No.	項 目	件 数	構成比
1	人の流れの減少	22	37.9
2	変化なし	15	25.9
3	人の流れの増加	12	20.7
4	商機拡大	4	6.9
5	その他	5	8.6
	合 計	58	100.0

【来店客数の変動要因の意見】

(1.人の流れの減少)

- ・ 車や人の流れが変わり商店街への来客が減少する(9件)
- ・ 駅前通りの核店であり、集客力の有る店が無くなる事は重大(2件)
- ・ 銀座商店街は丸広の集客によるシャワー効果が大きかったと思う
- ・ 丸広のお得意先が来店しなくなる
- ・ 丸広の帰りに来店してくれたお客様が減少する
- ・ 丸広従業員の利用が減少する
- ・ 線路より東側のお客様の足が止まってしまう
- ・ 東飯能駅付近のお客様が、ほとんど来店しなくなる
- ・ 車で丸広に行ってしまう
- ・ 大型店の移転は、人の流れを変えてしまう。
- ・ 日用品を郊外のスーパー等で買っていると市街地に行くのが面倒になる
- ・ 必然的に集客数は減少し売上は減る
- ・ 異常事態である、ゴースト・タウンになる

(2.変化なし)

- ・ 丸広飯能店で買物をしたお客様が当店へ流れて来る状況は、今までもほとんど無い(6件)
- ・ 競合する商品がない(2件)
- ・ 普通の商店、店舗と違いお客様が必要に応じて来店される(2件)
- ・ 丸広に集客力があるとは思わない
- ・ 丸広のお客と商店街に来るお客は別だと思う
- ・ 当店は宅配が中心のため影響は少ない
- ・ 薬局なので影響は少ない
- ・ 移転しても、丸広での買物が目的なら直接駐車場に行くので商店街は素通りになると思う

(3.人の流れの増加)

- ・ 丸広東飯能店に当店は近いので、少しはお客様が増加すると思う(4件)
- ・ 今よりは人の流れが東飯能に向く(2件)
- ・ 過去に丸広東飯能店が営業していた時には人の流れが増加した
- ・ 丸広百貨店で買物していたお客様が商店街に来るようになる
- ・ 百貨店東側のため来客は増加すると思う
- ・ 人が集まる所にお金落ちるので多少来店客は増加する
- ・ 車の流れが変わり、来店客が増える
- ・ 丸広休業日の時は売上、来店客数、共に多かったため来店客は増加する

(4.商機拡大)

- ・ 丸広では手に入らない品を提供すればよいと考えている

- ・ ビジネスチャンスと考え、販売促進を行う
- ・ テナント応援社員の宿泊等で来店客が増える
- ・ やり方次第で売上は増やせる

(5.その他の意見)

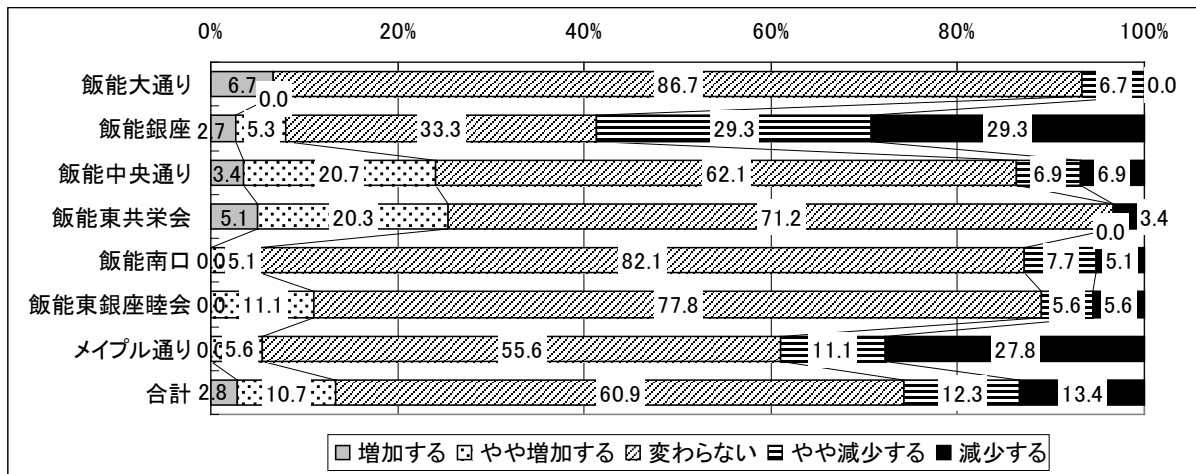
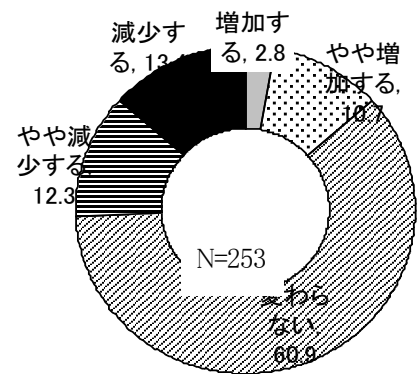
- ・ 飯能駅前の立地の方が便利
- ・ 現丸広は商品の質が良く、量よりも満足で市の内外の支持と信用を受けていると聞いている
- ・ 全国的に大型店が退いた後その場所はだめになっている
- ・ 高齢者の休み場所、トイレなどに困ると思う
- ・ 食料品等の買物に利用していた高齢者は大変不便になる

② まるひろ移転による売上変動予想

図表 4-6-49 売上額の変動予想

「丸広百貨店飯能店」の移転による売上額の変動予想を全体でみると、「増加する」2.8%、「やや増加する」10.7%の合計は 13.5%にとどまっており、「変わらない」が 60.9%を占めている。「減少する」と「やや減少する」の合計は 25.7%となっており、前記の①来店客数の変動予想と傾向が概ね一致している。

商店街別に「増加(増加+やや増加)」-「減少(減少+やや減少)」の算式によるポイント差をみると、プラスの値となったのは、飯能東共栄会+22.0ポイント、飯能中央通りが+10.3ポイントとなっている。逆に、マイナスの値となったのは、飯能銀座△50.6ポイント、メイプル通り△33.3ポイント、



飯能南口△7.7ポイントなどとなっている。

図表 4-6-50 商店街別売上額の変動

(単位:%)

図表 4-6-51 商店街別売上額の変動

(単位:店・%)

	増加		やや増加		変わらない		やや減少		減少		合計	
	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%
飯能大通り	1	6.7	-	-	13	86.7	1	6.7	-	-	15	100.0
飯能銀座	2	2.7	4	5.3	25	33.3	22	29.3	22	29.3	75	100.0
飯能中央通り	1	3.4	6	20.7	18	62.1	2	6.9	2	6.9	29	100.0
飯能東共栄会	3	5.1	12	20.3	42	71.2	-	-	2	3.4	59	100.0
飯能南口	-	-	2	5.1	32	82.1	3	7.7	2	5.1	39	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	2	11.1	14	77.8	1	5.6	1	5.6	18	100.0

メイプル通り	-	-	1	5.6	10	55.6	2	11.1	5	27.8	18	100.0
合 計	7	2.8	27	10.7	154	60.9	31	12.3	34	13.4	253	100.0

【売上額の変動要因】

前記②売上高の変動要因については、「人の流れが減少する」と「変化なし」の要因がそれぞれ 31.4%で最も多くなっており、この2項目だけで6割以上となっている。また、「人の流れが増加する」との割合は20.0%となっており、「商機拡大」は5.7%となっている。

図表 4-6-52 売上額の変動要因 (単位:件・%)

No.	項 目	件 数	構成比
1	変化なし	11	31.4
2	人の流れの減少	11	31.4
3	人の流れの増加	7	20.0
4	商機拡大	2	5.7
5	その他	4	11.5
	合 計	35	100.0

【売上額の変動要因の意見】

(1.変化なし)

- ・ 丸広飯能店から比較的離れているので変化はない(2件)
- ・ 丸広の規模が大きくなっても集客力が増すとは思わない(2件)
- ・ 東飯能店になっても、買物の目的が丸広の為、商店街を回遊する可能性は、ほとんど無く売上には貢献しないと思う
- ・ 移転後の丸広の売上は、飯能駅前店の売上を上まわる事は無いと思う
- ・ 丸広は、売場面積が広がっても、コストをかけてオープンさせても結果はマイナスだと思う
- ・ 当店は宅配が中心のため影響は少ない
- ・ 当店は工事のウェイトが高いため影響はない
- ・ 飯能にお客さんがいないので影響はない
- ・ 今までお客様が、入ってないので変わらないと思う

(2.人の流れの減少)

- ・ お客様の減少で必然的に売上は減少する(7件)
- ・ 丸広の集客によるシャワー効果が大きい
- ・ 丸広跡の店舗が質の高い運営をされることを願う
- ・ 丸広従業員の方の利用が減るため
- ・ 人通りが少なくなり店舗が減ると人も減る

(3.人の流れの増加)

- ・ 集客が見込めれば、売上も多少増加する(5件)
- ・ 丸広東飯能店の店舗から近く、集客が見込める。
- ・ 奥様の丸広での買物の間など待ち時間に来店するお客様が増加する

(4.商機拡大)

- ・ テナント応援社員の宿泊等で来客数が増える
- ・ やり方次第で顧客は増やせる

(5.その他の意見)

- ・ 高齢者の休み場所、トイレなどに、困ると思う
- ・ 実際に移転してみないとわからない
- ・ 丸広東飯能店の売上増加はそれほど見込めないと思う
- ・ 丸広東飯能店はテナントでどれだけニーズにあったものを入れられるのかにかかっている。レストランも入れたほうがよい

③「丸広百貨店飯能店」移転後の建物・駐車場の活用方法

建物跡地に関する意見・要望等

「丸広百貨店飯能店」移転後の建物跡地の活用方法に関する意見・要望を自由に記入してもらった結果は図表 4-5-53 のとおりである。

それによると、「テナントビル等の誘致」が 35.7%を占めており、各種のテナントの出店を望む声が最も多く、次いで市役所や病院などの「公的施設等の設置」が 15.3%となっている。また、「食品スーパー等の出店」についても 13.3%の要望がある。

図表 4-6-53 建物跡地に関する意見・要望等

(単位:件・%)

No.	大項目	番号	中項目	件数	構成比
1	テナントビル等	1-1	テナントビル	18	18.4
		1-2	各種イベント施設	7	7.1
		1-3	映画館	3	3.1
		1-4	百貨店	3	3.1
		1-5	スポーツ施設	2	2.0
		1-6	店舗付マンション	1	1.0
		1-7	室内遊園地	1	1.0
		(小計)		(35)	(35.7)
2	公的施設等	2-1	市役所	3	3.1
		2-2	病院	3	3.1
		2-3	公営馬券売場	3	3.1
		2-4	図書館	2	2.0
		2-5	飯能市観光協会	1	1.0
		2-6	飯能商工会議所	1	1.0
		2-7	公営福祉施設	1	1.0
		2-8	公園	1	1.0
		(小計)		(15)	(15.3)
3	食品スーパー等	3-1	食品スーパー	8	8.2
		3-2	食品テナント	5	5.1
		(小計)		(13)	(13.3)
4	コミュニティー施設等	4-1	コミュニティー施設	(7)	(7.1)
5	大型家電店等	5-1	大型家電店	5	5.1
		5-2	ディスカウントショップ	1	1.0
		(小計)		(6)	(6.1)
6	その他	6-1	売却	1	1.0
		6-2	区画整理地の確保	1	1.0
		6-3	その他	20	20.4
		(小計)		(22)	(22.5)
	合 計			98	100.0

【建物跡地の活用方法に関する意見・要望等】

③-1 テナントビル等

(1-1)テナントビル

- ・ 同程度の集客力のあるテナントに出店して欲しい(3件)

- ・丸広に替わる大型商業施設の誘致(2件)
- ・若者が立ち寄れるショッピング・モールの誘致
- ・レストラン街を誘致
- ・丸広に匹敵する集客力のある店舗ができてほしいと思う
- ・個人商店者に移転希望があれば跡地にテナントを募り、市の援助をお願いして、個人商店の道の駅にしてほしい。
- ・大規模な集客施設に建て直してほしい
- ・建物の内部を分割し、安いテナント料で外部から企業を誘致してほしい
- ・小さくても個性のある楽しいショップが、たくさん入ると良いと思う
- ・ハイキング客や学生が多く通る道なので魅力的な店舗に出店してほしい
- ・コーヒーを朝早くから飲める店舗を入れてほしい
- ・古着、ディスカウント、アウトレット、若者に人気のブランド店など短期の店舗を入れて季節ごとに入れ替える
- ・1・2階…飯能お祭会館 地下…現状 3階…イベント会館(映画館) 4階…飯能物産店 5階…ふれあい広場 6・7階…飯能名店街(食事ができる)のような施設にしてほしい
- ・飯能市の“特徴や理念”をベースとした揺ぎ無い考え方の下に集客出来る総合的な施設がほしい
- ・イベント会場、物産展、食品館(いろいろなレストラン他)、飯能のお祭広場又は山車を展示する(1-2)各種イベント施設
- ・いろいろな事に使えるイベントホールを作してほしい(2件)
- ・企画、イベント等に積極的に使用するべき
- ・小じんまりしていて使い勝手が良い吉祥寺シアターのようなスペースがあると人が集まるので、フロアの一つはイベントホールにしてほしい。
- ・地元のアーティストを起用してイベントを行う
- ・町の人達が集まり写真展等ができるイベント会場
- ・市民が集うイベント会場(ちいさな映画館・ライブハウス・コミュニティーカレッジ スポーツジム等)市民が趣味を持ち寄って集える場所。
(1-3 映画館～1-7 室内遊園地)
- ・映画館(3件)
- ・集客力のあるスーパーなど、丸広以上に人気のある百貨店などの業種が来てほしい(2件)。
- ・丸広が建替えてもどってくるのがよい
- ・エアロビ・スポーツジムなど明るいイメージの健康関連施設があったらよい(2件)
- ・店舗付きマンション
- ・室内遊園地
- ③-2 公的施設等
 - ・東飯能店へ市役所の一部が入るなら、移転後の建物に市役所が入居して今の役所を団地にでも造り変えた方が中心市街地は活性化すると思う
 - ・市役所
 - ・市役所の出張所(無休としてほしい)
 - ・総合病院の誘致(3件)
 - ・図書館(2件)
 - ・飯能市観光協会を入れる
 - ・飯能商工会議所を移転する。
 - ・飯能市の福祉センター
 - ・駅前公園
 - ・公営馬券売場
 - ・公営ギャンブル

- ・ JRAの誘知(一部フロアでも良い)少なくとも土・日は集客が見込める

③-3 食品スーパー等

- ・ 食料品などを扱うディスカウントスーパーを作してほしい(4件)
- ・ 集客力のある総合スーパーを誘致する(2件)
- ・ 2階建て程度の建築物で、旧市街地に住居を置く消費者の身近な買物場所としての機能を持ったミニスーパーで充分
- ・ 日高のファミリー丸広の様な店舗が欲しい
- ・ 建物が現状のままなら、食料品を取り扱う業種を入れるべき
- ・ 同じ様な食料品を扱うお店にテナント出店してほしい
- ・ 商業施設として物販形態を継続させ、食料品を中心にした強力物販店の誘致をする
- ・ デイリー(日常)の食品とちょっとした買物ができる店や飲食店が欲しい
- ・ 生鮮三品のお店がほしい

③-4 コミュニティー施設等

- ・ 子供又は中高年の人々が楽しめる店舗又は施設(2件)
- ・ 人が集まりやすい所
- ・ 市を訪れる観光客が目当てにして立ちよりたいと思う飯能の一つの目玉となる総合施設がほしい
- ・ 飯能の文化・歴史・森林文化、芸術等の展示、エコツーリズムのPR・学習展示用の施設
- ・ 飯能の山、川、名所等を中心とした観光PRや案内用の施設。
- ・ たくさんの人に生きがいをもってもらいたいので、趣味と習い事の出来る場所にしてほしい

③-5 大型家電店等

- ・ 大型家電店など大型店の誘致(5件)
- ・ 現在の建物をそのまま利用するのであれば、大型家電店などの商業施設を入れるのがよい
- ・ せきどやドンキホーテなどの別の大型店やディスカウントショップを誘致する

③-6 その他意見

- ・ 大手企業に買取ってもらい活性化につなげて欲しい
- ・ 区画整理に向けた土地の確保(すぐには使わない)、うどん博物館のような箱モノはやめてほしい
- ・ 集客できる店舗にしてほしい(2件)
- ・ 丸広が一番の街の中心存在(地)である、飯能市将来の有り方を左右する大問題だと思う
- ・ 今の東飯能のようにならない為にも、丸広の移転は、後が決まるまでは、飯能店での営業を望む
- ・ 現建物が存続か、建替えか、更地か、不明のままの状態で困っている。
- ・ 丸広の計画がまったく見えない為、考えられない、たくさん集まるような施設になれば良いと思う
- ・ 「建物跡地」と書いてあるが、取り壊す事になっているのか
- ・ 飯能駅前が活性化する事が飯能を元気にする事につながると思う
- ・ 高齢者世帯や自転車・徒歩での買物に不便を感じない売場(商品構成・サービス等)を提供してほしい
- ・ 飯能市には、百貨店と名の付く高級路線をいく店舗は採算ベースに合わないと思う
- ・ 東京の中心まで1時間程度の距離では、商業都市を目指すより別の方向性を考えた方がよい。8万人程度の人口では、余りにも弱い
- ・ 公共施設はぜったいに避けて欲しい
- ・ そのままどこかちがう業種が入るとよい
- ・ 購入した企業の考えによるものと思う
- ・ 年令に関係なく、飯能の方だけでなく利用できるようなセンターや名物があるとよい
- ・ 今の所を片付けて移りたいほど、今の大家さんには、気を使っている
- ・ 空き状態にしなければ何でもよいと思う
- ・ 住宅 マンションは避けてほしい
- ・ マクドナルドはなぜなくなったのか

駐車場跡地に関する意見・要望等

駐車場跡地の活用方法に関する意見・要望を自由に記入してもらった結果は図表 4-6-54 のとおりである。

それによると、「駐車場」が 63.5%を占めており、現状どおりの活用を求めている割合が高い。その中には、商店街共用駐車場や時間貸駐車場を望む声がそれぞれ 13.5%、11.5%あり、より柔軟な活用を求める声も存在している。

次いで、公園などの「公的施設」が 9.6%となっている。

「その他」での要望では、テナントビル、イベント活用スペースなどがある。

総体的にみると、駐車場跡地の活用については、その他の用途に転用するよりも、有料か無料かの別はあるにしても、「駐車場」としての利用を求める声が多い。

図表 4-6-54 駐車場跡地に関する意見・要望等 (単位:件・%)

No.	大項目	番号	中項目	件数	構成比
1	駐車場	1-1	駐車場	15	28.8
		1-2	商店街共用駐車場	7	13.5
		1-3	時間貸駐車場	6	11.5
		1-4	公営駐車場	5	9.6
		(小計)			(33)
2	公的施設等	2-1	公園	2	3.8
		2-2	図書館	2	3.8
		2-3	保育所	1	1.9
		(小計)			(5)
3	その他	3-1	テナントビル	3	5.8
		3-2	イベント活用スペース	3	5.8
		3-3	マンション誘致	1	1.9
		3-4	映画館	1	1.9
		3-5	バスターミナル	1	1.9
		3-6	一戸建て住宅	1	1.9
		3-7	その他	4	7.7
		(小計)			(14)
合計				52	100.0

【駐車場跡地の活用方法に関する個々の意見・要望等】

③-7 駐車場

(1-1) 駐車場

- ・ 店舗ができれば、駐車場のままでよい(8件)
- ・ 誘致商業施設の駐車場(2件)
- ・ 雨の場合でも、濡れないで入れる駐車場にしてほしい
- ・ 駐車台数は現状確保をお願いしたい
- ・ 駐車場と建物近くには雨よけ屋根(アーケード)を設置してほしい
- ・ イベント会場やビルを使用のための駐車場
- ・ シャトルバスを利用し跡地は駐車場とする

(1-2) 商店街共用駐車場

- ・ 商店街の駐車場として利用(4件)
- ・ 駐車場はそのままにして、銀座通り商店街で借りられるようにしてほしい

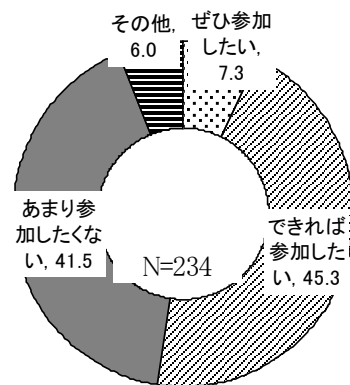
- ・ 駐車場として商店街で駐車代金の金額を少し負担してほしい
 - ・ できれば1階部分は店舗が望ましい、駐車場も使えば良い
- (1-3) 時間貸駐車場
- ・ そのまま時間貸しにて、駐車場として使用(2件)
 - ・ 駐車場として料金を含めてもっと使い易い時間貸しにしたらよい
 - ・ 駅利用者のためのコインパーキング
 - ・ 商店街への人々のためコインパーキングがほしい
 - ・ 駐車料金を24時間500円から1,000円程度に設定し、飲食店や商店街のお客様の利用につなげるべきだと思う
- (1-4) 公営駐車場
- ・ 市のイベントに使用できる駐車場
 - ・ 市で管理して無料駐車場にしてもらいたい、時間を1時間などに区切って無料にする
 - ・ 市民の駐車場
 - ・ 市営あるいは商店街連盟で駐車場として利用する
 - ・ 飯能市で借りて運営すれば駐車料金から収益も出るのでは、丸広東飯能店のフロアを借りるより有益だと思う
- ③-8 公的施設等
- ・ 保育所等を設置してほしい
 - ・ 植樹をして公園にすれば地域住民・及び来飯者にとって快適で面白いものができると思う
 - ・ 公園緑地
 - ・ 図書館
 - ・ カフェなどもある開放的な図書館(CD、DVD等)にする
- ③-9 その他
- ・ 大規模な集客施設に建て直してほしい
 - ・ 賑かになる施設
 - ・ 他の町からもわざわざ来たいと思うような場所を望む
 - ・ 例えば109が飯能にあれば所沢や秩父からもお客が来ると思う
 - ・ 野外イベント会場(2件)
 - ・ 観光的な要素(ハイキングや祭り)の時に合わせてイベントを行うスペース
 - ・ マンションを建て人口の増加を計る購買力のある若い人の入居がほしい
 - ・ 戸建の住宅、マンション等の高層化は反対
 - ・ 住宅マンションは避けてほしい
 - ・ 映画館があるとよい
 - ・ バスターミナル
 - ・ 公共施設はぜったいに避けてほしい
 - ・ 建物全体がお洒落でアート感のあるものにしてほしい

(9) 商店街活性化研修会・勉強会への参加意思
図表 4-6-55 研修会等への参加意思

商店街活性化のための研修会・勉強会への参加意思について全体でみると、「ぜひ参加したい」は 7.3%、「できれば参加したい」が 45.3%となっており、合わせて5割強を占めている。一方、「あまり参加したくない」は 41.5%を占めており、「その他」が 6.0%となっている。

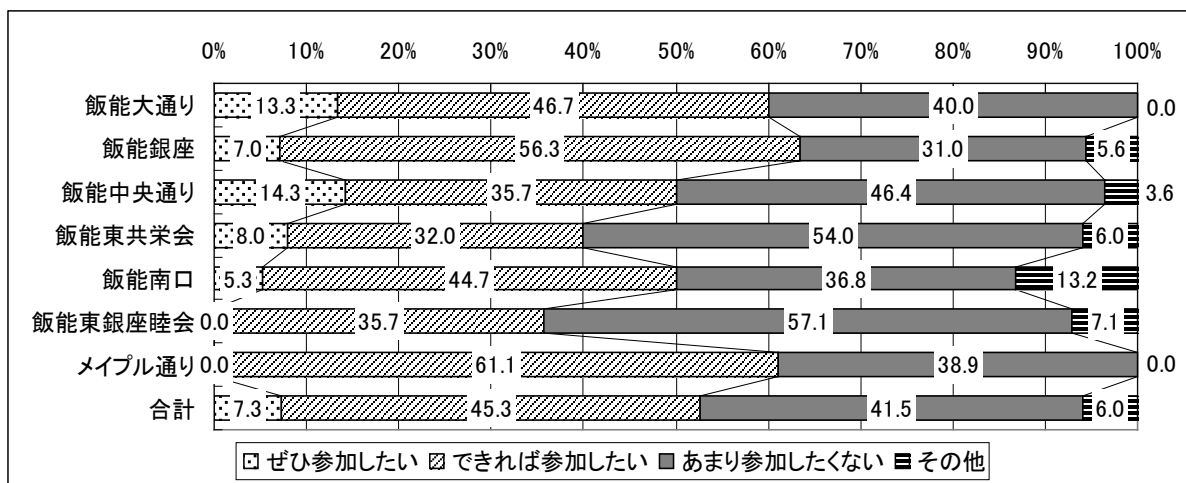
このように、「参加したい商店主」と「参加したくない商店主」はほぼ半数であるが、「参加したい商店主」の方が 11.1ポイント上回っている状況にある。

商店街別に「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせると、飯能銀座 63.3%、メイプル通り 61.1%、飯能大通り 60.0%、飯能中央通りと飯能南口が各 50.0%となっている。逆に「あまり参加したくない」が 50%超は、飯能東銀座睦会 57.1%、飯能東共栄会 54.0%となっている。



図表 4-6-56 商店街別研修会等への参加意思

(単位: %)



図表 4-6-57 商店街別研修会等への参加意思

(単位: 店・%)

区分	ぜひ参加したい		できれば参加したい		あまり参加したくない		その他		合計	
	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比	店	構成比
飯能大通り	2	13.3	7	46.7	6	40.0	-	-	15	100.0
飯能銀座	5	7.0	40	56.3	22	31.0	4	5.6	71	100.0
飯能中央通り	4	14.3	10	35.7	13	46.4	1	3.6	28	100.0
飯能東共栄会	4	8.0	16	32.0	27	54.0	3	6.0	50	100.0
飯能南口	2	5.3	17	44.7	14	36.8	5	13.2	38	100.0
飯能東銀座睦会	-	-	5	35.7	8	57.1	1	7.1	14	100.0
メイプル通り	-	-	11	61.1	7	38.9	-	-	18	100.0
合計	17	7.3	106	45.3	97	41.5	14	6.0	234	100.0

【その他意見の内容】

- ・ 具体的な内容で判断したい(3件)
- ・ 講師に支払う講師料を現場に使うのがいい
- ・ 研修会や、勉強会レベルでは無理なので行政に期待したい
- ・ 時間がないので参加できないと思う
- ・ どちらとも言えない
- ・ 体力的に無理

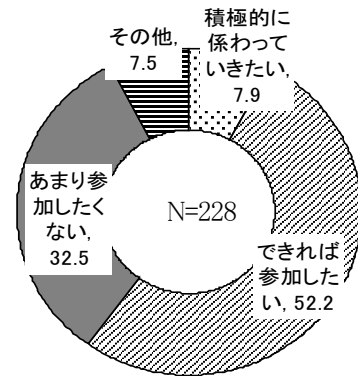
- ・ 状況次第(社内都合)

(10)商店街活性化活動への参加意向

商店街の活性化活動への参加意向については、図表 4-6-58 のとおり、「積極的に係わっていききたい」「できれば参加したい」がそれぞれ 7.9%、52.2%と合わせて 6割強を占めている。一方、「あまり参加したくない」は 32.5%となっている。

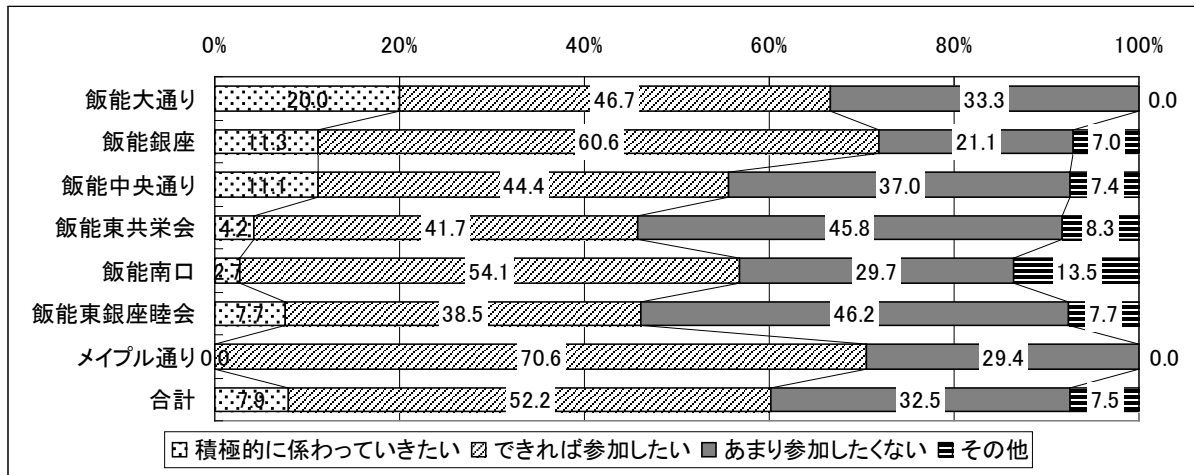
商店街別に「積極的に係わっていききたい」と「できれば参加したい」を合わせた割合をみると、飯能銀座 71.9%、メイプル通り 70.6%、飯能大通り 66.7%、飯能南口 56.8%、飯能中央通り 55.5%と高いものとなっている。

図表 4-6-58 活性化活動への参加意向



図表 4-6-59 商店街別活性化活動への参加意向

(単位:%)



図表 4-6-60 商店街別活性化活動への参加意向

(単位:店・%)

区分	積極的に係わっていききたい		できれば参加したい		あまり参加したくない		その他		合計	
	店	%	店	%	店	%	店	%	店	%
飯能大通り	3	20.0	7	46.7	5	33.3	-	-	15	100.0
飯能銀座	8	11.3	43	60.6	15	21.1	5	7.0	71	100.0
飯能中央通り	3	11.1	12	44.4	10	37.0	2	7.4	27	100.0
飯能東共栄会	2	4.2	20	41.7	22	45.8	4	8.3	48	100.0
飯能南口	1	2.7	20	54.1	11	29.7	5	13.5	37	100.0
飯能東銀座睦会	1	7.7	5	38.5	6	46.2	1	7.7	13	100.0
メイプル通り	-	-	12	70.6	5	29.4	-	-	17	100.0
合計	18	7.9	119	52.2	74	32.5	17	7.5	228	100.0

【その他意見の内容】

- ・ 具体的な内容で判断したい(4件)
- ・ 若いものを参加させたい
- ・ 内容によっては積極的に参加したい
- ・ 時間がないので参加できない
- ・ 来客数の増加に結びつくようなら参加したい
- ・ どちらとも言えない

7. 商店街や飯能市の活性化のための意見・要望

前記1.～6.の質問の他に、「商店街や飯能市の活性化のための意見や要望等」を自由に記入してもらったところ、図表4-7-1のような状況となった。

最も多かったのは行政に関する要望で32件(40.5%)となっている。その内訳は、都市計画等に関する意見が10件(12.6%)、飯能市の活性化に関する意見が9件(11.4%)となっており、商店主が行政に対してハード面、ソフト面両面からの活性化施策を求めていることが分かる。

個店に対する意見・要望は13件(16.5%)となった。商店主の意識改革を求める意見や空き店舗対策を求める声としてそれぞれ4件(5.1%)、3件(3.8%)の意見があった。

商店街に対する意見・要望は11件(13.9%)となった。内訳を見るとイベント関連が7件(8.9%)であり、商店街に対しては集客できるイベント等を求める声が多くなっている。

その他の意見は23件(29.1%)となっている。

図表4-7-1 商店街や飯能市の活性化のためのご意見・ご要望 (単位:件・%)

No.	大項目	番号	中項目	件数	構成比
1	行政に対する要望	1-1	都市計画等に関するもの	10	12.6
		1-2	活性化に関するもの	9	11.4
		1-3	経費節減に関するもの	2	2.5
		1-4	補助金に関するもの	2	2.5
		1-5	建物に関するもの	1	1.3
		1-6	インフラの整備	1	1.3
		1-7	その他意見・要望	7	8.9
		(小計)		(32)	(40.5)
2	個店に対する意見・要望	2-1	商店主の意識改革	4	5.1
		2-2	空き店舗対策	3	3.8
		2-3	営業時間に関する要望	2	2.5
		2-4	その他意見・要望	4	5.1
		(小計)		(13)	(16.5)
3	商店街に対する意見・要望	3-1	イベント関連	7	8.9
		3-2	その他	4	5.1
		(小計)		(11)	(13.9)
4	その他の意見・要望	4-1	その他の意見・要望	(23)	(29.1)
	合	計		79	100.0

(1) 行政に対する要望

(1-1) 都市計画等に関するもの

- ・ 飯能市自治体としての都市計画(この場合は中心街の充実・活性化)と深く係ってくと思う
- ・ 効外にショッピングセンターの出来る流れは変えられないが、公共施設の計画は、市民と一体になればできる
- ・ 行動範囲の広くない人々をターゲットとして、広場にいいの場を作るなど人の集まりやすい街作りが必要だと思う
- ・ 企業誘致を最優先でお願いする
- ・ 踏切の立体化ぜひ実行に移してもらいたい
- ・ 自然環境に囲まれたメリットを生かし、名物、名産品の開発、バリアフリーの整った街づくりを進めてほしい
- ・ 中心街と外部周囲の方々と意見合わせが急務で、市全体がまとまってほしい。組織づくりと合意形成市民の熟成がないと行政は動けないと思う

- ・ 自然を生かした街興し、森林、河川、山、湖、医療体制、介護体制の整った街づくりを求める
- ・ 企業や職場を増やさないと市としては、人口は増えないのではないのか
- ・ 若い人が住みたいと思う環境作りをお願いしたい

(1-2) 活性化に関するもの

- ・ 行政はもっと食文化の発展に力を入れてほしい
- ・ 飯能は都心から近い、とても面白い観光地だと思う。もっと上手くやればいくらでも集客できるはず
- ・ 飯能河原をもっと開放的にするため河原マップを作る。河原に車を入れられる様にもどす
- ・ 市の観光関係者は、天覧山や飯能河原へのルートの起点を飯能駅の北口としているが、南口を起点として矢久橋周辺を整備し、上流兩岸の県の緑のトラストを整備、また、遊歩道を飯能河原、天覧山、宮沢湖へ、帰路は飯能駅北口に結び、街の商店街を通り、おみやげなどを買って頂くルートが良いのではないのか
- ・ ハイキング者を商店街に入れこむことに力を入れてほしい
- ・ 『エコ』を標榜し、他の街や方針に従うのではなく、もっと皆で出来ることはあるはず
- ・ 以前、秩父市では市職員にボーナス時に商店街の数店で買物するスタンプを実施したと聞き、積極的な取り組みと思った。飯能市でも市職員、飯能信用金庫、商工会議所職員等、皆様に秩父市同様商店街の消費協力は是非熱望したい
- ・ 飯能市は市長から役所の行政がすべて大型店に傾いてかたむいているように思えるので、個店のことをもっと考えてほしい
- ・ 商店街活性化は、時間の流れ(自動車時代、大型量販店化等)との関係で考えていかねば、個々の商店街や店単位ではすぐ壁につきあたり動けなくなると思う

(1-3) 経費節減に関するもの

- ・ 年末年始のイルミネーションは集客力もなく、金の無駄使いだと思う。すぐにでもやめるべき
- ・ 報告書を作るだけの研修会や会議は金(税金)の無駄。「市街地再開発」のような大きな話してまともでない事より、目の前の問題を、1つずつ、解決する事が大事

(1-4) 補助金に関するもの

- ・ 空店舗の入居者には、市当局、商工会議所が妥当な賃貸補助をしたらよいのではないのか
- ・ 商店街の会員数の減少により商店街運営が非常に厳しくなっており、街路灯の電気料・維持管理費用の捻出に苦慮しているので市の助成をお願いしたい

(1-5) 建物に関するもの

- ・ 丸広東飯能店7、8階を市が借用する事には強く反対する

(1-6) インフラの整備

- ・ クリーンセンターの熱理用(狭山市にあるサビアのような施設を作り、市で運営し財源にする。シルバー人材を活用する)

(1-7) その他意見・要望

- ・ 商店街は崩壊の危機に直面していると思う。アンケートの結果は同じだと思うのでやることだけはやってそれでダメならあきらめる
- ・ 越谷レイクタウンを二度見に行き、来街客が幸せそうに見えなかった。その逆をやればよいと思う
- ・ 飯能市で固定資産税を安くする
- ・ 人の集まる所に人は集まります。まずは人口が増えない事には先が見えない
- ・ 問40、イベントは②を除き①から⑦はメイプル商店会の通りは飯能北口メイン通りではあるが、全くの無視されている感がある。祭り等もシダックス交差点より北方面にスポットを是非お願いしたい
- ・ 市役所職員、市議会議員、経営者等、行政レベルでの努力をするべきだと思う

(2) 個店に対する意見・要望

(2-1) 店主の意識改革

- ・ マイナス要因をあげれば際限なくあり、どうしても悲観的になってしまうので、ここは、各個店や個人が、強い意志をもって「街を立て直していこう」という信念を持つことが大切だと思う

- ・ 個店が魅力ある店づくりをすれば、おのずと人が集まるのではないか。その様な店舗が多くなれば商店街も活性化するはず。立地的なこと、公的なことを考えても、この様な調査ばかりで、実施されないのではないかと思う
- ・ 自虐的にならずプラス思考になる。他力本願から強い意志をもって脱却する
- ・ 畑のまんなかでも大繁盛している店がある。各店の、さまざまな頑張りが商店街や飯能市の活性化につながると思う。その逆はないと思う

(2-2) 空き店舗対策

- ・ 現状の商店街では空き店舗が多すぎてせっかく買い物に来ていただいたお客様が『あの商店街はウィンドウショッピングする所でもないし、買うものもない』という印象を与えている
- ・ 若者など、やる気のある人をもっと応援する意味でも、空いている店舗・商店をもっと自由に貸し出すとよいと思う
- ・ 商業地域なのに店として活用されていないし、単なる居住となっているのは不自然。空き店舗、空き家を無くすようにしてほしい

(2-3) 営業時間に関する要望

- ・ 商店街の人々の意識が足りない気がする。夜も夏は人々が出歩く時間も長くなるので夜10時頃までは営業してほしい
- ・ 丸広が移転してしまうとますます町は暗くなるので商店街だけでも夜は営業してほしい

(2-4) その他意見・要望

- ・ 高齢化と後継者不足が深刻な問題で、自店以外の企画に参加する余力がない
- ・ 個店より大型のスーパーを利用すれば、すべて用が済んでしまうので、店に出向くことがなくなるようになってしまった。この店に行かなければ買えないというものがあればよいと思う
- ・ 飯能市を活性化するために若手のトップの人達に頑張ってもらいたい。このままでは、飯能市は、死んでしまう。本気で考え、新しい風を吹き込んでほしい。行動を起こしてほしい
- ・ 買いたいと思う品物がない

(3) 商店街に対する意見・要望

(3-1) イベントに関する意見

- ・ 統一感のある事業をお願いしたい
- ・ 思いつきで水そう、ざくろなど今までの飯能に関係のない物をもって来るのではなく、もともとある飯能の良さを生かしていく様なイベントが欲しい
- ・ 女の人が喜ぶようなイベントでなくては人は呼べないと思う
- ・ 40代以上の生活幸せエンジョイ町場などに集点を絞って、お客がゆっくり歩いて、休めて、「お祭り」、「縁日」、「手品」、「お宮参り」、「売声」や「店の匂い」などを感じられる表示物やイベントなどが作れるとよいと思う
- ・ イベントの方向づけの一貫性を求める
- ・ 飯能はソーデーマーチ、エコツーリズム、歩け歩けウォーク等、多くのイベントを行っているが、飯能の特徴である緑と清流をもっと前面に出し、名栗に森林浴病院を作ったら良いと思う
- ・ 商店街のイベント等に力を入れ努力していることは、一市民としてはとてもよく伝わってくる。しかし、会社としてはこういったイベントにほとんど協力していないため、大変申し訳なく思う

(3-2) その他

- ・ 春は桜が満開でつつじで染まる天覧山といったような飯能に由来からあるきれいな自然を生かして、お客様を呼び込めば良いと思う
- ・ 個々の集客イベント活動は具体性がありとても大切なことだとは思いますが、それとともに人が話題にするような魅力的な街、市外、県外からもどんどん人が集まるような街づくりが長期的には不可欠だと考える
- ・ 土・日のハイキングの人達が来る時は外に店を出すなどしてもっと盛り上げて欲しい
- ・ 活性化のためには人口増が不可欠だとは思いますが、お客様のニーズに合う品揃え、接客、店作

り、商店の創意努力が大変であり、若い人に対する研究会や勉強会をしてほしい

(4) その他意見・要望

- ・ JCの広報に「武州飯能うどん」があったが、ぜひこれを大々的にすすめてほしい
- ・ 小売の商店が沢山できると良いと思う
- ・ 現在の商店街を見ると、1商店ではどうにもならないと感じる。この調査をするのもいいが、商工会議所、駿河台大学、飯能信用金庫それぞれが商店の活性化についてどう見ているのか先にタタキ台を提示してから個人個人の意見を聴く形でアンケートをとった方が答えやすいと思う。業種によっても、答えが違うので回答が難しい
- ・ 人口が減っている市に未来なく、すでに限界集落になっている。大型店がどんどん撤退したら市民は買物ができなくなる
- ・ チャイルドシートやベビーカーから子供を乗り降りさせたり、いくつものお店をまわって歩くのは大変なので、子育て世代を商店街に呼び込むのは難しいと思う。また、こういった方は「あのお店の、あれが食べたい！」と思っても結局は行かない事のほうが多い
- ・ 要望は、自分自身、個々人が、一つずつ解決し、乗り越えて行く事だと思う。商店街については、以前、駿大・地域フォーラム第4号(2006年3月発行)へ寄稿し、掲載をして頂いた
- ・ 一人でも多くの方に商店街に足を運んで頂き、買物をして頂きたいと思う
- ・ 飯能市を取り囲むように大型店舗が出店している。私も、大型店に買物に行きますが、その理由は、「一店舗で買物が済む」「品数豊富で商品の回転が速そうなので新鮮に見える」「随時新商品が並ぶ」「見る所がたくさんあるので時間つぶしにもなる」「雨が降っても傘の心配がない」など
- ・ 車社会の人たちにとって一店舗で商品がそろう大型店巡りは楽しい
- ・ 横須賀から引越してきた婦人が、空気と水の良い所に来て良かったと言っていた
- ・ 活性化には、地主の理解が必要
- ・ そもそも、商店街の空洞化は効外に大型店が出店したことにある。しかし空洞化の原因はそればかりではない。他地域の様子を見ると、共通しているのは公共施設の移転が商店街の足を引っぱっていることや市役所の移転や総合病院の移転など商店街から離れて行ったことが大きな原因
- ・ 新しい飯能、人々が集まる飯能にしていけたら良いと思う
- ・ 街路灯の電気代の負担が大きい
- ・ まるひろの跡地に期待したい
- ・ 人口が増え、人の流れが良くなり、かつ、お店が健全でなければ活性化は難しいのではないかと
- ・ あまり新しいことをやらずに、現状のお客様たちを大切に考えたものやっていたら良いと思う
- ・ 飯能市は緑と清流の街と聞かすが、行楽やハイキングに訪れる観光客の玄関(飯能駅)を出ての北口は商店街でしかなく、緑と清流の街などなく、初めて行楽に訪れた人はがっかりして詐欺にあったと思うのではないかと
- ・ まるひろの移転についても、個人がどう思った所でどうにもならないと思う
- ・ このままだと不安、何かいい指導をお願いしたい
- ・ 商店街調査だけではなく、調査側の買物の動向を是非知りたいと思う。消費者の立場に注意して改善もしなければならない
- ・ 景気悪いし、家賃は下がらないまま。道の駅出来ても移ることはできない。今の場所を片付けるにもお金がかかるし、辛い。そのため閉めることもできない。がんばるしかない
- ・ 現在の飯能市の経済状況を考えると、もはや個店の努力だけでは限界があるのではないかとと思う

第5章 商店街の代表者調査

1. 商店街の概要

(1) 商店街加盟店数

本調査は、図表 5-1-1 に挙げた飯能市内の 7 商店街の代表者に回答いただいている。

商店街加盟店舗数は全体で378店である。

うち、16 店舗が休業中であり、加盟店に対する休業店舗の比率は 4.2%となっている。

また、商店街によっては、最大 7 店舗が休業中のところがある。

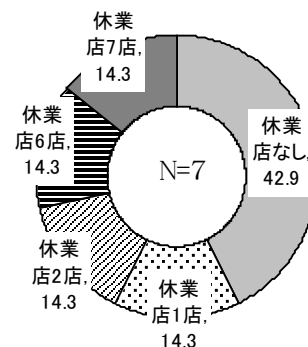
図表 5-1-1 商店街加盟店

区 分	加盟店数	休業店舗	休業店率%
飯能大通り	23	1	4.3
飯能銀座	120	7	5.8
飯能中央通り	50	-	-
飯能東共栄会	90	-	-
飯能南口	49	-	-
飯能東銀座睦会	26	2	7.7
メイプル通り	20	6	30.0
合 計	378	16	4.2

図表 5-1-2 商店街の休業店舗数

区 分	商店街数	構成比%
休業店なし	3	42.9
休業店 1 店	1	14.3
休業店 2 店	1	14.3
休業店 6 店	1	14.3
休業店 7 店	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-1-3 休業店舗数



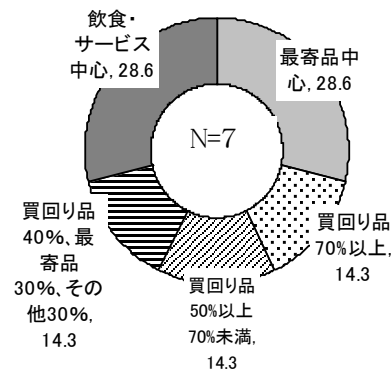
(2) 商店街の性格

商店街の性格は図表 5-1-4 にあげるように、最寄品中心の商店街が 2、飲食・サービス中心の商店街が 2、他は買回り品を含んだ商店街となっている。

図表 5-1-4 商店街の性格

区 分	商店街数	構成比%
最寄品中心	2	28.6
買回り品 70%以上	1	14.3
買回り品 50%以上 70%未満	1	14.3
買回り品 40%、最寄品 30%、 その他 30%	1	14.3
飲食・サービス中心	2	28.6
合 計	7	100.0

図表 5-1-5 商店街の性格



(3) 役員数

商店街の役員数は図表 5-1-6 にあがるように、銀座商店街が最も多く 23 名であるが、役員の比率では飯能大通りが最も高くなっている。

図表 5-1-6 役員数

区 分	役員数	会員数	比率
飯能大通り	10	23	43.5
飯能銀座	23	120	19.2
飯能中央通り	11	50	22.0
飯能東共栄会	21	90	23.3
飯能南口	8	49	16.3
飯能東銀座睦会	5	26	19.2
メイプル通り	2	20	10.0
合 計	80	378	21.2

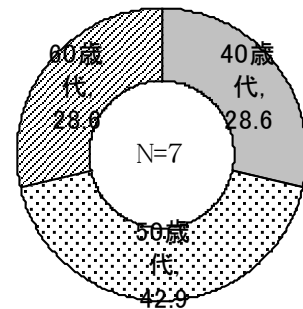
(4) 代表者の年代

代表者の年齢は、図表 5-1-7 にあがるように 50 歳代が 3 名、40 歳代・60 歳代が各 2 名となっている。

図表 5-1-7 会長・理事長の年代

区 分	商店街数	構成比%
40 歳代	2	28.6
50 歳代	3	42.9
60 歳代	2	28.6
合 計	7	100.0

図表 5-1-8 会長・理事長の年代



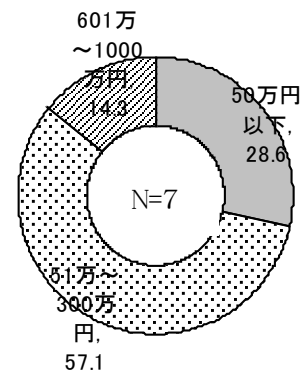
(5) 20 年度予算

商店街の予算は、図表 5-1-9 にあがるように、年間 300 万円以下が全体の 85.7% を占めている。

図表 5-1-9 商店街の 20 年度予算

区 分	商店街数	構成比%
50 万円以下	2	28.6
51 万～300 万円	4	57.1
301 万円～600 万円	0	0.0
601 万～1000 万円	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-1-10 20 年度予算



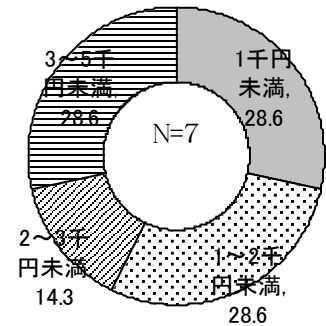
(6) 商店街の会費(月額)

月額会費は、3千円未満が全体の71.4%を占めている。

図表 5-1-11 月額会費

区 分	商店街数	構成比%
1千円未満	2	28.6
1～2千円未満	2	28.6
2～3千円未満	1	14.3
3～5千円未満	2	28.6
合 計	7	100.0

図表 5-1-12 月額会費



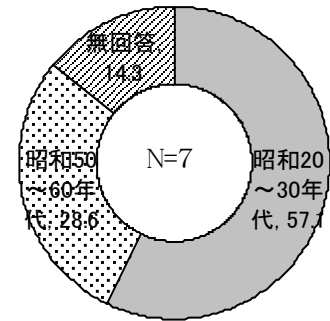
(7) 商店街の設立時期

商店街の設立時期は、昭和20年代2、30年代1であり、設立後50年以上の商店街が57.1%を占めている。また、その後の昭和50年代以降は、2商店街であり28.6%となっている。

図表 5-1-13 設立時期

区 分	商店街数	構成比%
昭和20年代	3	42.9
昭和30年代	1	14.3
昭和50年代	1	14.3
昭和60年代	1	14.3
無回答	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-1-14 設立時期



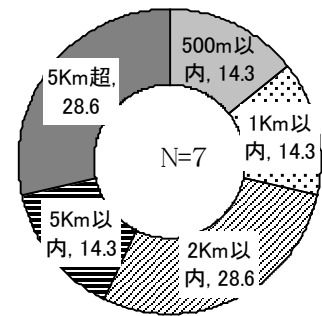
(8) 商 圏

商圏2Km未満が4商店街で、全体の57.2%を占めている。

図表 5-1-15 商圏

区 分	商店街数	構成比%
500m以内	1	14.3
1Km以内	1	14.3
2Km以内	2	28.6
5Km以内	1	14.3
5Km超	2	28.6
合 計	7	100.0

図表 5-1-16 商圏



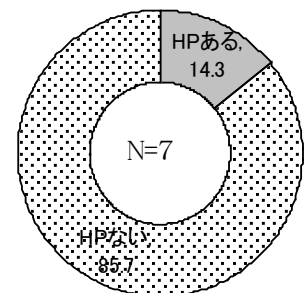
(9) 公式HPの有無

公式HPのある商店街は、1商店街のみである。

図表 5-1-17 公式HPの有無

区 分	商店街数	構成比%
ある	1	14.3
ない	6	85.7
合 計	7	100.0

図表 5-1-18 公式HPの有無



2. 商店街の状況

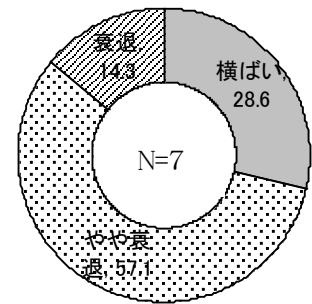
(1) 景況

景況は、「良い」「やや良い」は皆無であり、「横ばい」が2商店街である。「衰退」と「やや衰退」は合わせて5商店街71.4%となっており、景況感としてはあまり良くない。

図表 5-2-1 景況

区 分	商店街数	構成比%
横ばい	2	28.6
やや衰退	4	57.1
衰退	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-2-2 景況



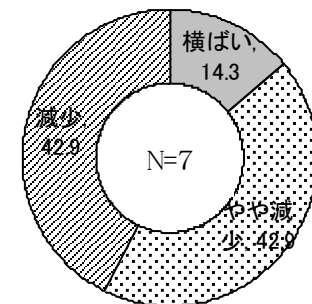
(2) 商店数

商店数については、6商店街で「減少」と「やや減少」としており、合わせて85.8%となっており、減少傾向が窺われる。

図表 5-2-3 商店数

区 分	商店街数	構成比%
横ばい	1	14.3
やや減少	3	42.9
減少	3	42.9
合 計	7	100.0

図表 5-2-4 商店数



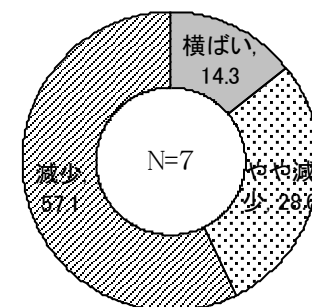
(3) 来街者数

来街者については、「減少」が57.1%と非常に多く、「やや減少」と合わせると6商店街で、85.7%に達している。

図表 5-2-5 来街者

区 分	商店街数	構成比%
横ばい	1	14.3
やや減少	2	28.6
減少	4	57.1
合 計	7	100.0

図表 5-2-6 来街者数



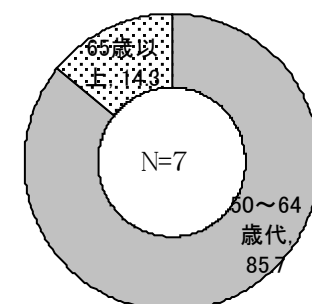
(4) 来街者の年齢

来街者年齢は、「50～64歳代」が6商店街で、85.7%を占めている。

図表 5-2-7 来街者年齢

区 分	商店街数	構成比%
50～64歳代	6	85.7
65歳以上	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-2-8 来街者の年齢



(5) 来街者の属性

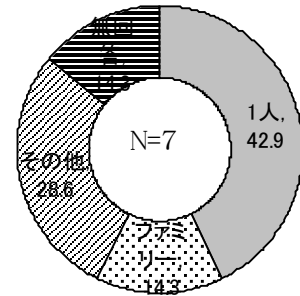
来街者の属性はまちまちであるが、「1人」が 42.9%を占めている。

図表 5-2-9 来街者の属性

区 分	商店街数	構成比%
1人	3	42.9
ファミリー	1	14.3
その他	2	28.6
無回答	1	14.3
合 計	7	100.0

【その他の内容】・全般

図表 5-2-10 来街者の属性



(6) 来街者の要望

要望は「ない」が、57.1%である。「ある」の内容は以下の通り、駐車場の充実であった。

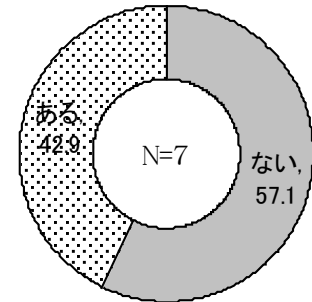
図表 5-2-11 来街者要望

区 分	商店街数	構成比%
ない	4	57.1
ある	3	42.9
合 計	7	100.0

【要望の内容】

- ・駐車場の充実(2件)
- ・魅力のある商品の充実
- ・店舗が集中していない

図表 5-2-12 来街者の要望



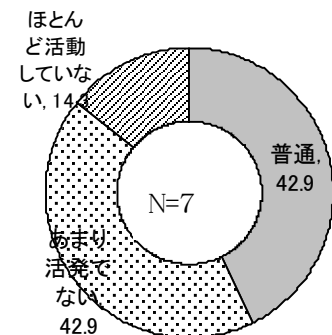
(7) 組織活動

「ほとんど活動していない」と「あまり活発でない」を合わせると全体の 57.2%となっている。

図表 5-2-13 組織活動

区 分	商店街数	構成比%
普通	3	42.9
あまり活発でない	3	42.9
ほとんど活動していない	1	14.3
合 計	7	100.0

図表 5-1-14 組織活動



(8)販売促進事業

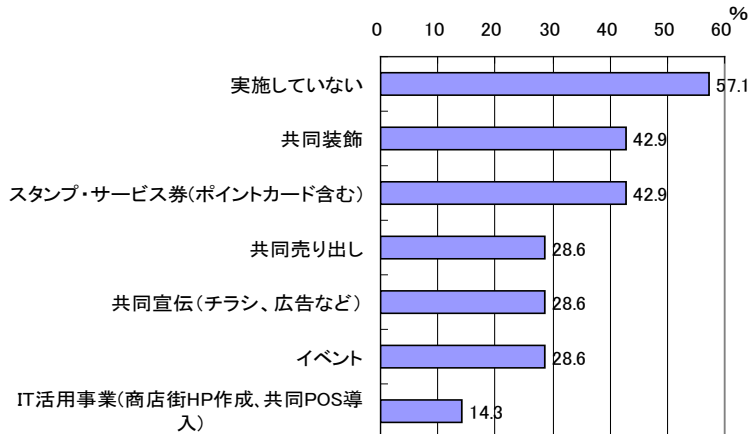
1) 販売促進事業

販売促進事業を「実施していない」のは7商店街中4商店街であり、57.1%を占めている。
他の3商店街は、「共同装飾」、「スタンプ・サービス券」を実施している。
また、チケット販売、銀行POS・デビットカード導入、共通商品券事業に関しては実施していない。

図表 5-2-15 販売促進事業

区 分	商店街数	構成比%
実施していない	4	57.1
共同装飾	3	42.9
スタンプ・サービス券(ポイントカード含む)	3	42.9
共同売り出し	2	28.6
共同宣伝(チラシ、広告など)	2	28.6
イベント	2	28.6
IT活用事業(商店街HP作成、共同POS導入)	1	14.3

図表 5-2-16 販売促進事業



2) 環境整備事業

環境整備事業として全ての商店街で「街路灯」の設置を挙げている。

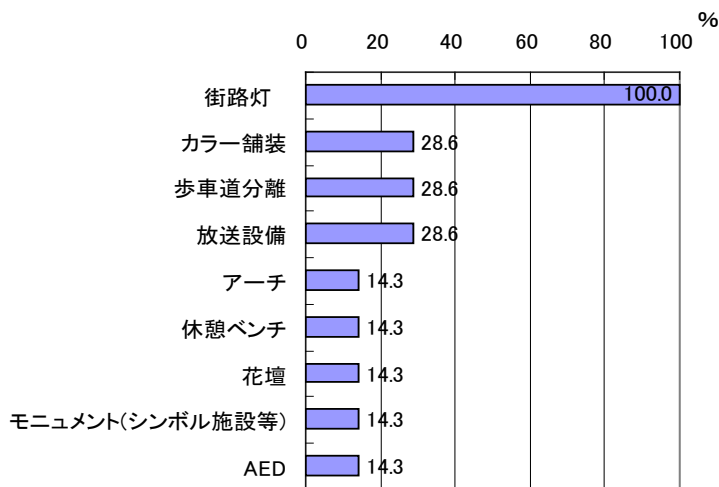
その他、「カラー舗装」、「車歩道分離」、「放送設備」などを挙げているものの、全体的に事業としての取り上げ方は少ない。

なお、アーケード、防犯カメラ、パティオ(店舗間の中庭・公共スペース)、共同店舗、再開発ビル、街路樹、ゴミ入れ・吸殻入れ、休憩施設、共同トイレ、駐車場(商店街管理)、自転車置き場案内板、コミュニティ施設(託児所、福祉施設、観光案内所等)は取り上げていないとの回答であった。

図表 5-2-17 環境整備事業

区 分	商店街数	構成比%
街路灯	7	100.0
カラー舗装	2	28.6
歩車道分離	2	28.6
放送設備	2	28.6
アーチ	1	14.3
休憩ベンチ	1	14.3
花壇	1	14.3
モニュメント(シンボル施設等)	1	14.3
AED	1	14.3

図表 5-2-18 環境整備事業



3) 経営改善事業

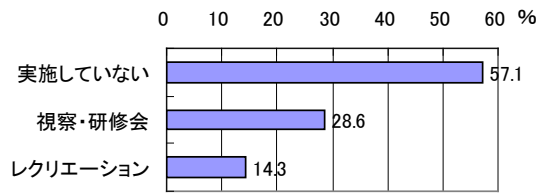
経営改善事業では、「視察・研修会」を2商店街、「レクリエーション」を1商店街で実施しており、「実施していない」のは4商店街で57.1%となっている。

その他の事業(機関紙発行、店員教育、顧客管理(カード化等)、共同金融、共同購入(消耗品等)等)の実施に関する回答はなかった。

図表 5-2-19 経営改善事業

区 分	商店街数	構成比%
実施していない	4	57.1
視察・研修会	2	28.6
レクリエーション	1	14.3

図表 5-2-20 経営改善事業



(9) イベントの売上への貢献度

年間開催されている各種イベントのうち、「貢献している」との評価があったのは5イベントであり、開催場所により商店街への貢献度評価が異なっている。

「②雛飾りin飯能」・「⑧飯能まつり」は、3商店街(飯能大通り・飯能銀座・飯能中央通り)、「⑤飯能夏祭り」は2商店街(飯能大通り・飯能銀座)、「④飯能新緑ソーデーマーチ」は2商店街(飯能大通り・飯能東共栄会)、「⑦はんのう生活祭」は1商店街(飯能東共栄会)で、それぞれ「貢献している」と評価している。

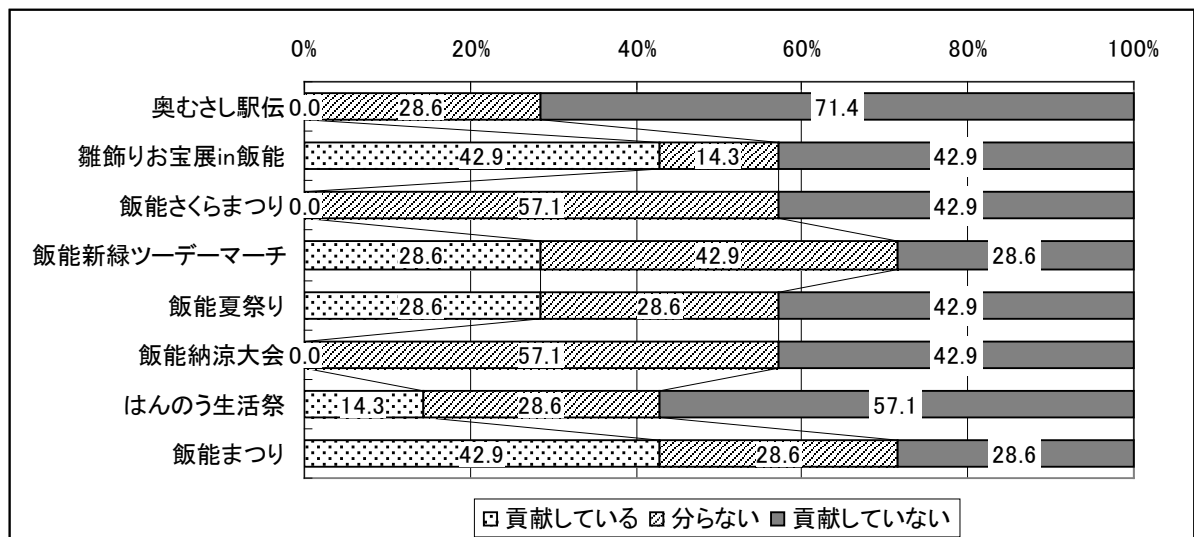
図表 5-2-21 イベントの売上への貢献

	貢献している		分からない		貢献していない	
	商店街数	構成比%	商店街数	構成比%	商店街数	構成比%
①奥むさし駅伝	-	-	2	28.6	5	71.4
②雛飾りお宝展in飯能	3	42.9	1	14.3	3	42.9
③飯能さくらまつり	-	-	4	57.1	3	42.9
④飯能新緑ソーデーマーチ	2	28.6	3	42.9	2	28.6
⑤飯能夏祭り	2	28.6	2	28.6	3	42.9
⑥飯能納涼大会	-	-	4	57.1	3	42.9
⑦はんのう生活祭	1	14.3	2	28.6	4	57.1
⑧飯能まつり	3	42.9	2	28.6	2	28.6

【①奥むさし駅伝】・一時期中止になる前活発

【⑧飯能まつり】・飲食店の一部は貢献

図表 5-2-22 イベントの売上への貢献



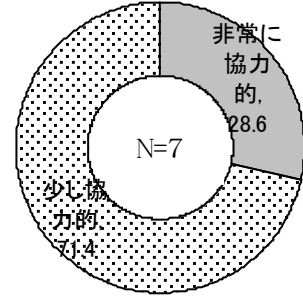
(10) 組合活動協力度

加盟商店の商店街活動への協力度は、程度の差はあるもののすべての商店街が「協力的である」との回答となっている。

図表 5-2-24 組合活動協力度

図表 5-2-23 組合活動協力度

区 分	商店街数	構成比%
非常に協力的	2	28.6
少し協力的	5	71.4
合 計	7	100.0



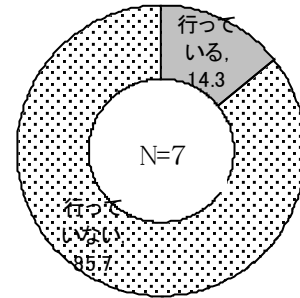
(11) 空き店舗対策

空き店舗対策を実施しているのは1商店街のみで、他の6商店街は「行っていない」との回答となっている。

図表 5-2-26 空き店舗対策

図表 5-2-25 空き店舗対策

区 分	商店街数	構成比%
行っている	1	14.3
行っていない	6	85.7
合 計	7	100.0



【行っている対策の内容】

- ・出店希望者へ空店舗紹介
- ・人フラップを立ち上げチャレンジショップ「カラーズ」を運営している
- ・店舗の管理は殆ど他地区の方

(12) 商店街の問題点

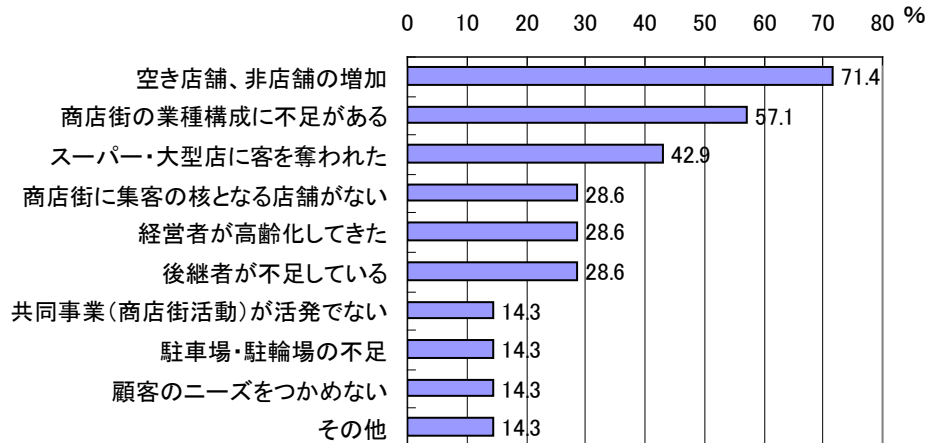
商店街の問題点として、「空き店舗、非店舗の増加」がもっとも多く、71.4%を占めている。次いで、「商店街の業種構成に問題がある」が57.1%、「スーパー・大型店に客を奪われた」が42.9%となっている。

なお、「経営力の弱い店が多い」、「イベント開催数が少ない・マンネリ化」、「来街者の高齢化への対応の遅れ」への回答はなかった。

図表 5-2-27 商店街の問題点

区 分	商店街数	構成比%
空き店舗、非店舗の増加	5	71.4
商店街の業種構成に不足がある	4	57.1
スーパー・大型店に客を奪われた	3	42.9
商店街に集客の核となる店舗がない	2	28.6
経営者が高齢化してきた	2	28.6
後継者が不足している	2	28.6
共同事業(商店街活動)が活発でない	1	14.3
駐車場・駐輪場の不足	1	14.3
顧客のニーズをつかめない	1	14.3
その他	1	14.3

図表 5-2-28 商店街の問題点



(13)活性化対策

1) 商店街として実施すること

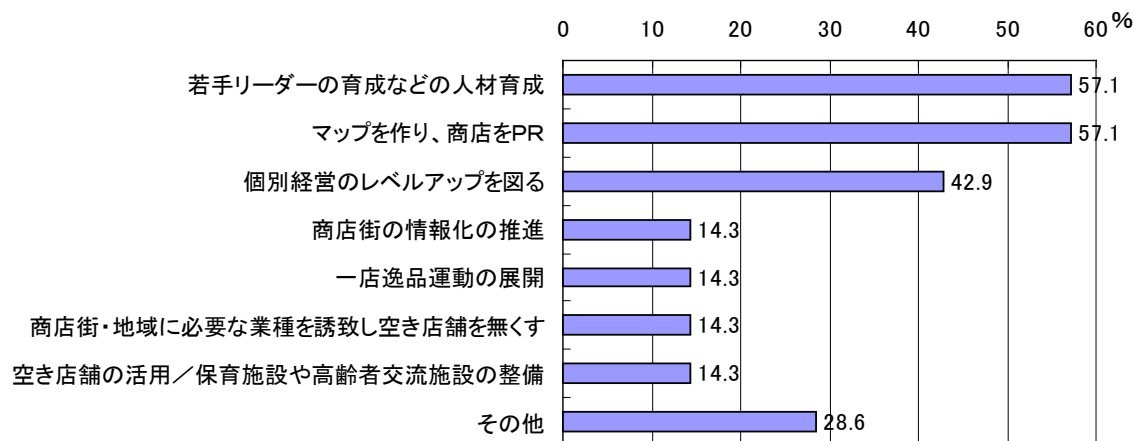
活性化のためにすべきこととして、第1位に挙げられたのは、「若手リーダーの育成などの人材育成」及び「マップを作り、商店をPR」であり57.1%となっている。次いで、「個別経営のレベルアップを図る」が42.9%で続いている。

なお、「共同売り出しの強化」、「朝市、スタンプラリーなどの各店連携のイベントの開催」、「チャレンジショップなど商業起業者への支援」、「宅配便の一時預かりサービスの新設・充実」、「商店街用共同駐車場を設置」への回答はなかったものの、その他として「大型店にない対面販売の良さを全面に打ち出す」、「誠実で笑顔のある接客をする」との回答がみられた。

図表 5-2-29 商店街としての活性化策

区 分	商店街数	構成比%
若手リーダーの育成などの人材育成	4	57.1
マップを作り、商店をPR	4	57.1
個別経営のレベルアップを図る	3	42.9
商店街の情報化の推進	1	14.3
一店逸品運動の展開	1	14.3
商店街・地域に必要な業種を誘致し空き店舗を無くす	1	14.3
空き店舗の活用／保育施設や高齢者交流施設の整備	1	14.3
その他	2	28.6

図表 5-2-30 商店街としての活性化策



2) 公的機関に実施してほしいこと

全体的に公的機関に実施してほしいことは少ないものの、第1位は「中心市街地に入りやすいように踏切を立体化する」であり、42.9%を占めている。

2番目に「まちなかに公共施設(図書館・ミニホール等)を設置」・「子育て支援のための施設(保育所・託児所等)を設置」・「公共の大規模駐車場・駐輪場の整備充実」が挙げられており、共に同率の 28.6%となっている。

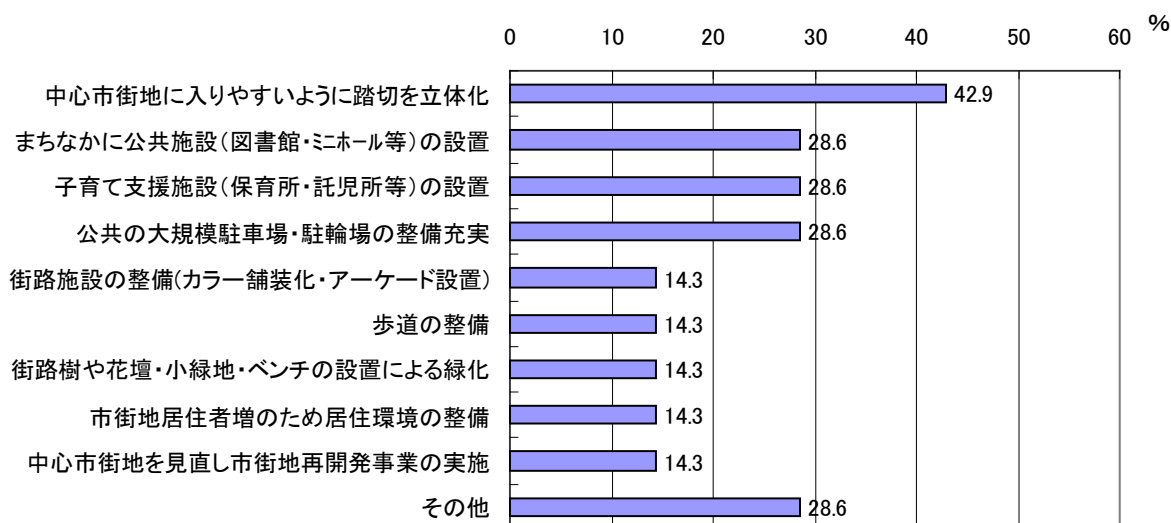
また、「駐輪場・公衆トイレなど来街者用共同施設の充実」への回答はなかったものの、その他として「大通り独特の蔵づくり店舗等、復元や再生で人を呼べる商店街再開発事業を実施して欲しい」との要望があがっている。

なおこの結果は、平成 19 年度に実施した「飯能市消費動向調査」における公的機関への要望事項とほぼ同様の内容となっている。

図表 5-2-31 公的機関に実施してほしい活性化策

区 分	商店街数	構成比%
中心市街地に入りやすいように踏切を立体化する	3	42.9
まちなかに公共施設(図書館・ミニホール等)を設置	2	28.6
子育て支援のための施設(保育所・託児所等)を設置する	2	28.6
公共の大規模駐車場・駐輪場の整備充実を図る	2	28.6
カラー舗装化やアーケードを設置して街路施設を整備	1	14.3
歩道の整備	1	14.3
街路樹や花壇・小緑地・ベンチなどの設置による緑化	1	14.3
市街地の居住者増のため居住環境を良くする	1	14.3
中心市街地を見直して市街地再開発事業を実施する	1	14.3
その他	2	28.6

図表 5-2-32 公的機関に実施してほしい活性化策



(14)まるひろ移転後の影響について

1) 来客数について

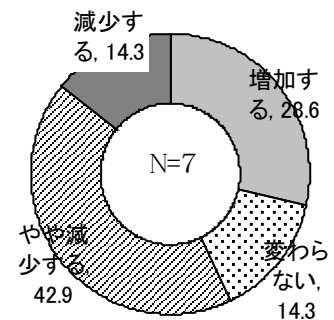
「やや減少する」+「減少する」が 57.2%を占めており、次のような要因をあげている。

区 分	要 因 (自由記入)
変わらない	・丸広のお客と商店にくるお客は別
やや減少	・銀座商店街の中でも特に駅前通りに影響が出ると考えられる。丸広に来たついでに商店街を利用していたお客様も駅前通りでは多かつたはず。何よりも移転後、空店舗となった場合、イメージが悪い。通りが暗くなる ・立地条件としては不利
減少する	現在の店でも百貨店へはあまり行かない。品物の値段が高すぎる

図表 5-2-33 移転後の来客数

区 分	商店街数	構成比%
増加する	2	28.6
変わらない	1	14.3
やや減少する	3	42.9
減少する	1	14.3
合計	7	100.0

図表 5-2-34 移転後の来客数



2) 売上について

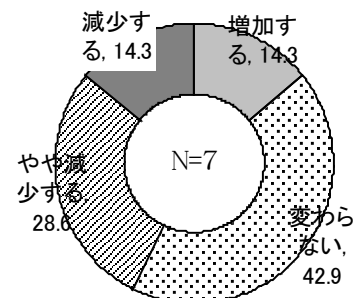
「変わらない」が 42.9%を占めており、その要因は次のとおりとなっている。

区 分	要 因 (自由記入)
変わらない	・丸広の規模が大きくなっても集客力が増すとは思われない ・それぞれ真剣になり、努力すると思う
やや減少	・来客数が減少すれば売上高も減少すると予想される
減少する	・飯能の駅を越して行くようになるので行きづらくなる ・人の集客力の低下があり、売上げに続かないと思う

図表 5-2-35 移転後の売上予想

区 分	商店街数	構成比%
増加する	1	14.3
変わらない	3	42.9
やや減少する	2	28.6
減少する	1	14.3
合計	7	100.0

図表 5-2-36 移転後の売上予想



3) 移転後の建物・駐車場の活用方法(自由記入)

(建物跡地の活用)

- ・販かになるための施設や店舗
- ・建物が大丈夫なのであれば何らかの形で営業をしてほしい。閉店したままでは通りのイメージが悪い
- ・生鮮三品のお店が欲しい
- ・年々状況が変化するので一概に言えない。今は屋台村の様な形が活発
- ・思い切って市立病院の総合化と移転

(駐車場跡地の活用)

- ・販かになるための施設や店舗
- ・一部は駐車場として残して欲しい
- ・マンションを建て大口の増加を計る。購買力のある若い人の入居が欲しい
- ・年々状況が変化するので一概に言えない。今は屋台村の様な形が活発
- ・バスターミナル 市内外巡廻出来るような市民の足となるようなもの。南高麗行き、名栗行き、芦刈場行きなど少し離れた方へのマイクロバス運行のため

(15)勉強会開催意向

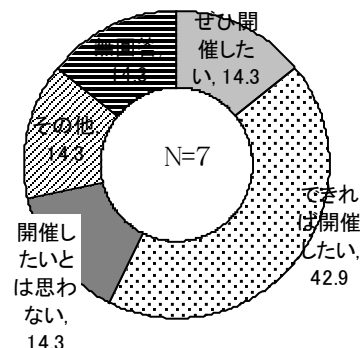
商店街活性化のための研修会や勉強会などの開催意向については、「ぜひ開催したい」+「できれば開催したい」が合わせて57.2%を占めており、積極性が感じられる。

しかし、「勉強会よりも売上げアップ事業」が必要との声もある。

図表 5-2-38 勉強会開催意向

図表 5-2-37 勉強会開催意向

区 分	商店街数	構成比%
ぜひ開催したい	1	14.3
できれば開催したい	3	42.9
開催したいとは思わない	1	14.3
その他	1	14.3
無回答	1	14.3
合 計	7	100.0



(16)活性化活動への参加意向

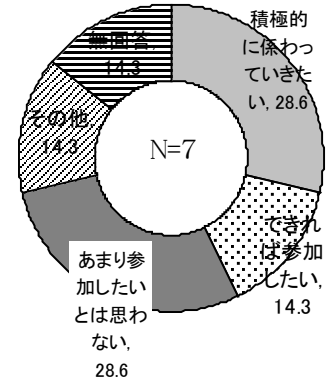
商店街活性化等の活動が開始された場合の参加意向については、「積極的に係わっていききたい」+「できれば参加したい」は 42.9%と 5 割を割り込んでおり、「無回答」、「その他」、「参加意向なし」の回答が過半数となっており、やや積極性に欠けている状況となっている。

また、「組織が特異な構成なので内容による」との声もある。

図表 5-2-40 活性化活動への参加意向

図表 5-2-39 活性化活動への参加意向

区 分	商店街数	構成比%
積極的に係わっていききたい	2	28.6
できれば参加したい	1	14.3
あまり参加したいとは思わない	2	28.6
その他	1	14.3
無回答	1	14.3
合 計	7	100.0



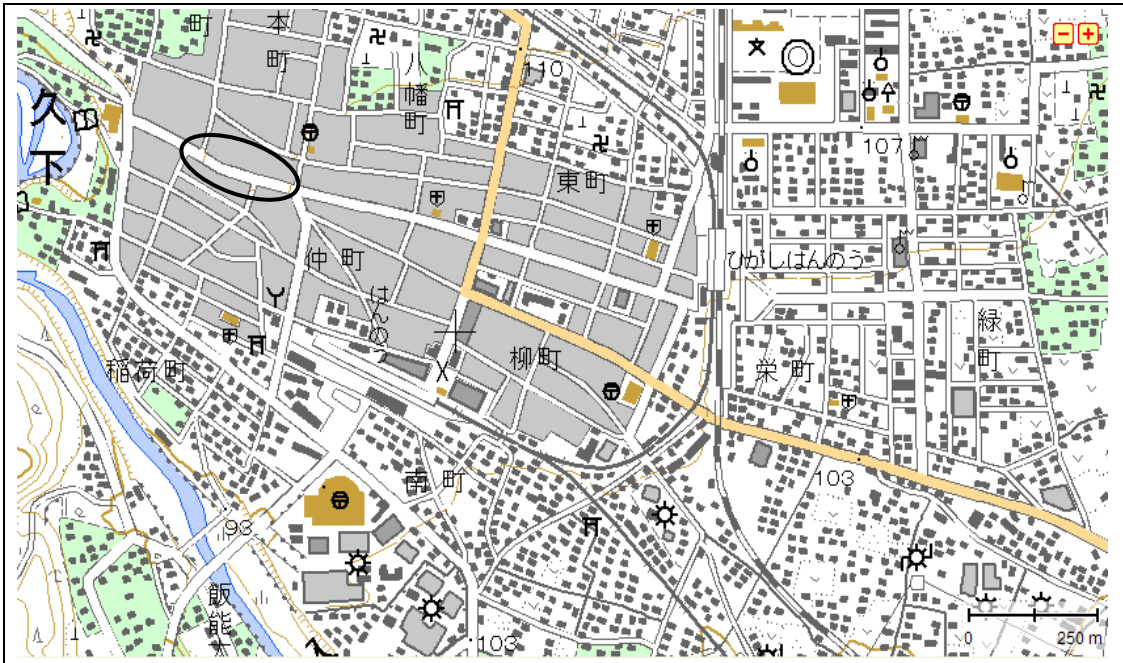
(17)自由意見欄

- ・ 活性化を急ぐ事。早くしないと間に合わない。一刻も早く、中心市街地に活性化予算をつけて、元気に！！
- ・ 商店街は個店の集合体である。その事から個店が努力をし、魅力的な店になれば、お客様は来店してくれるはずである。したがって個店の努力が一番重要である
次に「地域コミュニティの担い手」としての役割を商店街が果たすべきである
地域住民に役立ち、地域の魅力を発信する様な取り組みを商店街での起業支援など指導してほしい
- ・ 高齢化と後継者不足が深刻な問題点がある。人口の増加が当面の目標で、10万都市に一日も早くなる様に期待している。観光資源を整備して「緑と清流の町飯能」もっと積極的にアピールして外部からの流入を図ってほしい。女性の意見を取り入れた花の行楽地を計画してほしい
- ・ 商店より飲食、サービス等の会員が多く、他の商店街とは状況が違うため、活性化活動に会として参加しづらい
- ・ 緑と清流をテーマとする飯能でもあり、これとリンクした市街地や商店街のマップを作成し、近隣や都内に配布する方法もあると思う。足利市や益子は活発

第6章 商店街の現状と課題

1. 飯能大通り商店街協同組合

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代には既に市が開かれており、飯能で最も古い歴史ある商店街であり、安政年間創業の店舗が存続している 商店街は、事業協同組合組織として昭和27年に設立されている
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 商店街としての連続性が失われつつあり、非店舗も増加している 蔵造りの店舗がある
近郊の主な名所・施設	天覧山、中央公園、市民会館、図書館、飯能商工会議所、飯能河原などへの道筋に当たる。
主なイベント等	<ul style="list-style-type: none"> ◆奥むさし駅伝競走大会（1月） ◆雛飾りお宝展 in 飯能（3月） ◆飯能新緑ツーデーマーチ（5月） ◆飯能夏祭り（7月） ◆飯能まつり（11月） ◆「まちなか美術館」ほか商店街連盟事業 ◆飯能スタンプ会事業
商店街の性格	最寄品30%・買回り品40%・その他（歯科、会計、農協、食堂等）30%
商圏	5km超

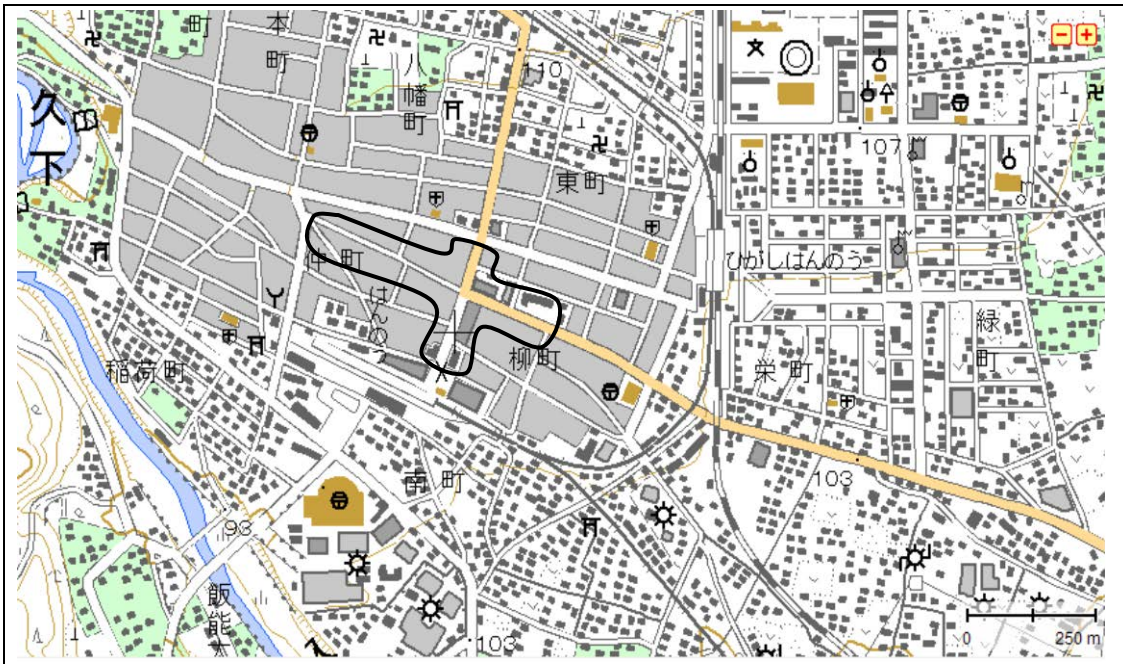
(3) 調査結果

個店の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・本店のみの構成である(自店を「本店のみ」と回答した経営者は100%) ・顧客層は「主婦」が多い(68.8%) ・後継者はいない店が多い(「いない」と回答した経営者は56.3%) ・研修会参加意欲が高い(「ぜひ参加」+「できれば参加」と答えた経営者は60.0%) ・商店街活性化活動への参加意向は強い(「積極的に係わる」+「できれば参加」と答えた経営者は66.7%) ・イベント「雛飾りお宝展 in 飯能(3月)」は売上に貢献している(「貢献している」と回答した経営者は66.7%)
-------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント「飯能夏祭り(7月)」は売上に貢献している(「貢献している」と回答した経営者は66.7%) ・イベント「飯能まつり(11月)」は売上に貢献している(「貢献している」と回答した経営者は66.7%)
直面する問題点	・「景気悪化」が68.8%、「大型店の影響」が37.5%
自店の努力項目	・「丁寧な商品説明」50.0%、「独自の商品販売」43.8%、「商品の仕入吟味」43.8%
商店街の活動	・どちらかといえば活発に活動している(「どちらかといえば活発」43.8%)
商店街の問題点	・「空き店舗・非店舗の増加」68.8%、「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」62.5%、「業種構成が不足」50.0%、「核店舗がない」31.3%、「駐車場不足」31.3%
商店街活性化策	・「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」50.0%
公的機関に期待すること	・「歩道の整備」31.3%
商店街や飯能市の活性化のための意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のあるイベント事業をお願いしたい ・思いつきで水槽、ざくろなど今までの飯能に関係のない物をもってくるのではなく、もともとある飯能の良さを生かしていく様なイベントが欲しい ・女の人が喜ぶようなイベントでなくては、人は呼べないと思う ・春は桜が満開でつつじで染まる天覧山という飯能に由来からある自然を生かして、お客様を呼び込むと良いと思う

2. 協同組合飯能銀座商店街

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・明治年間に開業した店舗、及び大正年間に開業した店舗がある、飯能でも初期に開けた商店街である ・商店街としての形態が整い、また所属店舗が最も多い商店街である ・商店街は事業協同組合組織として昭和26年に設立されている
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街としての連続性を保ち、活性化のために様々な努力をしている ・最近では、街並みがレトロなのか映画やテレビドラマのロケ地として使われている
近郊の主な名所・施設	天覧山、中央公園、市民会館、図書館、飯能川原などへの道筋に当たる
主なイベント等	<ul style="list-style-type: none"> ◆奥むさし駅伝競走大会(1月) ◆雛飾りお宝展 in 飯能(3月) ◆飯能新緑ツーデーマーチ(5月) ◆飯能夏祭り(7月) ◆飯能納涼大会(8月) ◆飯能フレンドパーク(8月) ◆飯能まつり(11月) ◆「まちなか美術館」ほか商店街連盟事業 ◆飯能スタンプ会事業
商店街の性格	買回り品50%以上70%未満
商圏	2km以内

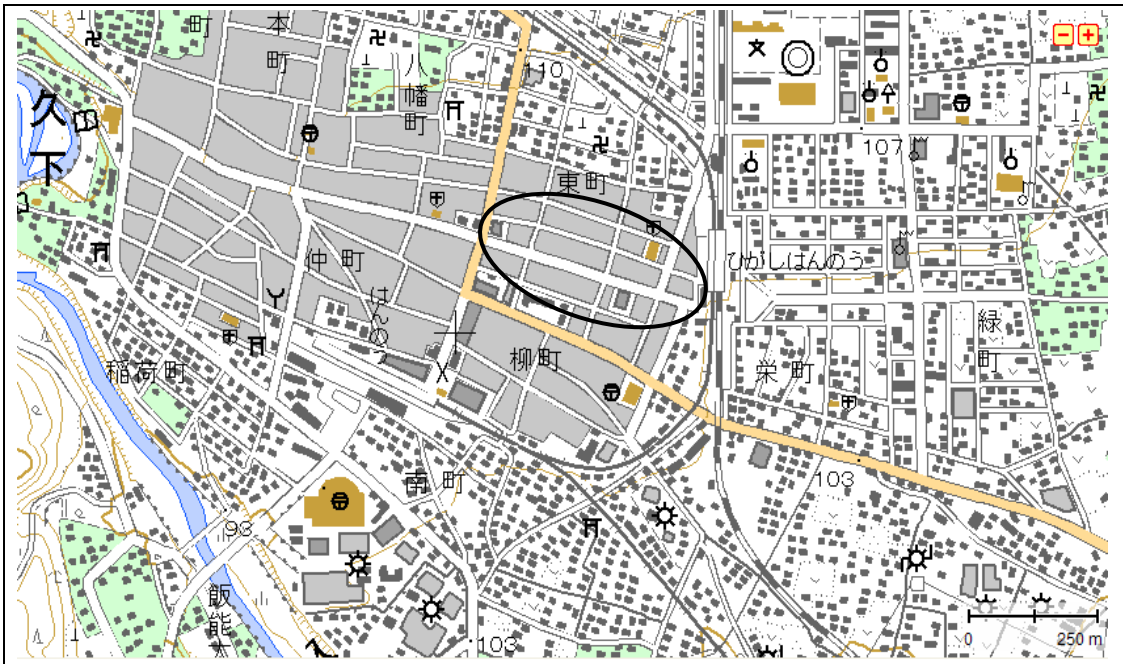
(3) 調査結果

個店の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の設置が進んでいない(「来客用駐車場がない」が65.4%) ・顧客層は「主婦」が多い(50.0%) ・研修会参加意欲が高い(「ぜひ参加」+「できれば参加」と答えた経営者は63.3%) ・商店街活性化活動への参加意向は強い(「積極的に係わる」+「できれば参加」と答えた経営者は71.9%) ・イベント「飯能まつり(11月)」は売上に貢献している(「貢献している」と回答した経営者は50.0%)
直面する問題点	・「景気悪化」が58.5%

自店の努力項目	・「丁寧な商品説明」39.0%、「独自の商品販売」37.8%
商店街の活動	・活発に活動している(「活発である」+「どちらかといえば活発」41.9%)
商店街の問題点	・「空き店舗・非店舗の増加」56.1%、「核店舗がない」43.9%、「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」40.2%、「業種構成が不足」37.8%
活性化策	・「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」56.1%
公的機関に期待すること	・「まちなかに公共施設」39.0%、「市街地再開発事業」34.1%、「公共の大規模駐車場・駐輪場」30.5%
商店街や飯能市の活性化のための意見・要望	<p>【行政に対する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯能市としての都市計画(この場合は中心街の充実・活性化)と深く係ってくる。(考える都市計画内容)踏切の立体化、クリーンセンターの熱利用、空店舗の入居者への市当局・商工会議所の賃貸補助、南から北にむかっのバスが通れる広い道路設置、工業団地、駅直結の官民一体の複合施設(大型マンション等)、飯能近郊に自転車専用レーン ・ハイキング者を商店街に入れこむように工夫して欲しい ・中心街と外部周囲の方々との意見合わせが急務だと感じる。市全体がもっとまとまってほしい。組織づくりと合意形成市民の熟成がないと行政は動けないと思う <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナス要因をあげれば際限なくあり、どうしても悲観的になってしまう。ここは、各個店や個人が、強い意志をもって「街を立て直していこう」という信念を持つことが大切だと思う ・個店が魅力ある店づくりをすれば、おのずと人が集まるのではないかな。その様な店舗が多くなれば商店街も活性化するはず ・自虐的にならず、プラス思考になる。他力本願から強い意志をもって脱却する。 ・畑のまんなかでも大繁盛している店がある。各店のさまざまな頑張りが商店街や飯能市の活性化につながると思う <p>【イベントに関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40代以上の生活幸せエンジョイ町場などに焦点を絞って、お客がゆっくり歩いて、休めて、「お祭り」、「縁日」、「手品」、「お宮参り」、「売声」や「店の匂い」などを感じられる表示物やイベントなどが作れるとよいと思う ・イベントの方向づけの一貫性を求める ・飯能は、ツーデーマーチ、エコツーリズム、歩け歩けウォーク等、多くのイベントを行っていますが、飯能の特徴である緑と清流をもっと前面に出し、名栗に森林浴病院を作ったら良いと思う <p>【その他意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食文化の発展に力を入れてほしい ・JCの広報に「武州飯能うどん」があったが、ぜひこれを大々的にすすめてほしい ・活性化には、地主の理解が必要 ・商店街の空洞化は、郊外に大型店が出店したことと、公共施設の移転が商店街の足を引っぱっていること、市役所の移転や総合病院の移転などで商店街から離れて行ったことが大きな原因

3. 飯能中央通り商店街協同組合

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	商店街は昭和28年設立である
特徴	JR八高線・西武鉄道秩父線の東飯能駅西口から大通り方面に抜ける一般県道185号線沿いを中心とした商店街であるが、最近、空き店舗の増加が課題となっている。
近郊の主な名所、施設	JR東飯能駅と、西武線飯能駅との連絡通路に当たっている
主なイベント等	◆奥むさし駅伝競走大会(1月) ◆雛飾りお宝展 in 飯能(3月) ◆飯能新緑ツーデーマーチ(5月) ◆飯能夏祭り(7月) ◆朝市(8月) ◆飯能まつり(11月) ◆「まちなか美術館」ほか商店街連盟事業 ◆飯能スタンプ会事業
商店街の性格	買回り品70%以上
商圏	5km以内

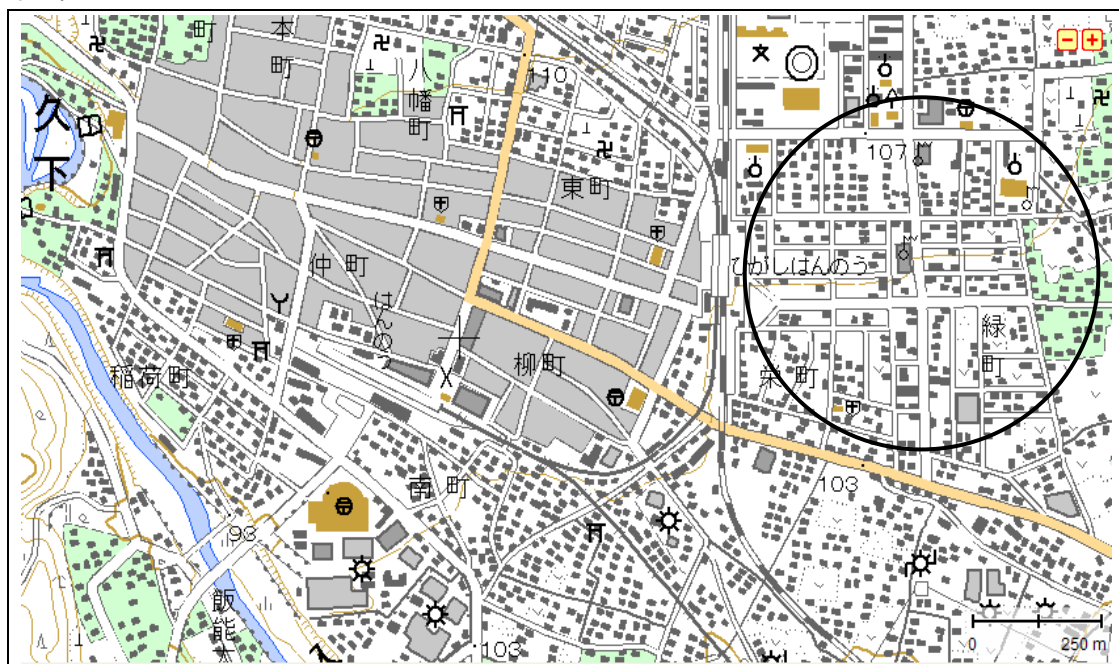
(3) 調査結果

個店の実態	・商店街活性化活動への参加意向は強い(「積極的に係わる」+「できれば参加」55.5%) ・イベント「飯能まつり(11月)」は売上に貢献している(「貢献している」と回答した経営者は50.0%)
直面する問題点	・「景気悪化」が69.7%、「大型店の影響」が36.4%、「価格競争の激化」33.3%
自店の努力項目	・「独自の商品販売」39.4%、「安心・安全の強化」30.3%
商店街の活動	・商店街の活動は「普通」とする比率が50.0%と一番高い
商店街の問題点	・「空き店舗・非店舗の増加」45.5%、「経営者の高齢化」45.5%、「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」42.4%、「核店舗がない」42.4%
商店街活性化策	・「必要業種を空き店舗に誘致し、支援する」39.4%
公的機関に期待すること	・「踏切の立体化」36.4%、「まちなかに公共施設」33.3%

<p>商店街や飯能市の活性化のための意見・要望</p>	<p>【行政に対する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やし、人の流れを考えた街の整備を進めて欲しい。大きな企業の誘致により、就業の確保を図り、近隣の人口を呼び込んで飯能の人口を増やす ・線路の立体化など、東飯能駅で中心市街地と新興住宅地が分断されている問題や、双柳方面と南町・美杉台方面への連絡の悪さと不便の解消を考慮し、長期的視点でのまちづくりと区画整理を望む <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と後継者不足が深刻な問題点で自店以外の企画に参加する余力がない <p>【その他意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路灯の電気代の負担が大きい ・丸広の跡地に期待したい ・人口が増え、人の流れが良くなり、かつ店が健全でなければ活性化は難しい
-----------------------------	---

4. 飯能東栄会

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	商店街は昭和51年設立である。
特徴	JR東飯能駅東口から狭山方面に向けての市街地再開発地域を含む地域であるが、商店が連続して連なるとまでは至っていない
近郊の主な名所・施設	JR八高線・西武鉄道秩父線の東飯能駅、飯能市役所、裁判所、ハローワークなど
主なイベント等	◆飯能新緑ツーデーマーチ(5月) ◆飯能まつり(11月)
商店街の性格	飲食・サービス中心
商圏	2km以内

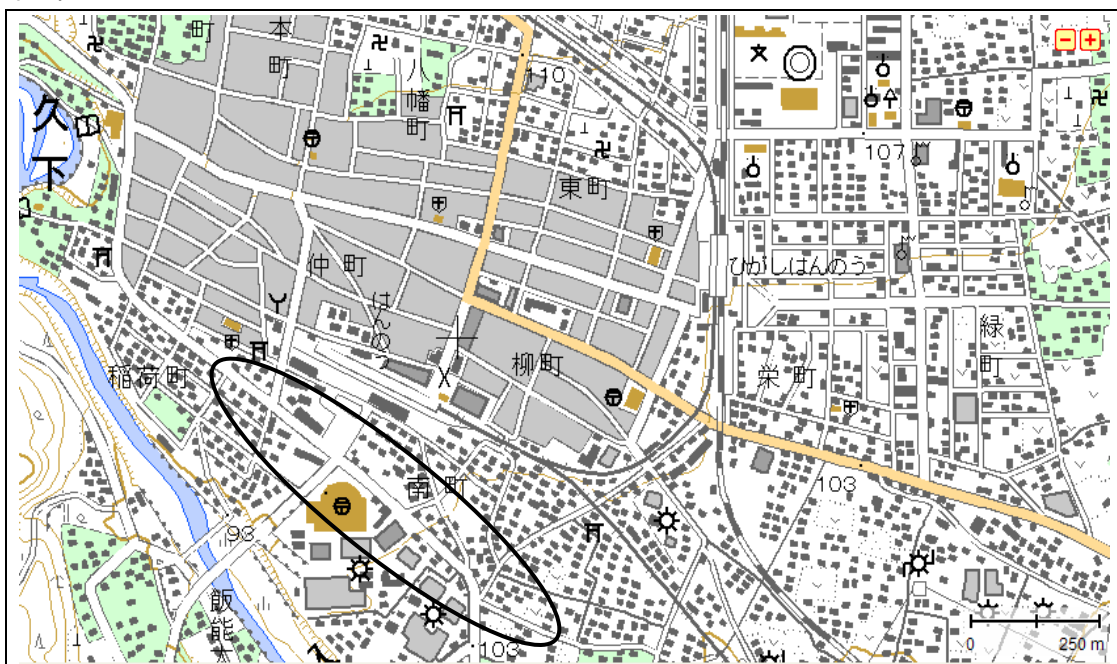
(3) 調査結果

個店の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者が決まっている割合が最も高い(「決まっている」36.8%) ・研修会参加意欲が低い(「あまり参加したくない」54.0%) ・商店街活性化活動への参加意向は低い(「あまり参加したくない」45.8%)
直面する問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・「景気悪化」56.9% ・「価格競争の激化」38.5%
自店の努力項目	・特に突出している項目なし。「丁寧な商品説明」・「何もしていない」が各23.1%
商店街の活動	・商店街の組織的活動状況はあまり活発ではない(「あまり活発ではない+ほとんど活動していない」53.7%)
商店街の問題点	・「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われている」36.9%
商店街活性化策	・「若手リーダーの育成」が23.1%で最多となっており、他の項目に分散している
公的機関に期待すること	・「踏切の立体化」・「公共の大規模駐車場・駐輪場」が共に24.6%で、「子育て施設の充実」・「居住環境を良くする」がそれぞれ23.1%などに分散している
商店街や飯能市の活性化のため	<p>【行政に対する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光で集客を考える。河原マップを作るなどして、飯能河原をもっと開放的にしてほしい

<p>の意見・要望</p>	<p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少により、商店街運営が、非常に厳しくなっている。街路灯の、電気料・維持管理費用の捻出に苦慮しているので市の助成をお願いしたい ・飯能駅と東飯能駅間に 100 円バスなどの運行はできないか。高齢者の方や身体の不自由な方など出かけたくとも出かけられない(バス代は高く、運行時間やバス便が不便とよく聞く) ・商店街の近場に、駐車場が欲しい ・丸広東飯能店7、8階を市が借用する事には強く反対 ・丸広の1フロアを市民全体で使えるコミュニティセンターとして活用し、「絵画展」、「盆栽展」などの発表会を年間通じて使えるようにしたら多くの人を呼ぶことができると思う ・東飯能駅に丸広に戻ることは間違いなく街の活性化につながる。一日に 4,000～6,000 人ものお客様が来店する動きそのものが活性化である。長期的な視野に立ち市をあげて丸広を支援することは無駄ではない <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者など、やる気のある人を応援する意味でも、空いている店舗・商店をもっと自由に貸し出すとよい ・この店に行かなければ買えないというものがあればよい ・トイレは積極的に開放してほしい <p>【商店街に関する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土・日のハイキングの人達が来る時は外に店を出すなどしてもっと盛り上げて欲しい ・お客様のニーズに合う品揃え、接客、店作り、商店の創意努力が大変であり、若い人に対する、研究会や勉強会をしてほしい
---------------	---

5. 飯能南口商店街

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	商店街は平成4年10月に開設され、11月にサビア飯能店が開店した
特徴	・西武線飯能駅南口から入間川を越えて美杉台団地に至る駅周辺の商店街である ・ショッピングモール・サビアには「スーパーいなげや」など各種の商店が入店している
近郊の主な名所・施設	西武線飯能駅、新電元工業工場、美杉台団地、矢久橋、県の緑のトラスト
主なイベント等	◆ 雛飾りお宝展 in 飯能(3月) ◆ 飯能新緑ソーデーマーチ(5月) ◆ 飯能夏祭り(7月) ◆ 飯能まつり(11月)
商店街の性格	最寄品中心
商圏	5km超

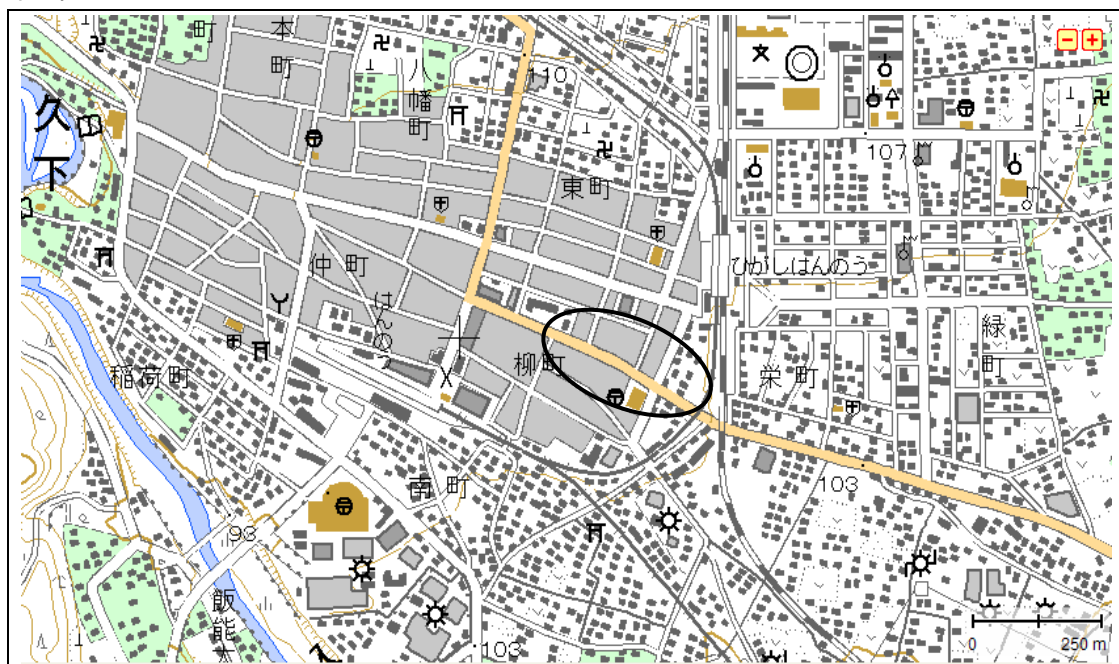
(3) 調査結果

個店の実態	・閉店時間が早い(「午後7時以前」が44.1%) ・店舗面積が大きい大型店の割合が高い(「100坪以上」が18.9%)
直面する問題点	・「景気悪化」が41.5%
自店の努力項目	・「何もしていない」39.0%、「独自の商品販売」22.0%
商店街の活動	・「普通」44.7%、「あまり活発ではない+ほとんど活動していない」が42.1%となっており、商店街の組織活動状況はあまり活発ではない
商店街の問題点	・「業種構成が不足」が26.8%で最多となっており、他の項目に分散している
商店街活性化策	・「若手リーダーの育成など商店街の人材育成」が39.0%で最多、「個別経営のレベルアップ」26.8%に集中している。
公的機関に期待すること	・「まちなかに公共施設」29.3%、「歩道の整備」26.8%、「市街地再開発事業」24.4%
商店街や飯能市の活性化のため	【行政に対する要望】 ・観光に対する意見 市の観光関係者は、天覧山や飯能河原へのルートの起点を飯

<p>の意見・要望</p>	<p>能駅の北口としているが、南口を起点として、矢久橋周辺を整備し、さらに上流の兩岸の県の緑のトラストを整備して欲しい。そして、遊歩道を飯能河原、天覧山、宮沢湖へ伸ばし、帰路は飯能駅北口へ。街の商店街を通り、おみやげなどを買って頂くルートが良いのではないかと思います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林、河川、山、湖など自然環境に囲まれたメリットを生かした町おこし、名物・名産品の開発、医療体制・介護体制の整備やバリアフリーの整ったまちづくりを希望する <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯能市を活性化してほしい。若手のトップの人達に頑張って行動を起こしてほしい <p>【その他意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の商店街を見ると、1商店ではどうにもならないと感じる。この調査をするのもいいが、商工会議所、駿河台大学、飯能信用金庫それぞれが商店の活性化についてどう見ているのか先にタタキ台を提示してから個店の意見を聴く形でアンケートをとった方が答えやすいと思う。業種によっても、答えが違うので回答が難しい
---------------	---

6. 飯能東銀座睦会

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	商店街設立は昭和33年である	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 銀座商店街の東側から西武秩父線の踏切までの狭い地域で商店街を組織しており、会員数26と小規模である 開店時間・閉店時間ともに早い。 	
近郊の主な名所・施設	飯能郵便局、文化新聞社	
主なイベント等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 雛飾りお宝展 in 飯能(3月) ◆ 飯能夏祭り(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 飯能新緑ツーデーマーチ(5月) ◆ 飯能まつり(11月)
商店街の性格	最寄品中心	
商圏	1km超	

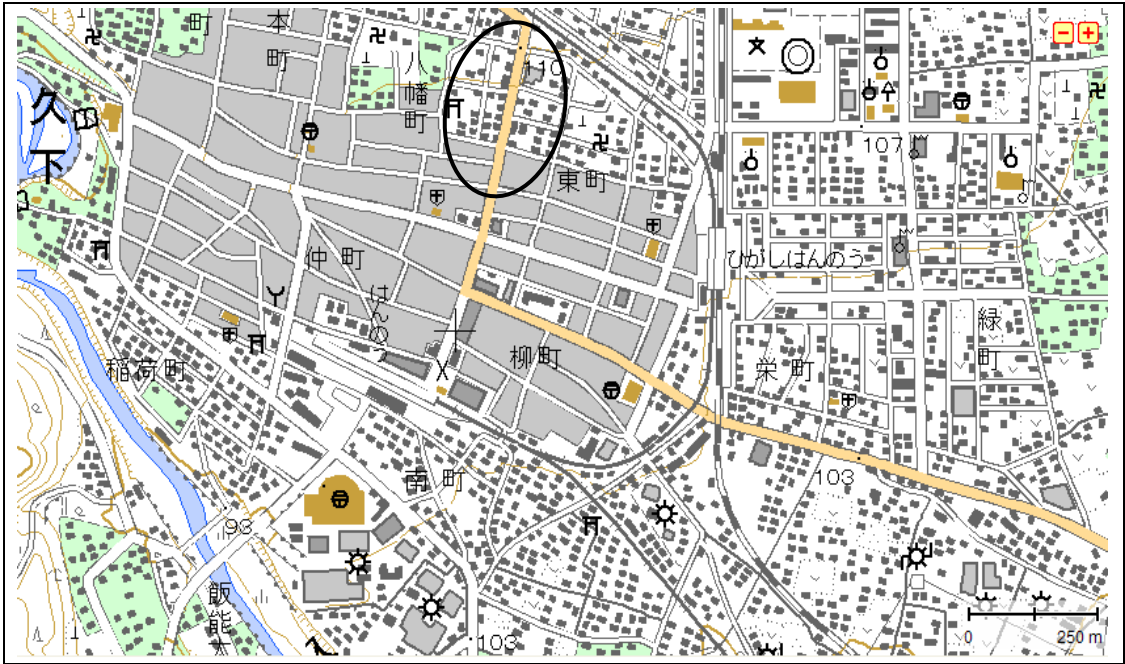
(3) 調査結果

個店の実態	<ul style="list-style-type: none"> 開店時間が早い(「午前9時以前」が52.6%) 店舗併用が多い(63.2%) 年間売上高は小額な店舗が多い(「3000万円未満」以下の回答が83.3%) 「廃業予定」が18.8% 研修会参加意欲が低い(「あまり参加したくない」と答えた経営者は57.1%) 商店街活性化活動への参加意向は低い(「あまり参加したくない」と答えた経営者は46.2%)
直面する問題点	「景気悪化」が47.8%、「価格競争の激化」が39.1%、「大型店の影響」21.7%
自店の努力項目	特に突出している努力項目なし。「何もしていない」が26.1%、「丁寧な商品説明」21.7%
商店街の活動	活動は活発でない(「ほとんど活動していない」+「あまり活発でない」は94.1%)
商店街の問題点	「空き店舗・非店舗の増加」56.5%、「スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われてい

	る」30.4%、「核店舗がない」30.4%
商店街活性化策	・「必要業種を空き店舗に誘致・援助」・「若手リーダーの育成」が 26.1%と最多
公的機関に期待すること	・「歩道の整備」30.4%、「市街地再開発事業」26.1%、「踏切の立体化」21.7%
商店街や飯能市の活性化のための意見・要望	<p>【行政に対する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の各店も魅力のある店が多いが、もっと大勢の人に周知してもらおうイベントに参加し、各店商品は勿論のこととして、その店の人物を知ってもらうのも必要ではないか ・若い人が住みたいと思う環境作りをお願いする ・企業誘致を最優先でお願いする ・行動範囲の広くない人々をターゲットとして広場や休憩場所などのいこいの場を作り、人の集まりやすい街作りをすることが必要だと思う <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業地域なのに、店として活用されていないし、単なる居住となっているのは不自然。空き店舗、空き家を無くすようにしてほしい ・買いたいと思う品物がない

7. メイプル通り商店会

(1) 位置



(出所：国土地理院の地図閲覧サービス2万5千分の1地形図[飯能（東京）])

(2) 特徴

歴史	商店街設立は昭和62年または63年である
特徴	西武線飯能駅から北に伸びる国道299号線のうち「飯能駅前通り(飯能北口メイン通り)」の一角を占め、大小の飲食店が多く所在する地域で、商店街会員も飲食店が多い
近郊の主な名所・施設	近くに八幡神社がある
主なイベント等	◆雛飾りお宝展 in 飯能(3月) ◆飯能新緑ソーデーマーチ(5月) ◆飯能夏祭り(7月) ◆飯能まつり(11月)
商店街の性格	飲食・サービス中心
商圏	500m以内

(3) 調査結果

個店の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・事業形態は個人経営が多い(「個人経営」と回答した経営者は66.7%) ・法人比率が低く、資本金も「1000万円未満」が多くなっている(88.9%) ・業種は「飲食店等」が多くなっている(47.4%) ・顧客層は「サラリーマン」が多い(47.4%)。 ・店舗専用が多い(63.2%)。借家・テナントが多い(72.2%)。木造が多い(63.2%) ・年間売上高は小額な店舗が多い(「3000万円未満」以下の回答が72.8%) ・売上・来店客数傾向は5年前と比較して減少している(「減少」との回答が各72.2%) ・後継者がいない店舗が多い(「後継者はいない」と回答した経営者は61.1%) ・研修会参加意欲が高い(「できれば参加したい」と答えた経営者は61.1%) ・商店街活性化活動への参加意向は強い(「積極的に係わる」という経営者はいなかったが、「できれば参加」と答えた経営者は70.6%)
直面する問題点	・「景気悪化」が78.9%で突出。「大型店の影響」が36.8%、「競合店の出店」31.6%
自店の努力項目	・「独自の商品開発」42.1%、「低価格」31.6%、「安心、安全の強化」21.1%

商店街の活動	・活動は活発でない(「ほとんど活動していない」+「あまり活発でない」は 88.2%)
商店街の問題点	・「空き店舗・非店舗の増加」84.2%で突出している。「核店舗がない」47.4%
商店街活性化策	・「必要業種を空き店舗に誘致・援助」が 26.3%で最多、次いで「商店街個店のマップ作成」が 21.1%となっている
公的機関に期待すること	・「まちなかに公共施設」、「植樹・花壇・ベンチ」、「居住環境を良くする」「公共の大規模駐車場・駐輪場」、「踏切の立体化」、「市街地再開発事業」まで 6 項目が 21.1%と並んでおり、突出した項目はみられない
商店街や飯能市の活性化のための意見・要望	<p>【行政に対する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年前秩父市では市職員にボーナス時に商店街の数店で買物するスタンプを実施したと聞き、飯能市でも市職員、飯能信用金庫、商工会議所職員等に秩父市同様の商店街への消費協力を熱望する ・メイプル商店会の通りは飯能北口メイン通りであるが、調査の質問にあるイベントは②の雛まつりを除き他は全くの無視されている感じ。お祭り等もシダックス交差点より北方面に是非スポットをあててもらえるようお願いしたい ・外部からのマーケットを育成し、飯能に基幹産業を育成しない限り現状を変える事はできない <p>【個店に対する意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の人々の意識が足りない。夏は夜も人々が出歩くので夜 10 時頃までは営業してほしい <p>【その他意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街調査だけではなく、調査側の買物の動向を是非知りたいと思う。消費者の立場に注意して改善しなければならない ・現在の飯能市の経済状況を考えると、もはや個店の努力だけでは限界があるのではないかと思う

第7章 商店街活性化へ提案

1. 提案の前提

(1) 調査結果の問題点

今回の「飯能市商店街動向調査」は、第1章から第5章にまとめたとおりである。
調査対象となった7商店街は、それぞれの歴史や立地条件等から、その活動状況も様々である。

(個別商店の状況)

個別商店の年間売上額は500万円未満から2億円以上まで千差万別である。

5年前との比較で全商店街の71.3%の商店が「減少(減少+やや減少)」と回答しており、全商店街の売上額が減少していることが推定できる。

今後の売上額の見通しについては、「増加(増加+やや増加)」は17.1%、「不変」24.9%、「減少(やや減少+減少)」は57.9%となっており、今後も売上減少見通しの割合が多くなっている。

また、個別商店が現状で直面している問題点は、次の3点に集中(複数回答)している。

- ①景気の悪化 …… 58.1%(162店)
- ②価格競争の激化 …… 27.6%(77店)
- ③大型店の影響 …… 26.5%(74店)

上記のような問題を抱えて、他店との差別化や売上増加のために自店が努力している方策の上位の回答(複数回答)は、次のような結果となっているが、「何もしていない」も上位に入っている。

- ①独自の商品の販売 …… 29.7%(83店)
- ②丁寧な商品説明 …… 26.9%(75店)
- ③商品の仕入の吟味 …… 20.4%(57店)
- ③何もしていない …… 20.4%(57店)
- ⑤安心・安全の強化 …… 20.1%(56店)

(顧客の状況)

顧客層は「主婦」31.5%が最も高い割合であり、「その他」20.4%、「サラリーマン」・「高齢者」が共に17.9%、「家族連れ」10.0%となっている。「学生・若者」は5.0%と一番少ない状況にある。

来店客の年代は、「50～64歳」が48.7%と最も高い比率となっている。

顧客の商店街への入込み状況を平日と土日の売上比率で比較すると、「平日の方が多い」が35.7%と最も高くなっている。商店街別では、飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通りでは「平日の方が多い」が40%台と高く、飯能東銀座睦会もほぼ同様である。一方、メイプル通りでは「土日祝日の方が多い」と「ほぼ同じ」が同率の35.3%となっており、飯能東共栄会、飯能南口では、「平日の方が多い」「ほぼ同じ」「土日祝日の方が多い」「その他」がほぼ同じ比率となっている。

(商店街の状況)

7商店街の組織活動状況について、個別商店の認識は、「活発(活発+やや活発)」が18.8%、「普通」35.2%、「活発でない(あまり活発でない+ほとんど活動していない)」45.9%となっている。

商店街の共同事業について、個別商店の満足度は、「満足している」16.6%、「分らない」66.0%、「満足していない」17.4%となっている。

商店街の活性化方策についての回答は、次のようになっている。

- ①空き店舗に必要業種を誘致・支援 …… 35.5%(99店)
- ②若手リーダーの育成 …… 22.6%(63店)
- ③空き店舗に保育施設・高齢者交流施設 …… 19.7%(55店)
- ④個別経営のレベルアップ …… 18.3%(51店)

(活性化の担い手)

商店街活性化研修会・勉強会への参加意思については、「ぜひ参加したい」17名 7.3%、「できれば参加したい」106名 45.3%、「あまり参加したくない」97名 41.5%となっている。活性化活動への参加意向は、「積極的に係わっていききたい」18名 7.9%、「できれば参加したい」119名 52.2%、「あまり参加したくない」74名 32.5%となっている。これらの結果から、研修会への参加よりも、活性化活動へ参加の方が上まわっており、実際の活動への意気込みが感じられる。

以上の点からみると、

飯能市内の商店街は、売上が減少しており、個別商店では各種の売上増加のための努力をしているものの、今後の売上の見通しについても、減少するという割合の方が多く状況にある。

また、商店街の組織活動についてはあまり活発ではなく、商店街の共同事業についても満足度はそれほど高い評価となっていないという現状にある。しかし、活性化活動への参加意欲は高く、特に「積極的に係わっていききたい」とする核となる店主の方々の存在があるので、今後に期待したい。

顧客層については、主婦層が多く、年代別では50～64歳が主体となっている。

平日と土日の売上比率については、全体では「平日の方が多く」店が多くなっているが、商店街の立地条件や性格によって相違点が見られる。すなわち西武秩父線の西側に位置する飯能大通り、飯能銀座、飯能中央通り、飯能東銀座睦会では、平日の来店客の方が多く、飲食業の多いメイプル通りでは「土日祝日の方が多く」と「ほぼ同じ」がほぼ同率となっている。西武秩父線の東側に位置する飯能東共栄会と西武飯能駅南口の飯能南口は、共に域内に大型店が所在するためか、「平日の方が多く」「ほぼ同じ」「土日祝日の方が多く」「その他」がほぼ同率となっている。

以上の観点から、『土日祝日に商店街への来街者をいかに増やすか』が、問題点として挙げられる。

また、各個店では、商店街の活性化の方策として『空き店舗対策』を第一としているほか、『若手リーダーの育成』と『個店のレベルアップ』の必要性についての認識が浸透している。

(2) 活性化のための考察

調査結果を踏まえて、自店と自店の所属する商店街を活性化させる方策を考える。

(目標)①日常的な買物をするお客様を増やす

②街を訪ねてくれるお客様を増やす。特に土日祝日のお客様を増やす

(方策)①店舗数を増やす: 空き店舗対策 空き店舗に保育施設・高齢者交流施設設置

②個店の魅力のアップもしくは創出: 魅力ある商品を増やす、個別経営のレベルアップ

③各商店街での共同事業・組織活動を増やす: 担い手となる若手リーダーの育成

④観光立地を目指す

1) 顧客を誘引するものは何か?

商店街あるいは市内にある有形無形の『資源』を洗い出し、それを最大限に活用することを目指すものとするが、根本は各個店自身の魅力である。その魅力をPRし、お客様を誘引できるようにする。平成19年度実施の「飯能市消費動向調査」によると、飯能市民が市内での買物する比率(市内吸引率)は商品総合で72.1%、飯能市以外の都市で買物する比率(市外流出率)は27.9%となっている。市内での買物比率を高めるための魅力は何か、まず個店が考えて行くことが必要であると思われる。

2) 飯能市内の『資源』として考えられるものは何か?

・飯能市内で認識されているもの、多く目に付くものとして次のようなものがある

①自然が豊富で環境がよい(飯能河原(水)・吾妻峡(若葉・紅葉)・天覧山(桜・つつじ)・桜の森(桜)・宮沢湖・入間川上流など)

②社寺が多い(飯能恵比寿神社(えびす)・観音寺(寿老人)・浄心寺(毘沙門天)・円泉寺(福祿寿)・能仁寺(飯能戦争の舞台)・八幡神社等)

- ③蔵造りの店舗がある(絹甚・その他の商店)
- ④蔵が多い(本町・八幡町・仲町界隈の現存する蔵)
- ⑤木造の歴史的建造物がある(飯能織物協同組合等)
- ⑥麺類の飲食店が多い(うどん・そば・ラーメン)
- ⑦菓子屋が多い(和菓子屋・洋菓子店)
- ・既存の事業・運動等
- ⑧いちおし商品
- ⑨まちなか美術館
- ⑩まちかど水族館
- ⑪西川材ベンチの設置
- ⑫各種イベント(「飯能まつり」「飯能夏祭り」「雛飾りお宝展 in 飯能」など)
- ⑬ざくろ

(3) 活性化のための手順

飯能市は平成17年4月1日に「森林文化都市」を宣言しているので、この方向性に沿った形での活性化が求められるが、飯能をどのようなまちにするのか、市民全体の合意形成を図ることが重要である。

1) 商店街活性化のための手順

商店街活性化の方策として、次のような手順・手法などが考えられる。

- ①商店街の今後の発展のための全体像及び方策を話し合う場を設ける
 - 飯能市商店街連盟、各商店街代表者、商店主、若手リーダー、市民および関係公的機関などを交えた話し合いの場を設け、活性化方策及びその実行のための手順などを話し合うことが必要となるであろう
- ②各商店街ごとに、商店街の個性、今後の方向などを検討する

2) 商店街活性化推進のために更に必要と思われるもの

- ①人材発掘及び人材育成
 - 商店街活性化のためには人材の発掘と育成が必要となるので、次のような施策を図ったらどうか。
 - ・商店街サミット
 - ・ジャンル別セミナー
 - ・商店街別に必要業種の検討⇒市内全域対象も(商店街連盟)
 - ・若手経営者(JC)などのやる気のある若い人の意見聴取会など
- ②市民の交流の支援
 - 来街者を増やし、賑わいを取り戻すためには、街中に市民が交流できる施設を置く事が重要なので、公共機関に次のような施設の設置を要望する。
 - ・交流スペース(保育施設・高齢者交流施設)
 - ・歩道・ベンチ・トイレの整備

3) 既存資源の活用策等

上記の(2)の2)に掲げた市内の資源、その現状と活用方法については、図表 7-1-1 のとおり考えられる。

図表 7-1-1 飯能市内の資源の活用方法

資源	現 状	活 用 方 法
自然・環境	飯能市は「森林文化都市」として、エコツーリズムなどが盛んであるが、身近な散策地として、天覧山・飯能河原・吾妻峡・桜の森・宮沢湖などがある	・必要時間や目的などに応じたウォーキングコースの設定、コース取りには極力変化を付ける ・各コースに案内板設置などの整備と各コースに沿ったマップ作成
神社・寺	飯能市内には、幕末の飯能戦争の歴史を残す寺や、武蔵野七福神を祀る4社寺が存在する	・マップを駅・観光案内所等で配付 各コースとも、コースの途中もしくは帰路に商店街を経由させて商店街を賑わす。また、食事・休憩での飲食店利用と、地場物産・土産品等の積極的な販売展開により売上増加に繋げる
蔵造りの店舗・蔵	本町・八幡町界隈に蔵造りの店舗(絹甚等)や多くの蔵が現存するが、傷みもみられる	歴史的建造物は文化財として保存し観光案内所・物産館などに活用する。アトム像は知名度が低いので大々的に紹介する。「子供の広場」のような場所があれば移築も考えられる
木造の歴史的建造物等	飯能織物協同組合は、歴史的価値があると思われるが、現状は賃借物件として利用されている	
その他	全国唯一の「鉄腕アトム像」が天覧山下にある	
お食事処	各商店街推奨のお食事処がある	・食事処マップ
麺類(うどん・そば・ラーメン店)	飯能市内は、うどん(特につけ麺)やそば・ラーメンなどの麺類の店が多い	・麺食マップ ・地場スイーツマップ
地場スイーツ類(和菓子店・洋菓子店)	饅頭や餅などを商う和菓子屋が多くあり、洋菓子部門も評判店があるが、個店の努力に止まる	などの飲食店マップを作成し、このマップを各拠点に設置(配布も含め)することで、市内散策コース途上・帰路などでおなかを充たす、あるいは休憩する場所として利用してもらう
いちおし商品	各商店街では自店の自慢商品を売り出しているところもあるが、お客様が珍しいと興味をもち、購入するまでには至っていない	お客様の目を引く手法の一つとして、商店街連合会共通の商標を付ける
まちかどギャラリー	現状は、任意の商店のみであるが、お宝を展示している	街中を歩き、見て楽しめる場所や休憩所が必要になるので、まちかどギャラリーやまちなか水族館、まちなか美術館はその役割を果たしているが、メンテナンス、設置場所などを見直す必要がある
まちなか水族館	19年11月から商店に設置しており、市民の楽しみにもなっている	
まちなか美術館	市内小学生の絵画を飯能商店街連盟加盟店が店舗内に展示している	
西川材ベンチ	飯能市の名産材である西川材を使ったベンチを設置している商店街があるが、知名度および利用度は高くない	「西川材使用」というプレートなどを打って知名度・利用度を上げる
各種イベント	「飯能まつり」「飯能夏祭り」「雛飾りお宝展 in 飯能」が商店街の売上貢献度ベスト3となっている	「雛飾りお宝展 in 飯能」は商店街をゆっくり散策出来ると女性客を呼び込むイベントとして好評。女性が来街できる行事を多く開催する
レトロ飲食街	市内には、路地や小路に面した飲食店が数多くある	夜の飲食街を楽しむマップづくりも考えられる

◆新規イベントの立ち上げ

最近の傾向として、観光地が賑わうのは女性客が立ち寄る街である。飯能市が観光を目玉としての賑わいを目指した場合、女性が納得できる観光・見所が必要となってくる。また、単なる買物は都心等のデパートでできるので、地方都市は地方色を盛り込んだ品物を準備することが必要となろう。

女性が受け入れやすい催し物や若者を呼び込むイベントとして次のようなものが考えられる。

- ・「月の市」、「週末市」、「朝市」、「青空市」、「青空レストラン」など市内外の人を惹きつける場の提供
- ・みどりのまち飯能フラワーコンテストの開催
- ・中秋の名月鑑賞とお茶会
- ・若いミュージシャンが演奏できる会場の提供
- ・ブラスバンドが盛んな市内中学校を中心としたブラスバンドコンサート

2. 商店街への提案

本報告書では、第1章～第5章で商店街動向調査の基礎的な数値を示し、第7章では今後の商店街活性化に向けて、現状の資源をどう活かしていくかを探ってきた。これらのうち、各商店街で取り込むことが可能と考えられる事項について、次の図表 7-2-1 のとおり提案したい。

図表 7-2-1 商店街への提案

商店街	提案事項
飯能大通り	<p>◆商店街の活性化方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策として、必要業種の検討と誘致 ・商店街としての共同事業の実施: 自商店街内および他商店街との共催など <p>◆観光通りとして再開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源として歴史ある蔵づくり店舗などがあるので、復元や再生で人を呼べる商店街再開発事業を実施する: フィルム・コミッションへの取り組み ・個性やこだわりのある店舗を誘致し、観光資源とする ・環境美化や歩道を整備し、そぞろ歩きのできる道とする: 環境の整った地域をめぐるウォーキングコースの設置など ・まちかどギャラリーの展示品は各店の“お宝” <p>◆マップ作成などPR支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状でも個性ある個店があるので、それをさらにPRするために情報発信に力を入れる: 蔵マップ・町屋マップ作成など
飯能銀座	<p>◆商店街の活性化方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策として、必要業種の検討と誘致 ・商店街としての共同事業の実施: 自商店街および他商店街との共催など <p>◆個店支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか水族館の告知板やいちおし商品の告知板をもっと目立つようにする: 西川材を使った告知板など ・商店街の空き店舗でチャレンジショップを開くなど起業支援: さらなる個店支援推進のために研修会・勉強会を開くなど ・木製ベンチの利用方法の見直し、PR ・市内全体の観光案内スポットの設置: 交差点空き店舗の活用など <p>◆住宅環境・公的機関・商業施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるひろ跡地に商業施設・公的機関・分譲マンションビルの建設などを構想: 中心市街地に居住空間(例: 青森市コンパクトシティ構想)を確保
飯能中央通り	<p>◆商店街の活性化方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策として、必要業種の検討と誘致 ・商店街としての共同事業の実施: 自商店街内および他商店街との共催など

	<ul style="list-style-type: none"> ◆東飯能駅～飯能駅間の移動客をひきつける商店街へ ・ウインドウショッピングができる街へ 人通りの増加を見込んで対策を立てる。増加するのは、東飯能駅と飯能駅の間を歩く通勤・通学客、まるひろに買物に来る高齢者、女性、子ども ・男性のおしゃれな品物や高齢者向け商品の豊富な品揃え ・起業家を公募し、チャレンジショップを開く ◆マップ作成などPR支援 ・地場スイーツマップ(和菓子屋)など ◆環境美化・歩きやすい歩道 ・環境美化・歩道の整備をして、そぞろ歩きのできる道とする ◆住宅環境の整備・人口増加への施策 ・商業施設・分譲マンションビルの建設等を構想する(空き地)
飯能東共栄会	<ul style="list-style-type: none"> ◆商店街活性化方策 ・はっきりとした方策が打ち出せないでいるが、保育施設・高齢者交流施設の設置要望が高い ・共同駐車場の運営にも目が向いている ・商店街としての共同事業の実施: 自商店街内および他商店街との共催など ◆核店舗との連携 ・まるひろ百貨店を取り込んで今後の商店会活動の方策を考える
飯能南口	<ul style="list-style-type: none"> ◆商店街活性化方策 ・保育施設・高齢者交流施設の設置要望が高く、現実的にも考え得る案である ・商店街としての共同事業の実施、自商店街内および他商店街との共催など ◆観光ルートの創成 ・飯能駅南口の活性化: 森林ルートは南口からとPRする ◆マップ作成などPR支援 ・麺食マップなど
東銀座睦会	<ul style="list-style-type: none"> ◆商店街活動の活発化 ・活性化案として必要業種の誘致、保育・高齢者交流施設の設置要望が高いことを考慮し、現実の方策を考えてはどうか ・商店街活動の活発化への支援、他の商店街との合併などは可能か ・商店街としての共同事業の実施、自商店街内および他商店街との共催など ◆個店支援 ・ユニークな個店をスポットにする ◆マップ作成などPR支援 ・地場スイーツマップ(洋菓子店)など
メイプル通り	<ul style="list-style-type: none"> ◆商店街活動のさらなる活発化 ・サラリーマン・OLを対象にした食べ物中心の商店街活動の活発化 ・家族連れ対象でも良い ・食事処マップの作成など ・食べ物パークなど ・商店街としての共同事業の実施、自商店街内および他商店街との共催など ◆イベントなどへの参加要請 ・祭りの山車などの巡回を希望。祭り全体で活性化のために考慮してもらえないか ◆マップ作成などPR支援 ・麺食マップなど

資料

1.商店街調査結果のまとめ

	① 営業実態	② イベント貢献度
全体		
飯能大通り		
飯能銀座		
飯能中央通り		
飯能東共栄会		
飯能南口		
飯能東銀座睦会		
メイプル通り		

資料

	③ 自店の問題点	④ 自店の努力
全体		
飯能大通り		
飯能銀座		
飯能中央通り		
飯能東共栄会		
飯能南口		
飯能東銀座睦会		
メイプル通り		

資料

	⑤ 商店街の問題点	⑥ 商店街活性化方策
全体		
飯能大通り		
飯能銀座		
飯能中央通り		
飯能東共栄会		
飯能南口		
飯能東銀座睦会		
メイプル通り		

資料

	⑦ 経営者の意欲	ポイント算出方法
全体		<p>レーダーチャートのポイントは、次の重みにより算出した。 以下の「…1」「…5」は、それぞれ「重み1」「重み5」を表す。</p> <p>①営業実態 ○経営者年代⇒「20～30歳代」…1～「70歳代以上」…5 「50歳代」…3</p> <p>○売場面積 ⇒「10坪未満」…1～「50坪以上」…5 「20坪以上30坪未満」…3</p>
飯能大通り		<p>○開店時間 ⇒「午前9時以前」…1～「午後」…5 「午前10時台」…3</p> <p>○閉店時間 ⇒「午後7時以前」…1～「午前」…5 「午後8時台」…3</p> <p>○年間売上高⇒「500万未満」…1～「1億円以上」…5 「3000万円未満」…3</p>
飯能銀座		<p>○平日/土日の売上比率⇒「平日の方が多し」…1、 「土日祝日が多い」…5</p> <p>○来店客年代⇒「20～30歳代」…1～「70歳代以上」…5 「50歳代」…3</p> <p>②イベント貢献度 ○売上に ⇒「貢献している」…5、 「分からない」…3、 「貢献していない」…1</p>
飯能中央通り		<p>③自店の問題点・④自店の努力 ○回答のパーセテージ</p> <p>⑤商店街の問題点・⑥商店街活性化方策 ○回答のパーセテージ</p>
飯能東共栄会		<p>⑦経営者の意欲 ○改革への意欲の現状として『組織活動活発度』⇒ 「活発である」…5～「ほとんど活動していない」…1 「普通」…3</p> <p>○「共同事業満足度」⇒ 「満足している」…5～「満足していない」…1 「分らない」…3</p>
飯能南口		<p>○「研修会参加意欲」・「活性化活動参加意欲」⇒ 「ぜひ参加したい」…5～「あまり参加したい とは思わない」…1 「できれば参加したい」…3</p> <p>○経営者の現状として「後継者決定」・「経営者年代」を加えた</p>
飯能東銀座睦会		
メイプル通り		

2. アンケート調査票

①個店調査 調査票

--	--	--	--	--

(1)所属商店街について

問1 どちらの商店街に所属していますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|----------------|
| 1. 飯能大通り商店街 | 2. 飯能銀座商店街 | 3. 飯能中央通り商店街 |
| 4. 飯能東共栄会 | 5. 飯能南口商店街 | 6. 飯能東銀座睦会 |
| 7. 飯能駅南共栄会 | 8. 岩沢商工会 | 9. メイプル通り商店会 |
| 10. 富士見商工会 | 11. 青中商工会 | 12. その他(_____) |

さしつかえなければ貴店名の記入をお願いします。(_____)

(2)お店の概要について

問2 平成21年4月1日現在の店舗数についてお答えください。

飯能市内所在店舗数		飯能市外所在店舗数		店舗数 合計
本店	支店	本店	支店	
				店

問3 企業の形態は次のどちらですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1.個人 2.法人

問4 問3で法人とご回答の方、資本金はおいくらですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 1000万円未満 2. 1000万円以上 3. 3000万円以上 4. 5000万円以上 5. 1億円以上

問5 業種・業態についておたずねします。該当する業種の番号に1つだけ○をつけてください。

産業分類	業 種 等			
1.各種商品小売業	11. 百貨店	12. ホームセンター	13. コンビニエンスストア	
	14. ディスカウントショップ	15. その他小売業		
2.衣類等の販売	21. 呉服・服地・寝具	22. 紳士服	23. 婦人・子供服	24. 靴・履物
	25. 鞆	26. 総合衣料	27. その他の衣服・身の回り品	
3.飲食料品等の販売	31. 各種食料品	32. 酒類	33. 精肉	34. 鮮魚
	35. 野菜・果物	36. 菓子・パン	37. 米穀類	38. 牛乳
	39. 料理品	310. 豆腐	311. お茶	312. その他の飲食料品
4.自動車等販売	41. 自動車 42. 自転車			
5.日用品等の販売	51. 家具・建具・畳	52. 金物・荒物・陶器	53. 家電製品	
	54. 家庭用ガス器具	55. その他日用品		
6.その他の商品	61. 医薬品・化粧品	62. ガソリン・燃料	63. 書籍・新聞	
	64. スポーツ用品・玩具・楽器	65. カメラ・DPE	66. 時計・眼鏡	
	67. 貴金属	68. 中古品	69. 花・植木	610. その他の商品
7.飲食店等	71. 一般食堂	72. 日本料理	73. 西洋料理	74. 中華料理
	75. そば・うどん	76. すし	77. 喫茶店	78. スナック
	79. その他飲食店			
8.サービス業	81. クリーニング	82. 美容	83. 理容	84. その他サービス業
9.その他	91. 病院	92. 銀行	93. ホテル・旅館	94. 学習塾
	95. 不動産業	96. 自動車整備業	97. その他	
10.非商店	101. 製造業	102. 事務所	103. 一般家屋等	

問6 経営者の年齢についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代以上

問 18 収入割合についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 本業の収入のみ
2. 本業の収入が 50%以上
3. 本業の収入と他の収入がほぼ同額
4. 本業以外の収入が 50%以上

問 19 主に来店する顧客層についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 学生・若者
2. 家族連れ
3. 主婦
4. サラリーマン・OL
5. 高齢者
6. その他()

SQ それらの方の年代はおおよそどのくらいですか。

1. 10 歳代
2. 20 歳代
3. 30～40 歳代
4. 50～64 歳代
5. 65 歳以上

問 20 平日と土・日・祝祭日の売上比率はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 平日の方が土・日・祝日より売上額が多い
2. 平日と土・日・祝日の売上額はほぼ同じ
3. 土・日・祝日の方が平日よりも売上額が多い
4. その他()

問 21 5年前と比べて売上高の傾向はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増加
2. やや増加
3. 横ばい
4. やや減少
5. 減少

さしつかえなければ、5年前の年間売上高をご記入願います。

平成15年当時の年間売上高: _____ 万円(概算で可)

問 22 5年前と比べて来店客数の傾向はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増加
2. やや増加
3. 変わらない
4. やや減少
5. 減少

(4) 自店の問題点と対応策について

問 23 自店の直面している問題点についておたずねします。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. 大型店の影響による売上減少
2. 競合店の出店による競争激化
3. 価格競争の激化
4. 立地条件の悪化
5. 景気悪化による来店客・売上高の減少
6. 集客のための企画、演出力不足
7. 顧客のニーズをつかめない
8. 代替品の出現による競争力の低下
9. 仕入先(卸売業者)との関係
10. 新商品を仕入れる資金不足
11. 駐車場の不足
12. 後継者不在による事業継続の困難化
13. その他()

問 24 現在、他店との差別化や売上増加のために実施している方策等についておたずねします。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. 他店に真似の出来ない独自の商品を販売している
2. 他店よりも低価格で販売している
3. 顧客ニーズを把握するため、アンケートなどを取っている
4. 商品の仕入れは顧客のニーズを勘案して吟味している
5. 顧客に商品の説明を丁寧に行っている
6. 商品の見せ方に工夫を凝らしている
7. 販売促進の宣伝(チラシ、ラジオ・テレビ・新聞広告等)を積極的にしている
8. 販売促進の営業活動を行なっている
9. お得意先に特別セールなどのダイレクトメールを出している
10. 安心・安全を前面に押し出している
11. 自店独自のホームページを開設して、商品の紹介をしている
12. その他()
13. 特に何も行っていない

(5) 今後の対応等について

問 25 今後の売上見通しについておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増加する
2. やや増加する
3. 変わらない
4. やや減少する
5. 減少する

問 26 売場面積の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増床する
2. 多少増床する
3. 現状維持
4. 多少減床する
5. 減床する

問 27 店舗改装予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 全面改装
2. 一部改装
3. 現状維持

問 28 店舗数の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増やす
2. 減らす
3. 現状維持

問 29 店員数の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増やす
2. 減らす
3. 現状維持

問 30 商品構成の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 半分以上入れ替え
2. 3~4割入れ替え
3. 1~2割入れ替え
4. 現状維持

問 31 販売方法の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 出張販売を増加させる
2. 店頭販売を増加させる
3. ホームページを活用する
4. 現状維持
5. その他()

問 32 出張販売についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現状、出張販売を行なっており、今後も続ける
2. 現状、出張販売を行なっているが、撤退を予定している
3. 現状、出張販売はしていないが、これからやってみたいと考えている
4. 出張販売には、特に興味がない
5. 出張販売には、不向きである
6. その他()

問 33 販売促進方法の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. チラシ・DM の増加
2. 値引き販売の強化
3. ホームページの活用
4. 特に予定していない
5. その他()

問 34 閉店時間について問 14 でおたずねしていますが閉店時間を遅くすることができますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 変えられない
- 変えられる ⇒
2. 20 時まで
3. 21 時まで
4. 22 時まで
5. その他()

問 35 店舗移転について考えていますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 条件が良ければ移転しても良い
2. 現状の立地条件は良い
3. 移転は考えていない

問 36 業種・業態等の変更予定についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現状維持
2. 一部転換
3. 全部転換
4. 廃業

SQ (問 36 で 2.~3.に回答された方におたずねします。)

全部転換・一部転換しようとする業種は何ですか。 (_____ 業)

問 37 後継者の有無についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 決まっている
2. 現在検討中(未定)
3. 後継者はいない
4. その他()

(6) 商店街の状況について

問 38 商店街の組織活動の状況はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 活発である
2. どちらかといえば活発である
3. 普通
4. あまり活発ではない
5. ほとんど活動していない

問 39 商店街組織で行っている共同事業に対する満足度はどうですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足している
2. 満足していない
3. 分からない

問 40 次のイベントは貴店の売上に貢献していますか。該当する欄に○をつけてください。

イ ベ ン ト		1. 貢献 している	2. 貢献し ていない	3. 分か らない	4. その他 (意見・要望等)
①奥むさし駅伝競走大会	1月				
②雑飾りお宝展 in 飯能	3月				
③飯能さくらまつり	4月				
④飯能新緑ソーデーマーチ	5月				
⑤飯能夏祭り	7月				
⑥飯能納涼大会	8月				
⑦はんのう生活祭	10月				
⑧飯能まつり	11月				

問 41 問 15 で休業日についておたずねしましたが、商店街の一斉休業日を仮に変更しようとした場合、何曜日がよいと思いますか。変更したい曜日に○をつけ、かつ現在の休業の曜日、意見等を記入してください。

1.月	2.火	3.水	4.木	5.金	6.土	7.日	現在の休業曜日	その他の意見等
							曜日	

問 42 商店街の問題点として考えられるのは何ですか。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われ来店客が減少している
2. 商店街に集客の核となる店舗がない(なくなる)、あるいは弱い
3. 空き店舗、非店舗が増加している
4. 商店街の業種構成に不足がある
5. 経営力の弱い店が多い
6. 経営者が高齢化してきた
7. 後継者が不足している
8. 集客イベントの開催数が少ない・マンネリ化している
9. 共同事業(商店街活動)が活発でない
10. 駐車場・駐輪場が不足している
11. 来街者の高齢化への対応が遅れている
12. 顧客のニーズをつかめない
13. その他()

問 43 商店街活性化のために、商店街としては何をしたら良いと思いますか。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. 商店経営者の勉強会など個別経営のレベルアップを図る
2. 若手リーダーの育成などの商店街の人材を育成する
3. 共同売り出しを強化する
4. 地域密着型の朝市やスタンプラリーなど各店が連携したイベントを開催し集客力を高める

5. 商店街の情報化を推進する(商店街POS、カードシステム、インターネットを利用して商店街のホームページから個別商店や催事等の情報を発信する)
6. 個店の力を付けるために一店逸品運動を展開する
7. チャレンジショップを積極的に誘致し、商業企業家への支援を行なう
8. 商店街・地域に必要な業種を誘致して空き店舗を無くしていく
9. 空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備
10. 宅配便の一時預かり(発送・到着とも)サービスを新設・充実する
11. 商店街や個別商店のマップを作り、商店のPRを行なう
12. 商店街用共同駐車場を運営する
13. その他()

問 44 商店街活性化のために、公的機関に何を実施してほしいと思いますか。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. まちなかに集客力のある公共施設(図書館・ミニホール等)を設置する
2. 子育て支援のための施設(保育所・託児所等)を設置する
3. 街路のカラー舗装化やアーケードを設置し街路施設の整備を図る
4. 買物等がしやすいように歩道を整備する
5. 駐輪場・物品預かり所・公衆トイレなど来街者用共同施設の充実を図る
6. 街路樹の植樹や花壇・小緑地・ベンチなどの(ストリートファニチャー)設置等により緑化を図る
7. 市街地の居住者を増やすため居住環境を良くする
8. 公共の大規模駐車場・駐輪場の整備充実を図る
9. 中心市街地に入りやすいように踏切を立体化する
10. 中心市街地を見直して市街地再開発事業を実施する
11. その他()

問 45 今秋、「まるひろ百貨店飯能店」が飯能駅前から東飯能駅前に移転する予定ですが、移転による影響等についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

①来店客数について

1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する

(要因)

②売上について

1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する

(要因)

③移転後の建物・駐車場の活用方法についての意見・要望等

(建物跡地)
(駐車場跡地)

問 46 今後、商店街活性化の研修会や勉強会等が開催された場合、参加する意向はありますか。

該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. ぜひ参加したい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したいとは思わない
4. その他()

問 47 商店街活性化の活動が開始された場合、参加する意向はありますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 積極的に係わっていきたい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したいとは思わない
4. その他()

※アンケート調査項目は、以上です。

最後に、商店街や飯能市の活性化のためのご意見・ご要望等がありましたらご記入願います。

(自由意見欄)

ご協力ありがとうございました。

②商店街代表者調査 調査票

--	--	--	--	--

I. 商店街の概要

問 1.代表する商店街・商店会等は次のどちらになりますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 飯能大通り商店街 | 2. 飯能銀座商店街 | 3. 飯能中央通り商店街 |
| 4. 飯能東共栄会 | 5. 飯能南口商店街 | 6. 飯能東銀座睦会 |
| 7. 飯能駅南共栄会 | 8. 岩沢商工会 | 9. メイプル通り商店会 |
| 10. 富士見商工会 | 11. 青中商工会 | 12. その他() |

代表となられた年月はいつですか。 平成____年____月

問 2.商店街の規模(21年4月1日現在)

加盟店舗数 _____ 店 (うち、休業中の店舗があればその店舗数 _____ 店)

問 3.商店街の性格について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 買回り品 70%以上 | 2.買回り品 50%以上 70%未満 |
| 3. 最寄品中心 | 4. 飲食・サービス中心 |

(注) 買回り品: 諸行事や季節の変化などに応じて購入する商品(衣料品、家具、電化製品、レジャー用品など) 最寄品 : 日常生活で消費する度合いが高い商品(生鮮食料品、日常雑貨、医薬品、菓子など)

問 4.商店街組織の役員数は何人ですか。またその平均年齢について、該当する番号に○をつけてください。

役員数 _____ 人

平均年齢 1. 39 歳以下 2. 40 歳代 3. 50 歳代 4. 60 歳代 5. 70 歳以上

問 5.商店街組織の 20 年度予算について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------------|
| 1. 50 万円以下 | 2. 51 万円～300 万円 | 3. 301 万円～600 万円 |
| 4. 601 万円～1000 万円 | 5. 1001 万円以上 | |

問 6.会費の月額について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 1 千円未満 2. 1～2 千円 3. 2～3 千円 4. 3～5 千円未満 5. 5 千円以上

問 7.商店街の設立時期

昭和・平成 _____ 年

問 8.商店街の商圈について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 500m以内 2. 1Km 以内 3. 2Km 以内 4. 5km以内 5. 5km超

問 9.公式ホームページの有無について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. ある 2. ない

Ⅱ. 商店街の状況

問 10. 貴商店街の景況について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 繁栄 2. やや繁栄 3. 横ばい 4. やや衰退 5. 衰退

問 11. 5年前と比べて貴商店街の商店数はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 減少

問 12. 5年前と比べて貴商店街の来街者はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 減少

問 13. 貴商店街の来街者の年代について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30～40歳代 4. 50～64歳代 5. 65歳以上

問 14. 貴商店街の来街者の属性について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 1人 2. カップル 3. ファミリー 4. 同性グループ 5. その他()

問 15. 来街者から商店街に対しての要望等がありますか。ある場合は、その内容もご回答ください。

1. ない 2. ある (要望等の内容:)

問 16. 商店街の組織活動の状況はいかがですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 活発である 2. どちらかといえば活発である 3. 普通
4. あまり活発ではない 5. ほとんど活動していない

問 17. 商店街組織の行っている主要共同事業について、実施している事業は次のうちどれですか。

(1)販売促進事業、(2)環境整備事業、(3)経営改善事業、それぞれについて、該当するものすべてに○をつけてください。

(1)販売促進事業

1. 共同売り出し 2. 共同宣伝(チラシ、広告など) 3. 共同装飾 4. チケット販売
5. 銀行POS・デビットカード導入 6. イベント 7. スタンプ・サービス券(ポイントカードを含む)
8. 共通商品券事業 9. IT活用事業(商店街HP作成、共同POSシステム導入)
10. 実施していない 11. その他()

(2)環境整備事業

1. 街路灯 2.アーケード 3.アーチ 4.カラー舗装 5.歩車道分離
6.防犯カメラ 7.パティオ(店舗間の中庭・公共スペース) 8.共同店舗 9.再開発ビル
10.休憩ベンチ 11.花壇 12.街路樹 13.ゴミ入れ・吸殻入れ 14.休憩施設
15.共同トイレ 16.駐車場(商店街管理) 17.自転車置き場 18.モニュメント(シンボル施設等)
19.案内板 20.放送設備 21.コミュニティ施設(託児所、福祉施設、観光案内所等)
22.AED 23.その他()

(3)経営改善事業

- 1.視察・研修会 2.機関紙発行 3.店員教育 4.レクリエーション 5.顧客管理(カード化等)
6.共同金融 7.共同購入(消耗品等) 8.実施していない 9.その他()

問 18. 次のイベントは貴商店街の売上に貢献していますか。該当する欄に○をつけてください。

イ ベ ント		1.貢献し ている	2.貢献して いない	3.分から ない	4. その他 (意見・要望等)
①奥むさし駅伝競走大会	1月				
②雛飾りお宝展 in 飯能	3月				
③飯能さくらまつり	4月				
④飯能新緑ソーデーマーチ	5月				
⑤飯能夏祭り	7月				
⑥飯能納涼大会	8月				
⑦はんのう生活祭	10月				
⑧飯能まつり	11月				

問 19. 個別店舗の組合活動への協力度合いはいかがですか。該当するものに○をつけてください。

1. 非常に協力的 2. 少し協力的 3. あまり協力的でない 4. 全く協力的でない
5. その他()

問 20. 貴商店街では、空き店舗対策を行っていますか、行っている場合は、その内容もご回答ください。

1. 行っている⇒対策の内容()
2. 行っていない

問 21. 商店街の問題点として考えられることは何ですか。

次の中から4つ以内を選んで、該当する番号に○をつけてください。

1. スーパー・大型店・ロードサイド店に客を奪われ来店客が減少している
2. 商店街に集客の核となる店舗がない(なくなる)、あるいは弱い
3. 空き店舗、非店舗が増加している
4. 商店街の業種構成に不足がある
5. 経営力の弱い店が多い
6. 経営者が高齢化してきた
7. 後継者が不足している
8. 集客イベントの開催数が少ない・マンネリ化している
9. 共同事業(商店街活動)が活発でない
10. 駐車場・駐輪場が不足している
11. 来街者の高齢化への対応が遅れている
12. 顧客のニーズをつかめない
13. その他()

Ⅲ.商店街の今後の活性化対策

問 22. 商店街活性化のために何をしたら良いと思いますか。

次の区分ごとに、4つ以内を選んで該当する番号に○をつけてください。

① 商店街として実施すること

1. 商店経営者の勉強会など個別経営のレベルアップを図る
2. 若手リーダーの育成などの商店街の人材を育成する
3. 共同売り出しを強化する
4. 地域密着型の朝市、スタンプラリーなど各店が連携したイベントを開催し集客力を高める
5. 商店街の情報化を推進する(商店街 POS、カードシステム、インターネットを利用して商店街のホームページから個別商店や催事等の情報を発信する)
6. 個店の力を付けるために一店逸品運動を展開する
7. チャレンジショップを積極的に誘致し、商業起業者への支援を行なう
8. 商店街・地域に必要な業種を誘致して空き店舗を無くしていく
9. 空き店舗を活用した保育施設や高齢者交流施設の整備
10. 宅配便の一時預かり(発送・到着とも)サービスを新設・充実する
11. 商店街や個別商店のマップを作り、商店のPRを行なう
12. 商店街用共同駐車場を運営する
13. その他()

② 公的機関に実施してほしいこと

1. まちなかに集客力のある公共施設(図書館・ミニホール等)を設置する
2. 子育て支援のための施設(保育所・託児所等)を設置する
3. 街路のカラー舗装化やアーケードを設置し街路施設の整備を図る
4. 買物等がしやすいように歩道を整備する
5. 駐輪場・物品預かり所・公衆トイレなど来街者用共同施設の充実を図る
6. 街路樹の植樹や花壇・小緑地・ベンチなどの(ストリートファニチャー)設置等により緑化を図る
7. 市街地の居住者を増やすため居住環境を良くする
8. 公共の大規模駐車場・駐輪場の整備充実を図る
9. 中心市街地に入りやすいように踏切を立体化する
10. 中心市街地を見直して市街地再開発事業を実施する
11. その他()

問 23. 今秋、「まるひろ百貨店飯能店」が飯能駅前から東飯能駅前に移転する予定ですが、移転による影響等についておたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

① 来客数について

- 1.増加する 2.やや増加する 3.変わらない 4.やや減少する 5.減少する

(要因)

②売上について

- 1.増加する 2.やや増加する 3.変らない 4.やや減少する 5.減少する

(要因)

③移転後の建物・駐車場の活用方法についての意見・要望等

(建物跡地)

(駐車場跡地)

問 24. 商店街を活性化するために、研修会や勉強会などを開催する意向はありますか。

該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1.ぜひ開催したい 2.できれば開催したい 3.開催したいとは思わない
4.その他()

問 25. 商店街活性化等の活動が開始された場合、参加する意向はありますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1.積極的に係わっていきたい 2.できれば参加したい 3.あまり参加したいとは思わない
4.その他()

※アンケート項目は以上です。

最後に、商店街や飯能市の活性化のためのご意見・ご要望等がありましたなら、ご記入願います。

(自由意見欄)

ご協力ありがとうございました。

平成 2 1 年度 飯能市商店街動向調査報告書

平成 21 年 9 月 17 日発行

駿大・飯信産学連携事業協議会

駿河台大学	飯能市阿須 698 (tel)042-972-1211
飯能信用金庫	飯能市栄町 24-9 (tel)042-972-8111
飯能商工会議所	飯能市本町 1-7 (tel)042-974-3111